

PaperStream Capture 4.0

ユーザーズガイド

目次

はじめに	9
本書をお読みになる前に	11
PaperStream Capture とは	13
PaperStream Capture ができること	13
PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro の違い	17
PaperStream Capture Pro の機能	18
抽出データの活用	18
マルチステーション運用の特長	18
PaperStream Capture Pro を評価する	20
PaperStream Capture/PaperStream Capture Pro の仕様	21
PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の変更点	26
PaperStream 製品を使い分けるポイント	27
PaperStream Capture をインストールする	30
Setup DVD-ROM からインストールする	30
セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする	31
PaperStream Capture を使うコンピューターを変更する	33
PaperStream Capture Pro をインストールする	36
セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする	36
PaperStream Capture Pro をアクティベートして使用する	38
オンラインの環境でライセンスをアクティベートする	38
オフライン環境のライセンスをアクティベートする	38
オンラインの環境でライセンスをディアクティベートする	41
オフライン環境のライセンスをディアクティベートする	42
読み取り前の準備	45
環境設定をする	45
マルチステーション運用の設定	46
マルチステーション運用でストレージサーバーの設定をする	46
マルチステーション運用でステーションの設定をする	47
基本的な読み取り操作	48
バッチスキャンモードの操作の流れ	48

シンプルスキャンモードの操作の流れ.....	49
読み取りの条件を設定する（バッチスキャンモード）	50
読み取りの条件を簡単に設定する（かんたん作成）	50
原稿を読み取って画像を保存するジョブを作成する	50
読み取った原稿の画像を自動で仕分けて保存するジョブを作成する	53
読み取った原稿内の文字列を画像のファイル名や保存先のフォルダー名にするジョブを作成する.....	58
より高度な読み取り条件を設定する（こだわり作成）	63
原稿を読み取る（バッチスキャンモード）	68
読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード）	69
ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード）	74
インデックスを編集する（バッチスキャンモード）	75
読み取った画像の確認を一時保存する（バッチスキャンモード）	77
読み取った画像または編集した内容を破棄する（バッチスキャンモード）	78
読み取りの履歴を確認する（バッチスキャンモード）	79
シンプルスキャンモードによる読み取り	80
シンプルスキャンモードの設定をする	80
原稿を読み取って保存する（シンプルスキャンモード）	81
読み取った画像を確認 / 編集する（シンプルスキャンモード）	81
ページを確認する	82
ページを追加 / 挿入する	82
ページを差し替える	83
ページを回転する	83
ページを削除する	84
ページを切り取る	84
ページをコピーする	84
ページを貼り付ける	84
ドキュメントを分割する	85
ドキュメントを結合する	86
ページを並べ替える	86
ページにマークを付加する	87
確認 / 編集した画像を保存する（シンプルスキャンモード）	87
便利な設定に変更する	88

かんたん作成のジョブをこだわり作成に移行する.....	88
スキャナーのボタンで原稿を読み取る	89
1.PaperStream Capture 側の設定	90
2.コンピューター側の設定	91
3.スキャナー側の設定	93
画像の画質の設定を変更する	94
原稿の白紙ページを自動で削除する	96
原稿と同じ色で画像を保存する	99
画像の向きを自動で補正する	102
パンチ穴除去をオフにする	105
読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する	108
読み取りで検出されたエラーに対応する	110
画像のファイルサイズを設定する.....	111
PaperStream Capture で設定する	111
画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする	112
かんたん作成の設定	113
こだわり作成の設定	113
画像のファイル名に連番を付ける	114
読み取った原稿内のバーコードの情報を抽出する.....	116
読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する	118
読み取った原稿内の文字列やバーコードの情報をインデックスファイルに出力する	121
読み取った原稿内のバーコードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する	122
読み取った原稿内の文字列をファイル名やフォルダー名に使用する	123
読み取った原稿内の文字列を使用して画像ファイルを自動で仕分ける	125
バーコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける	128
ジョブの改善ポイントを確認する.....	130
使い方に合わせた読み取り方法を選択する	131
確認が必要な画像にマークを付ける.....	132
インプリンタと連携して原稿に印字する	133
ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込む.....	136
読み取った画像を SharePoint に出力する.....	137
ファイル名オプションを使ってファイル名を指定する.....	138
抽出データを設定して読み取った情報を使用する.....	142
白紙を使用して画像ファイルを自動で仕分ける	143

ページ数を指定して画像ファイルを自動で仕分ける	144
バッチコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける	145
Ctrl キーを押して画像ファイルを自動で仕分ける	148
レイアウトを識別して画像ファイルを自動で仕分ける	149
ファイル名を使用して画像ファイルを自動で仕分ける	150
抽出した文字列を SharePoint のフィールド（列）に保存する	151
抽出した文字列にフィールドルールを設定する	153
抽出データの高度な設定	153
運用環境を移出/移入する	157
運用環境を移出する	157
運用環境をほかのコンピューターに移入する	158
運用環境の移入結果を確認する	161
「お使いの前に」画面	162
メニュー	163
「ジョブ作成/編集」画面	166
「こだわり作成」画面の構成	168
「ジョブ情報設定」タブ	168
バッチ名オプション	170
「バッチカウンターオプション」画面	172
「読み取り設定」タブ	173
PaperStream IP Import の設定項目	182
「読み取りモードオプション」画面	185
「出力先設定」タブ	188
「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面	198
「SharePoint オプション」画面	198
「SharePoint Online オプション」画面	199
「FTP オプション」画面	200
「アプリケーションの起動オプション」画面	201
「メールオプション」画面	202
「プリンターオプション」画面	204
「オプション設定」画面	206
フォルダー名オプション	212
ファイル名オプション	215

ファイル名オプション（インデックスファイル）	220
「カウンターオプション」画面	223
「インデックス一覧オプション」画面	228
「データ抽出設定」タブ	229
「バーコードの設定」画面（データ抽出）	243
エリア設定画面（データ抽出）	243
「リストの定義」画面	246
「ODBC データソース」画面	247
「代替オプション」画面	247
「仕分け設定」タブ	249
「バーコードの設定」画面（仕分け）	254
エリア設定画面（仕分け）	255
「テスト」タブ	257
「スキャン(テスト)」画面	258
「QC(テスト)」画面	260
「インデックス(テスト)」画面	262
「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面	264
「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の構成	264
「一般」タブ	265
「ユーザビリティ」タブ	269
「ショートカット設定」画面	270
「出力」タブ	271
「アクティベーション」タブ	273
「ステーション」タブ	274
「サポート」タブ	277
「スキャン」画面	280
「スキャン」画面（確認 / 編集時）	282
「スキャン&インデックス」画面	285
「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）	287
リカバリー画面	290

「QC」画面	293
「インデックス」画面	296
ツールバー	299
「ファイル名の指定」画面	306
ファイル名の編集画面	308
「バッチ管理」画面	310
「出力済みファイル一覧」画面	312
「備考」画面	313
「所属/ユーザーの選択」画面	314
「同名ファイルの扱い確認」画面	316
「お知らせ」画面	318
「運用環境の移出」画面	319
「運用環境の移入」画面	320
「シンプルスキャンモード」画面	323
「スキャンの設定」画面	328
「スキャンの実行」画面	330
「ファイル名の詳細設定」画面	333
「TIFF オプション」画面	339
「PDF オプション」画面	340
「JPEG オプション」画面	343
「追加/挿入/差替え」画面	344
「仕分けの挿入」画面	345
「名前を付けて保存」画面	346
困ったときには	348
バージョンの情報を確認する	348
出力処理中の警告に対応する	348
ゾーン OCR で文字が正しく認識されない	350

メッセージ一覧	351
起動や接続に関連するメッセージ.....	351
管理ツールやジョブ設定に関連するメッセージ	361
読み取りや編集に関連するメッセージ.....	370
詳細設定や環境設定に関連するメッセージ	398
画像の出力に関連するメッセージ.....	436
運用環境の移出 / 移入に関連するメッセージ.....	454
設定値一覧	464
仕様	470
ファイル形式.....	470
インデックス情報ファイル形式 (PaperStream Capture)	473
インデックス情報ファイル形式 (PaperStream Capture Pro)	479
既定の圧縮形式.....	486
収集するデータ	488
バーコードの種類と検知条件	490
ゾーン OCR の検知条件	495
パスポートの検知条件	497
ID カード (TD1) の検知条件	499
ID カード (TD2) の検知条件	501
ジョブ移入結果ログ	502
PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro とドライバープロファイルの設 定の関係	503
用語集	506
お問い合わせ	509

はじめに

このたびは、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro をご利用いただき、誠にありがとうございます。ごさいます。

● 本製品について

PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro は、業務用 イメージ スキャナーを利用して原稿を読み取るためのアプリケーションです。

本書では、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を使用して、業務用 イメージ スキャナーで読み取りを行う方法について説明しています。

詳細は、[PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro の違い \(17 ページ\)](#)または [PaperStream Capture/PaperStream Capture Pro の仕様 \(21 ページ\)](#)を参照してください。

● 商標および登録商標

Microsoft、Excel、PowerPoint、SharePoint、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

ISIS は、Open Text の商標です。

Intel、Pentium、および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine © ABBYY. OCR by ABBYY

ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd. の商標です。

ScanSnap および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

● 開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5 (横浜アイマークプレイス)

● ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

● 発行日・発行責任

発行日 2024 年 2 月

発行責任 株式会社 PFU
P2WW-4580-01Z2
©PFU Limited 2024

● **お願い**

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。

本書をお読みになる前に

- **本書での略記**

本書では、以下の名称について省略して記載しています。

本文中の表記	名称
Windows 10	Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)
Windows Server 2016	Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)
Windows Server 2019	Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)
Windows Server 2022	Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)
Windows 11	Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)
Windows	Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022、および Windows 11
Word	Microsoft® Word
Excel	Microsoft® Excel®
PowerPoint	Microsoft® PowerPoint®
SharePoint	Microsoft® SharePoint® Server 2016 Microsoft® SharePoint® Server 2019
SharePoint Online	Microsoft® SharePoint® Online
.NET Framework	Microsoft® .NET Framework

- **製品名の表記**

本書では、PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro の両方を指す場合、「PaperStream Capture」と表記している場合があります。

PaperStream Capture 固有の説明の場合は、「PaperStream Capture の場合、」や「PaperStream Capture で、」などと表記しています。

- **スキャナーのボタン名の表記**

本書では、スキャナーのボタン名を以下のように表記しています。

本文中の表記	名称
スキャナーのスキャンボタン	[Scan/Enter] ボタン、[Scan/Stop] ボタンなど、ボタン名に「Scan」が含まれたスキャナーのボタンを総称した表記です。 スキャナーのスキャンボタンの名称は、スキャナーの機種によって異なります。詳細は、スキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

● PaperStream Capture の起動方法

PaperStream Capture は、以下の方法で起動できます。

- 「スタート」メニューから起動する

- デスクトップのショートカット () から起動する

PaperStream Capture をインストールすると、デフォルトでデスクトップのショートカットが作成されます。このため、本書では、デスクトップのショートカットから PaperStream Capture を起動する手順を記載しています。

● 連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

● 本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

本書では、PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro の共通の機能を説明する画面の場合、PaperStream Capture の画面で説明しています。



本書では、Windows 10 の画面を例に説明しています。

オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

● HTML 版 PaperStream Capture ユーザーズガイドの参照方法

PaperStream Capture を操作しながらブラウザー上で参照できる、HTML 版 PaperStream Capture ユーザーズガイドを用意しています。

PaperStream Capture の画面にある  や、各設定画面の  をクリックすると表示できます。

PaperStream Capture とは

PaperStream Capture は、業務用 イメージ スキャナーに添付されている画像読み取り用アプリケーションです。

モバイルアプリケーションのようなユーザーインターフェイスで、簡単に操作できます。普段スキャニングに馴染みのない利用者でも迷わずすぐに運用できるため、事前にトレーニングをしなくても業務を開始できます。

PaperStream Capture Pro は、PaperStream Capture の機能を拡張した有償のアプリケーションです。ライセンス製品を購入して、アクティベートすると使用できます。機能の拡張によって、より詳細な仕分け機能を使用できるようになります。また、スキャン、クオリティーチェック（以降、QC）、インデックス処理の作業を端末ごとに分業できるマルチステーション運用に対応し、お客様の運用に合わせた使い方ができます。

本製品は、画面タッチ数を削減する「One Click Capture」をコンセプトとしており、繰り返し行われる作業の効率化はもちろん操作ミスの防止に効果を発揮します。

ヒント

PaperStream Capture は、1 台のコンピューターにインストールできます。1 台のスキャナーを複数のコンピューターで利用する場合は、ソフトウェアライセンスの購入が必要です。

PaperStream Capture でできること

PaperStream Capture を使用してできることや機能の特長を説明します。

● 用途に合わせた読み取り方法

PaperStream Capture には、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの 2 つの読み取り方法があります。

読み取り方法は [モード切替え] ボタンで変更できます。

バッチスキャンモード

バッチスキャンモードは、読み取りのパターンが決まっていたり、マルチステーション運用で業務を分担したりなどの定型業務向けの読み取り方法です。

読み取りの条件や出力の条件などを設定したジョブを事前に作成し、ジョブをワンクリックすれば読み取りが完了します。

バッチスキャンモードは、以下のような画面で操作します。



ジョブは「かんたん作成」または「こだわり作成」のどちらかの方法で作成できます。

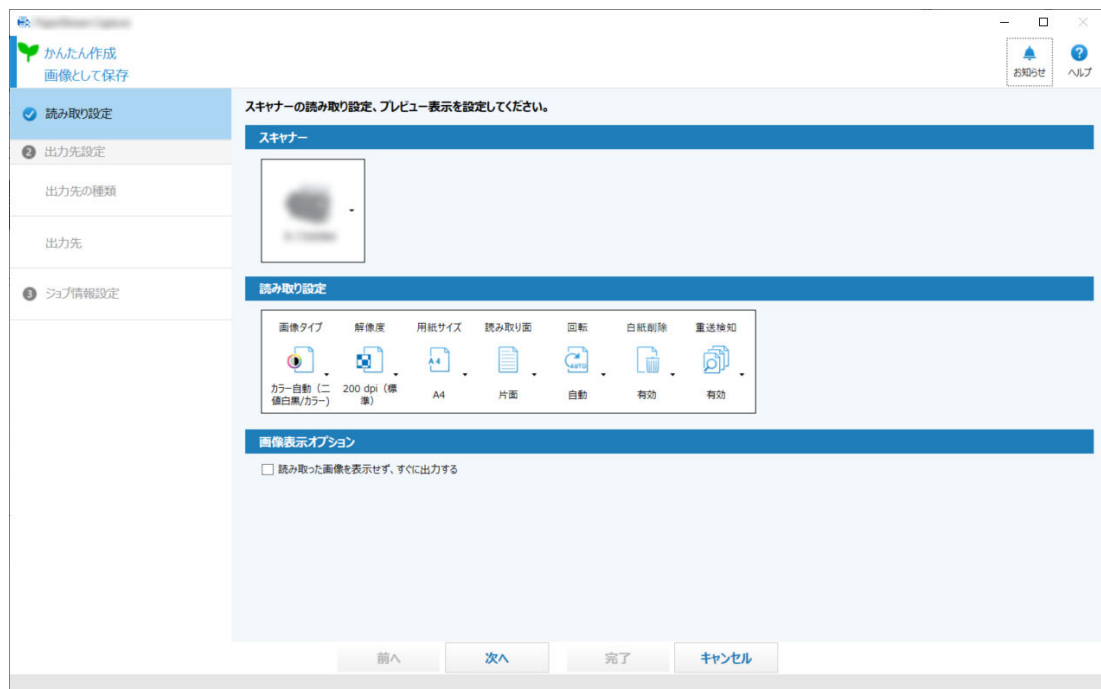
かんたん作成

初めて PaperStream Capture を使用する方やスキャナーを使った読み取り操作に慣れていない方に適したモードです。

以下の3つの読み取り方法から目的に合ったものを選び、画面に表示される手順に従って設定するだけで、迷わず簡単にジョブを作成できます。

- 画像として保存
- 仕分けして保存
- データを抽出し保存

以下のような画面でジョブを作成します。



こだわり作成

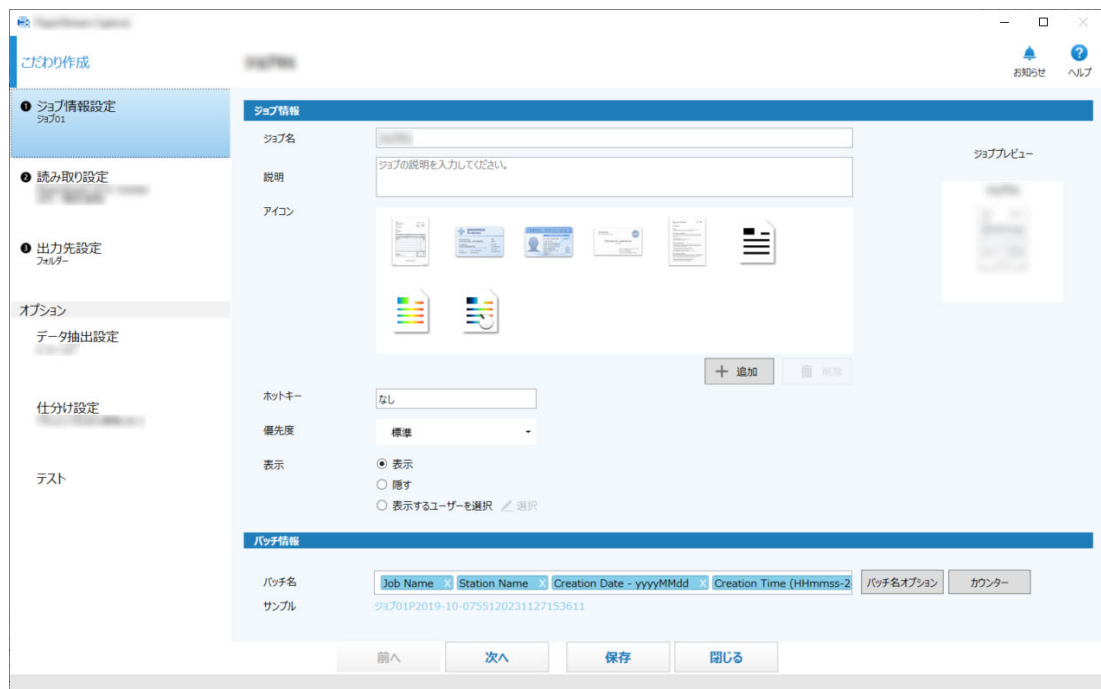
今まで PaperStream Capture を使用してきた方や詳細な読み取り条件を設定したい方に適したモードです。

従来のドキュメントプロファイル（PaperStream Capture 4.0 以降は「ジョブ」と呼びます）の作成方法です。

詳細な読み取り条件を PaperStream IP ドライバーで設定できるため、読み取りの目的や用途に合わせ、より高度な読み取り条件を設定できます。

PaperStream Capture 4.0 より前のバージョンで作成したドキュメントプロファイル（ジョブ）をそのまま使用したり、変更したりできます。

以下のような画面でジョブを作成します。

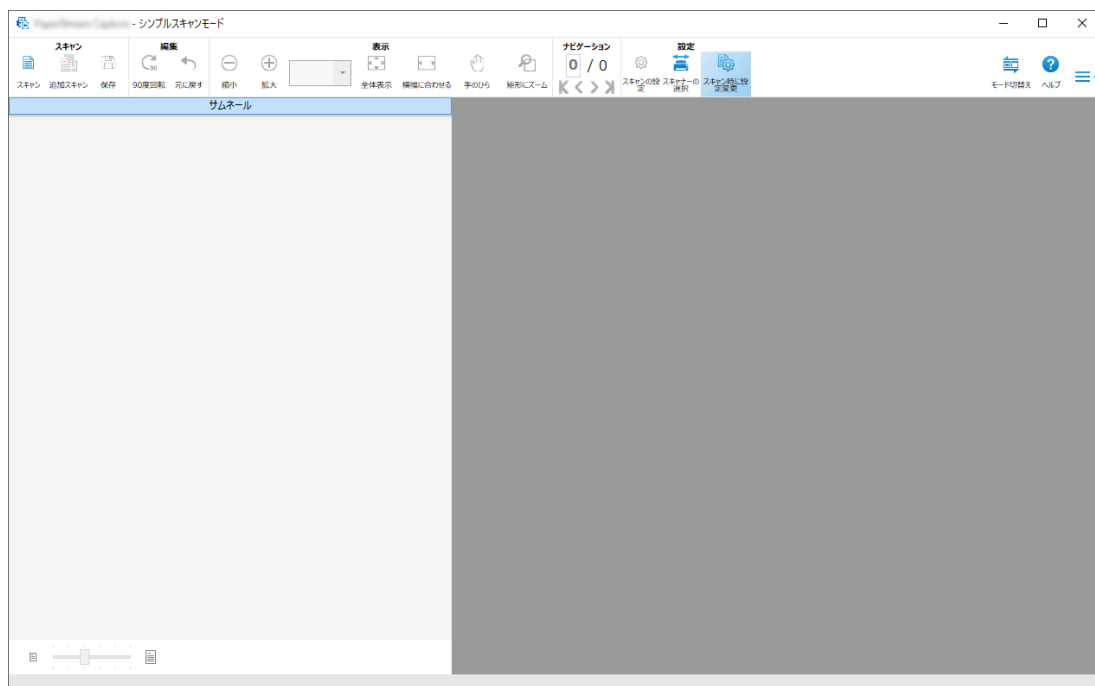


シンプルスキャンモード

シンプルスキャンモードは、原稿ごとに読み取りの条件を変更するような、パターン化されていない非定型業務向けの読み取り方法です。

ファイルの保存先、ファイル名、ファイルの保存形式などの設定を、必要に応じて変更して読み取りができます。

シンプルスキャンモードは、以下のような画面で操作します。



● 編集/保存の特長

- 読み取った画像のサムネールにマークを付けて、読み取った画像を簡単に選別できます。
- 読み取った画像を編集し、名前を付けて保存したり、ファイル形式を指定して保存したりできます。
- BMP、JPEG、TIFF、マルチページ TIFF、PDF、PDF/A、検索可能な PDF、PNG、リッチテキストといったファイル形式で、読み取った画像を出力できます。ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされている場合は、Word 文書、Excel 文書、PowerPoint 文書のファイル形式も出力できます。

● 便利な機能

- FTP サーバー、SharePoint、または SharePoint Online と連携すれば、読み取った画像を指定したサーバーに自動的に格納できます。
出力した画像ファイルをメールアプリケーションと連携してメールに添付したり、指定したプリンターで印刷したりできます。
また、PaperStream Connector Option を追加でインストールすると、クラウドサービスへの保存やメールおよびインターネット FAX との連携が可能となります。
- 仕分けの機能を使用すれば、指定した条件でページが仕分けされ、異なるファイルに保存できます。
- 読み取った画像から、バーコードを認識したり、ゾーン OCR による文字認識をしたりできます。
どちらも認識結果をインデックス情報ファイルに出力したり、ファイル名やフォルダー名に設定したりできます。
- 出力した画像ファイルやインデックス情報ファイルをパラメーターとして、指定したアプリケーションを呼び出せます。
- 「運用環境の移出」ツールおよび「運用環境の移入」ツールを使用すれば、現在使用しているコンピューター内の PaperStream Capture の運用環境を移出し、ほかのコンピューター内の PaperStream Capture に移入できます。
複数台のコンピューターに同じ環境を構築する場合は、移出した運用環境を各コンピューターに移入するだけで環境が構築できるので、1 台ごとに細かな設定をする必要がありません。
- 読み取りしたあとの編集操作から、ジョブの設定で自動化できる作業を判断し、設定の改善ポイントをお知らせします。
「お知らせ」画面に表示された改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。

PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro の違い

PaperStream Capture と PaperStream Capture Pro の違いや使い分けについて説明します。

PaperStream Capture は、毎回決まった条件で原稿を読み取りたい業務での利用に適しています。また、バーコードやキーワードを、保存する画像ファイル名にして保存したり、画像ファイルを自動で仕分けすることができ、効率的にデータを整理できます。

PaperStream Capture Pro は有償ソフトウェアです。PaperStream Capture の機能に加え、読み取り作業や確認作業などをチーム内で分担可能にするマルチステーション機能の使用や、より高度なデータ抽出が可能です。

詳細は、[仕様 \(21 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream Capture Pro の機能

ここでは、PaperStream Capture Pro にアクティベートした場合の機能やライセンスを購入する前に PaperStream Capture Pro を体験し、評価する方法について説明します。

抽出データの活用

PaperStream Capture Pro では、フィールドに設定できるフィールド種別が追加されるため、抽出データを活用した高度な運用ができます。

詳細は、[抽出データの高度な設定 \(153 ページ\)](#)を参照してください。

マルチステーション運用の特長

PaperStream Capture Pro ではストレージサーバーを使用したマルチステーション運用ができます。マルチステーション運用では、スキャン、QC、インデックス処理を異なる端末で分けて作業できるため、チーム内で作業を分担でき、効率的な文書処理を可能にします。

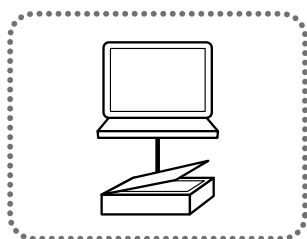
詳細は、[マルチステーション運用の設定 \(46 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream Capture Pro の基本的な操作の流れと運用例は、以下のとおりです。

1 環境設定

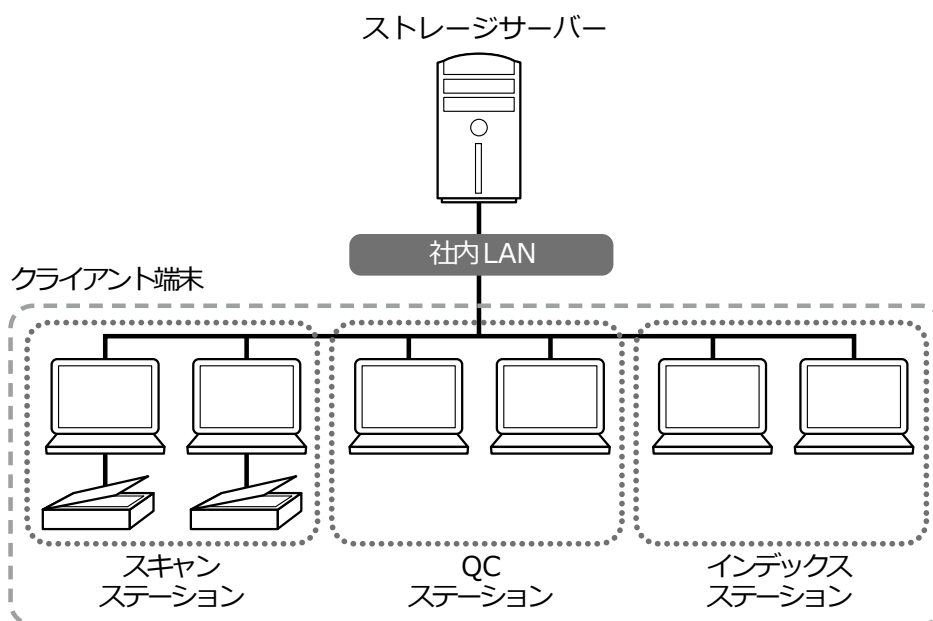
用途に応じたステーション運用ができます。

- シングルステーション運用の例



スキャン& インデックス

- ストレージサーバーを使用したマルチステーション運用の例

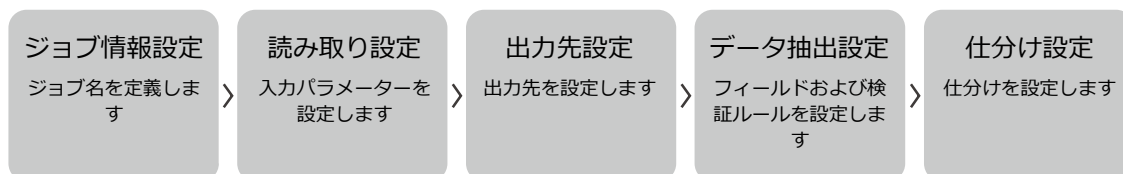


ストレージサーバーでは、ジョブや読み取った画像を含むバッチジョブの管理をします。クライアント端末のステーションは、「スキャン&インデックス」、「スキャン」、「QC」、「インデックス」の4種類から選択できます。

なお、「スキャン」、「QC」、「インデックス」は、組み合わせて1つのステーションとして設定もできます。

2 定義

バッチスキャンモード用のジョブを作成します。



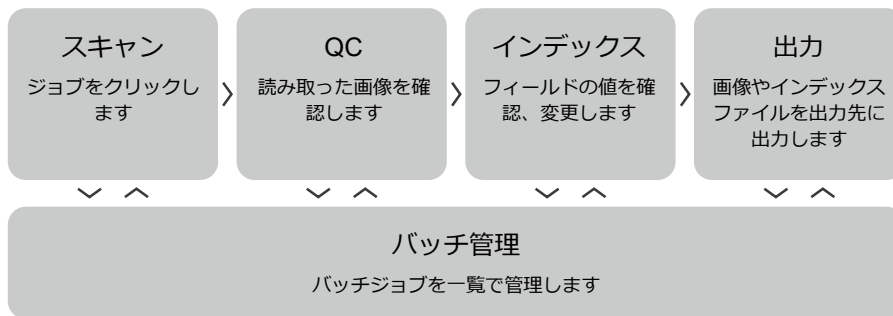
3 運用

原稿を読み取りしたあと、画像のチェックと編集、およびインデックス処理を行い、画像やインデックスファイルを出力します。

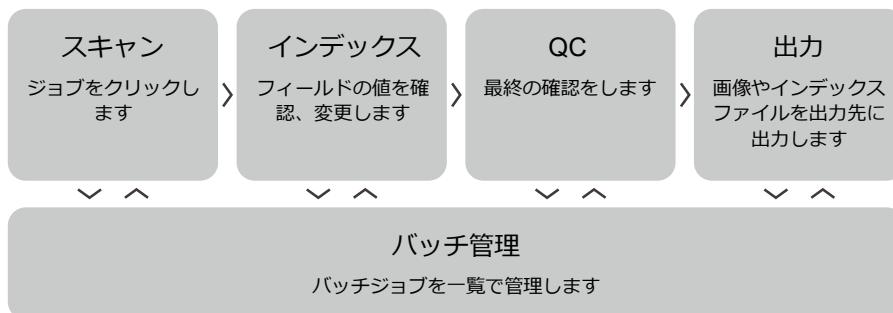
また、バッチジョブも各工程で管理できます。

以下は、運用の例です。

例 1



例 2



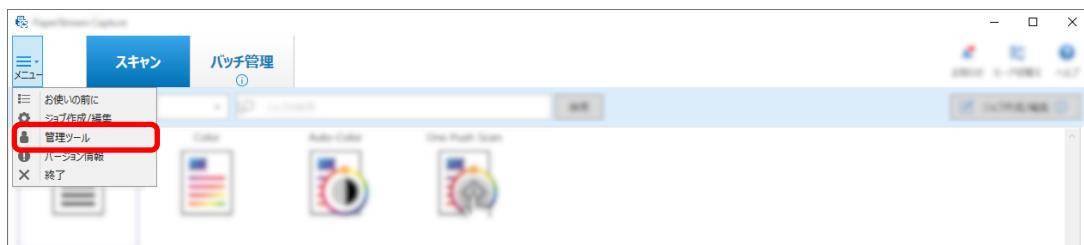
PaperStream Capture Pro を評価する

PaperStream Capture では、PaperStream Capture Pro の機能を体験し、評価できます。評価期間は 30 日、バッチ数は 200 です。評価できるのは、1 つの端末につき 1 度だけです。以下の場合、評価は終了します。

- 評価期間の期日に達した
- バッチ数の上限に達した
- 「評価中止」をクリックした

PaperStream Capture Pro の機能を評価する方法は、以下のとおりです。

- 1 メニューの  から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面が表示されます。

- 2 「アクティベーション」タブを選択します。
- 3 「ライセンス管理」の「評価」を選択します。

「PaperStream Capture Pro へようこそ」画面が表示されます。

4 [評価] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture を再起動すると、PaperStream Capture Pro の評価が開始します。
また、アイコントレイから、評価残日数とバッチ残数がメッセージで通知されます。

重要

- 評価期間中に PaperStream Capture Pro の固有の機能を利用して作成したジョブを、評価完了後、PaperStream Capture で編集すると、PaperStream Capture Pro の固有の機能が失われます。

PaperStream Capture/PaperStream Capture Pro の仕様

PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro の仕様と動作環境を示します。

● 仕様

重要

- PaperStream Capture Pro 固有の機能は、「かんたん作成」では使用できません。

機能		PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro
読み取り	スキャナードライバー	PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (ISIS)	PaperStream IP (TWAIN)
	読み取り方法	バッチスキャンモード シンプルスキャンモード	
	アドホックスキャン	○	
画像品質	画像チェック	重送 原稿欠け、折れ / 破れ 白紙 原稿識別精度 手動マーク	
	画像補正	アシストスキャン機能	アシストスキャン機能 画像補正 (ASC) 機能
仕分け	仕分け方法	ドキュメント仕分け	ドキュメント仕分け バッチ仕分け
	仕分けの種類	白紙 ページ数 ゾーン OCR パッチコード バーコード / 2次元コード Ctrl 押下	白紙 ページ数 ゾーン OCR パッチコード バーコード / 2次元コード Ctrl 押下

機能		PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro
		原稿識別（自動プロファイル 選択機能）	原稿識別（自動プロファイル選択機 能） ファイル名（Import オプション利 用時）
データ抽出	データ抽出の種類	バーコード/2次元コード ゾーン OCR パスポート IDカード(TD1) IDカード(TD2)	バーコード/2次元コード ゾーン OCR 直接入力 システム値 リストから選択 DB オートフィル フィールドの組み合わせ バーコードの分割値 JSON 解析値 パスポート IDカード(TD1) IDカード(TD2)
	データ抽出のフィー ルド属性	-	必須 読み取り専用 継続 DB ルックアップ
	フィールドルール	-	○
	使用可能な抽出デー タ項目の数	合計 20 個	合計 100 個
	抽出データの適用 (インデキシング)	ページ単位	ドキュメント単位 (*1) ページ単位
	文字認識 (OCR) 対 応言語	24 言語 (*2)	
	ファイルの 出力	ファイル形式	Bitmap、TIFF、Multi-TIFF、JPEG、JPEG2000、PDF、PDF/A、 PNG、RTF、Word、Excel、PowerPoint (*3)
	出力先	<ul style="list-style-type: none"> ● フォルダー、ネットワークフォルダー、SharePoint、SharePoint Online、FTP、他アプリケーション、メール、プリンター ● Dropbox、メール送信、FAX、Google ドライブ、Microsoft OneDrive (*4) 	
	Box との連携	-	○ (*5)
	ファイルサイズ調整	9 段階 (JPEG) 7 段階 (PDF)	
	インプリンタカウ ンターとファイル名の 連携	○	○ (*6)

機能		PaperStream Capture	PaperStream Capture Pro
ファイル入力	画像のインポート	○	○
	インポート画像の画像処理	-	○ (*7)
管理	設定変更のロック	○	
	ジョブの並び替え	○	
	ジョブの表示/非表示	○	
	運用環境の移出/移入	○	
	データ収集	-	○
その他	マルチステーション機能	-	○

○ 設定可能

— 設定不可

- *1** : 「フィールド属性」の「種別」が「パスポート」、「IDカード(TD1)」、または「IDカード(TD2)」の場合は、ページ単位で適用されます（ドキュメントの各ページに適用されます）。
- *2** : 対象の言語は、日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字） / ロシア語 / 韓国語 / トルコ語 / ギリシャ語 / ベトナム語 / ポルトガル語 / アラビア語 / スウェーデン語 / オランダ語 / ポーランド語 / チェコ語 / ルーマニア語 / ヘブライ語 / ウクライナ語 / タイ語 / インドネシア語です。
- *3** : Word 文書、Excel 文書、および PowerPoint 文書は、ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされている場合に出力できます。
- *4** : PaperStream Connector Option を追加でインストールすると、出力先または連携先として選択できます。
- *5** : 別途、PaperStream Capture Pro Box Connector のインストールが必要です。詳細は、[株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター](#)にお問い合わせください。
- *6** : シングルステーションおよびマルチステーションのスキャン&インデックスの端末で対応しています。
- *7** : 別途、PaperStream Capture Pro のインポート用ライセンスが必要です。
ライセンスの購入先は、以下の Web サイトを参照してください。
<https://www.pfu.ricoh.com/fi/software/paperstream-capture/pro.html>

● 動作環境

● PaperStream Capture

オペレーティングシステム (*1)	Windows® 10 Home (32 / 64 ビット) (*2)
	Windows® 10 Pro (32 / 64 ビット) (*2)

	Windows® 10 Enterprise (32 / 64 ビット) (*2) Windows® 10 Education (32 / 64 ビット) (*2) Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*2) Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*2) Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*2) Windows® 11 Home (64 ビット) (*2) Windows® 11 Pro (64 ビット) (*2) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*2) Windows® 11 Education (64 ビット) (*2)
対応ドライバー (*3)	PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (ISIS)
ソフトウェア	.NET Framework 4.7.2 以降
CPU	Intel®または Intel®互換プロセッサ
ディスプレイ解像度 (*4)	1280×800 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	10GB 以上 (*5)
言語 (*6)	日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語 (簡体字) /中国語 (繁体字) /ロシア語/韓国語/ポルトガル語 (ブラジル) /アラビア語/トルコ語 以下の言語は、ゾーン OCR および検索可能な PDF による文字認識だけできます。 ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語

***1** : 64 ビットオペレーティングシステムについては、64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビットアプリケーションとしてサポートします。

***2** : デスクトップアプリケーションとして動作します。

***3** : PaperStream IP (TWAIN x64) は使用できません。

***4** : フォントサイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォントサイズを小さくして使用してください。

***5** : 原稿を読み取るときには、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

***6** : バッチスキャンモードの場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択しているときは、認識する文字の言語として、以下は指定できません。

- ギリシャ語
- ベトナム語
- ポーランド語
- チェコ語
- オランダ語
- スウェーデン語

- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語

● PaperStream Capture Pro

オペレーティングシステム (*1)	Windows® 10 Home (32 / 64 ビット) (*2) Windows® 10 Pro (32 / 64 ビット) (*2) Windows® 10 Enterprise (32 / 64 ビット) (*2) Windows® 10 Education (32 / 64 ビット) (*2) Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*2) Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*2) Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*2) Windows® 11 Home (64 ビット) (*2) Windows® 11 Pro (64 ビット) (*2) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*2) Windows® 11 Education (64 ビット) (*2)
対応ドライバー	PaperStream IP (TWAIN)
ソフトウェア	.NET Framework 4.7.2 以降 Microsoft® Internet Information Service 10.0 以降
CPU	Intel®または Intel®互換プロセッサ
ディスプレイ解像度 (*3)	1280×800 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	10GB 以上 (*4)
言語 (*5)	日本語/英語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語 (簡体字) /中国語 (繁体字) /ロシア語/韓国語/ポルトガル語 (ブラジル) /アラビア語/トルコ語 以下の言語は、ゾーン OCR および検索可能な PDF による文字認識だけできます。 ギリシャ語/ベトナム語/ポーランド語/チェコ語/オランダ語/スウェーデン語/ルーマニア語/ヘブライ語/ウクライナ語/タイ語/インドネシア語
最大接続数 (推奨)	マルチステーション運用でのクライアント端末の接続数は、最大 7 台を推奨します (接続例 : スキャン端末 3 台、QC 端末 2 台、インデックス端末 2 台)。

***1** : 64 ビットオペレーティングシステムについては、64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビットアプリケーションとしてサポートします。

***2** : デスクトップアプリケーションとして動作します。

***3** : フォントサイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォントサイズを小さくして使用してください。

- *4 : 原稿を読み取る際には、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。
- *5 : バッチスキャンモードの場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択しているときは、認識する文字の言語として、以下は指定できません。
 - ギリシャ語
 - ベトナム語
 - ポーランド語
 - チェコ語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ルーマニア語
 - ヘブライ語
 - ウクライナ語
 - タイ語
 - インドネシア語

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の変更点

PaperStream Capture 4.0 または PaperStream Capture Pro 4.0 での変更点を説明します。

ジョブの作成モードに「かんたん作成」を追加

従来の読み取り条件の作成モード（こだわり作成）に加え、迷わず簡単にジョブを設定できる「かんたん作成」を追加しました。

ジョブの編集画面の表示、操作性を改善

メイン画面に [ジョブ作成/編集] ボタンを追加し、すぐにジョブの編集画面（「ジョブ作成/編集」画面）を表示できるようになりました。

また、「ジョブ作成/編集」画面でジョブ一覧の並び替えやジョブの絞り込みが可能になり、操作性が改善されました。

機能名や用語の変更

機能名や用語を、スキャナーの専門知識がない方にも理解しやすい名称に変更しました。以下に変更した機能名や用語を示します。

旧名称	新名称
プロファイル ドキュメントプロファイル	ジョブ
ブランクページ	白紙
マルチフィード	重送

旧名称	新名称
AIQC	折れ/破れ
セパレーター	仕分け
マーク設定	画像チェック
メタデータ	抽出データ
リリース	出力
名前規則	バッチ名オプション フォルダー名オプション ファイル名オプション

PaperStream 製品を使い分けるポイント

PaperStream では、業務用 イメージ スキャナーを利用して原稿を読み取るために、以下のアプリケーションを提供しています。

- PaperStream Capture
- PaperStream Capture Pro
- PaperStream ClickScan

目的別で使用するアプリケーションや読み取り方法を使い分けることで、効率良く原稿の読み取りができます。

以下は、目的別の使用例です。使い分けのポイントにしてください。

PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro のバッチスキャンモード

- ファイル名や出力先など詳細な読み取り条件を指定したジョブを使って、毎回同じ条件で原稿を読み取りたい場合
- バーコード認識やゾーン OCR（指定範囲内の文字情報抽出）で認識した結果を活用したい場合
- パスポートや ID カード（TD1 および TD2 に準拠）の情報を認識して読み取りたい場合
- 認識結果をファイル名やフォルダー名を使用して出力したい場合
- インプリンタと連携して読み取りたい場合
- スキャナーのボタンひとつで、詳細な読み取り条件に従って原稿を読み取りたい場合（*1）
- PaperStream Capture Pro の場合で、以下のようなとき
 - マルチステーション運用で、読み取りや画像の確認、インデックスの確認という作業を複数名で分担したい場合
 - データベースの連携やバーコードの JSON 解析など、高度な抽出データの設定を活用したい場合
 - 読み取り完了後の画像を、読み取りし直しせずに画質補正したい場合


PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro のシンプルスキャンモード


- 読み取りに使用するスキャナーを簡単に切り替えながら作業したい場合
- バッチスキャンモードのように、詳細な設定をせずに、原稿を分割して読み取りたい場合
- バッチスキャンモードのように、詳細な設定をせずに、各カウンターの設定値をファイル名やフォルダー名に使用したい場合

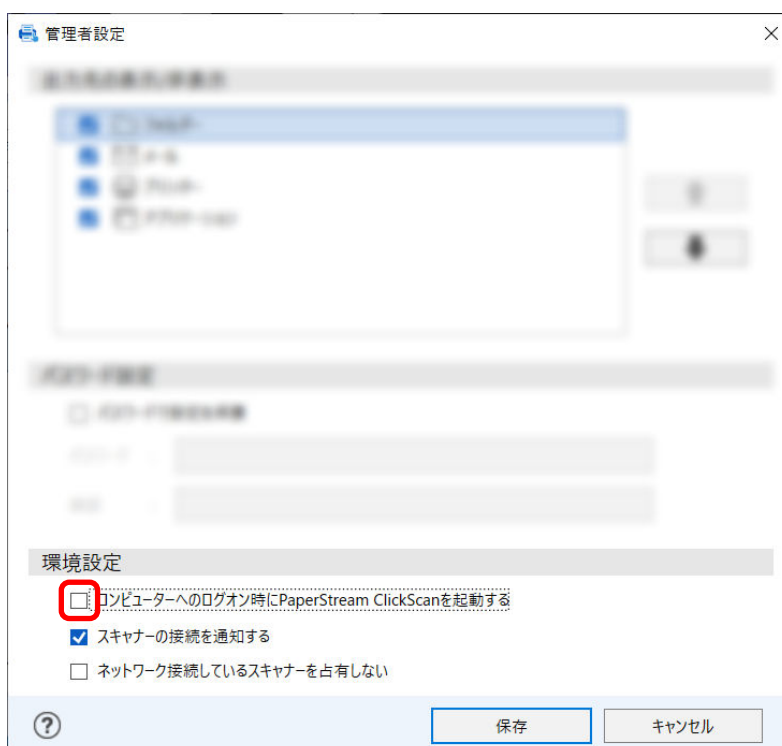
PaperStream ClickScan

- スキャナーのボタンひとつで原稿を読み取りたい場合 (*1)
- 簡単な設定で原稿を読み取り、すぐ連携先に出力したい場合
- 短時間で読み取りから出力まで行いたい場合

*1 : PaperStream ClickScan が起動している場合は、スキャナーのスキャンボタンを押すと PaperStream ClickScan での読み取りが実行されます。PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を使ってスキャナーのスキャンボタンでの読み取りを実行する場合

は、タスクバーにある PaperStream ClickScan のアイコン () を右クリックし、表示されたメニューで以下のどちらかの操作をしてください。

- PaperStream ClickScan の自動起動を解除する場合
 - 1 「出力先の管理」を選択します。
 - 2 表示された画面の右上にある  をクリックします。
 - 3 表示された「管理者設定」画面で、「コンピューターへのログオン時に PaperStream ClickScan を起動する」チェックボックスのチェックを外します。



- 4 [保存] ボタンをクリックします。
 - 5 コンピューターからログオフして、再度ログオンします。
- 一時的に PaperStream ClickScan を終了させる場合
 - 1 「終了」 を選択してください。

PaperStream Capture をインストールする

ここでは、PaperStream Capture のインストール方法について説明します。

Setup DVD-ROM からインストールする

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログインします。
- 2 Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

- 「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 3 使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。
- 4 [おすすめインストール] ボタンをクリックします。



- 5 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ヒント

- おすすめインストールでは、次のソフトウェアがインストールされます。
 - PaperStream IP (TWAIN)
 - Network Setup Tool for fi Series
 - Software Operation Panel
 - Error Recovery Guide
 - PaperStream ClickScan
 - PaperStream Capture

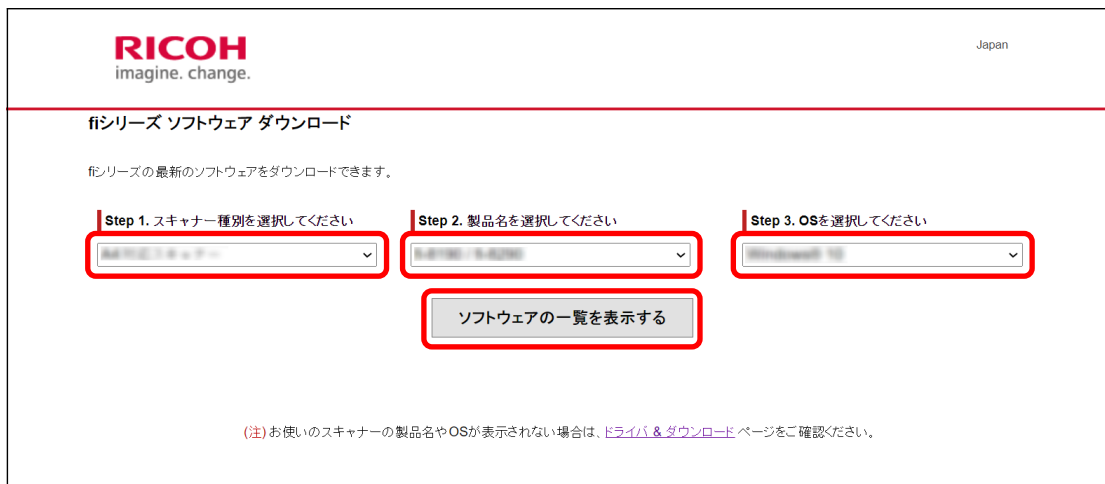
- マニュアル

- fi Series Online Update

なお、Network Setup Tool for fi Series は、機種によってはインストールされません。

セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログインします。
- 2 fi シリーズ ソフトウェア ダウンロードサイトに接続します。
<https://www.pfu.ricoh.com/fi/dl/>
- 3 スキャナー種別、製品名、OS をプルダウンメニューから選択し、[ソフトウェアの一覧を表示する] ボタンをクリックします。



RICOH
imagine. change. Japan

fiシリーズ ソフトウェア ダウンロード

fiシリーズの最新のソフトウェアをダウンロードできます。

Step 1. スキャナー種別を選択してください
無印対応スキャナー

Step 2. 製品名を選択してください
無印対応 / 無印対応

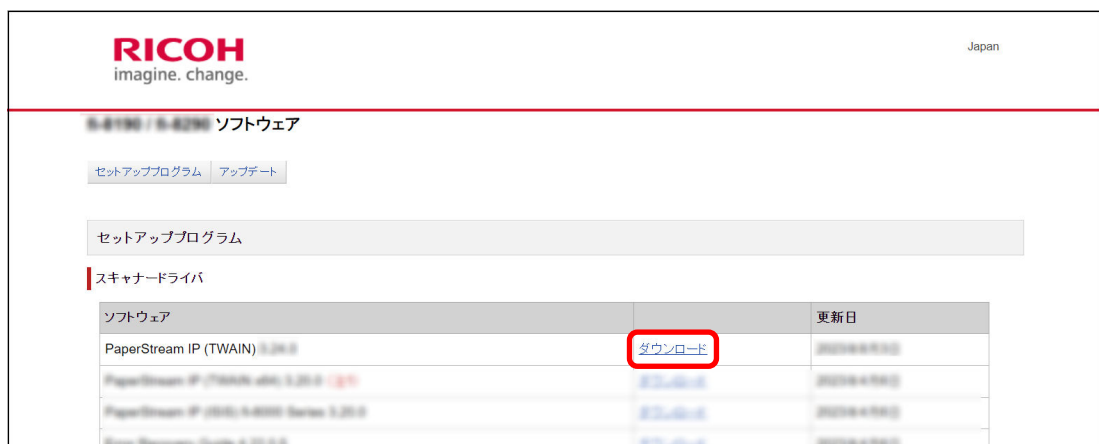
Step 3. OSを選択してください
Windows 10

ソフトウェアの一覧を表示する

(注) お使いのスキャナーの製品名やOSが表示されない場合は、[ドライバ & ダウンロード](#) ページをご確認ください。

4 PaperStream IP ドライバーをインストールします。

- a スキャナードライバーのカテゴリから「PaperStream IP (TWAIN) X.XX.X」のダウンロードリンクをクリックします。



RICOH
imagine. change. Japan

無印対応 / 無印対応 ソフトウェア

セットアッププログラム アップデート

セットアッププログラム

スキャナードライバ

ソフトウェア		更新日
PaperStream IP (TWAIN) X.XX.X	ダウンロード	2023年4月10日
PaperStream IP (TWAIN) X.XX.X	ダウンロード	2023年4月10日
PaperStream IP (TWAIN) X.XX.X	ダウンロード	2023年4月10日
Scan Remote Guide X.XX.X	ダウンロード	2023年4月10日

b 使用するコンピューターに「PSIPTWAIN-X_XX_X.exe」をダウンロードします。



RICOH
imagine. change. Japan

PaperStream IP (TWAIN) 3.2.0.0

対応OS | ダウンロードファイル | 主な変更点 | インストール手順

対応OS

Windows 10 / Windows 11
Windows Server® 2012 / Windows Server® 2016 / Windows Server® 2019 / Windows Server® 2022 R2 / Windows Server® 2022

※ OSの詳細は、お使いのスキナーの**マニュアル**を参照してください。

ダウンロードファイル

Download PaperStream IP (TWAIN) 3.2.0.0
↓ PSIPTWAIN-X_XX_X.exe (104,718,000 バイト)

c 「PSIPTWAIN-X_XX_X.exe」をダブルクリックして実行します。

画面の表示に従って、インストールを進めてください。

コンピューターを再起動するメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動してください。

5 PaperStream Capture をインストールします。

a アプリケーションのカテゴリーから対象の PaperStream Capture を選択し、ダウンロードリンクをクリックします。

アプリケーション		
ソフトウェア		更新日
PaperStream Capture 3.2.0	ダウンロード	2022年4月20日
PaperStream Classifier 1.2.0	ダウンロード	2022年4月20日
PaperStream Classifier Separable PDF Option 1.2.0	ダウンロード	2022年4月20日
PaperStream Connector Option 1.2.0	ダウンロード	2022年4月20日
PDF Barcode for PaperStream 1.1.2 (32bit)	このソフトウェアはPDFバーコードを生成するためのツールです。	

b スキャナーのシリアルナンバーを入力し、[確認] ボタンをクリックします。



c 使用するコンピューターに「PSCXXX.exe」をダウンロードします。



d 「PSCXXX.exe」をダブルクリックして実行します。

画面の表示に従って、インストールを進めてください。

コンピューターを再起動するメッセージが表示された場合は、コンピューターを再起動してください。

PaperStream Capture を使うコンピューターを変更する

コンピューターを買い替えた場合、前と同じ環境で PaperStream Capture を使用するには、使用していたコンピューターの運用環境を移出して、ほかのコンピューターに運用環境を移入します。

重要

- 移入先コンピューターの PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンは、移出元と同じ版数以降にしてください。

1 使用しているコンピューターから運用環境を移出します。

詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)を参照してください。

2 ほかのコンピューターに PaperStream IP ドライバーおよび PaperStream Capture をインストールします。

詳細は、[PaperStream Capture をインストールする \(30 ページ\)](#)を参照してください。

3 「運用環境の移入」画面を表示します。

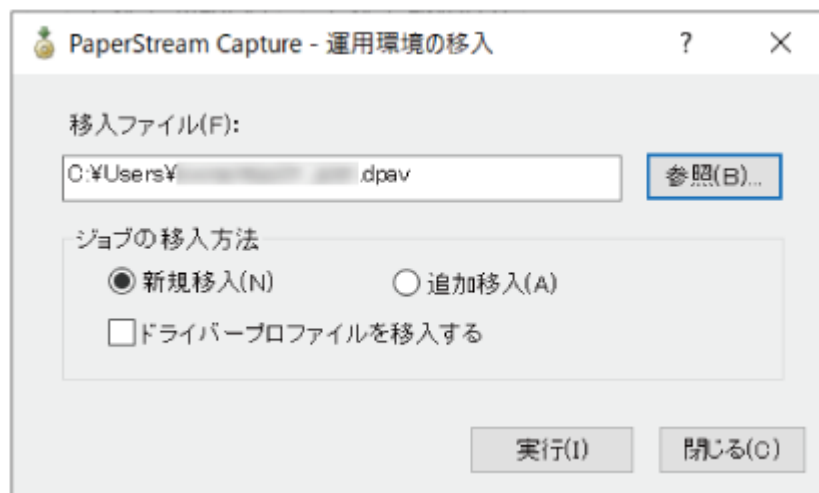
- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。

4 移入するファイルを指定します。

手順 1 で移出したファイル (.dpav (旧形式の場合は.cab)) または ScandAll PRO で移出したファイル (.cab) を指定してください。

移入ファイルを指定するには、以下の方法があります。

- ファイルのパス名を 255 バイトまでの文字数で入力する
- [参照] ボタンをクリックして指定する
- ドラッグ & ドロップ操作で指定する



5 ジョブの移入方法を選択します。

移入方法には以下の種類があります。

- 新規移入
PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に現在登録されているジョブをすべて削除し、移入ファイル内のジョブに置き換えます。
選択すると、「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスが表示されます。
PaperStream IP ドライバーのプロファイルも移入する場合は、チェックを付けてください。チェックを付けて移入すると、移入先にあるドライバープロファイルが上書きされます。
- 追加移入

移入ファイル内のジョブを PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に追加します。

この場合、PaperStream IP ドライバーのプロファイルは移入されません。

6 [実行] ボタンをクリックします。

移入処理完了のメッセージが表示されます。

7 [OK] ボタンをクリックします。

ほかのコンピューターに運用環境が移入されました。移入先のコンピューターで PaperStream Capture を使用できます。

8 移出元の運用環境を削除します。

PaperStream Capture Pro をインストールする

ここでは、PaperStream Capture Pro のインストール方法について説明します。

セットアッププログラムをダウンロードしてインストールする

PaperStream Capture Pro のインストールの方法は、以下のとおりです。

ヒント

- PaperStream Capture から PaperStream Capture Pro のライセンスをアクティベートして、PaperStream Capture Pro を使用することもできます。
詳細は、[PaperStream Capture Pro をアクティベートして使用する \(38 ページ\)](#)を参照してください。

1 Web サイトからダウンロードします。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/r/pscp/index.html>

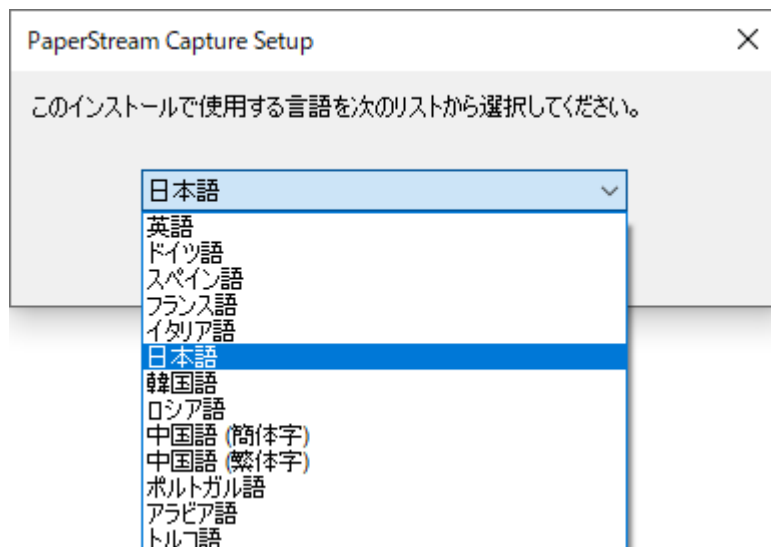
2 ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックします。

ファイルが解凍され、インストーラーが起動します。

使用する言語の選択画面が表示されます。

インストールには管理者権限が必要です。ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、管理者パスワードを入力してください。

3 ドロップダウンリストから、使用する言語を選択します。



使用許諾契約が記載された画面が表示されます。

.NET Framework 4.7.2 以上がインストールされていない場合、.NET Framework 4.7.2 が先にインストールされます。

インストール後、PaperStream Capture Pro のインストールが再開し、使用許諾契約が記載された画面が表示されます。

4 「使用許諾契約」に記載されている内容を確認し、同意される場合は「使用許諾契約に同意します」チェックボックスにチェックを付けます。

5 PaperStream Capture Pro の運用方法を選択します。

選択できる項目は、以下のとおりです。

- シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）
- マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）
- マルチステーション運用（ステーションとして使用する）

ヒント

- 運用プロセスや形態は「管理ツール」の「ステーション」タブで変更できます。マルチステーション運用で、設定が必要な場合は、PaperStream Capture Pro を終了し、以下の方法で「管理ツール」を起動してください。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

6 必要に応じて、以下のチェックボックスのチェックを外します。

デフォルトの状態は、チェックボックスにチェックが付いています。

- ショートカットをデスクトップに作成する
- サンプルプロファイルを表示する
- スタートアップ時に「お使いの前に」を表示する

7 「フォルダー名」でインストール先を確認します。

インストール先を変更したい場合は、[変更] ボタンをクリックし、インストール先を変更します。

8 [インストール] ボタンをクリックします。

9 「PaperStream Capture Pro セットアップウィザードが完了しました」という画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。

ストレージサーバーに必要なコンポーネントの有効化およびストレージサービスの登録が実行されます。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのインストールも併せて実行されます。

ストレージサーバーとしての準備および PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのインストール完了画面が表示されます。

10 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture Pro のインストールが完了します。

PaperStream Capture Pro をアクティベートして使用する

ここでは、PaperStream Capture Pro のライセンスのアクティベート方法とディアクティベート方法について説明します。

オンラインの環境でライセンスをアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピュータでライセンスをアクティベートする方法は、以下のとおりです。

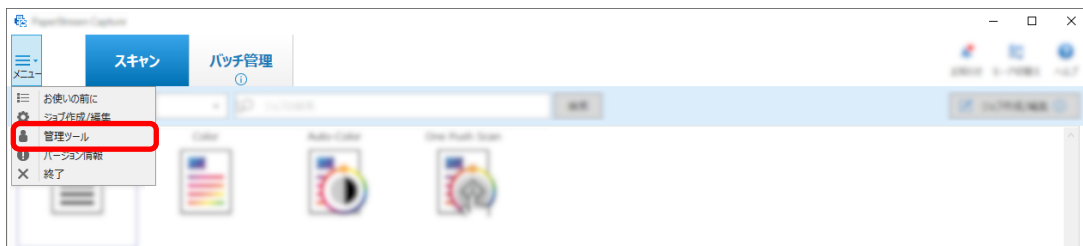
- 1 コンピューターの電源を入れて、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログオンします。

- 2 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

ヒント

- PaperStream Capture Pro をダウンロードしてインストールした場合、初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。
手順 6 に移動してください。

- 3 メニューの  から「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブが表示されます。

- 4 「アクティベーション」タブを選択します。

- 5 [アクティベート] ボタンをクリックします。

ライセンスコード入力画面が表示されます。

- 6 ライセンス番号を入力します。

ライセンス番号は、同封されているライセンス証書に記載されています。


- 7 [アクティベーション] ボタンをクリックします。

ライセンスがアクティベートされます。

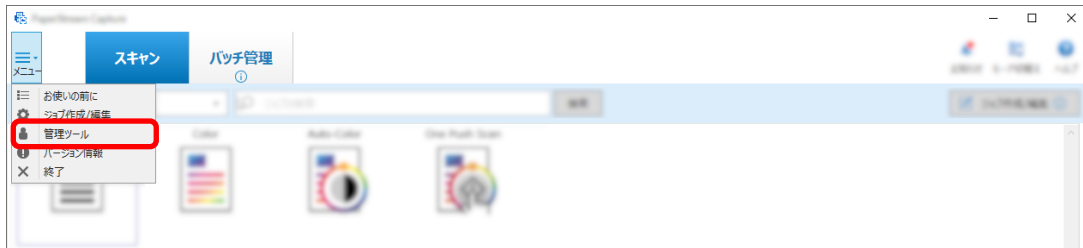
また、アイコントレイから、アクティベートの完了がメッセージで通知されます。

オフライン環境のライセンスをアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピュータを利用して、インターネットに接続できない環境（オフライン）のコンピュータのライセンスをアクティベートする方法は、以下のとおりです。

- 1 オフラインの環境のコンピュータで、デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。
PaperStream Capture Pro をダウンロードしてインストールした場合、初めて起動するとライセンスコード入力画面が表示されます。
ライセンスコードは入力せず、PaperStream Capture を起動してください。

- 2 メニューの  から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面が表示されます。

- 3 「アクティベーション」タブを選択します。
- 4 「ライセンス管理」の [アクティベート] ボタンをクリックします。
「PaperStream Pro ライセンスのアクティベーション」画面が表示されます。
- 5 「ライセンスコード」にライセンスコードを入力し、[アクティベーション] ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されます。

PaperStream Capture Pro オフラインアクティベーションの要求 :

リモート サーバーがエラーを返しました: (詳細は、ヘルプを参照してください)

インターネット経由でライセンスサーバーにアクセスできないため、PaperStream Capture Pro は自動でアクティベーションできません。

1. インターネットにアクセスできる Web ブラウザ上で、この URL にアクセスします:

(a)

2. Web サイトで以下の情報を入力します。

(b)

3. Web サイトの指示に従い、ACTIVATION.XML をダウンロードしてください。このコンピュータから利用できる場所にファイルをコピーしてください。

4. アクティベーションを完了するため、以下のボタンを使って ACTIVATION.XML を選択します。

引き続き問題が発生する場合は、当社サポート & サービスまでご連絡ください。(連絡先は、管理ツールのサポートタブに記載されています。)

- 6 (a) および (b) の記載をメモします。
- 7 オンラインの環境のコンピューターで、手順 6 でメモした (a) の Web サイトに接続します。
- 8 手順 6 でメモした (b) の内容を入力します。
- 9 [アクティベーション] ボタンをクリックします。
- 10 [Activation.XML ファイルのダウンロード] ボタンをクリックします。
- 11 任意の格納先に ACTIVATION.XML ファイルを保存します。
- 12 オフラインの環境のコンピューターで、ACTIVATION.XML ファイルを任意のフォルダーに移動します。

- 13** 以下の画面で、[アクティベーションを終了するために ACTIVATION.XML を参照] ボタンをクリックして ACTIVATION.XML ファイルを選択します。

PaperStream Capture Proオフラインアクティベーションの要求：

リモートサーバーがエラーを返しました： 2005 7/11/2020 10:00:00 AM

インターネット経由でライセンスサーバーにアクセスできないため、PaperStream Capture Proは自動でアクティベーションできません。

1.インターネットにアクセスできるWebブラウザ上で、このURLにアクセスします：

2.Webサイトで以下の情報を入力します。

プロダクトID: PaperStream Capture Pro
 ライセンスコード: JTPR-DWXP
 コンピュータID: 856-6955-8764-8760
 コンピュータ名: P2020-05-00313

3.Webサイトの指示に従い、ACTIVATION.XMLをダウンロードしてください。このコンピュータから利用できる場所にファイルをコピーしてください。

4.アクティベーションを完了するため、以下のボタンを使ってACTIVATION.XMLを選択します。

引き続き問題が発生する場合は、当社サポート&サービスまでご連絡ください。(連絡先は、管理ツールのサポートタブに記載されています。)

ライセンスがアクティベートされます。

また、アイコントレイから、アクティベートの完了がメッセージで通知されます。

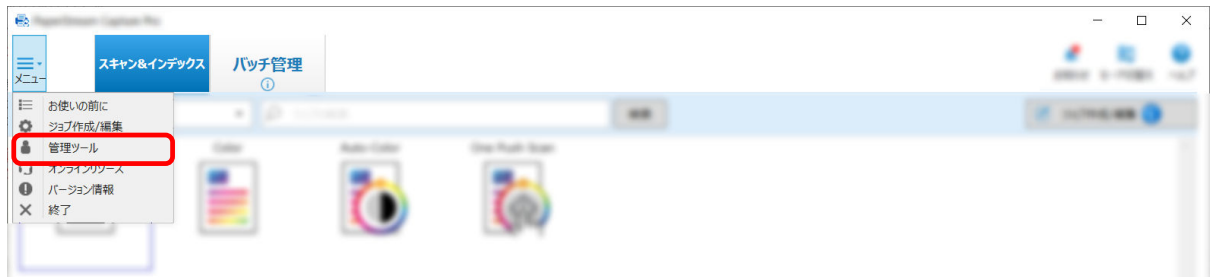
オンラインの環境でライセンスをディアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピュータでライセンスをディアクティベートする方法は、以下のとおりです。

- 1 コンピューターの電源を入れて、コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログオンします。

- 2 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

- 3 メニューの  から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面が表示されます。

- 4 「アクティベーション」タブを選択します。

- 5 「ディアクティベート」をクリックします。

ライセンスがディアクティベートされます。

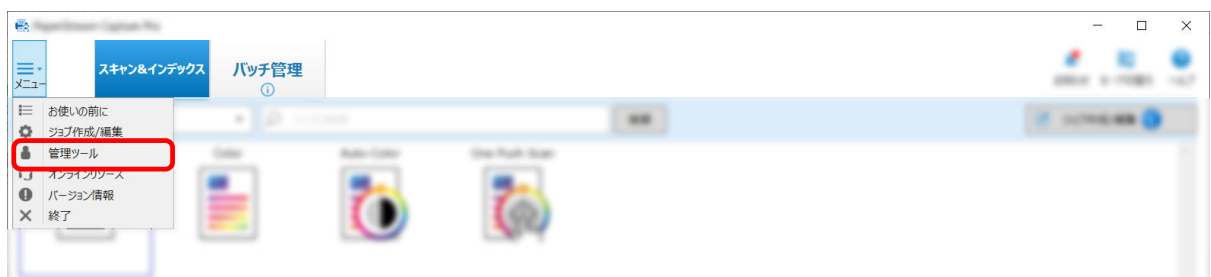
また、アイコントレイから、ディアクティベートの完了がメッセージで通知されます。

オフライン環境のライセンスをディアクティベートする

インターネットに接続できる環境（オンライン）のコンピューターを利用して、インターネットに接続できない環境（オフライン）のコンピューターのライセンスをディアクティベートする方法は、以下のとおりです。

- 1 オフラインの環境のコンピューターで、デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

- 2 メニューの  から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面が表示されます。

- 3 「アクティベーション」タブを選択します。

- 4 「ライセンス管理」の「ディアクティベート」をクリックします。

以下の画面が表示されます。

PaperStream Capture Proは自動でディアクティベーションできません

リモート名を解決できませんでした。: 'XXXXXXXXXXXXXXX'

インターネット経由でライセンスサーバーにアクセスできないため、自動でPaperStream Capture Proをディアクティベーションできません。

他のコンピュータでライセンスを使用する前に、このコンピュータのライセンスのディアクティベーションが必要です。

1.インターネットにアクセスできるWebブラウザ上で、このURLにアクセスします:

https://XXXXXXXXXXXXXXX (a)

2.Webサイトで正確にこの情報を入力します:

プロダクトID: PSC (PaperStream Capture)
ライセンスコード: XXXXXXXXXX
コンピュータID: XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX
コンピュータ名: XXXXXXXXXX (b)

3.Webサイトの手順に従い、次にディアクティベーションを行うコンピュータに戻ります。

引き続き問題が発生する場合は、当社サポート&サービスまでご連絡ください。(連絡先は、管理ツールのサポートタブに記載されています。)

後でディアクティベーション (D) ディアクティベーションの終了 (E)

- 5 (a) および (b) の記載をメモします。
- 6 オンラインの環境のコンピュータで、手順 5 でメモした (a) の Web サイトに接続します。
- 7 手順 5 でメモした (b) の内容を入力します。
- 8 [ディアクティベーション] ボタンをクリックします。

9 オフラインの環境のコンピューターで、以下の画面の【ディアクティベーションの終了】ボタンをクリックします。

PaperStream Capture Proは自動でディアクティベーションできません

リモート名を解決できませんでした。: [REDACTED]

インターネット経由でライセンスサーバーにアクセスできないため、自動でPaperStream Capture Proをディアクティベーションできません。

他のコンピューターでライセンスを使用する前に、このコンピューターのライセンスのディアクティベーションが必要です。

1.インターネットにアクセスできるWebブラウザ上で、このURLにアクセスします:

2.Webサイトで正確にこの情報を入力します:

プロダクトID: PSC (PaperStream Capture)
 ライセンスコード: [REDACTED]
 コンピュータID: [REDACTED]
 コンピュータ名: [REDACTED]

3.Webサイトの手順に従い、次にディアクティベーションを行うコンピューターに戻ります。

引き続き問題が発生する場合は、当社サポート&サービスまでご連絡ください。(連絡先は、管理ツールのサポートタブに記載されています。)


ライセンスがディアクティベートされます。

また、アイコントレイから、ディアクティベートの完了がメッセージで通知されます。

読み取り前の準備

環境設定をする

スキャナードライバーや読み取り方法などの環境を必要に応じて設定します。

- 1 メニューの  から、「管理ツール」を選択します。
パスワードを設定している場合、パスワードの入力を求める画面でパスワードを入力します。
- 2 表示された「一般」タブ (265 ページ) で、以下の項目を設定します。
 - ロゴイメージ
 - サンプルジョブ
 - サムネール画質
 - ジョブ表示サイズ
 - 管理パスワード
 - スキャナードライバー
 - バッチ管理画面の自動更新間隔
 - モード切替え
 - 作業フォルダー
 - おすすめ設定
- 3 「ユーザビリティ」タブ (269 ページ) で、以下の項目を設定します。
 - イベント定義
 - クリック方法
 - ホットキー動作モード
 - スキャン中止のホットキー
 - 手動仕分けのショートカットキー
 - ショートカット設定
- 4 「出力」タブ (271 ページ) で、以下の項目を設定します。
 - ファイル形式
 - Word 文書/Excel 文書/PowerPoint 文書の出力設定
(ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされている場合)
次の操作に進みます。
 - PaperStream Capture の場合、手順 7 へ進みます。
 - PaperStream Capture Pro の場合、手順 5 へ進みます。
- 5 必要に応じて、「アクティベーション」タブ (273 ページ) で、ライセンスの管理をします。

6 「ステーション」タブ (274 ページ)で、プロセスの設定をします。

7 「サポート」タブ (277 ページ)で、イベントログの設定をします。

8 [保存] ボタンをクリックします。

設定した内容が保存されます。

9 [閉じる] ボタンをクリックします。

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面が閉じます。

マルチステーション運用の設定

ここでは、PaperStream Capture Pro のマルチステーション運用の設定の手順について説明します。
詳細は、[マルチステーション運用の特長 \(18 ページ\)](#)を参照してください。

マルチステーション運用でストレージサーバーの設定をする

マルチステーション運用を活用すると、作業を分業できます。
ストレージサーバーでは、ジョブや読み取った画像を含むバッチジョブの管理をします。
ストレージサーバーの設定をする方法は、以下のとおりです。

1 PaperStream Capture Pro のライセンスをアクティベートします。

詳細は、[PaperStream Capture Pro をアクティベートして使用する \(38 ページ\)](#)を参照してください。

2 「管理ツール」を起動します。

PaperStream Capture を起動している場合は、PaperStream Capture を終了してから「管理ツール」を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

3 「ステーション」タブを選択します。

4 「ストレージサーバー」で「マルチステーション運用 (ストレージサーバーとして使用する)」を選択します。

5 ジョブなどの管理ファイルの格納先を変更したい場合は、「ストレージフォルダー」の参照先を変更します。

重要

- 格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

詳細は、[運用環境を移出/移入する \(157 ページ\)](#)を参照してください。

6 [保存] ボタンをクリックします。

マルチステーション運用でストレージサーバーとして使用する端末の設定が保存されます。

マルチステーション運用でステーションの設定をする

マルチステーション運用を活用すると、作業を分業できます。

各ステーションでは、割り振られた作業を実施します。

ステーションの設定をする方法は、以下のとおりです。

1 PaperStream Capture Pro のライセンスをアクティベートします。

詳細は、[PaperStream Capture Pro をアクティベートして使用する \(38 ページ\)](#)を参照してください。

2 「管理ツール」を起動します。

PaperStream Capture を起動している場合は、PaperStream Capture を終了してから「管理ツール」を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

3 「ステーション」タブを選択します。

4 「プロセスの設定」で担当するプロセスをクリックします。

5 必要に応じて、「次のバッチに自動的に遷移する」チェックボックスにチェックを付けます。

チェックを付けると、バッチに対する担当のプロセスを実施したあと、次のバッチに自動的に遷移します。

6 「ストレージサーバー」で「マルチステーション運用（ステーションとして使用する）」を選択します。

7 「サーバーのアドレス」でストレージサーバーのアドレスを入力します。

8 ストレージサーバーとの接続を確認する場合、[テスト] ボタンをクリックします。

ストレージサーバーの端末の設定で、「ステーション」タブの「ストレージファイアウォール」の右側に [閉じる] ボタンが表示されている場合、接続を確認できます。

9 [保存] ボタンをクリックします。


マルチステーション運用でステーションとして使用する端末の設定が保存されます。

基本的な読み取り操作

ここでは、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの読み取り操作の流れについて説明します。

バッチスキャンモードの操作の流れ

バッチスキャンモードの操作の流れを説明します。

- 1 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。
- 2 読み取りや保存に関する条件をジョブ情報として登録します。
詳細は、[読み取りの条件を設定する \(バッチスキャンモード\) \(50 ページ\)](#)を参照してください。
- 3 原稿を読み取ります。
詳細は、[原稿を読み取る \(バッチスキャンモード\) \(68 ページ\)](#)を参照してください。
- 4 読み取った画像を確認/編集します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。PaperStream Capture Pro で読み取った画像に抽出データの設定がある場合、「スキャン&インデックス」画面または「インデックス」画面が表示され、抽出データの編集、中断、および一時保存ができます。
詳細は、[読み取った画像を確認/編集する \(バッチスキャンモード\) \(69 ページ\)](#)を参照してください。
- 5 [完了] ボタンをクリックして、読み取った画像を保存します。

ヒント

- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro は、コマンドプロンプトから「PFU.PaperStream.Capture.exe」のフルパス名を指定しても起動できます。PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro をデフォルトの状態ですべてインストールした場合のファイルパスは、以下のとおりです。
C:¥Program Files¥fiScanner¥PaperStream Capture¥PFU.PaperStream.Capture.exe
(64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:¥Program Files (x86)¥fiScanner¥PaperStream Capture¥PFU.PaperStream.Capture.exe)
また、指定できるパラメーターは、以下のとおりです。


パラメーター	説明
/DocType: ジョブ名	指定されたジョブで読み取りします。 本パラメーターを複数指定した場合、最初の指定が有効となります。
/BatchFolder: バッチフォルダー名	/DocType: パラメーターと同時に使用します。 バッチフォルダー名を指定する画面を表示せずに /DocType: パラメーターで指定したジョブに設定されている出力先または連携先の配下にバッチフォルダーを作成し、ファイルを出力します。 バッチフォルダー名は最大で 32 文字まで入力できます。

パラメーター	説明
	本パラメーターを複数指定した場合、最後の指定が有効となります。 なお、/DocType: パラメーターで指定したジョブに、バッチフォルダーを使用する設定がされていない場合、本パラメーターは無視されます。
/Exit	/DocType: パラメーターと併用すると、読み取り終了後にアプリケーションを終了します。
/NOERR	読み取り中に異常が発生してもエラー（メッセージ番号の最後の文字が "E" のもの）や警告メッセージ（メッセージ番号の最後の文字が "W" のもの）を表示しません。読み取り中にユーザーの操作待ち状態とならないために使用します。
/NOWARNING	警告メッセージ（メッセージ番号の最後の文字が "W" のもの）を表示しません。

ただし、PaperStream Capture Pro で「ステーション」タブで設定されているプロセスが「スキャン&インデックス」または「スキャン」以外の端末の場合、「/NOERR」と「/NOWARNING」以外のパラメーターを指定しても無視されます。

シンプルスキャンモードの操作の流れ

シンプルスキャンモードの操作の流れを説明します。

- 1 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。
- 2 ファイルの保存先や読み取り条件を設定します。
詳細は、[シンプルスキャンモードの設定をする \(80 ページ\)](#)を参照してください。
- 3 原稿を読み取って保存します。
詳細は、[原稿を読み取って保存する \(シンプルスキャンモード\) \(81 ページ\)](#)を参照してください。
- 4 必要に応じて、読み取った画像を確認したり編集したりします。
詳細は、[読み取った画像を確認 / 編集する \(シンプルスキャンモード\) \(81 ページ\)](#)を参照してください。
- 5 確認や編集した画像を、名前を付けて保存します。
詳細は、[確認 / 編集した画像を保存する \(シンプルスキャンモード\) \(87 ページ\)](#)を参照してください。

読み取りの条件を設定する（バッチスキャンモード）

読み取りの条件や出力の条件などを設定するジョブの作成手順を説明します。

読み取りの条件を簡単に設定する（かんたん作成）

かんたん作成でジョブを作成する手順を説明します。

重要

- PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、かんたん作成のジョブは新規作成できません。すでにあるジョブは編集できますが、「読み取り設定」タブの「スキャナー」は編集できません。

原稿を読み取って画像を保存するジョブを作成する

原稿を読み取って画像を保存したい場合は、ジョブ選択画面で「画像として保存」を選択してジョブを作成します。

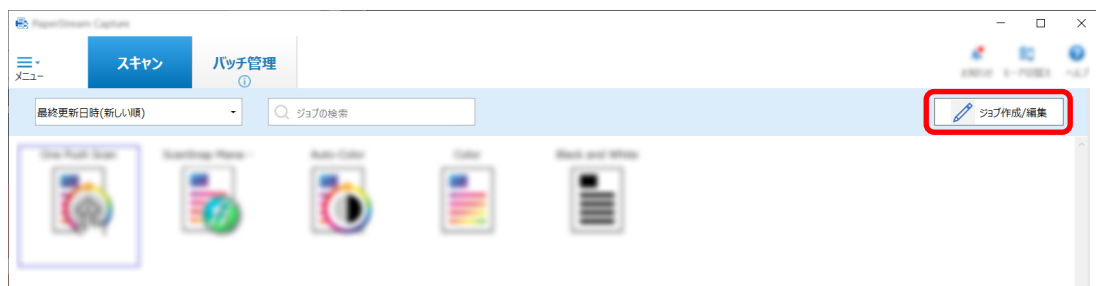
画像を PDF 形式のファイルにしてフォルダーに保存するジョブの手順を例に説明します。

ここでは、以下の設定内容でジョブを作成します。

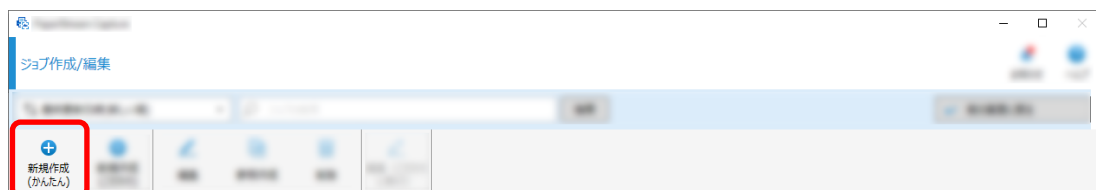
作成ジョブ例「ジョブ 01」

保存方法:画像として保存
画像タイプ:カラー
解像度:200dpi
用紙サイズ:自動
ファイル形式:PDF 形式
保存先:フォルダー「C:¥スキャン¥総務部」

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 2 [新規作成 (かんたん)] ボタンをクリックします。



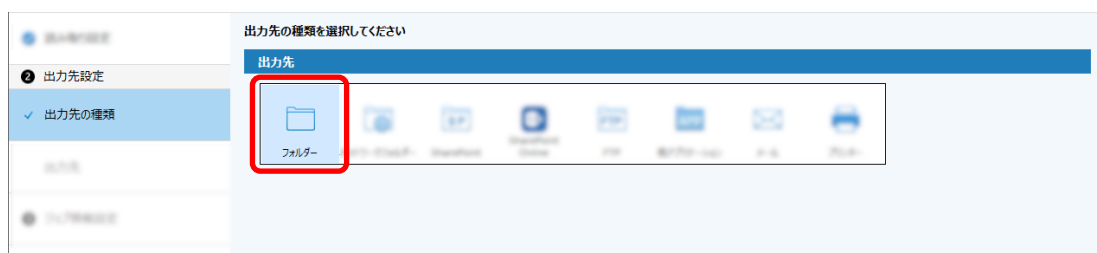
3 「画像として保存」の「作成開始」ボタンをクリックします。



4 「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択します。また、「読み取り設定」で「画像タイプ」、「解像度」、および「用紙サイズ」を設定します。



5 「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」を設定します。



6 「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像の出力先と画像のファイル形式を選択します。

出力先とファイル形式を設定してください。

出力先

出力時にファイル名を指定する

フォルダ 参照

ファイル ファイル名オプション

サンプル

ファイル形式

画像ファイル

同名ファイルを上書きする

検索可能なPDFを作成する

言語

7 「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。

テストスキャンでジョブの動作を確認し、完了してください。

ジョブ情報

ジョブ名

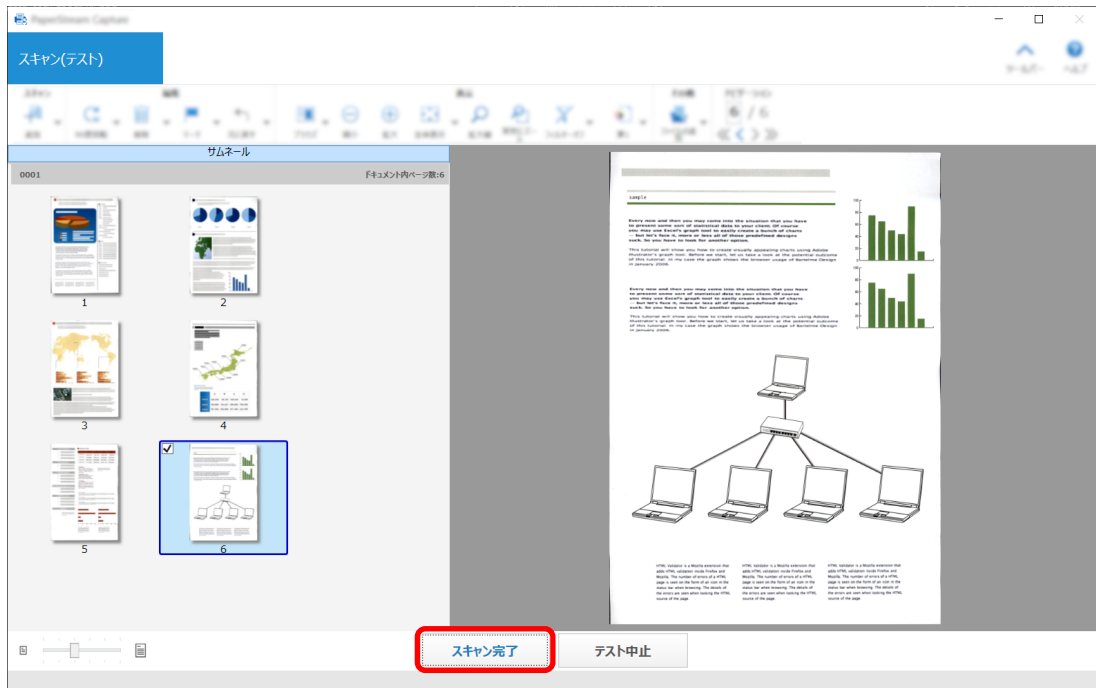
アイコン

8 スキャナーに原稿をセットして、[テストスキャン] ボタンをクリックします。

テストスキャン

「スキャン（テスト）」画面が表示され、設定したジョブの内容で原稿が読み取られます。

9 画像を確認/編集して、[スキャン完了] ボタンをクリックします。

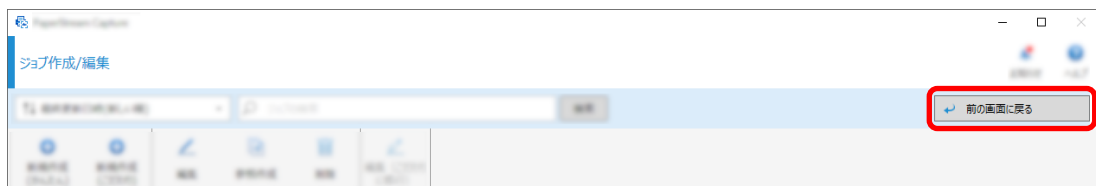


「かんたん作成」画面に戻ります。

10 出力結果を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。「ジョブ作成/編集」画面には、作成したジョブが表示されます。これでジョブの作成は完了です。

11 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

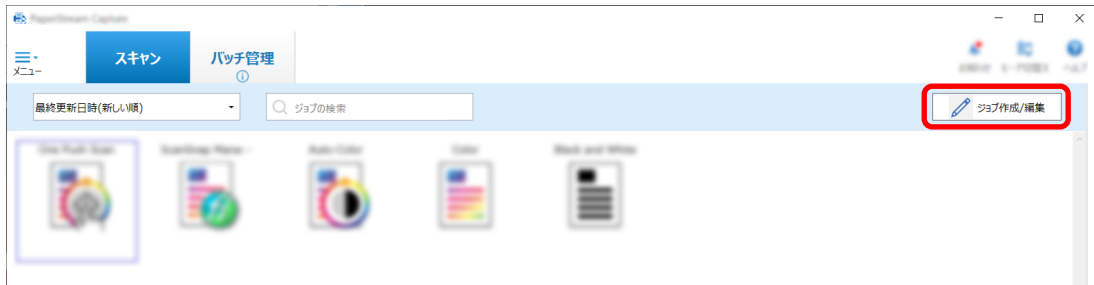


読み取った原稿の画像を自動で仕分けて保存するジョブを作成する

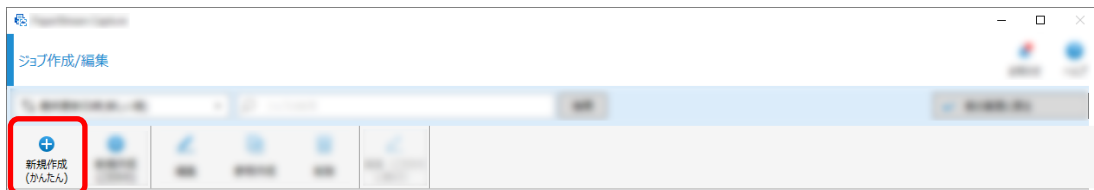
まとめて読み取った画像を自動的に仕分けて保存したい場合は、ジョブ選択画面で「仕分けして保存」を選択してジョブを作成します。

ここでは、画像を仕分ける仕切紙に白紙を使用して、出力先のフォルダーを振り分けるジョブの作成手順を例に説明します。

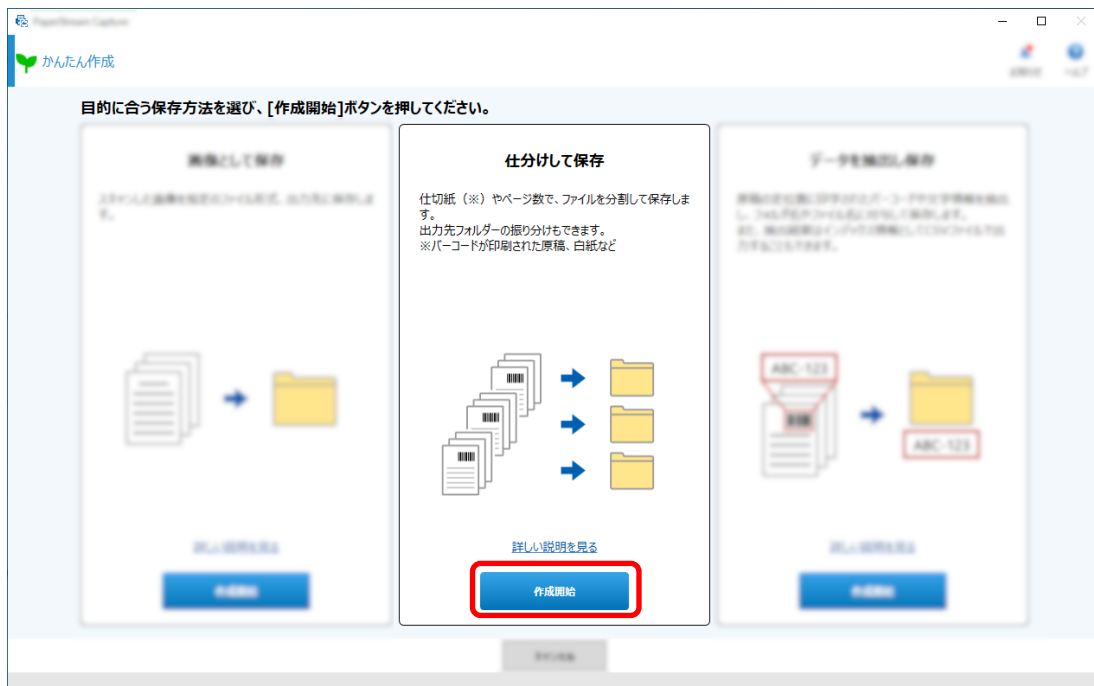
1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 [新規作成 (かんたん)] ボタンをクリックします。



3 「仕分けして保存」の [作成開始] ボタンをクリックします。



4 「読み取り設定」タブで、使用するスキャナーの選択、および読み取り条件を設定します。



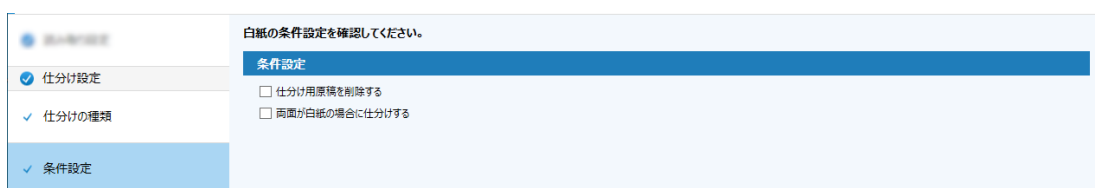
5 [次へ] ボタンをクリックします。

6 「仕分け設定」タブの「仕分けの種類」で「白紙」をクリックします。



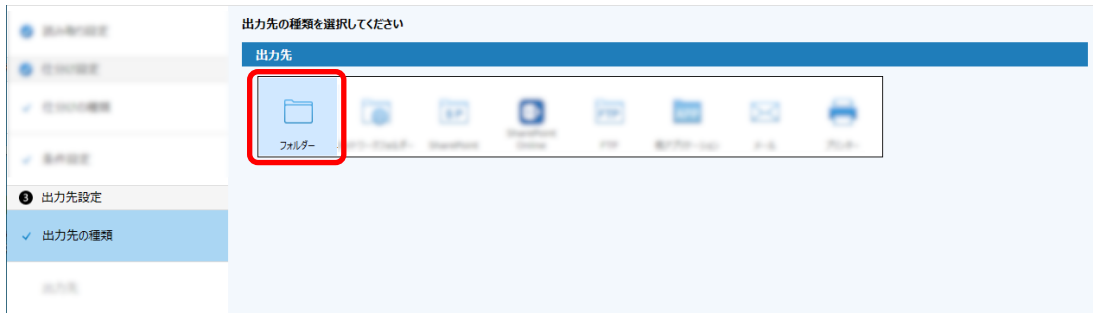
7 [次へ] ボタンをクリックします。

8 「仕分け設定」タブの「条件設定」で白紙の設定を確認または変更します。



9 [次へ] ボタンをクリックします。

10 「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。



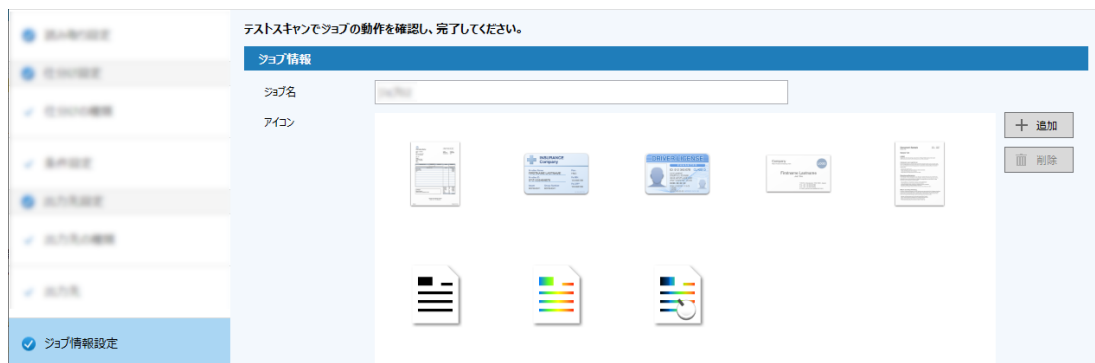
11 [次へ] ボタンをクリックします。

12 「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像の出力先と画像のファイル形式を選択します。



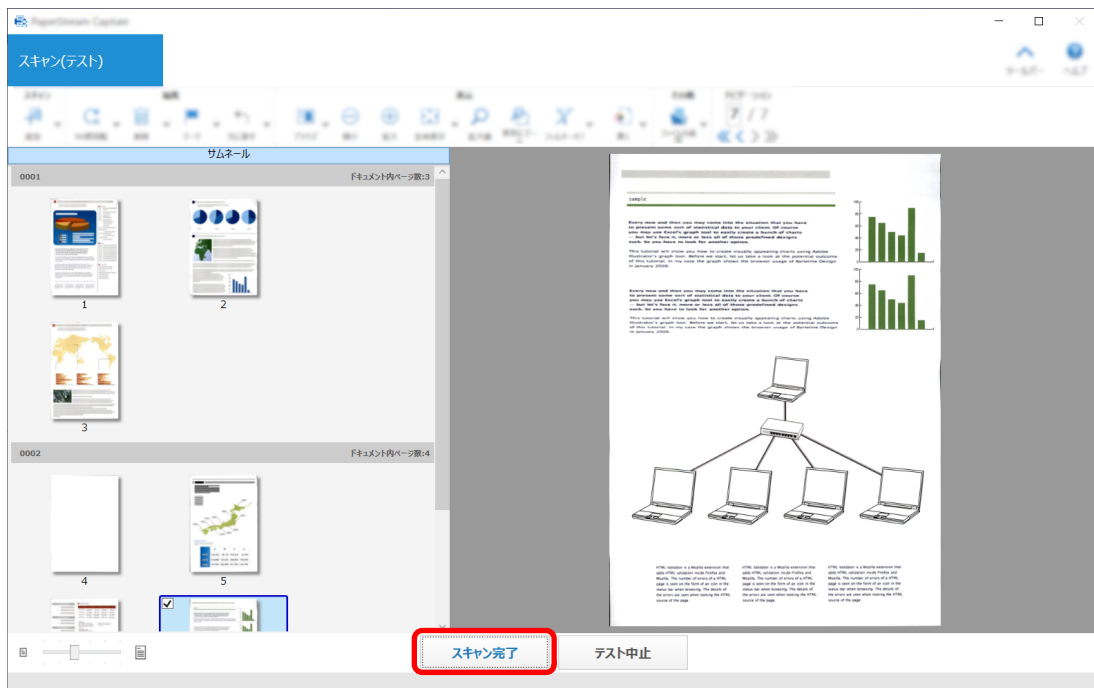
13 [次へ] ボタンをクリックします。

14 「ジョブ情報設定」タブで、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



15 スキャナーに原稿をセットして、[テストスキャン] ボタンをクリックします。

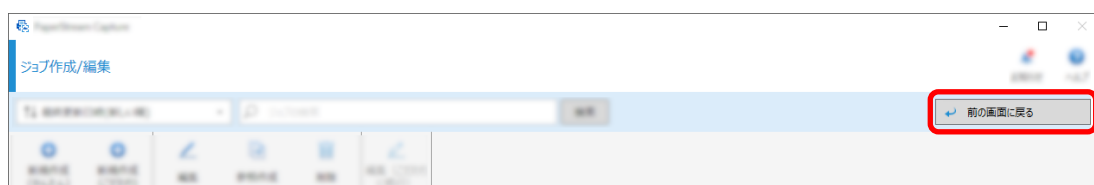
「スキャン(テスト)」画面が表示され、設定したジョブの内容で原稿を読み取ります。

16 画像を確認/編集して、[スキャン完了] ボタンをクリックします。

「かんたん作成」画面に戻ります。

17 出力結果を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。「ジョブ作成/編集」画面には、作成したジョブが表示されます。これでジョブの作成は完了です。

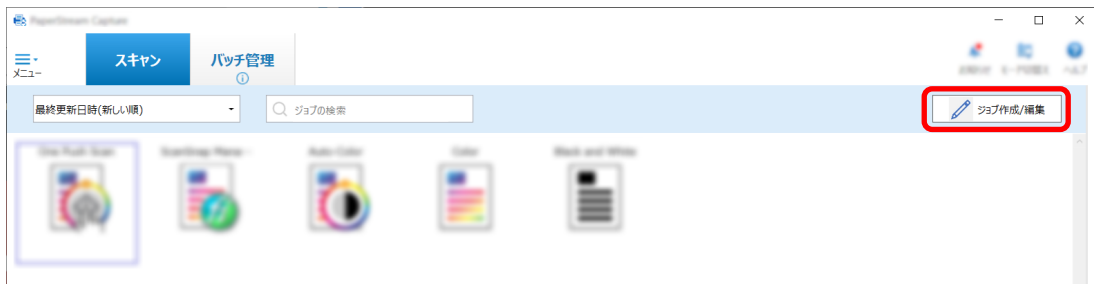
18 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

読み取った原稿内の文字列を画像のファイル名や保存先のフォルダー名にする ジョブを作成する

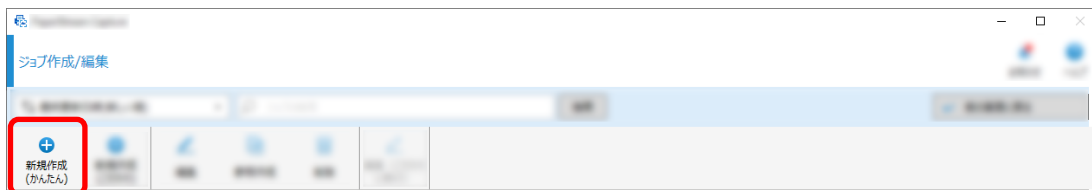
読み取った原稿内の文字列を画像のファイル名や保存先のフォルダー名にしたい場合は、ジョブ選択画面で「データを抽出し保存」を選択してジョブを作成します。

ここでは、特定エリアの文字列を読み取るゾーン OCR 機能を使用して、読み取った文字列をフォルダー名にするジョブの作成手順を例に説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 [新規作成 (かんたん)] ボタンをクリックします。



3 「データを抽出し保存」の [作成開始] ボタンをクリックします。



4 「読み取り設定」タブで、使用するスキャナーの選択、および読み取り条件を設定します。



5 [次へ] ボタンをクリックします。

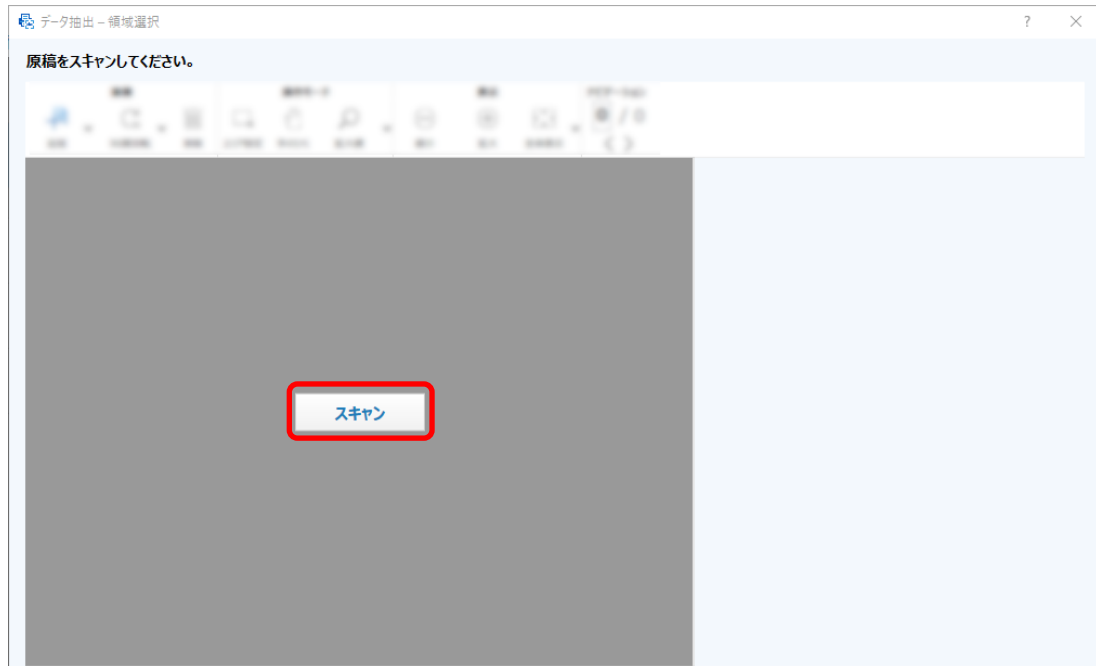
6 「データ抽出設定」タブでフィールドの種別「ゾーン OCR」をクリックします。



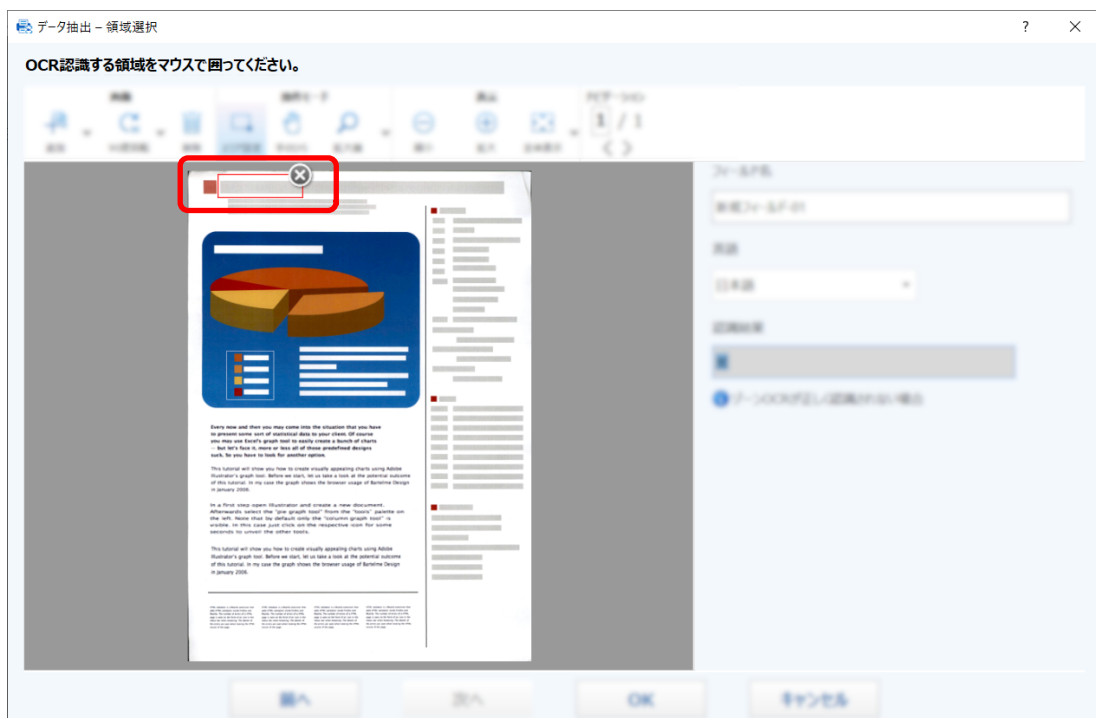
7 [次へ] ボタンをクリックします。

文字を抽出する原稿を読み取る画面が表示されます。

8 スキャナーに原稿を1枚セットして、[スキャン]をクリックします。



9 読み取った画像上で、ゾーン OCR を検出する領域をドラッグして選択します。



「認識結果」に、選択した領域でのゾーン OCR の認識結果が表示されます。

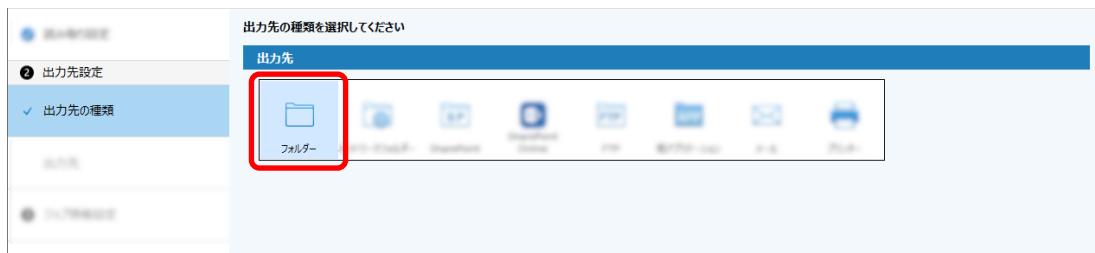
10 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

11 必要に応じて、フィールド定義の追加、編集、削除を行います。



12 [次へ] ボタンをクリックします。

13 「出力先設定」タブの「出力先の種類」で、出力先の種類「フォルダー」をクリックします。



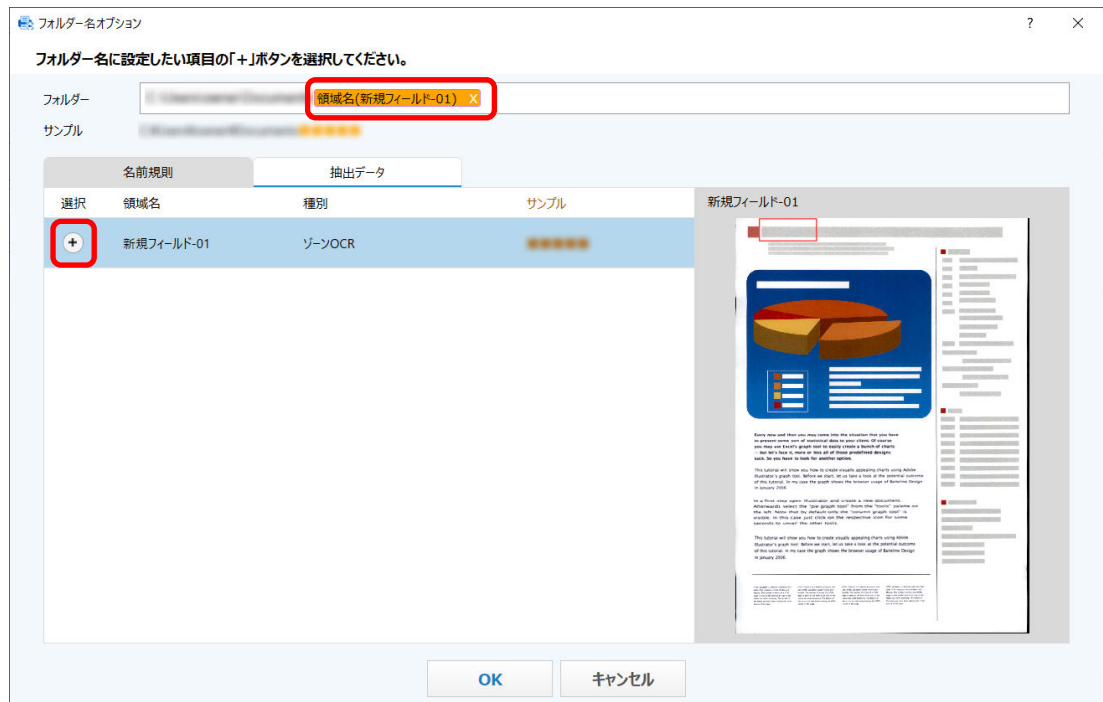
14 [次へ] ボタンをクリックします。

15 「出力先設定」タブの「出力先」で、読み取った画像の出力先、フォルダー名オプションを使用したフォルダー名、およびファイル名のオプションを選択します。



[フォルダー名オプション] ボタンをクリックすると、「フォルダー名オプション」画面が表示され、フォルダー名のオプションを指定できます。

a 「抽出データ」タブで、フォルダー名に使用するフィールドの「+」ボタンをクリックします。

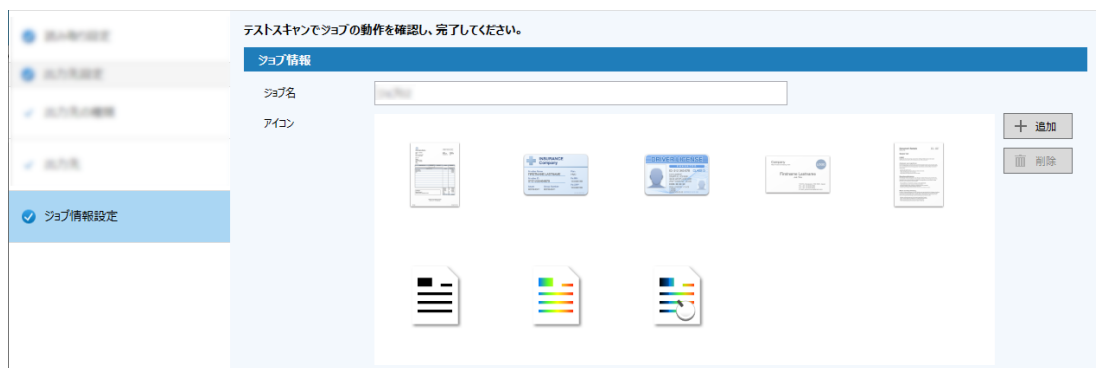


「フォルダー」にフィールド定義が追加されます。

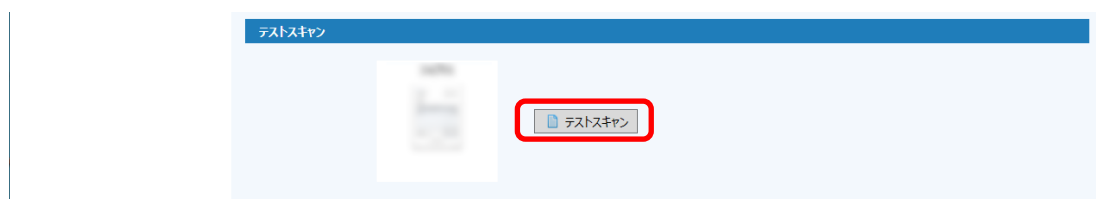
b [OK] ボタンをクリックします。

16 [次へ] ボタンをクリックします。

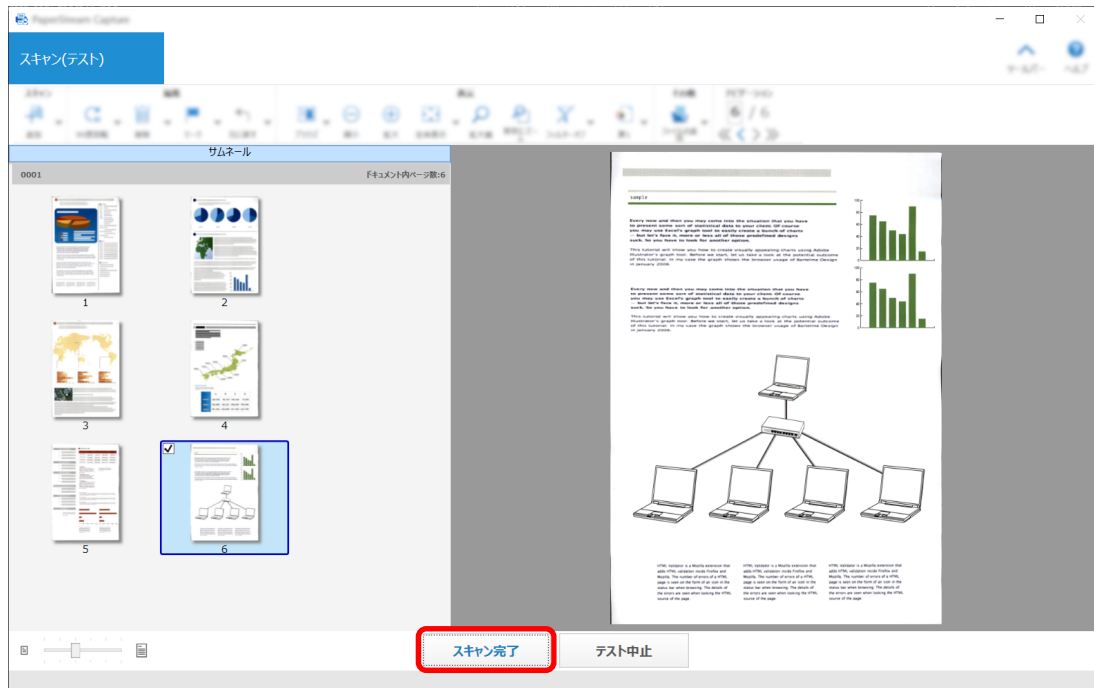
17 「ジョブ情報設定」タブで、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



18 スキャナーに原稿をセットして、[テストスキャン] ボタンをクリックします。



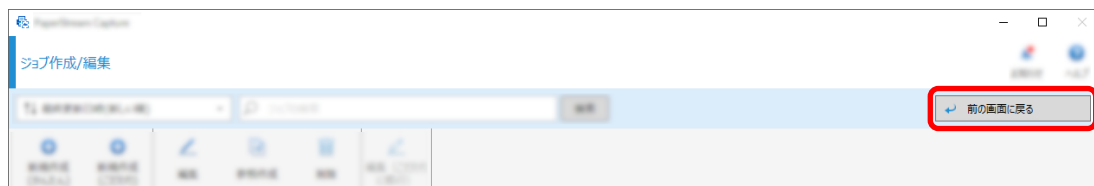
「スキャン(テスト)」画面が表示され、設定したジョブの内容で原稿を読み取ります。

19 画像を確認/編集して、[スキャン完了] ボタンをクリックします。

「かんたん作成」画面に戻ります。

20 出力結果を確認して、[完了] ボタンをクリックします。

「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。「ジョブ作成/編集」画面には、作成したジョブが表示されます。これでジョブの作成は完了です。

21 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**より高度な読み取り条件を設定する（こだわり作成）**

こだわり作成でジョブを作成する手順を説明します。

ここでは、以下の設定内容でジョブを作成します。

作成ジョブ例「PDF 白黒 1」

画像タイプ: 二値白黒

解像度: 200dpi

用紙サイズ: A4

読み取り面: 両面

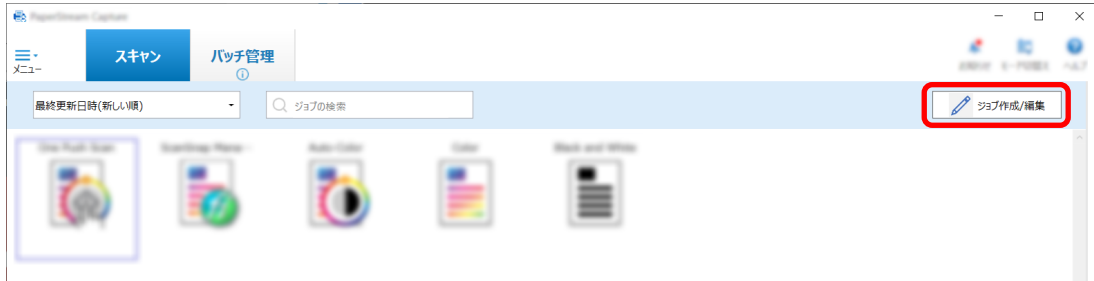
ファイル形式: PDF 形式

保存先:フォルダー「C:¥スキャン¥総務部」

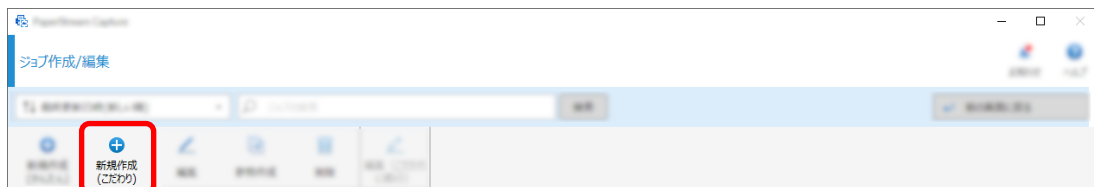
ファイル名:「SCAN」+「読み取り年月日」+「読み取り時間」(SCANyyyyMMddHHmmss) の形式で自動付与する

一度に複数枚を読み取り、白紙ページを検出するごとに読み取りファイルを分割する

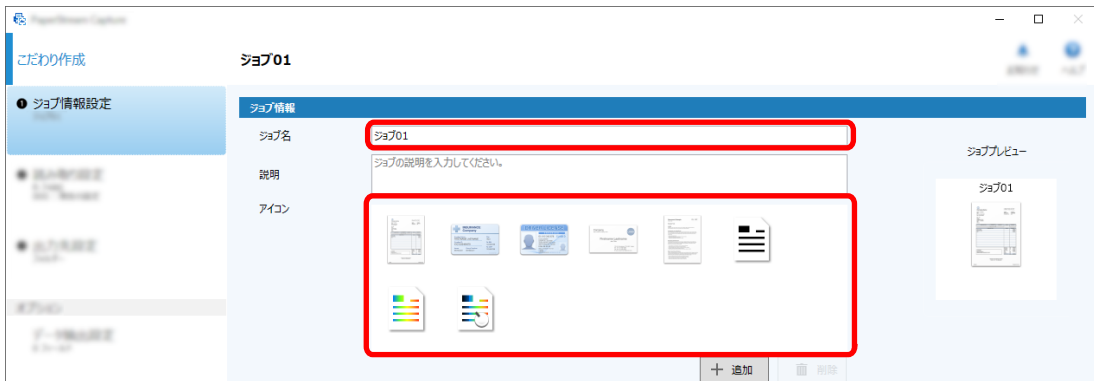
1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



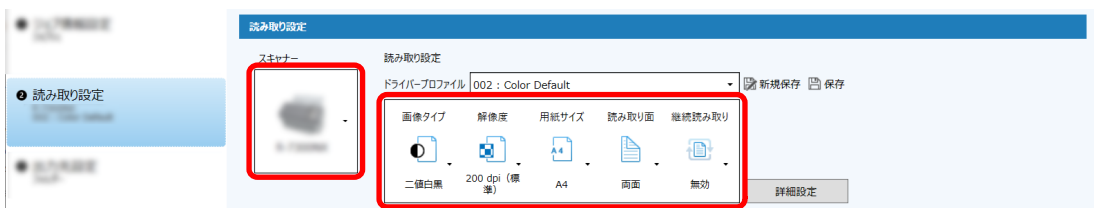
2 [新規作成 (こだわり)] ボタンをクリックします。



3 「ジョブ情報設定」タブで、ジョブ名とジョブのアイコンを設定します。



4 「読み取り設定」タブの「スキャナー」で使用するスキャナーを選択します。また、「読み取り設定」で「画像タイプ」、「解像度」、「用紙サイズ」、および「読み取り面」を設定します。



5 「出力先設定」タブで、出力ファイルの形式、ファイル名オプションを使用したファイル名、およびファイルの出力先を設定します。



[ファイル名オプション] ボタンをクリックするとメニューが表示され、ファイル名のオプションを指定できます。ファイル名を「SCAN」+「読み取り年月日」+「読み取り時間」（SCANyyyyMMddHHmmss）の形式にする場合は、以下の手順で設定します。

- a 「ファイル名」に「SCAN」と入力します。
- b [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。
- c 「出力日」 - 「yyyyMMdd」を選択します。



d 「出力時刻」 - 「HHmmss-24 時間表記」 を選択します。

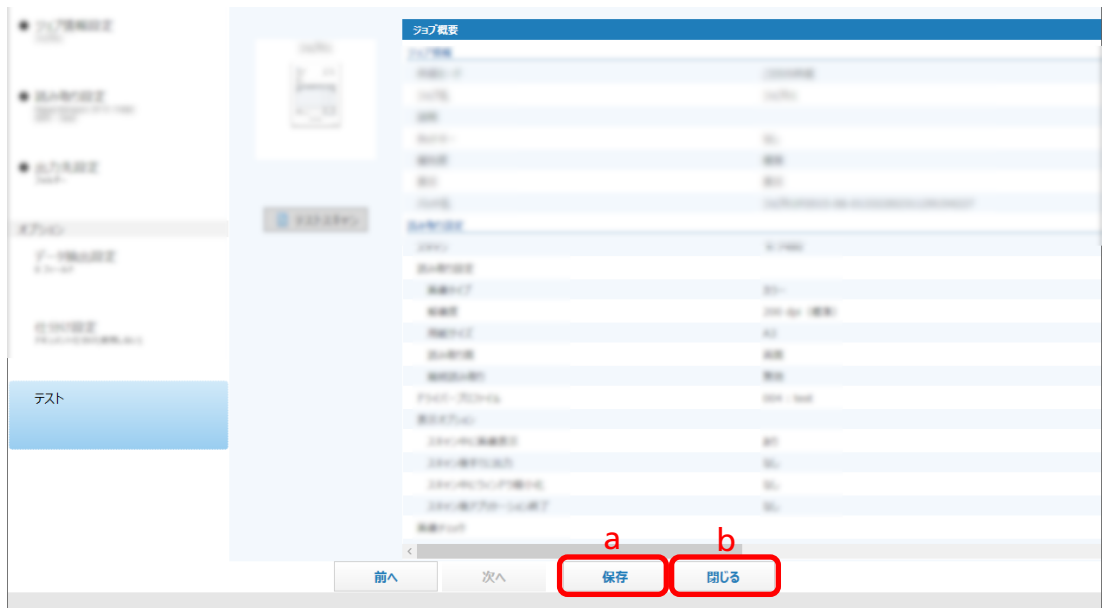


6 「仕分け設定」 タブで、連続して読み取った文書を複数のファイルに分割するための目印（仕分け）を設定します。



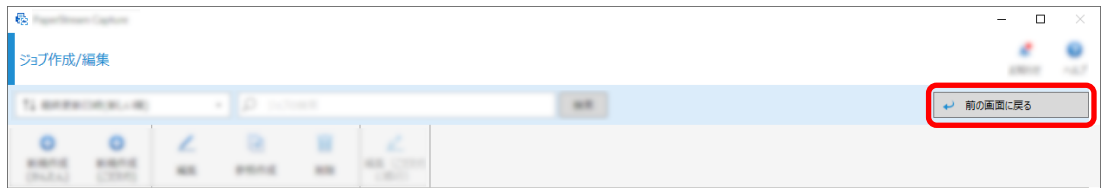
7 各タブで設定内容の変更が完了したら、ジョブの作成を終了します。

- a [保存] ボタンをクリックします。
- b [閉じる] ボタンをクリックします。



「ジョブ作成/編集」画面に戻ります。

c 「前の画面に戻る」ボタンをクリックします。



PaperStream Capture のメイン画面に戻ります。

原稿を読み取る (バッチスキャンモード)

PaperStream Capture の画面から、ジョブを使用して原稿を読み取る手順を説明します。

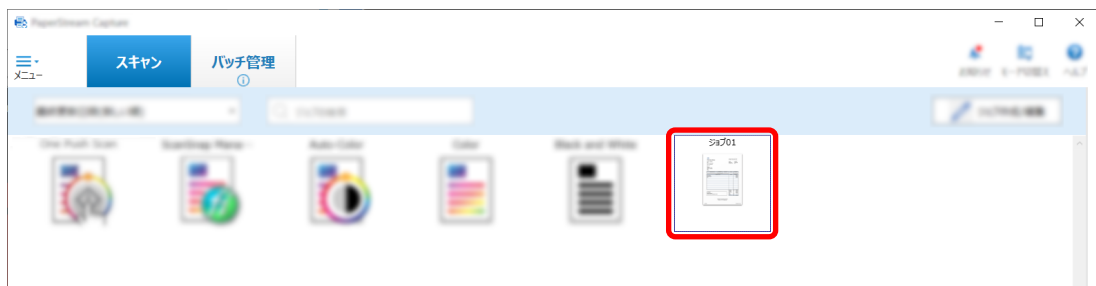
- 1 スキャナーの電源がオンになっていることを確認し、読み取る原稿をセットします。

- 2 デスクトップの  をダブルクリックして PaperStream Capture を起動します。

PaperStream Capture のメイン画面が表示されます。

- 3 PaperStream Capture のメイン画面で、使用するジョブのアイコンをクリックします。

使用するジョブのアイコン (ここでは「ジョブ 01」) をクリックします。ジョブを作成していない場合は、サンプルジョブをクリックします。

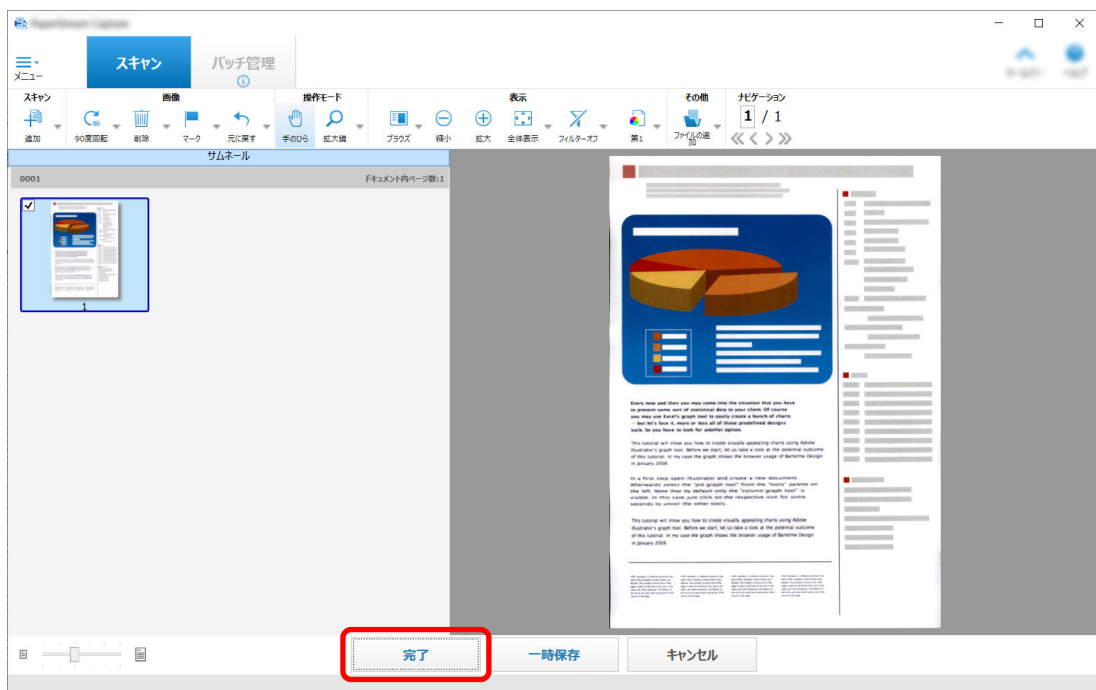


原稿の読み取りが開始されます。

読み取りが完了したら、スキャン画像の確認画面が表示されます。

- 4 スキャン画像を確認し、[完了] ボタンをクリックします。

スキャン画像を修正したい場合は、[完了] ボタンをクリックせず、[読み取った画像を確認/編集する \(バッチスキャンモード\) \(69 ページ\)](#)を参照してください。

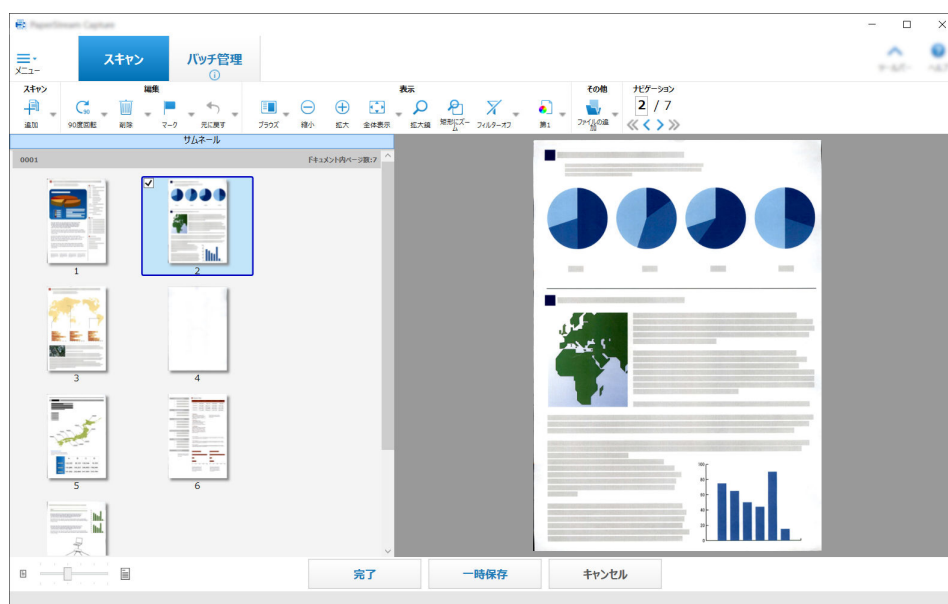


ジョブで指定した出力先のフォルダーにファイルが保存されます。

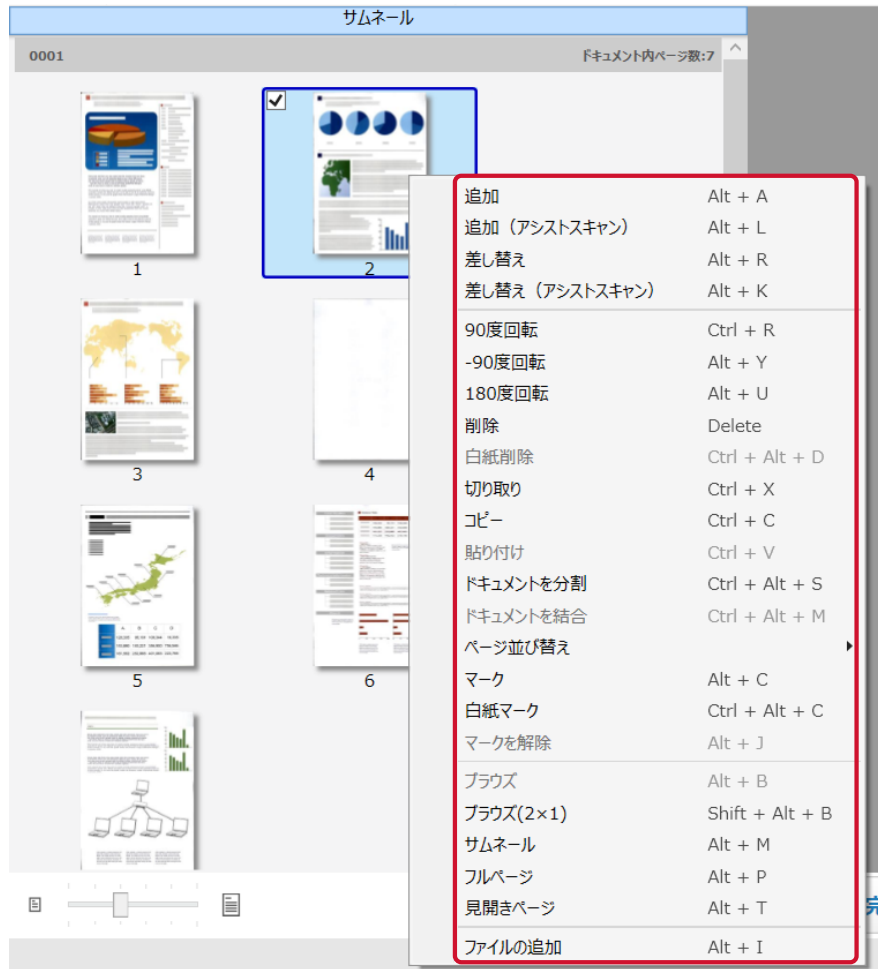
読み取った画像を確認/編集する（バッチスキャンモード）

原稿を読み取ったあとに表示されるスキャン画像の確認画面で、読み取った画像を編集したり、再度原稿を読み取って追加または差し替えたりできます。

1 サムネールで対象のページを選択します。



2 選択したページの上で、右クリックして表示されるメニューから、編集する項目を選択します。



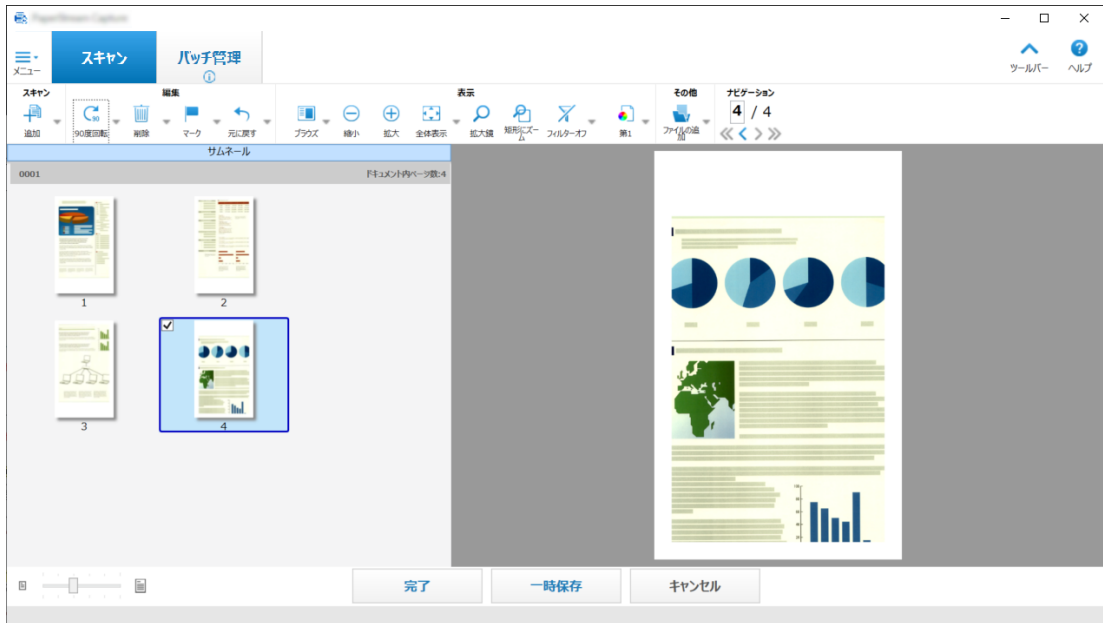
追加または差し替える画像を、新たに読み取る場合

追加または差し替える原稿をスキャナーにセットします。

右クリックして表示されるメニューで「追加」または「差し替え」をクリックすると、原稿の読み取りが開始されます。

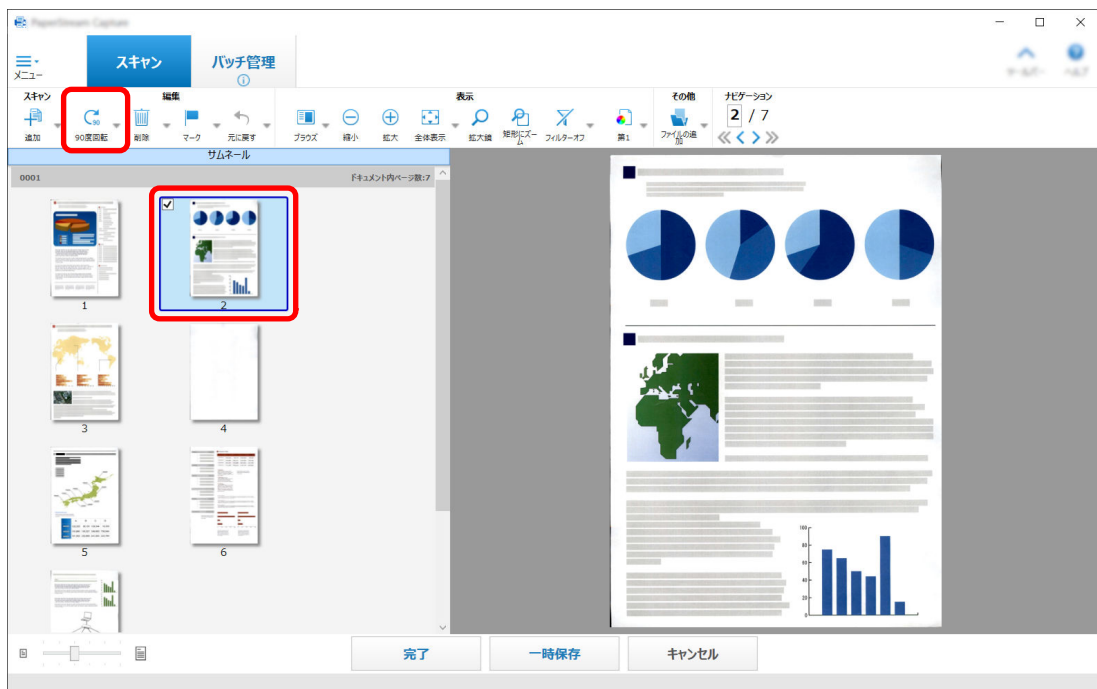
「追加」をクリックすると、選択したページのあとにスキャン画像が追加されます。

「差し替え」をクリックすると、選択したページが削除されスキャン画像が挿入されます。



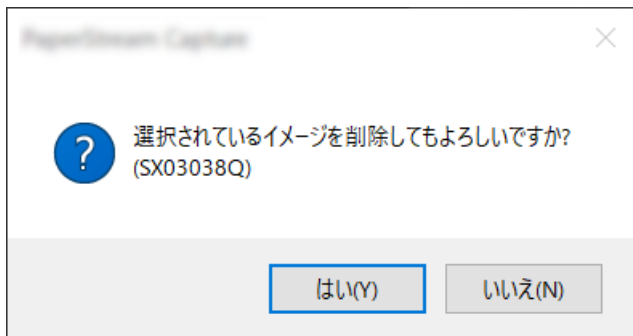
選択したページを回転する場合

右クリックして表示されるメニューで「90度回転」、「-90度回転」または「180度回転」をクリックすると、選択したページが回転されます。



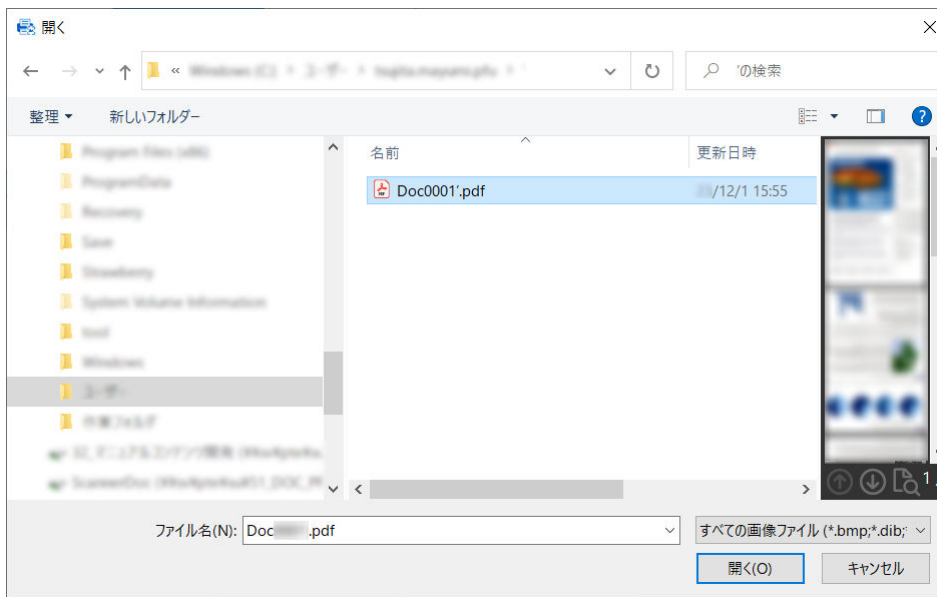
選択したページを削除する場合

右クリックして表示されるメニューで「削除」をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックすると、選択したページが削除されます。



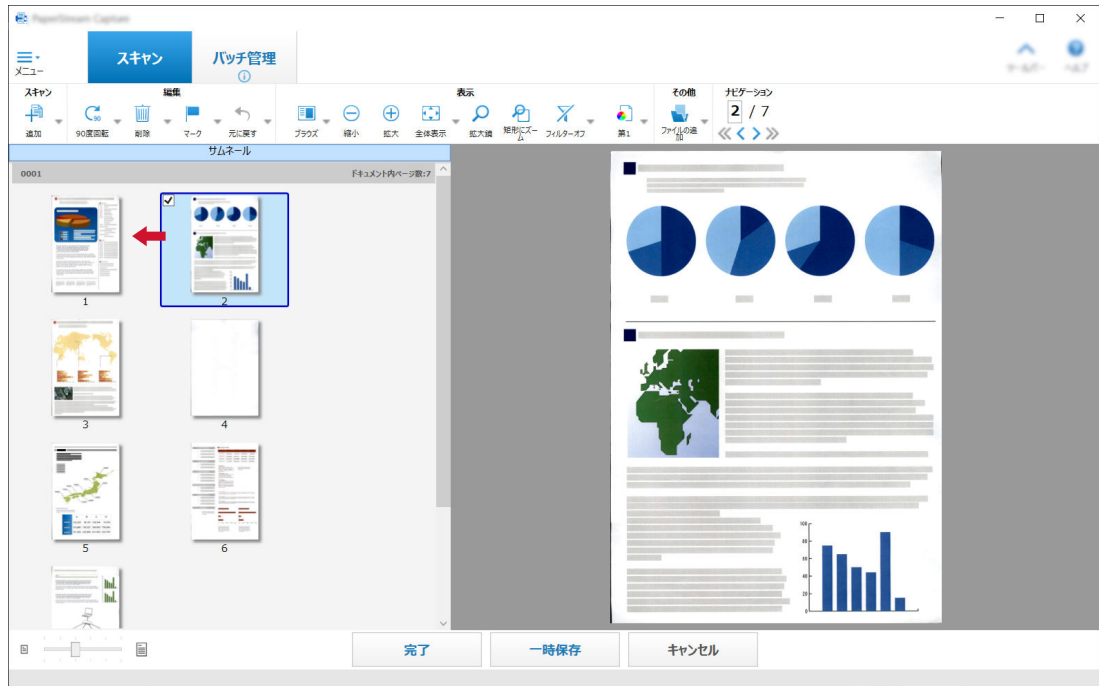
追加または差し替える画像を、保存済み画像から選択する場合

右クリックして表示されるメニューで「ファイルの追加」をクリックすると、追加するファイルを選択する画面が表示されます。対象のファイルを選択して [開く] ボタンをクリックすると、選択したページのあとに画像が追加されます。

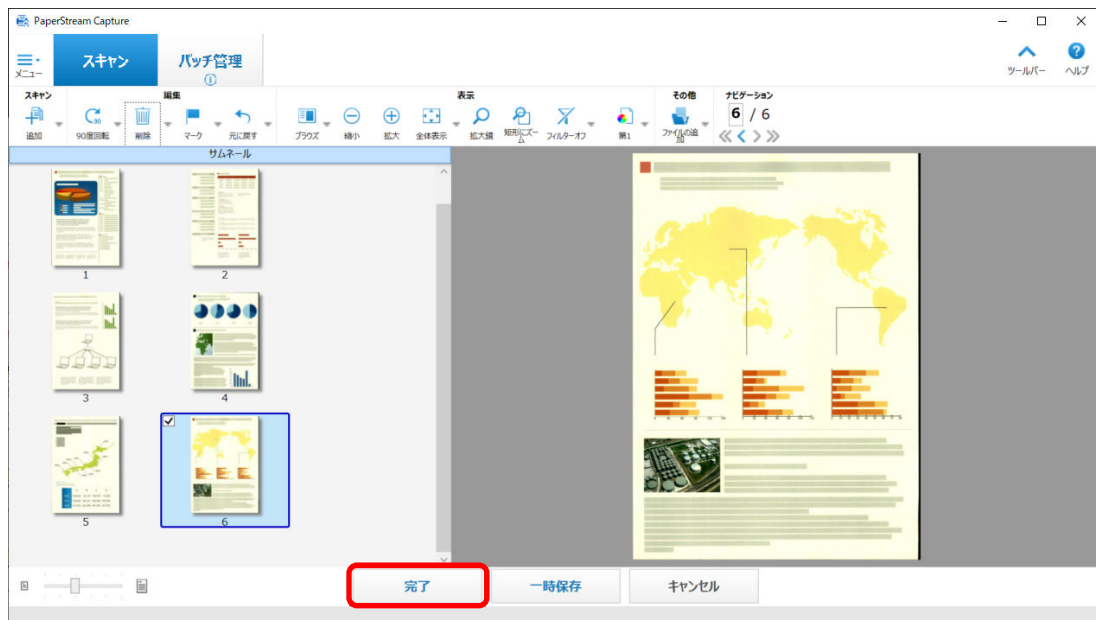


読み取ったページを並べ替える場合

サムネール上で選択したページをマウスでクリックしたまま、移動したい場所へドラッグ&ドロップして並べ替えます。



3 編集が終わったら、[完了] ボタンをクリックします。



ヒント

- 既存のジョブの設定では最適な画像が得られない場合、PaperStream IP ドライバーの「アシストスキャン」機能を使用すると簡単に画像を補正できます。詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

ジョブの設定を一時的に変更して読み取る（バッチスキャンモード）

アドホックスキャン機能を使用すると、一時的にジョブの読み取り条件を変更して原稿を読み取れます。読み取りが完了すると、ジョブの読み取り条件は元に戻ります。

1 スキャナーに原稿をセットします。

詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

2 次の操作をします。

- PaperStream Capture の場合
「スキャン」画面 (280 ページ) で、ジョブを右クリックすると表示される「アドホックスキャン」を選択します。
- PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン&インデックス」画面 (285 ページ) または「スキャン」画面 (280 ページ) で、ジョブを右クリックすると表示される「アドホックスキャン」を選択します。

アドホックスキャンのジョブ作成画面が表示されます。

3 読み取り条件を変更します。**4 「スキャン」 ボタンをクリックします。**

読み取り条件に従って読み取りを開始します。

- PaperStream Capture の場合、読み取りまたは取り込みが完了すると、「スキャン」画面（確認 / 編集時） (282 ページ) が表示されます。
- PaperStream Capture Pro の場合、「読み取り設定」タブ (173 ページ) の「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択しているジョブで、「フォルダーの参照」画面が表示された場合は、取り込むファイルが格納されているフォルダーを選択します。
読み取りまたは取り込みが完了すると、画像を確認 / 編集する画面が表示されます。

重要

- 「読み取り設定」タブの「スキャナー」でスキャナーを選択したり、「読み取り設定」の [詳細設定] ボタンから PaperStream IP ドライバーの画面を開いたりなど、選択中のスキャナーに PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro がアクセスして設定する操作では、「ジョブ作成/編集」画面を閉じるまで該当のスキャナーは占有されます。
占有中は、他のアプリケーションで該当のスキャナーを使用できません。

ヒント

- 読み取り中に、読み取りを中止する場合は、ツールバーの「キャンセル」をクリックしてください。また、「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」にある「スキャン中に画像表示」の設定により、以下の方法でも読み取りを中止できます。
 - 「スキャン中に画像表示」を選択している場合
キーボードの「Esc」キーを押す
 - 「スキャン中に画像表示」を選択していない場合
ジョブ上に表示された [キャンセル] ボタンをクリックする

インデックスを編集する（バッチスキャンモード）


抽出データの設定がされているページのフィールドを変更したり、新たに追加したりします。


- 1 ツールバー（299 ページ）の「表示」が「オールインワン」または「フルページ」になっているかを確認します。**

抽出データが設定されているページは、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。フィールドパネルには、認識結果がフィールド値として表示されます。ビューアーには、ページと指定されている認識領域が枠囲みで表示されます。認識領域は、以下の枠で表示されます。

- ゾーン OCR、パスポート、ID カード（TD1）、ID カード（TD2）の場合：赤枠
- バーコードの場合、JSON 解析（PaperStream Capture Pro のみ）の場合：青枠
- 直接入力（PaperStream Capture Pro のみ）の場合：青枠

- 2 フィールドパネルで、編集するフィールドを選択します。**
- 3 ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリックします。**

「エリア設定」以外のツールが非活性になり、認識領域の枠にキャンセルボタン（）が表示されず。

- 4 認識領域の位置を変更する場合は、枠を選択し、移動します。認識領域のサイズを変更する場合は、キャンセルボタン（）をクリックし、すでに指定されている認識領域を削除してから、認識したい領域に合わせてマウスでドラッグします。**

- 5 ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリックします。**
「エリア設定」が解除されます。

- 6 フィールドパネルに表示されている認識結果を確認し、変更する場合は、直接入力します。**
PaperStream Capture Pro の場合、「データ抽出フィールド定義」の「適用ページ」の設定によって、抽出データは以下のようになります。
 - 「指定ページ」を設定した場合

抽出データは、ドキュメントで 1 つ付与され、読み取ったときに指定ページから取得します。

- 「全ページ」を設定した場合

抽出データは、ドキュメントの各ページに付与されます。

「データ抽出フィールド定義」の「適用ページ」で「指定ページ」を設定した場合、設定したページとは異なるページをビューアーに表示した状態で、フィールドパネルにフィールド値を入力すると、ビューアーで表示しているページのフィールド値として抽出データが反映されます。

例えば、「データ抽出フィールド定義」の「適用ページ」で「指定ページ」に「1」を設定した場合、設定した 1 ページとは異なる 3 ページを表示した状態で、フィールドパネルにフィールド値を入力すると、3 ページのフィールド値として抽出データが反映されます。

重要

- PaperStream IP（TWAIN）ドライバーを使用してパスポートまたは ID カード（TD1 および TD2 に準拠）を読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）をフィールドの認識領域として自動的に指定します。
- パスポートの MRZ について
 - MRZ は、44 桁 2 行で構成されています。詳細は、[パスポートの検知条件 \(497 ページ\)](#)を参照してください。
 - MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 下段」としています。
 - 「MRZ 上段」には、「姓」、「名」、および「発行国」の情報が含まれています。
 - 「MRZ 下段」には、「旅券番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、および「個人番号」の情報が含まれています。
 - そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が「MRZ 上段」や「姓」、「名」、または「発行国」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 下段」や「旅券番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、または「個人番号」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。
 - 「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。
 - 「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
 - 同様に、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。
 - ただし、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」や「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。
- ID カード（TD1 準拠）の MRZ について
 - MRZ は、30 桁 3 行で構成されています。詳細は、[ID カード（TD1）の検知条件 \(499 ページ\)](#)を参照してください。
 - MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 中段」、3 行目を「MRZ 下段」としています。
 - 「MRZ 上段」には、「発行国」、「文書番号」、および「発行国拡張情報上段」の情報が含まれています。
 - 「MRZ 中段」には、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、「国籍」、および「発行国拡張情報中段」の情報が含まれています。
 - 「MRZ 下段」には、「姓」および「名」の情報が含まれています。

そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が「MRZ 上段」や「発行国」、「文書番号」、または「発行国拡張情報上段」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 中段」や「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、「国籍」、または「発行国拡張情報中段」の場合は、MRZ の中段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 下段」や「姓」または「名」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。

「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（30 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。

- 「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
同様に、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。
ただし、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」、「MRZ 中段」、「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。

- ID カード（TD2 準拠）の MRZ について

- MRZ は、36 桁 2 行で構成されています。詳細は、[ID カード（TD2）の検知条件（501 ページ）](#)を参照してください。

MRZ の 1 行目を「MRZ 上段」、2 行目を「MRZ 下段」としています。

「MRZ 上段」には、「発行国」、「姓」、および「名」の情報が含まれています。

「MRZ 下段」には、「文書番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、および「拡張情報」の情報が含まれています。

そのため、「フィールド属性」で指定した「種別」が「MRZ 上段」や「発行国」、「姓」、または「名」の場合は、MRZ の上段部分が認識領域に指定されます。「種別」が「MRZ 下段」や「文書番号」、「国籍」、「生年月日」、「性別」、「有効期間満了日」、または「拡張情報」の場合は、MRZ の下段部分が認識領域に指定されます。

「エリア設定」でフィールドの認識領域を変更する場合は、情報が含まれている MRZ の段（36 桁）が認識領域に含まれるように指定してください。

- 「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値に反映されます。
同様に、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールド値を変更すると、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値にも反映されます。
ただし、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」に含まれる情報のフィールドに、ICAO（国際民間航空機関）の規格に沿わない値を入力した場合は、「MRZ 上段」、「MRZ 下段」のフィールド値には反映されません。

- PaperStream Capture で PaperStream IP（ISIS）ドライバーを使用している場合、パスポートまたは ID カード（TD1 および TD2 に準拠）の MRZ を自動で検知できません。ツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（パスポートの場合は 44 桁、ID カード（TD1）の場合は 30 桁、ID カード（TD2）の場合は 36 桁）を認識領域として指定してください。

読み取った画像の確認を一時保存する（バッチスキャンモード）

読み取った画像の確認を中断し、一時保存します。

1 次の操作を行います。

- PaperStream Capture の場合
「スキャン」画面で、[一時保存] ボタンをクリックします。
- PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン&インデックス」画面 または 「スキャン」画面で、[一時保存] ボタンをクリックします。

2 メッセージ画面で一時保存する理由を選択または入力します。

3 [はい] ボタンをクリックします。

読み取った画像が一時保存されます。

ヒント

- 一時保存処理中は、ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、一時保存処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、一時保存処理を中断します。中断したバッチジョブは、「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) で確認できます。

読み取った画像または編集した内容を破棄する (バッチスキャンモード)

PaperStream Capture の場合は、読み取った画像をすべて破棄します。PaperStream Capture Pro の場合は、読み取った画像、または編集した内容を破棄します。

1 次の操作をします。

- PaperStream Capture の場合
「スキャン」画面で、[キャンセル] ボタンをクリックします。
- PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン&インデックス」画面 または 「スキャン」画面で、[キャンセル] ボタンをクリックします。
読み取った画像、または編集した内容が破棄されます。

ヒント

- 「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) から、一時保存したバッチジョブを開いた場合は、[キャンセル] ボタンをクリックすると、画像を確認 / 編集する画面で編集した内容が破棄されます。
一時保存したバッチジョブを削除する場合は、「[バッチ管理](#)」画面で、削除したいバッチジョブを選択し、右下にある「削除」をクリックしてください。

読み取りの履歴を確認する（バッチスキャンモード）

一時保存したバッチや、手動で中断またはエラーとなったバッチを再開します。

1 メニューの「バッチ管理」ボタンをクリックします。



「バッチ管理」画面が表示されます。



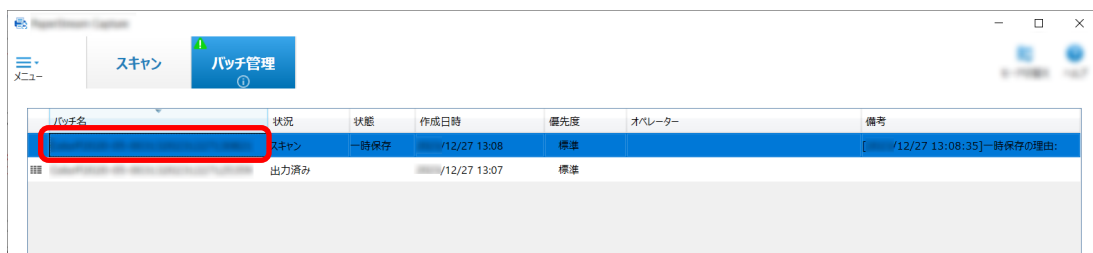
一時保存したバッチは、「状態」に「一時保存」と表示されます。

手動で中断したバッチは、「状態」に「中断」と表示されます。

エラーにより中断されたバッチは、「状態」に「エラー」と表示されます。

中断の原因がエラーの場合、エラーの内容を確認し、エラーを取り除いてください。

2 再開するバッチのバッチ名を選択して、ダブルクリックします。



「一時保存」または「エラー」の場合は、再開するバッチが表示されます。

「中断」の場合は、出力処理が再開されます。

シンプルスキャンモードによる読み取り

シンプルスキャンモードの操作の流れと、読み取りから名前を付けて保存するまでの手順を説明します。

シンプルスキャンモードの設定をする

シンプルスキャンモードで、事前に設定できる項目を説明します。

- 1 [モード切替え] ボタンをクリックし、シンプルスキャンモードの画面に切り替えます。



- 2 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)のツールバーの「スキャンの設定」をクリックします。
「スキャンの設定」画面 (328 ページ)が表示されます。

- 3 画面の設定を確認し、ファイルの保存先や読み取り条件などを必要に応じて設定します。



- 4 [OK] ボタンをクリックします。

設定が反映され、画面が閉じます。

原稿を読み取って保存する（シンプルスキャンモード）

シンプルスキャンモードで、原稿を読み取って保存します。

ここでは、ツールバーの「スキャン時に設定変更」を選択し、「読み取り設定」画面で「ファイルの出力」の「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスにチェックを付けている例で説明します。

- 1 [モード切替え] ボタンをクリックし、シンプルスキャンモードの画面に切り替えます。



- 2 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ) のツールバーの「スキャン時に設定変更」をクリックします。



- 3 スキャナーに原稿をセットします。

詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- 4 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ) のツールバーの「スキャン」をクリックします。

「スキャンの実行」画面 (330 ページ) が表示されます。

事前に「読み取り設定」画面でファイルの出力、読み取り、オプションを設定していた場合、設定が反映された状態で、「スキャンの実行」画面が表示されます。

ヒント

- ツールバーの「スキャン時に設定変更」を選択していない場合、「スキャン」をクリックすると「読み取り設定」画面で設定した読み取り条件で、すぐに読み取りが開始されます。

- 5 必要に応じて、ファイルの出力、読み取り、オプションを設定します。

- 6 [スキャン] ボタンをクリックします。

読み取りが開始し、読み取った画像が保存されます。

ヒント

- スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
 - キーボードの「Esc」キーを押す
 - ツールバーの「キャンセル」をクリックする

読み取った画像を確認 / 編集する（シンプルスキャンモード）

シンプルスキャンモードで読み取った画像を、確認 / 編集します。

重要

- シンプルスキャンモードで確認 / 編集中に、[モード切替え] ボタンで読み取り方法を切り替えると、読み取った画像は破棄されます。

ページを確認する

シンプルスキャンモードで読み取ったページの詳細を確認します。
ここでは、画面の表示を「ブラウズ」にしている例で説明します。

1 サムネール一覧から確認するページをクリックします。

ビューアーにページの詳細が表示されます。

ページを追加 / 挿入する

シンプルスキャンモードで読み取った画像または開いた既存のファイルに、読み取った別の画像または既存のファイルを、ページとして追加または挿入します。

画像のページ数は最大 9999 ページまでです。

ここでは、スキャナーで読み取った画像をページに追加または挿入する例で説明します。

1 スキャナーに原稿をセットします。

詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

2 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)の「追加スキャン」をクリックします。

「スキャンの実行」画面 (330 ページ)が表示されます。

3 「読み取り」と「オプション」を設定し、[スキャン] ボタンをクリックします。

「追加/挿入/差替え」画面 (344 ページ)が表示されます。

4 画像の追加先または挿入先とする「対象」を、「ページ」または「ドキュメント」から選択します。**5 「位置」で以下の項目から追加または挿入位置を選択します。**

- 「最初」
- 「最後」
- 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。

6 「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。

ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。

7 [OK] ボタンをクリックします。

「読み取り設定」画面または「スキャンの実行」画面と、「追加/挿入/差替え」画面の設定に従って、読み取りを開始します。

読み取りが完了すると、選択した位置にページが追加または挿入されます。

ヒント

- 既存のファイルをドラッグ & ドロップしてもファイルを追加または挿入できます。

- スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
 - キーボードの「Esc」キーを押す
 - ツールバーの「キャンセル」をクリックする

ページを差し替える

シンプルスキャンモードで、指定したページを読み取った別の画像または既存のファイルに差し替えます。ここでは、読み取った画像を、読み取った別の画像に差し替える例で説明します。

- 1 スキャナーに原稿をセットします。**
詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- 2 差し替えたいページを選択します。**
- 3 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)の「追加スキャン」をクリックします。**
「スキャンの実行」画面 (330 ページ)が表示されます。
- 4 「読み取り」と「オプション」を設定し、[スキャン] ボタンをクリックします。**
「追加/挿入/差替え」画面 (344 ページ)が表示されます。
- 5 差し替えの対象として、「対象」で「ページ」を選択します。**
- 6 「位置」の「ページ」で差し替えるページの範囲を指定します。**
- 7 「操作」で「差替え」を選択します。**
- 8 [OK] ボタンをクリックします。**
「読み取り設定」画面または「スキャンの実行」画面と、「追加/挿入/差替え」画面の設定に従って、読み取りを開始します。
読み取りが完了すると、指定したページの範囲が差し替えられます。

ヒント

- スキャナーからの読み取り中は、ツールバーの「スキャン」が「キャンセル」に変更されます。読み取り中に、読み取りを中止する方法は、以下のとおりです。
 - キーボードの「Esc」キーを押す
 - ツールバーの「キャンセル」をクリックする

ページを回転する

シンプルスキャンモードで読み取った画像の、向きが誤っているページを回転します。

- 1 回転するページを選択します。**
- 2 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)の「90度回転」をクリックします。**
ページが回転します。

ページを削除する

シンプルスキャンモードで読み取った画像の、不要なページを削除します。

- 1 削除するページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「削除」をクリックします。
メッセージ画面が表示されます。
- 4 [はい] ボタンをクリックします。
選択しているページが削除されます。

ページを切り取る

シンプルスキャンモードで読み取ったページを切り取り、PaperStream Capture の記憶領域に一時保存します。

- 1 切り取りたいページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「切り取り」をクリックします。
選択しているページが切り取られます。

ページをコピーする

シンプルスキャンモードで読み取ったページをコピーして、PaperStream Capture の記憶領域に一時保存します。

- 1 コピーしたいページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「コピー」をクリックします。
選択しているページがコピーされます。

ページを貼り付ける

シンプルスキャンモードで読み取り、コピーまたは切り取ったページを貼り付けます。
画像のページ数は最大 9999 ページまでです。

- 1 ページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3 「貼り付け」をクリックします。

「追加/挿入/差替え」画面 (344 ページ)が表示されます。

4 貼り付け先の対象を、「対象」の「ページ」または「ドキュメント」から選択します。

5 「位置」で以下の項目から貼り付け位置を選択します。

- 「最初」
- 「最後」
- 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。

6 「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。

ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。

7 [OK] ボタンをクリックします。

ページが貼り付けられます。

ドキュメントを分割する

シンプルスキャンモードで読み取ったドキュメント（ページごとのまとまり）に仕分けを挿入して分割します。

1 ページを選択します。

2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。

メニューが表示されます。

3 「仕分けの挿入」をクリックします。

「仕分けの挿入」画面 (345 ページ)が表示されます。

4 仕分けの挿入先の対象を、「対象」の「ページ」または「ドキュメント」から選択します。

5 「位置」で以下の項目から仕分けの挿入位置を選択します。

- 「最初」
- 「最後」
- 「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」が表示されます。

6 「操作」で「前に挿入」または「後に追加」を選択します。

ただし、「位置」で「最初」または「最後」を選択した場合、本項目は選択できません。

7 [OK] ボタンをクリックします。

仕分けが挿入され、ドキュメントが分割されます。

ヒント

- 仕分けは、最大 9999 個まで登録できます。

ドキュメントを結合する

シンプルスキャンモードで読み取ったドキュメント（ページごとのまとめり）の仕分けを削除して結合します。

- 1 削除したい仕分けを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「仕分けの削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 4 [はい] ボタンをクリックします。
仕分けが削除され、直前のドキュメントと結合されます。

ページを並べ替える

シンプルスキャンモードで読み取ったページの順番を並べ替えます。

- 1 ページの並び順を変更したいドキュメントまたはそのドキュメント内のページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 ページを並べ替える方法を以下から選択します。
 - 折畳み
ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。
 - 平行移動
ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。
 - 逆順
全ページを逆から順番に並べ替えます。
降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。
- 4 選択した方法で、ドキュメント内のページが並べ替えられます。

ページにマークを付加する

シンプルスキャンモードで読み取った画像のうち、あとで操作が必要な画像を区別するために、ページにマークを付加できます。

- 1 マークを付加したいページを選択します。
- 2 サムネイルまたはビューアー上で右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「マーク」をクリックします。
サムネイルの背景とビューアーの枠がオレンジ色になります

ヒント

- マークを解除するには、ページを選択し、ツールバーまたは右クリックで表示されるメニューの「マークを解除」をクリックします。

確認 / 編集した画像を保存する (シンプルスキャンモード)

シンプルスキャンモードで確認 / 編集した画像を、名前を付けて保存 (出力) します。

- 1 「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)のツールバーの「保存」をクリックします。
「名前を付けて保存」画面 (346 ページ)が表示されます。
- 2 「ファイルの出力」の設定値を変更したい場合は、変更します。
- 3 [OK] ボタンをクリックします。
読み取った画像が保存 (出力) されます。

ヒント

- 「スキャンの設定」画面 (328 ページ)または「スキャンの実行」画面 (330 ページ)で「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスにチェックを付けた場合、読み取りの完了と同時にファイルが出力されます。

便利な設定に変更する

PaperStream Capture の便利な機能について、ジョブの設定方法を説明します。

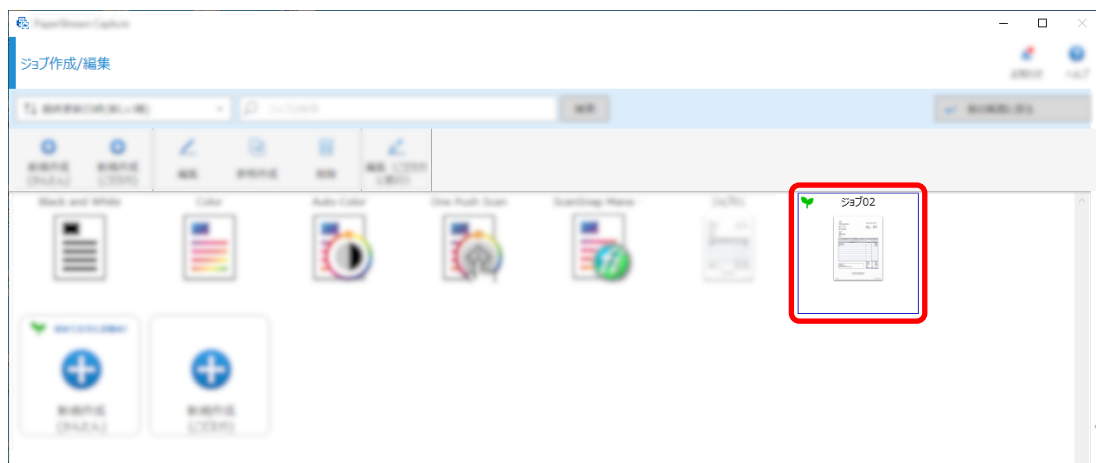
かんたん作成のジョブをこだわり作成に移行する

かんたん作成のジョブをこだわり作成のジョブに変換します。

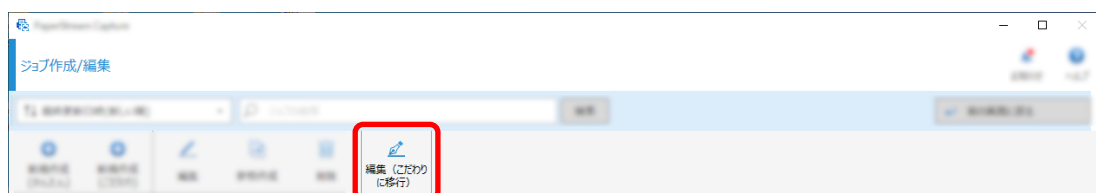
重要

- 「管理ツール」画面の「一般」タブの「スキャナードライバー」で「ISIS」を選択している場合、かんたん作成のジョブから、こだわり作成のジョブへの変換はできません。
- かんたん作成のジョブでは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを使用しませんが、こだわり作成では使用します。また、こだわり作成に移行すると、移行するジョブ名と同じ名前のドライバープロファイルが作成され、紐づけられます。

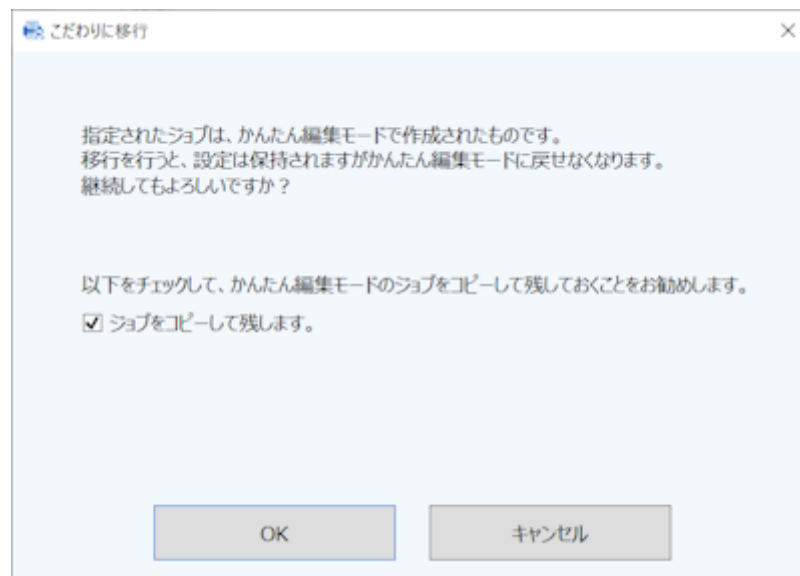
1 「ジョブ作成/編集」画面で、対象のかんたん作成のジョブを選択します。



2 ツールバーの【編集（こだわりに移行）】ボタンをクリックします。



以下のメッセージが表示されます。



- 「ジョブをコピーして残します。」チェックボックスにチェックを付けると、かんたん作成のジョブをコピーで残し、こだわり作成のジョブとして編集します。かんたん作成のジョブ名が「ジョブ 01」だった場合、こだわり作成のジョブ名は「ジョブ 01」になり、かんたん作成のジョブは「ジョブ 01_コピー」になります。
- チェックを外すと、かんたん作成のジョブは残さず、こだわり作成のジョブとして編集します。かんたん作成のジョブ名が「ジョブ 01」だった場合、こだわり作成のジョブ名は「ジョブ 01」になります。

3 [OK] ボタンをクリックします。

こだわり作成の「ジョブ情報設定」タブが表示されます。


スキャナーのボタンで原稿を読み取る

スキャナーのボタン (Scan および Send to) を使用して、原稿を読み取ります。

ここでは、スキャナーのボタンに、使用するジョブを設定して PaperStream Capture と連動させるまでの手順を説明します。


重要

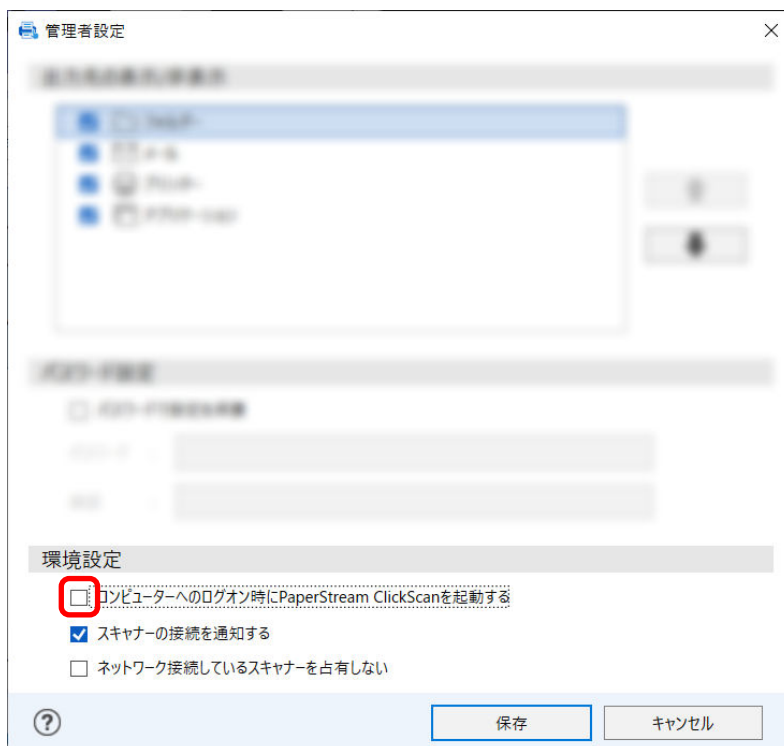
PaperStream ClickScan が起動している場合は、スキャナーのスキャンボタンを押すと PaperStream ClickScan での読み取りが実行されます。PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を使ってスキャナーのスキャンボタンでの読み取りを実行する場合は、タスクバーにある PaperStream

ClickScan のアイコン () を右クリックし、表示されたメニューで以下のどちらかの操作をしてください。

- PaperStream ClickScan の自動起動を解除する場合

1 「出力先の管理」を選択します。

- 2 表示された画面の右上にある  をクリックします。
- 3 表示された「管理者設定」画面で、「コンピューターへのログオン時に PaperStream ClickScan を起動する」チェックボックスのチェックを外します。



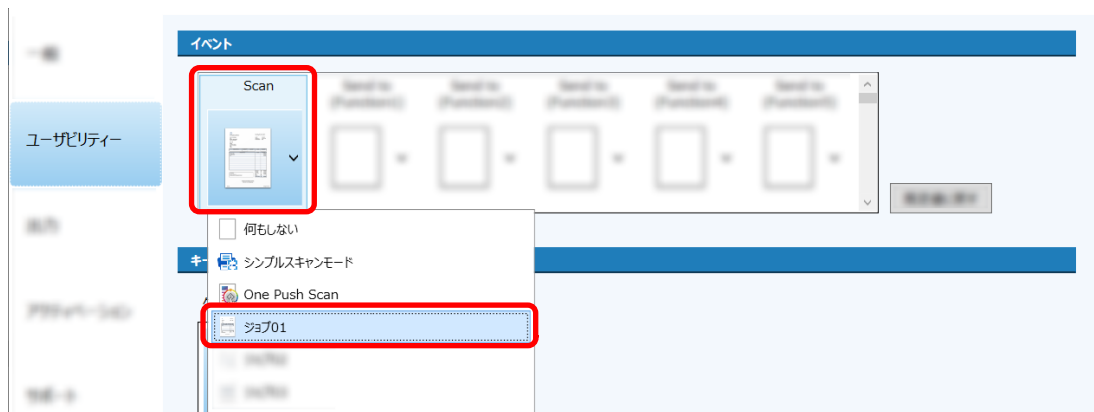
- 4 [保存] ボタンをクリックします。
 - 5 コンピューターからログオフして、再度ログオンします。
- 一時的に PaperStream ClickScan を終了させる場合
 - 1 「終了」 を選択してください。

PaperStream Capture 側、コンピューター側、スキャナー側のそれぞれで設定が必要です。

1. PaperStream Capture 側の設定

- 1 管理ツールの「ユーザビリティ」タブをクリックします。

2 「Scan」 をクリックし、使用するジョブ名を選択します。



「Scan」アイコンが、選択したジョブのアイコンに切り替わります。

3 設定を保存します。

a [保存] ボタンをクリックします。

b [閉じる] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture 側の設定が完了しました。

2.コンピューター側の設定

1 「コントロールパネル」画面を開き、「デバイスとプリンター」をクリックします。

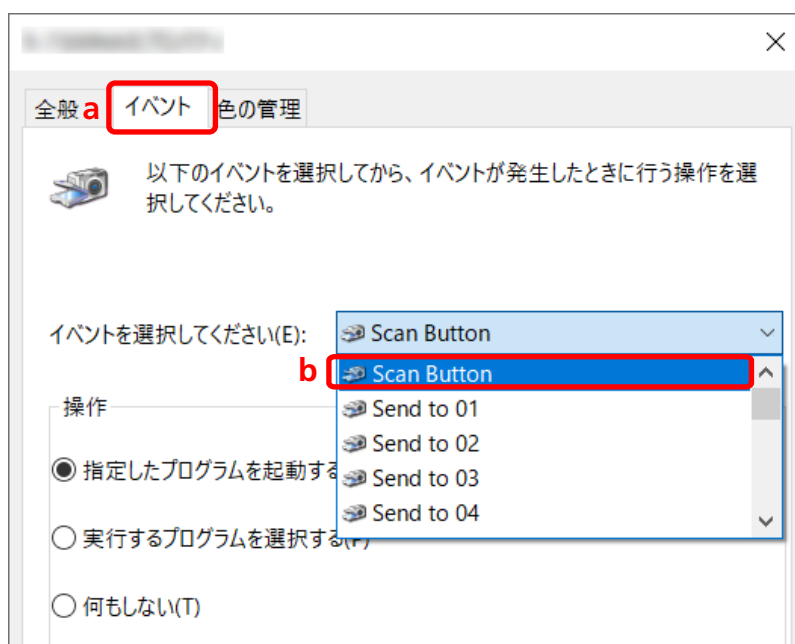


- 2 お使いのスキャナーのアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「スキャン プロパティ」を選択します。



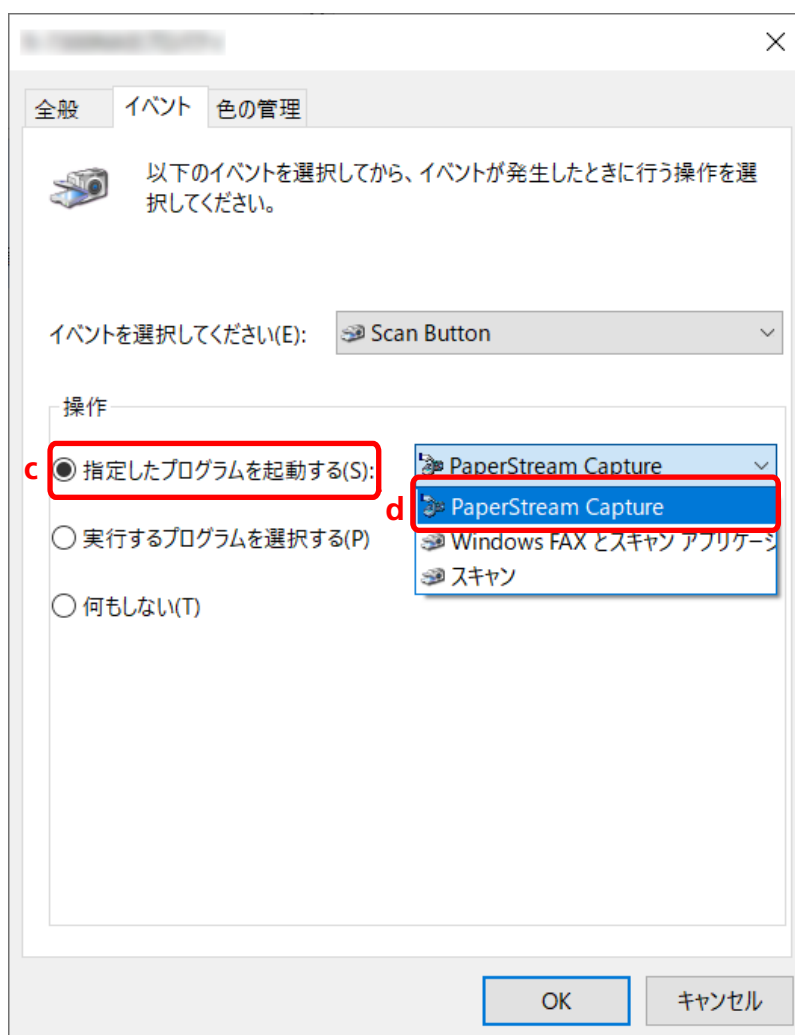
- 3 「イベント」タブで、スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を設定します。

- a 「イベント」タブをクリックします。
- b 「イベントを選択してください」から、「Scan Button」を選択します。



- c 「指定したプログラムを起動する」を選択して、「PaperStream Capture」を選択します。

d [OK] ボタンをクリックします。



4 コンピューターを再起動します。

変更した設定が有効になります。コンピューター側の設定が完了しました。

ヒント

- ネットワーク対応のスキャナーをネットワークに接続して使用する場合は、Network Setup Tool をインストールしたあと、コンピューターに再度ログオンするか再起動してください。再起動しても、PaperStream Capture がスキャナーのボタンを押したときに起動するアプリケーションとして設定されない場合は、お使いのスキャナーの Button Event Manager を起動し、「ボタン設定」画面で設定してください。詳細は、Network Setup Tool のヘルプを参照してください。

3.スキャナー側の設定

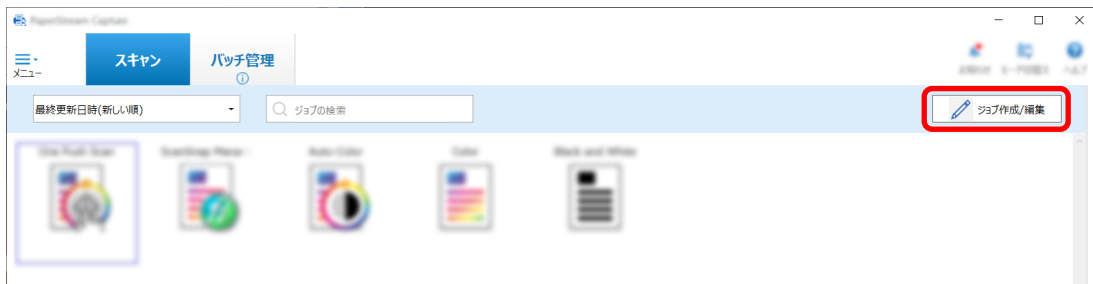
スキャナーのスキャンボタンを押したときの動作を、スキャナー側でも設定する場合があります。お使いのスキャナーの機種により設定方法が異なります。

詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドで、スキャナーのスキャンボタンの設定に関する記事を参照してください。

画像の画質の設定を変更する

スキャン画像を確認して、読みづらかったり見づらかったりする場合に、読み取りの画質を変更できます。解像度の数値を低くするとファイルサイズは小さくなり、高くするとファイルサイズは大きくなります。ここでは、こだわり作成の場合に、PaperStream IP ドライバーの画面で、読み取りの解像度を選択して、画質を変更する手順を説明します。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

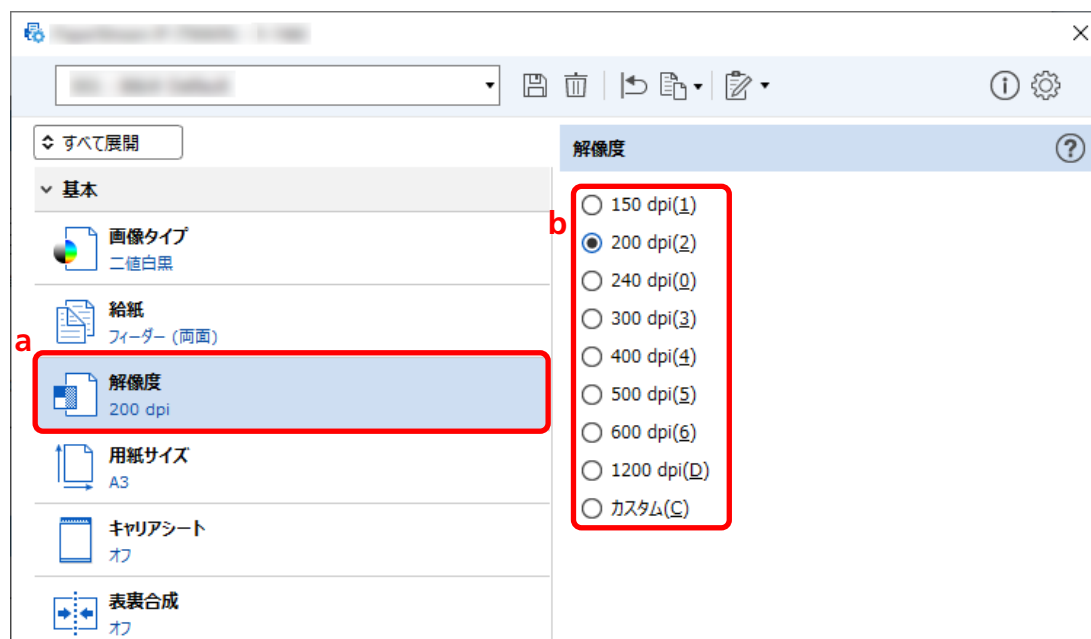
- 3 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 4 ドライバープロファイルの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。

- a 「解像度」を選択します。

b 変更する解像度を選択します。



5 ドライバープロファイルの保存アイコン () をクリックします。

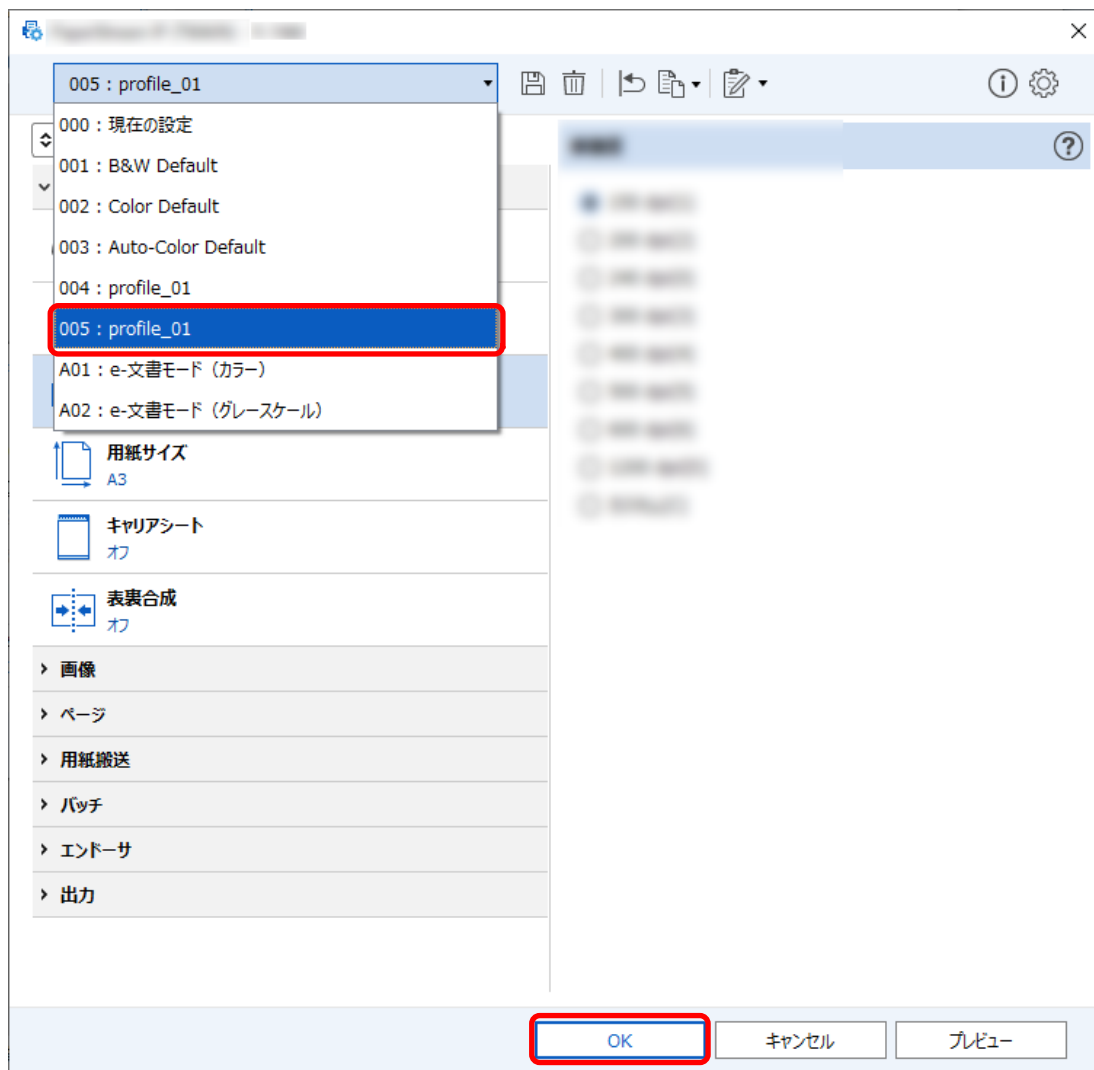
6 ドライバープロファイルを保存します。

a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。

b [OK] ボタンをクリックします。



7 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

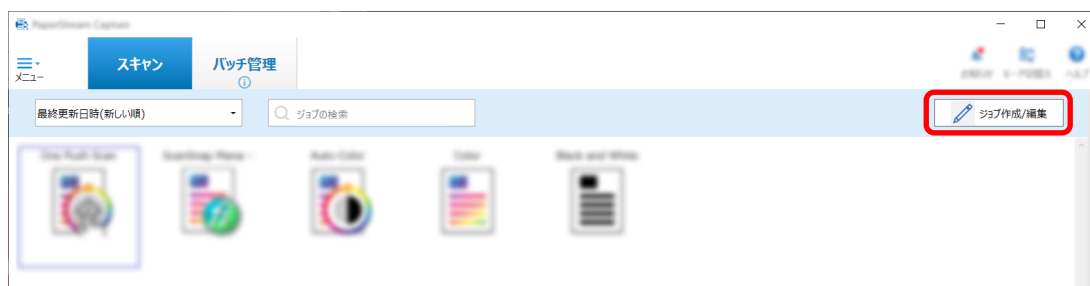
原稿の白紙ページを自動で削除する

原稿を読み取って白紙ページを検出した場合、白紙ページを自動で削除できます。
ここでは、こだわり作成で設定する手順を説明します。

ヒント

- かんたん作成の場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」の「白紙削除」で「有効」を選択すると、白紙ページを削除できます。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

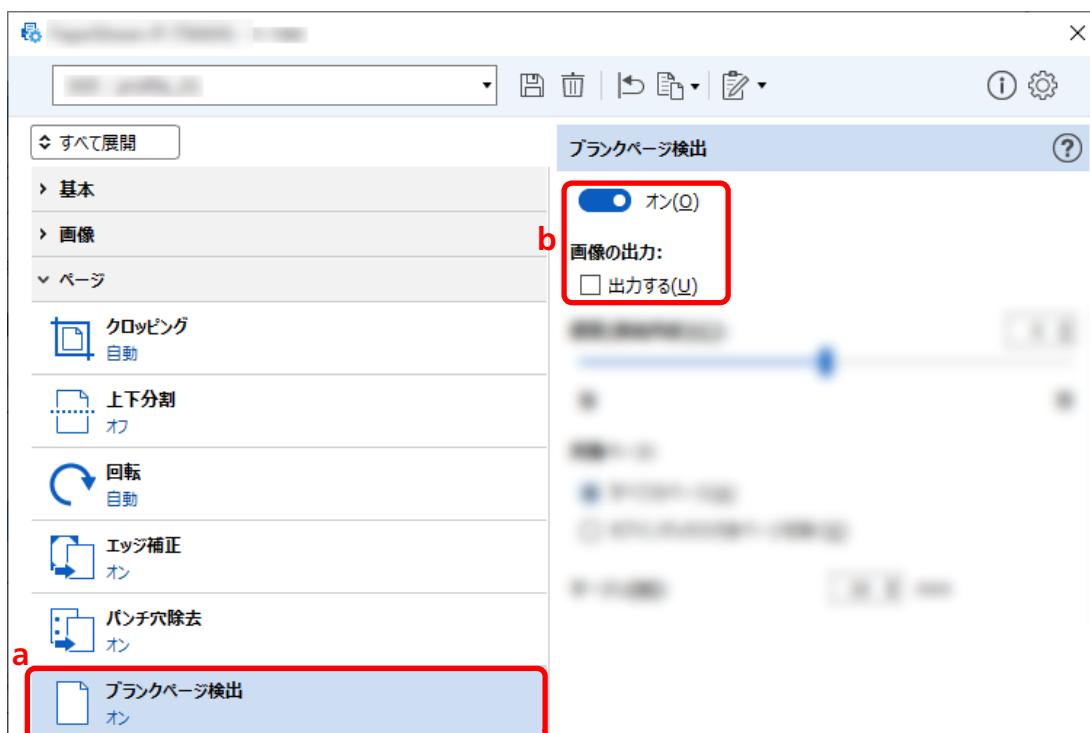
3 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



4 ドライバープロファイルの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

a 「空白ページ検出」を選択します。

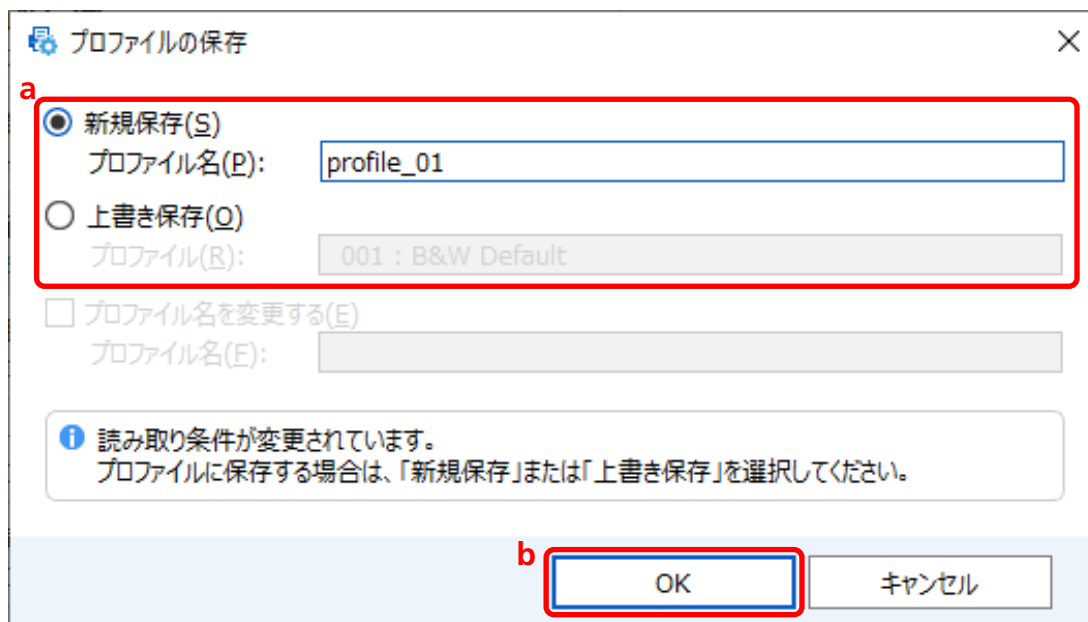
b 「オン」にして、「出力する」チェックボックスのチェックを外します。



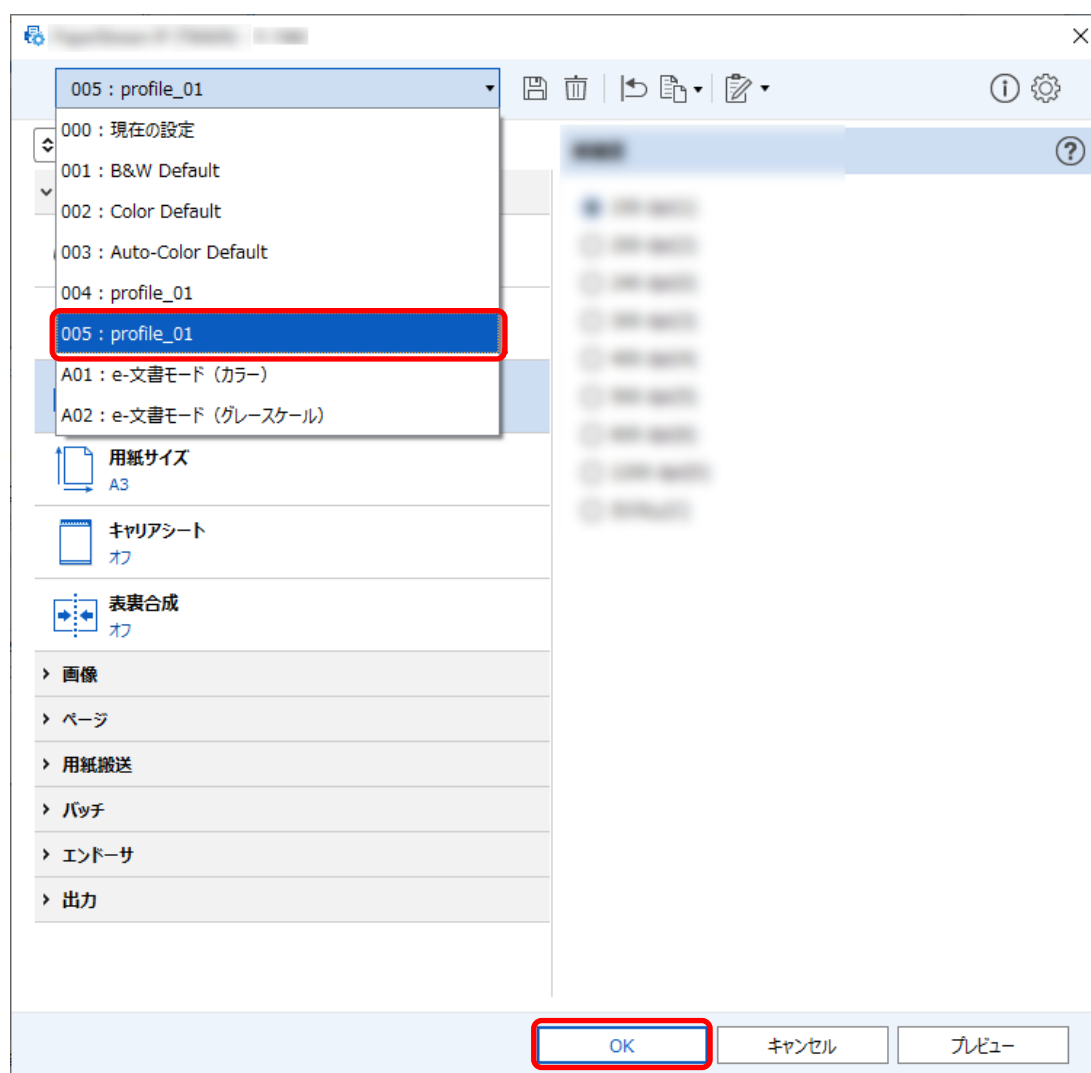
5 ドライバープロファイルの保存アイコン () をクリックします。

6 ドライバープロファイルを保存します。

- a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。
- b [OK] ボタンをクリックします。



7 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

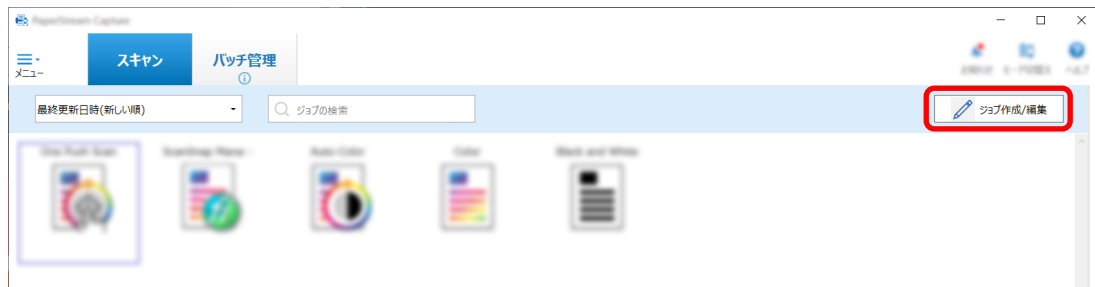
原稿と同じ色で画像を保存する

読み取った原稿がカラーかモノクロかを自動的に判別して出力できます。

カラーやモノクロの原稿が混在する場合に、原稿に応じて読み取り条件を変更する必要がありません。

ここではこだわり作成で、原稿を自動的に判別して、画像タイプに合わせて解像度を選択する手順を説明します。

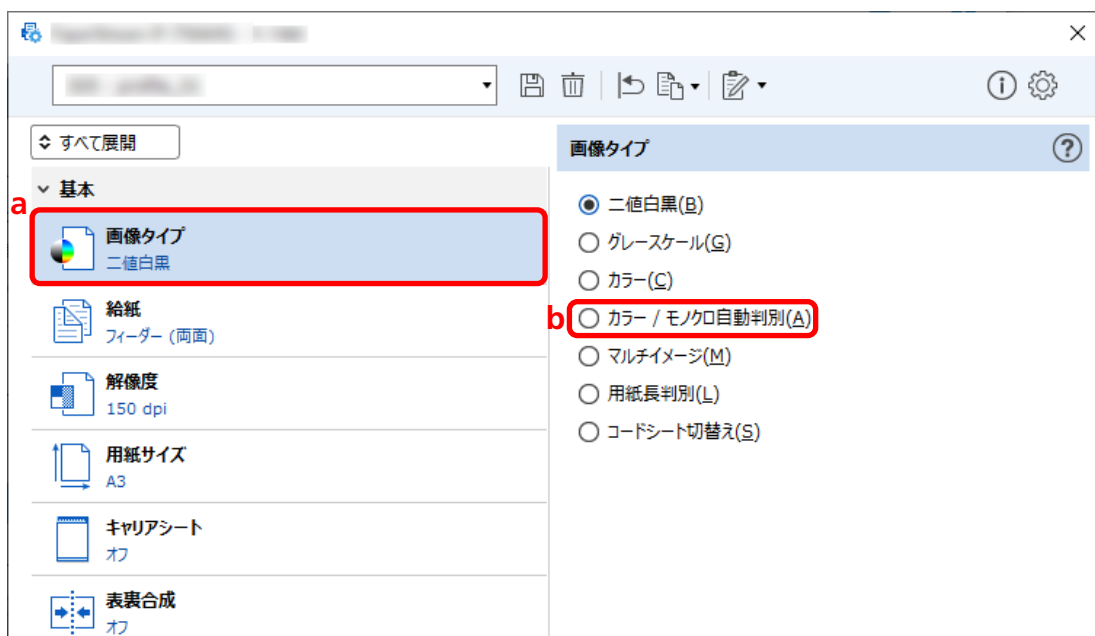
- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。




- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。
- 3 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 4 ドライバープロファイルの詳細設定画面で「基本」を選択し、読み取り内容を設定します。
 - a 「画像タイプ」を選択します。
 - b 「カラー/モノクロ自動判別」を選択します。
 - c タブを切り替えて、画像タイプごとに解像度を調整します。



- 5 ドライバープロファイルの保存アイコン () をクリックします。
- 6 ドライバープロファイルを保存します。

- a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロフィール名を入力します。
- b [OK] ボタンをクリックします。

プロフィールの保存

a

新規保存(S)
 プロファイル名(P): profile_01

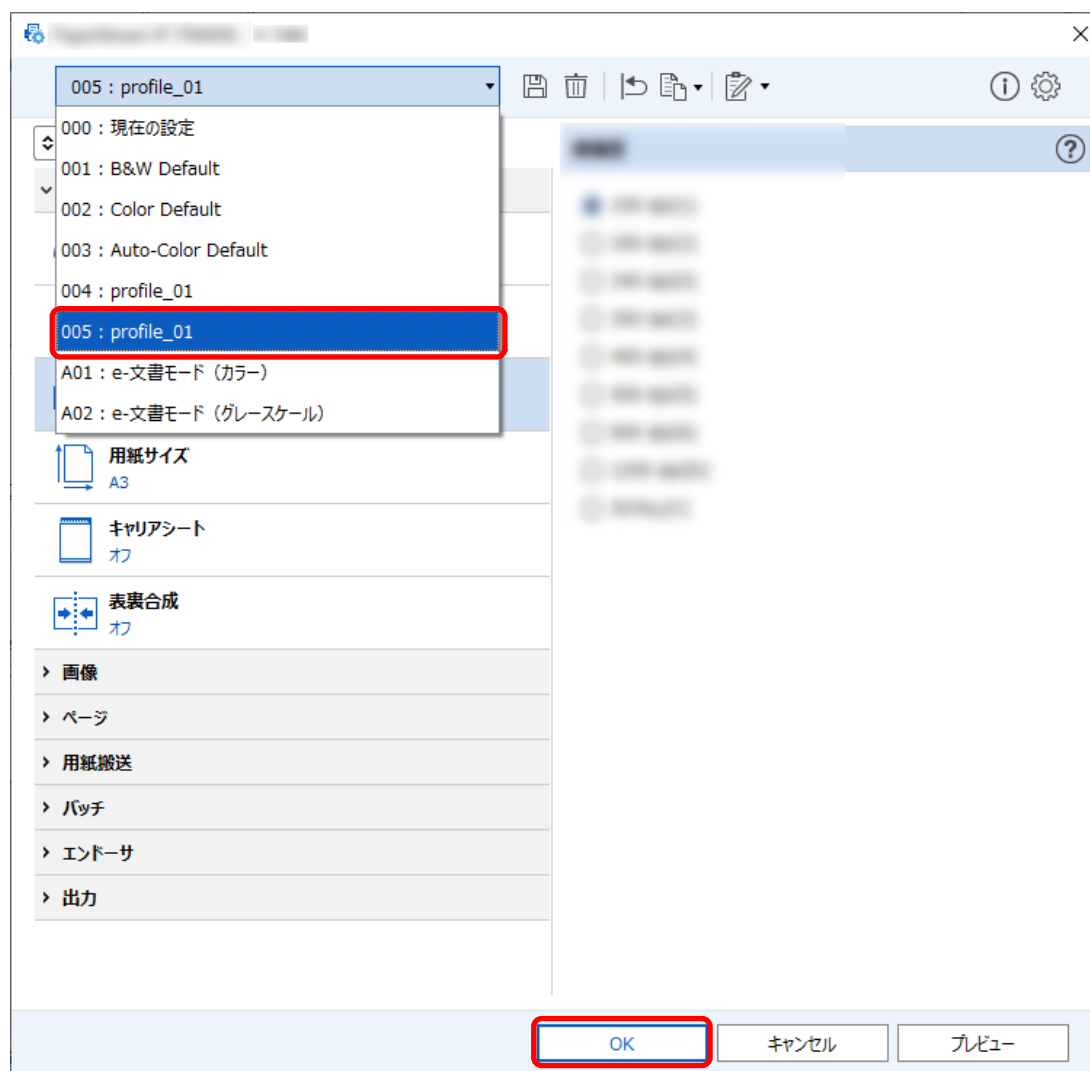
上書き保存(O)
 プロファイル(R): 001 : B&W Default

プロファイル名を変更する(E)
 プロファイル名(E):

i 読み取り条件が変更されています。
 プロファイルに保存する場合は、「新規保存」または「上書き保存」を選択してください。

b OK キャンセル

7 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

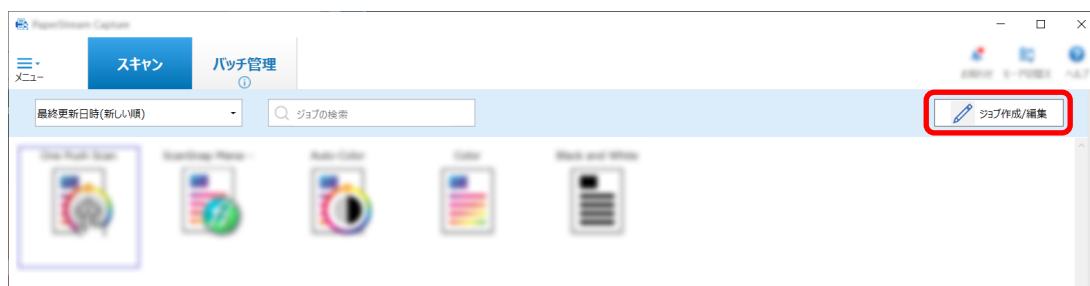
画像の向きを自動で補正する

画像の内容から向きを自動的に判断し、正しい向きに補正して出力できます。

原稿の状態によっては、正しい向きに補正されない場合があります。

ここでは、こだわり作成で、文字の向きに合わせて自動で補正する設定手順を説明します。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



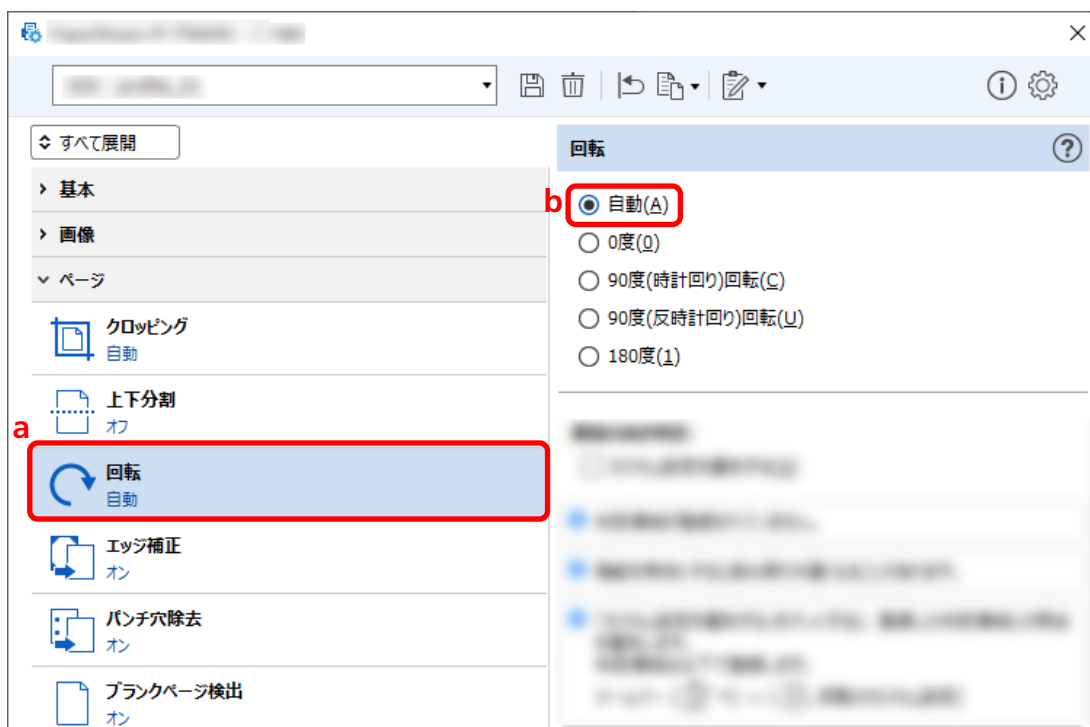
- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。
- 3 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 4 ドライバープロファイルの詳細設定画面で「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

- a 「回転」を選択します。

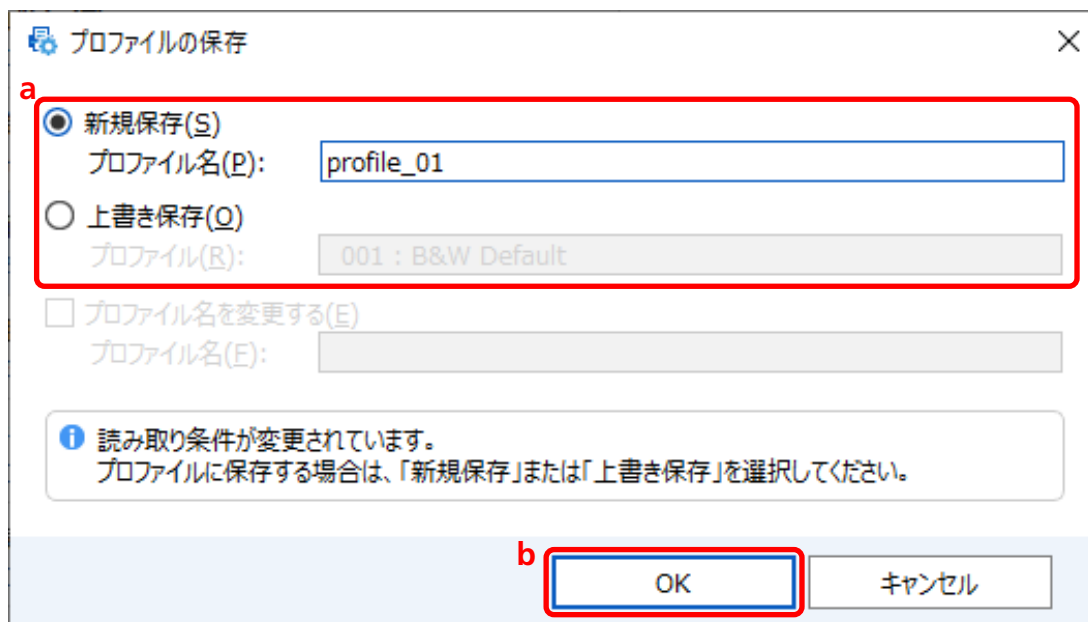
- b 「自動」を選択します。



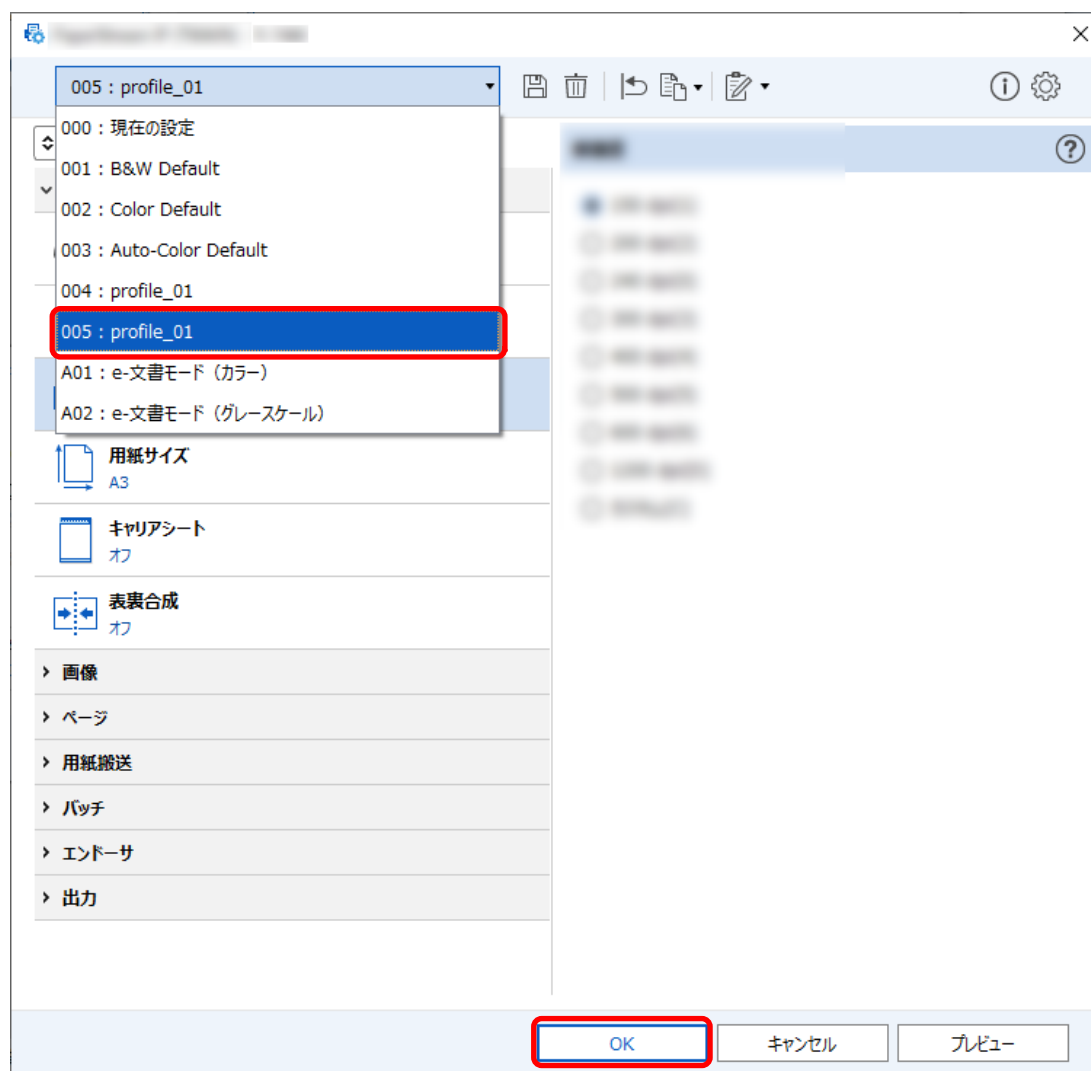
- 5 ドライバープロファイルの保存アイコン () をクリックします。

6 ドライバープロファイルを保存します。

- a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。
- b [OK] ボタンをクリックします。



7 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

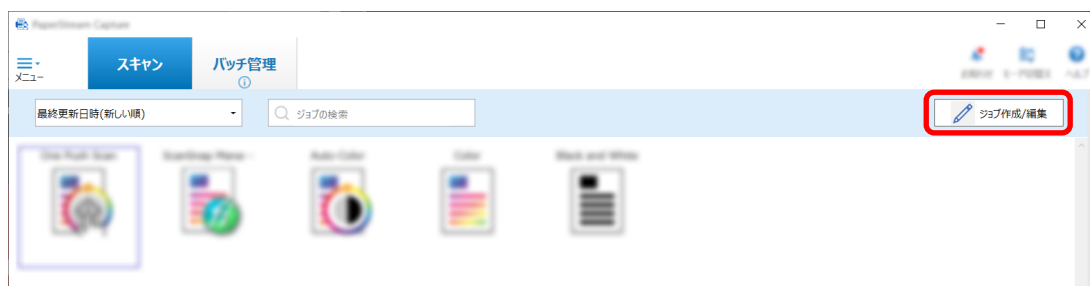


PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

パンチ穴除去をオフにする

パンチ穴除去は、原稿にパンチ穴がある場合に画像のパンチ穴の部分を塗りつぶします。「パンチ穴除去」を「オン」にすると、読み取り画像からパンチ穴が除去されます。原稿内の丸い図形がパンチ穴と認識され、除去されてしまう場合は、「パンチ穴除去」は「オフ」にしてください。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



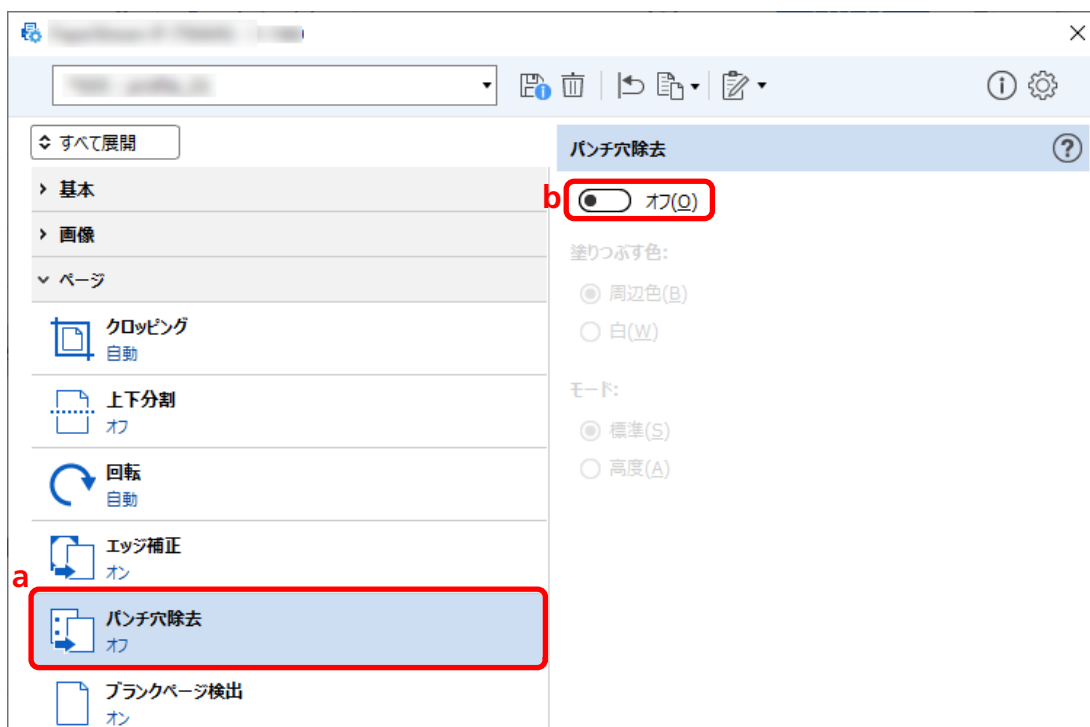
- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。
- 3 「読み取り設定」タブを選択して、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 4 ドライバープロファイルの詳細設定画面で、「ページ」を選択し、読み取り内容を設定します。

- a 「パンチ穴除去」を選択します。

- b 「オフ」を選択します。



- 5 ドライバープロファイルの保存アイコン () をクリックします。

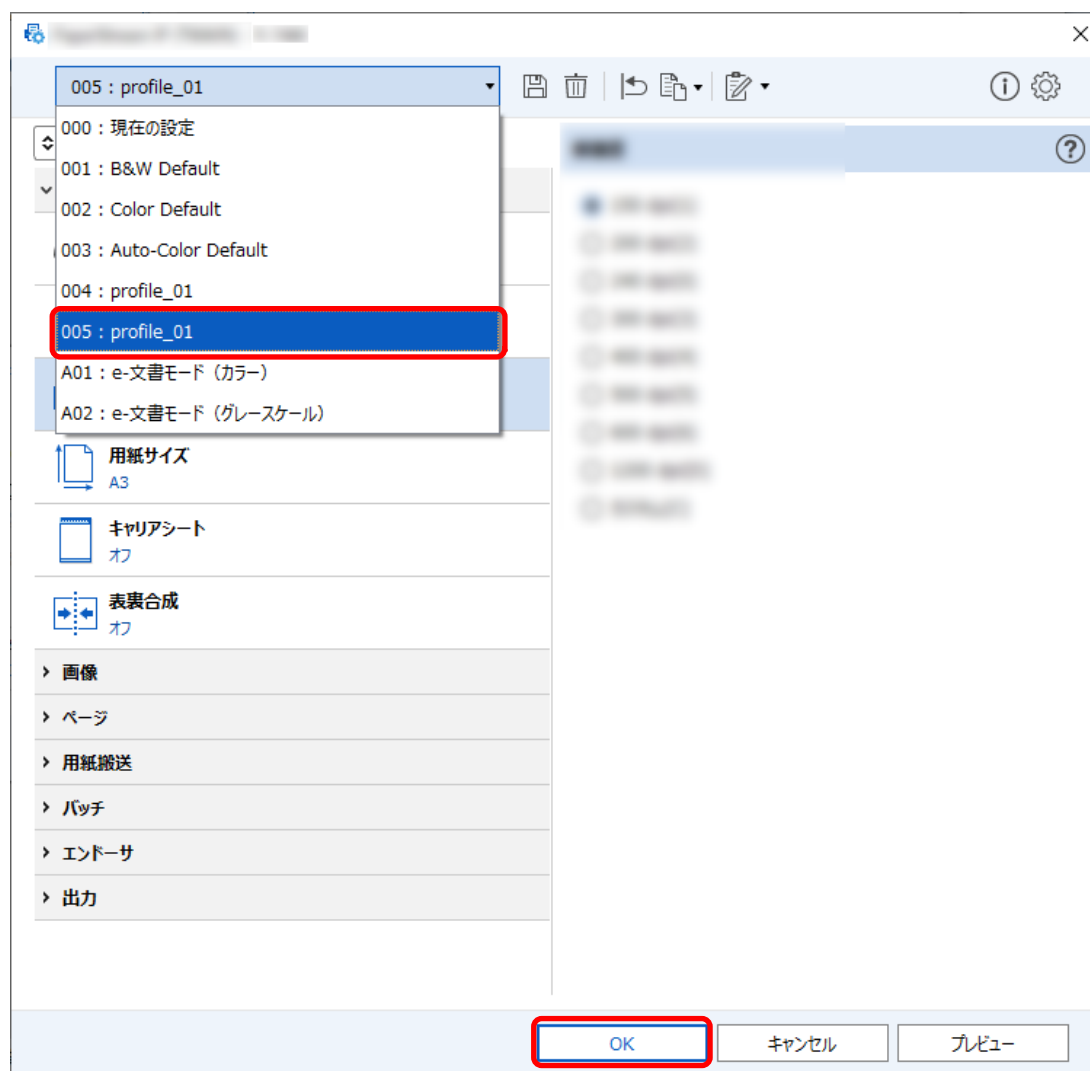
6 ドライバープロファイルを保存します。

- a 「新規保存」または「上書き保存」を選択しドライバープロファイル名を入力します。
- b [OK] ボタンをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "プロフィールの保存" (Save Profile). It contains the following elements:

- A red box labeled 'a' highlights the "新規保存(S)" (New Save) radio button, which is selected. Below it, the "プロフィール名(P):" (Profile Name) text box contains the text "profile_01".
- The "上書き保存(O)" (Overwrite Save) radio button is unselected. Below it, the "プロフィール(R):" (Profile) text box contains the text "001 : B&W Default".
- Below these options is a checkbox "プロフィール名を変更する(E)" (Change Profile Name) which is unselected. Below it is an empty "プロフィール名(E):" (Profile Name) text box.
- A message box contains the text: "読み取り条件が変更されています。プロフィールに保存する場合は、「新規保存」または「上書き保存」を選択してください。" (Loading conditions have changed. When saving to a profile, please select "New Save" or "Overwrite Save").
- At the bottom, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel). The "OK" button is highlighted with a red box labeled 'b'.

7 設定したドライバープロファイルが一覧に追加されたことを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



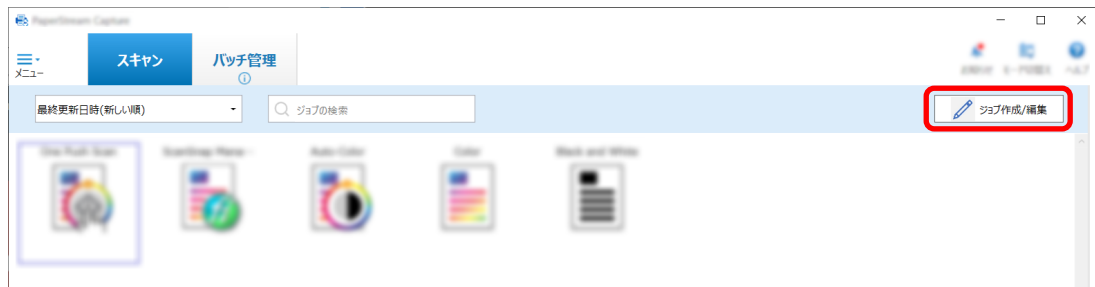
PaperStream Capture の「読み取り設定」タブに戻ります。

読み取り中、読み取り後の画面表示/非表示を設定する

原稿の読み取り中または読み取り後に、スキャン画像を表示させる/させないを選択できます。

以下にスキャン画像の表示/非表示、および PaperStream Capture の画面の表示/非表示を切り替える手順を説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 読み取り中または読み取り後の画面表示を選択します。

● かんたん作成の場合

「読み取り設定」タブの「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」チェックボックスにチェックを付けると、スキャン画像を表示せずに、「出力先設定」タブの「出力先」で設定した出力先に、読み取った画像を自動で出力します。

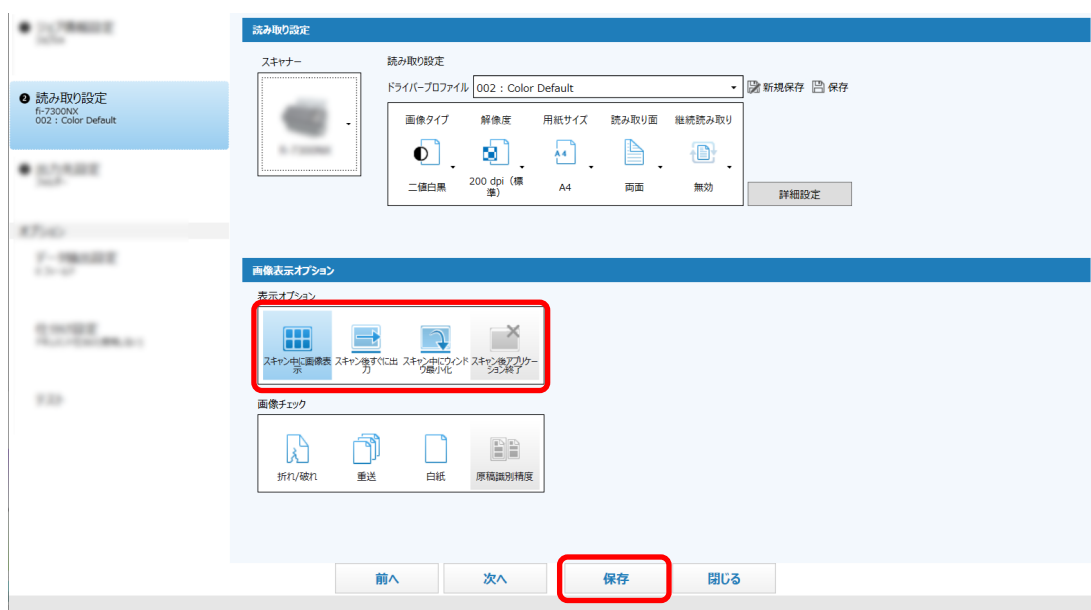
チェックを外すと、読み取り開始時から、スキャン画像を表示します。スキャン画像の確認画面で [完了] ボタンをクリックすると、スキャン画像をファイルに保存します。



● こだわり作成の場合

- a 「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」の「表示オプション」で、設定する項目をクリックします。

b [保存] ボタンをクリックします。



選択項目	動作内容
スキャン中に画像表示	デフォルト値です。 読み取り開始時から、スキャン画像を表示します。 スキャン画像の確認画面で [完了] ボタンをクリックすると、スキャン画像をファイルに保存します。
スキャン後すぐに出力	[完了] ボタンをクリックすることなく、スキャン画像をファイルに保存します。
スキャン中にウィンドウ最小化	読み取り開始以降、スキャン画像の確認画面を最小化します。
別途 QC を行う	PaperStream Capture Pro の場合、選択できます。選択すると、読み取りと QC を別々に作業できます。
スキャン後すぐに出力 スキャン中にウィンドウ最小化 スキャン後アプリケーション終了	読み取り中はスキャン画像の確認画面を最小化し、スキャン画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。 この 3 項目を選択し、スキャナーのボタンで原稿を読み取る設定と組み合わせると、コンピューターに PaperStream Capture の画面を表示せずにスキャン画像をファイルに保存して、PaperStream Capture を終了します。

読み取りで検出されたエラーに対応する

読み取り中に検出されたエラーに対応します。

リカバリー画面 (290 ページ)は、「読み取り設定」タブ (173 ページ)の「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択し、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスにチェックを付けている場合に表示されます。

ただし、「画像チェック」で「重送」を選択している場合、原稿の重なりが検出されると、リカバリー画面は表示されず、以下ようになります。

- PaperStream Capture の場合
「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）に検出された画像がマーク付きで表示されます。また、PaperStream IP（ISIS）ドライバーの場合、リカバリー画面は表示されません。
- PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）（287 ページ）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）に検出された画像がマーク付きで表示されます。

ここでは、リカバリー画面で原稿づまりが検出された画像を削除して、読み取りを継続する例で説明します。

- 1 原稿づまりが検出された画像を選択します。**
- 2 ツールバーの「編集」にある「削除」をクリックします。**
メッセージ画面が表示されます。
- 3 [はい] ボタンをクリックします。**
選択しているページが削除されます。
- 4 [継続読み取り] ボタンをクリックします。**
読み取りが継続されます。

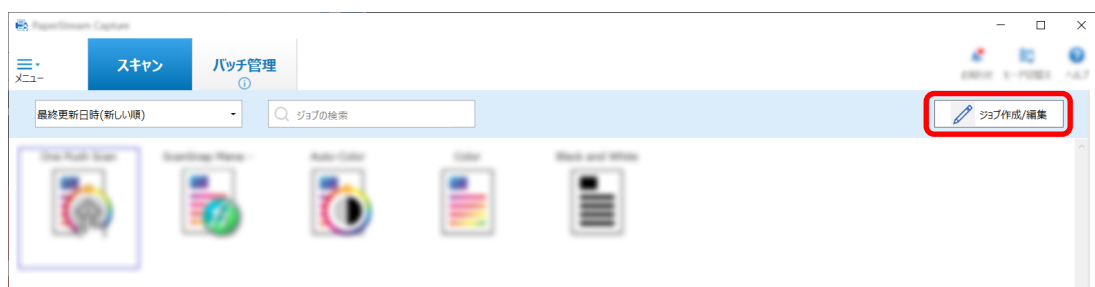
画像のファイルサイズを設定する

読み取った画像を PDF、JPEG、または TIFF 形式で出力する場合に、ファイルサイズを調整できます。JPEG 画像または TIFF 画像の場合は、画像の種類が「グレースケール」または「カラー」のときだけ、調整できます。

PaperStream Capture で設定する

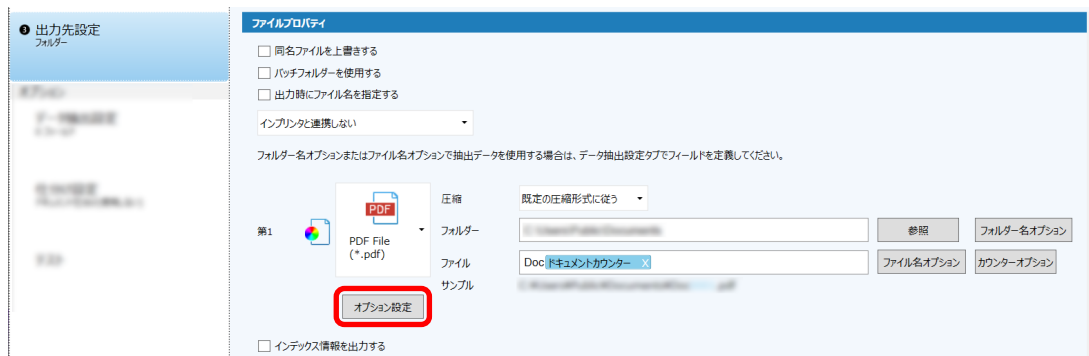
PaperStream Capture の「出力先設定」タブの「オプション設定」画面で変更します。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。**

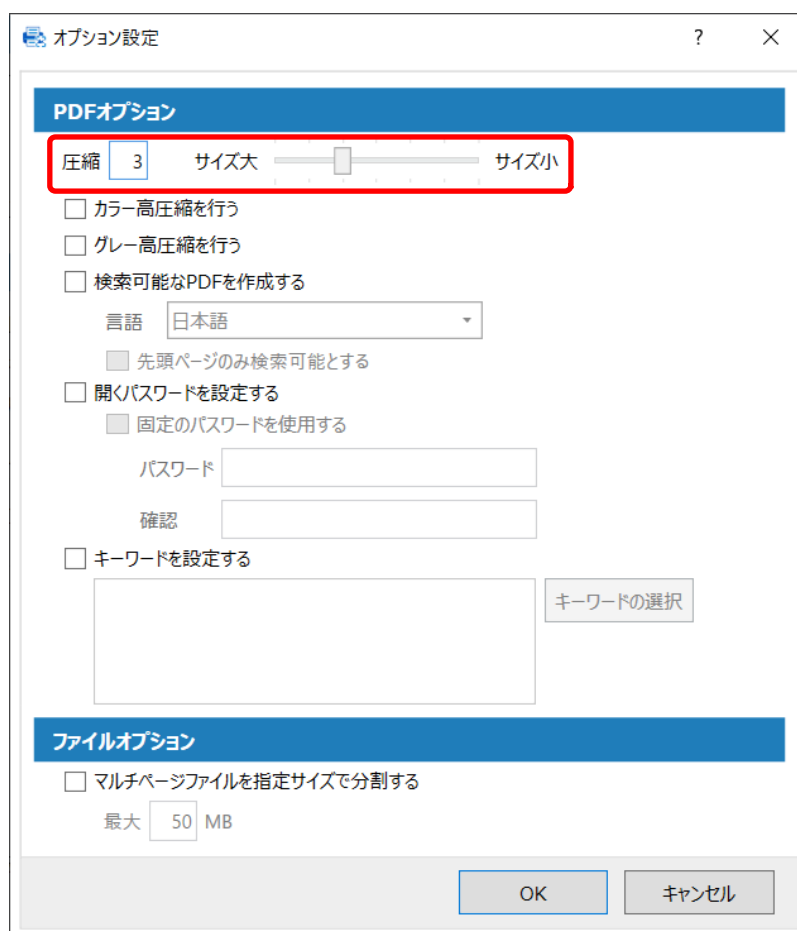


- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。**

3 「出力先設定」タブを選択して、「ファイルプロパティ」の「オプション設定」ボタンをクリックします。



ファイルサイズを小さくするほど画像の劣化が目立つようになりますが、ファイルサイズを小さくできます。



4 [OK] ボタンをクリックします。

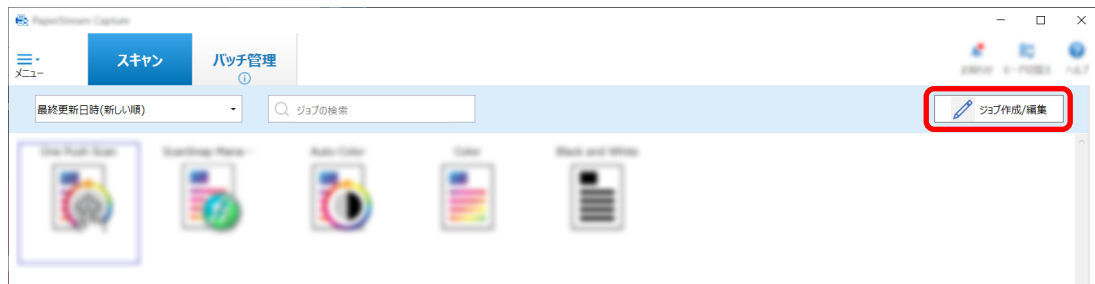
PaperStream Capture の「出力先設定」タブに戻ります。

画像を文字の検索ができる PDF ファイルにする

画像ファイルの形式で PDF を選択している場合に、文字の検索ができる PDF ファイルに設定する手順を説明します。

かんたん作成の設定

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。

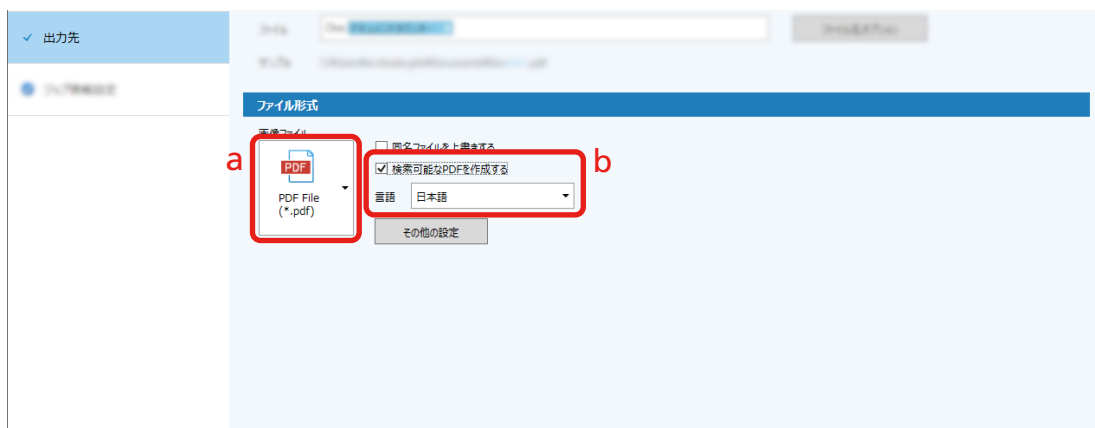


- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

- 3 「出力先設定」タブを選択します。

a ファイル形式で PDF を選択します。

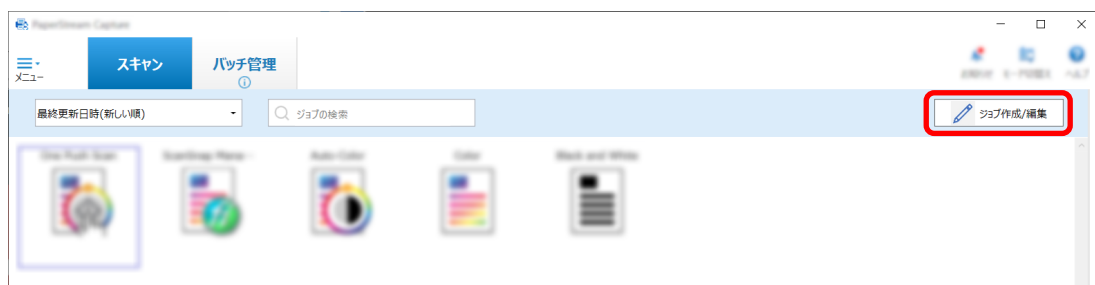
b 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。



- 4 [保存] ボタンをクリックします。

こだわり作成の設定

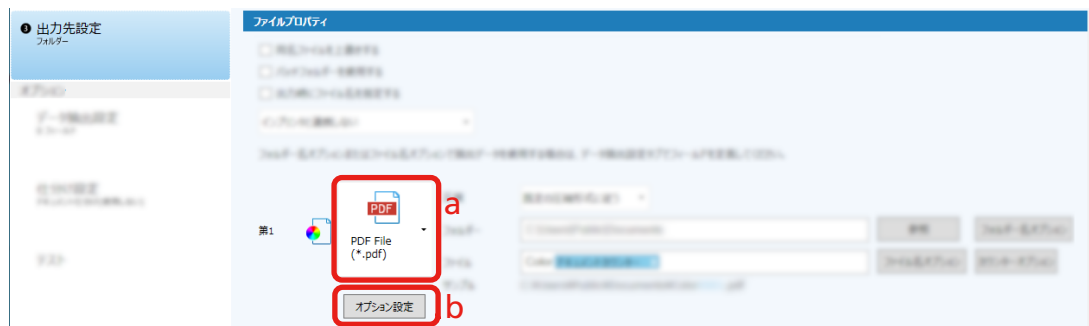
- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



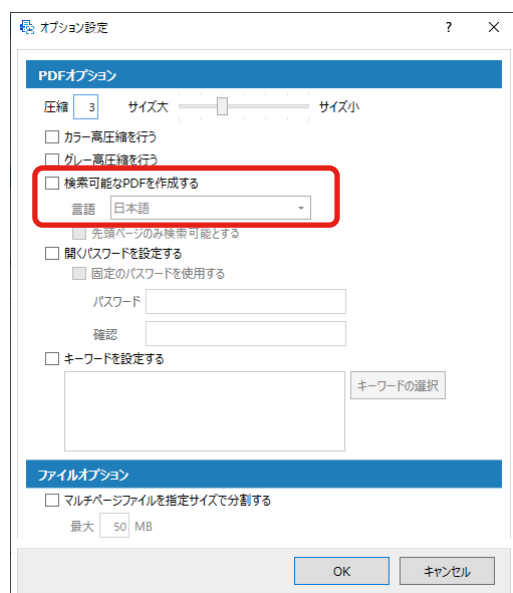
- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

- a ファイル形式で PDF を選択します。
- b [オプション設定] ボタンをクリックします。



4 「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスにチェックを付けて、言語を選択します。



5 [OK] ボタンをクリックします。

以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

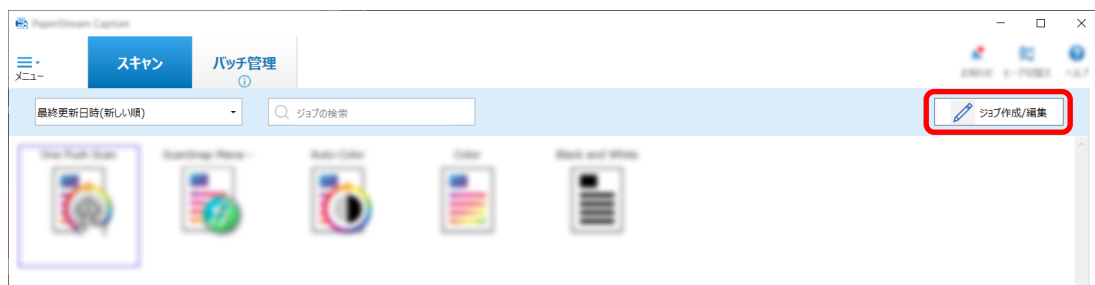


画像のファイル名に連番を付ける

[ファイル名オプション] ボタンなどで設定したファイル名の定義に、カウンターオプションで設定した連番を加えると、ファイル名の重複を防ぐことができます。

ここでは、カウンター設定で、連番を定義する手順を説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「カウンターオプション」画面を開きます。

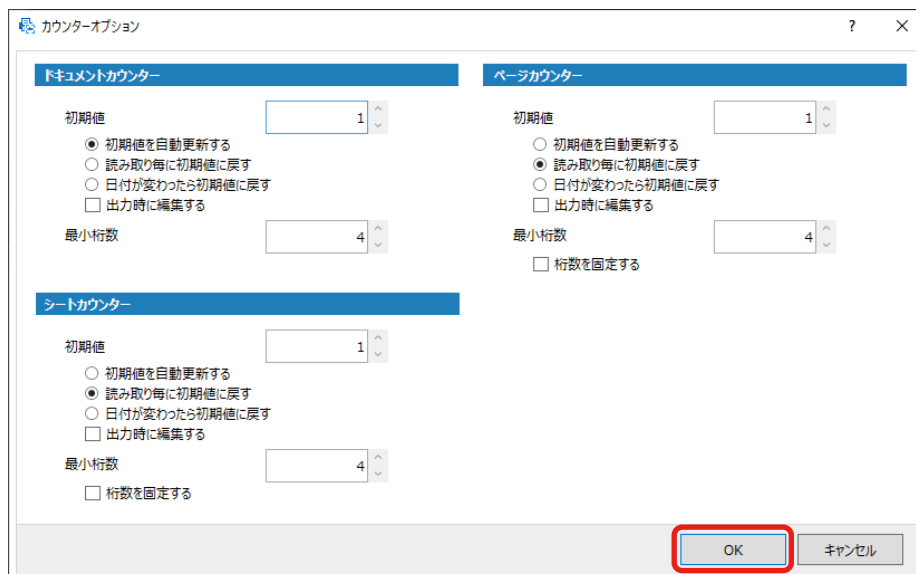
- かんたん作成の場合
 - a 「出力先設定」タブの「出力先」を選択して、「ファイル名オプション」ボタンをクリックします。
 - b 「ファイル名オプション」画面で、[カウンターオプション] ボタンをクリックします。
- こだわり作成の場合
 - 「出力先設定」タブを選択して、「カウンターオプション」ボタンをクリックします。

4 カウンターおよびファイル名の付与方法を検討します。

- 任意の文字 + (シートカウンター) + ページカウンター
次のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。
 - Windows Bitmap
 - Tagged Image File Format
 - JPEG2000 File
 - JPEG File
 - SinglePage PDF File
 - SinglePage PDF/A File
 - Portable Network Graphics
- 任意の文字 + ドキュメントカウンター
次のファイル形式を選択した場合によく使われる付与方法です。
 - MultiPage Tagged Image File Format
 - PDF File
 - PDF/A File
 - リッチテキスト形式
 - Word 文書
 - Excel 文書

- PowerPoint 文書

5 使用するカウンターの項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。



PaperStream Capture の「出力先設定」タブに戻ります。

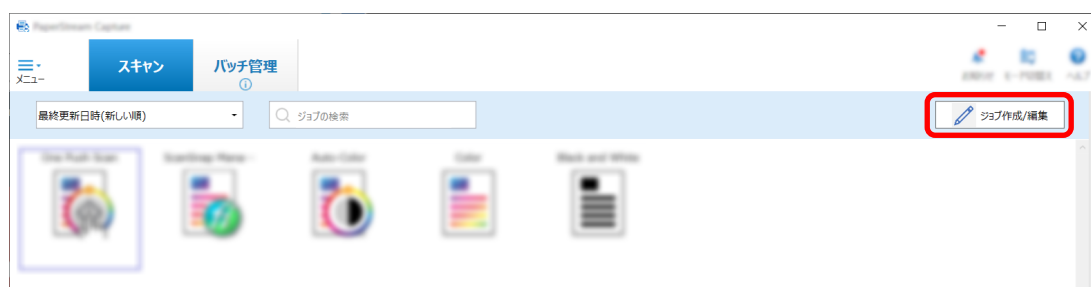
6 [保存] ボタンをクリックします。

読み取った原稿内のバーコードの情報を抽出する

スキャン画像からバーコードを読み取って、バーコードの情報をファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

ここではこだわり作成で、バーコードの情報を読み取る手順を説明します。

- 1 検出するバーコードを印刷した原稿を用意します。
- 2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 3 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。
- 4 「データ抽出設定」タブを選択して、[追加] ボタンをクリックします。
- 5 フィールド属性を設定します。

a 「名前」を入力します。

- b 「種別」で「バーコード」を選択します。
- c 「検出エリア」で「エリア定義」を選択します。
- d [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。



6 スキャナーに原稿を 1 枚セットして、スキャンボタンをクリックします。

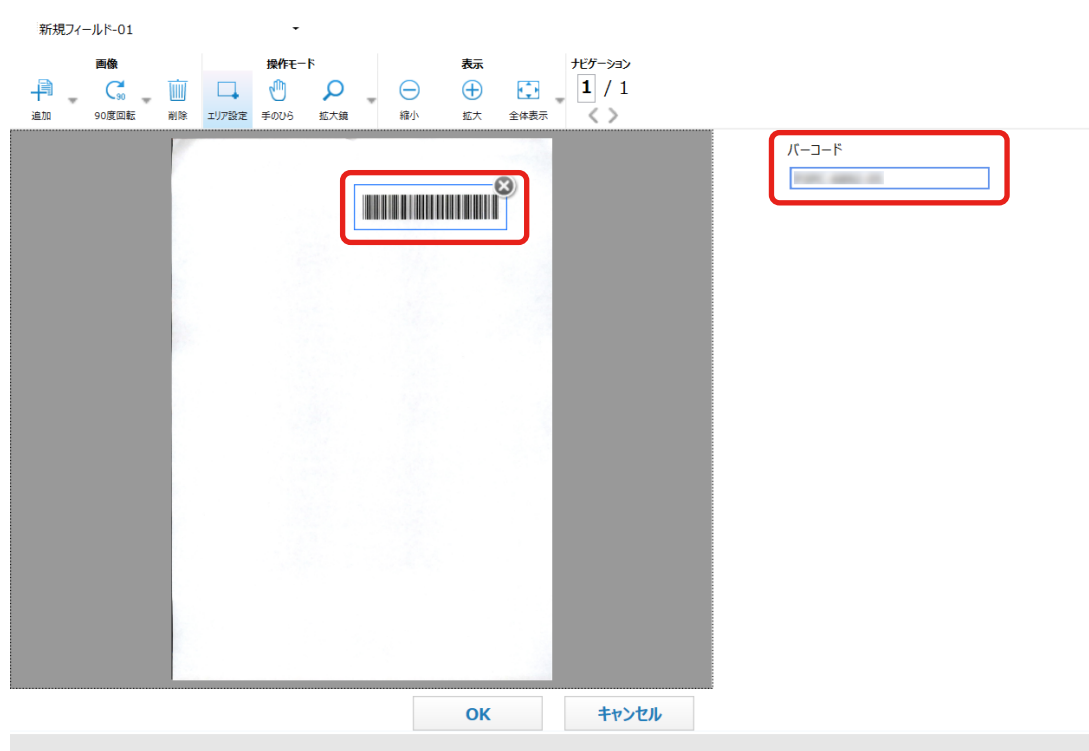
読み取ったスキャン画像が表示されます。

7 バーコードとして読み取るエリアを設定します。

読み取るバーコードの範囲をマウスの左ボタンをクリックしながら選択します。

選択枠の「x」をクリックすると枠が消え、選択範囲を変更できます。

認識されると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。



8 [OK] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture の「データ抽出設定」タブ画面に戻ります。

- 9 [保存] ボタンをクリックします。
- 10 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。
- 11 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。
- 12 原稿を読み取ります。
原稿を読み取る (バッチスキャンモード) (68 ページ)
- 13 読み取った画像を確認します。
「スキャン」画面 (確認 / 編集時) で、読み取った画像およびバーコードの認識結果を確認します。
必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

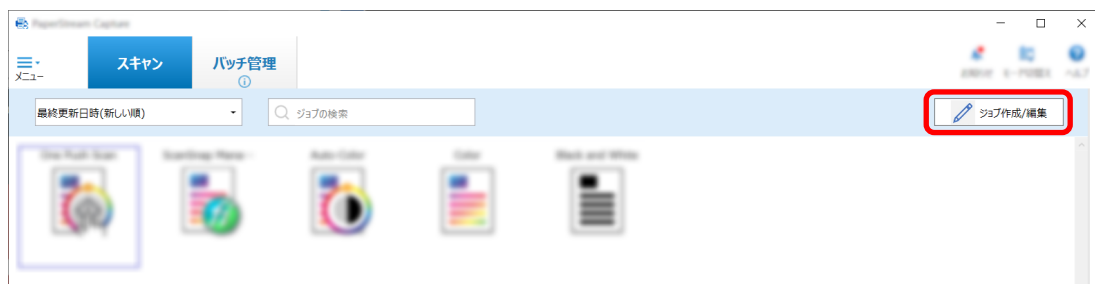
読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する

ゾーン OCR 機能を使用すると、原稿の特定した領域で OCR が実行され、認識した文字列を、ファイル名やフォルダー名として活用したり、インデックス情報として出力したりできます。

ここでは、文字列の情報を読み取る手順を説明します。

基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#)を参照してください。

- 1 ゾーン OCR に使用する言語を印刷した原稿を用意します。
- 2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



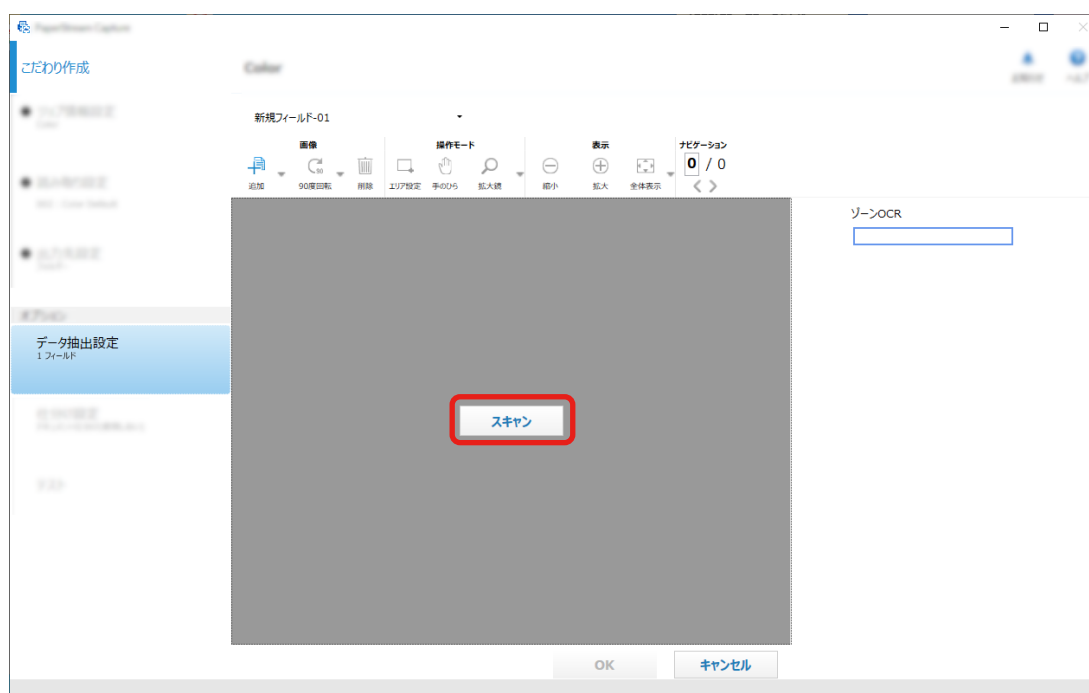
- 3 使用するジョブの「データ抽出設定」タブを開きます。
- 4 「フィールドリスト」の「追加」をクリックします。
- 5 「フィールド属性」の「種別」で「ゾーン OCR」を選択します。
- 6 使用する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。

7 [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。



8 スキャナーに、手順 1 で用意した原稿を 1 枚セットします。

9 [スキャン] をクリックします。

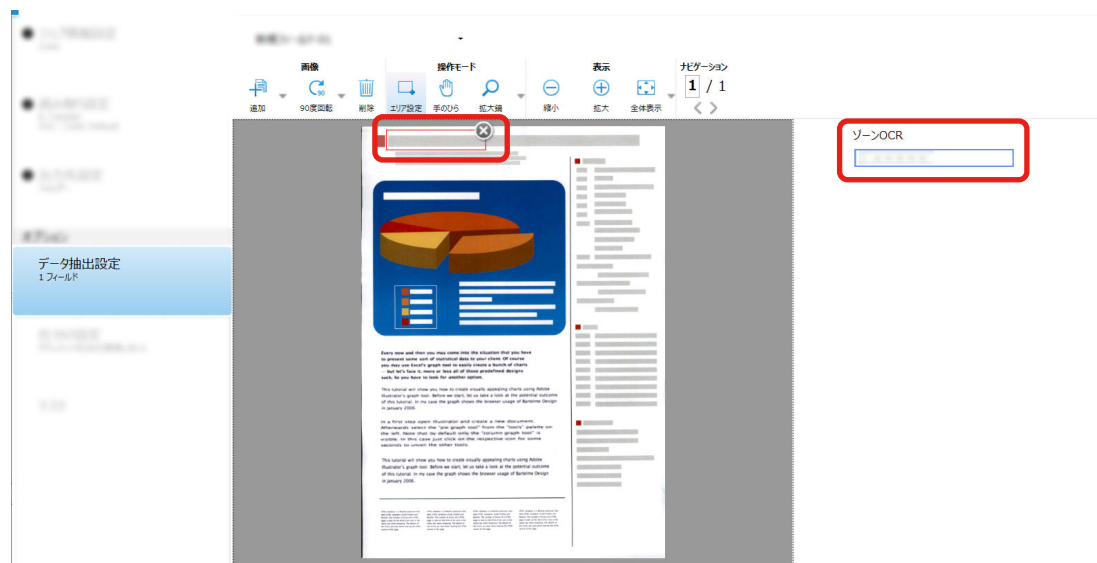


10 読み取った画像上で、ゾーン OCR の認識領域をドラッグして選択します。

フィールドパネルに、選択した領域でのゾーン OCR の認識結果が表示されます。選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン () をクリックすると、選択を解除できます。

選択した領域は、赤色の枠囲みで表示されます。



PaperStream Capture Pro の場合、手順 6 で選択した「言語」が英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、またはインドネシア語の場合、認識する文字の種別と文字数を指定する領域が表示されるので、種別をドロップダウンリストから選択し、必要に応じて文字数を指定します。

認識領域の編集は、ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリックすると、終了できます。

11 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

12 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

13 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

14 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

15 原稿を読み取ります。

詳細は、[原稿を読み取る（バッチスキャンモード）（68 ページ）](#)を参照してください。

16 読み取った画像を確認します。

「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、読み取った画像およびゾーン OCR の認識結果を確認します。必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

ヒント

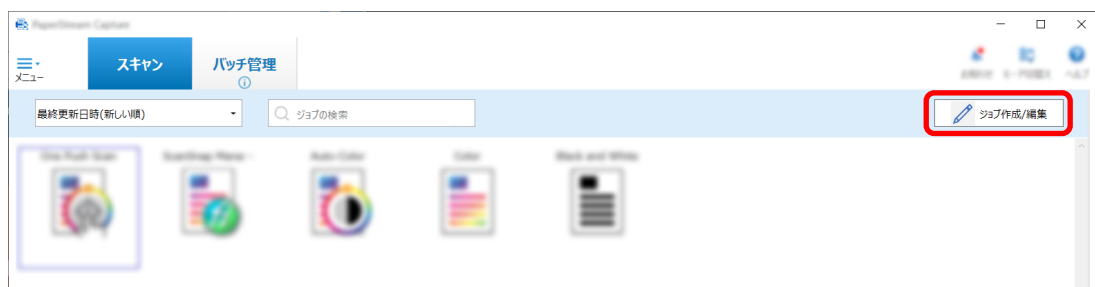
- ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスの左ボタンを長押ししても、認識領域を編集できます。
また、認識領域の編集は、以下の方法で終了できます。
 - ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリック
 - ビューアー内にマウス ポインターを表示させて、マウスを右クリック

読み取った原稿内の文字列やバーコードの情報をインデックスファイルに出力する

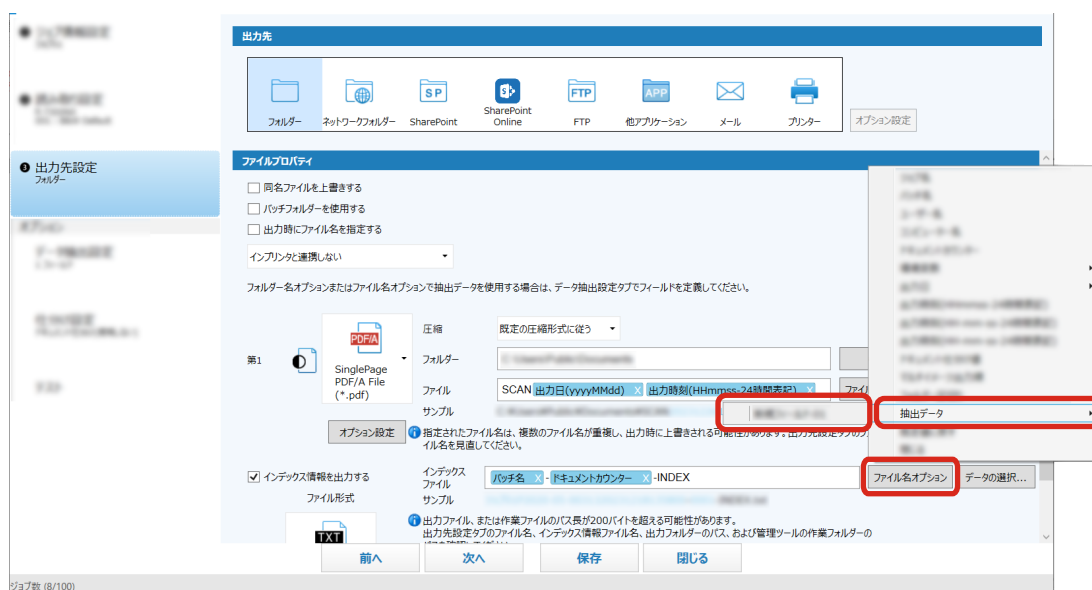
読み取った原稿内のバーコードの情報を抽出する (116 ページ) および読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する (118 ページ) で読み取った抽出データ (文字情報、バーコードなど) を、インデックスファイルに出力できます。

ここではこだわり作成で、インデックスファイルに出力する項目を選択し、インデックスファイルを出力する設定手順を説明します。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



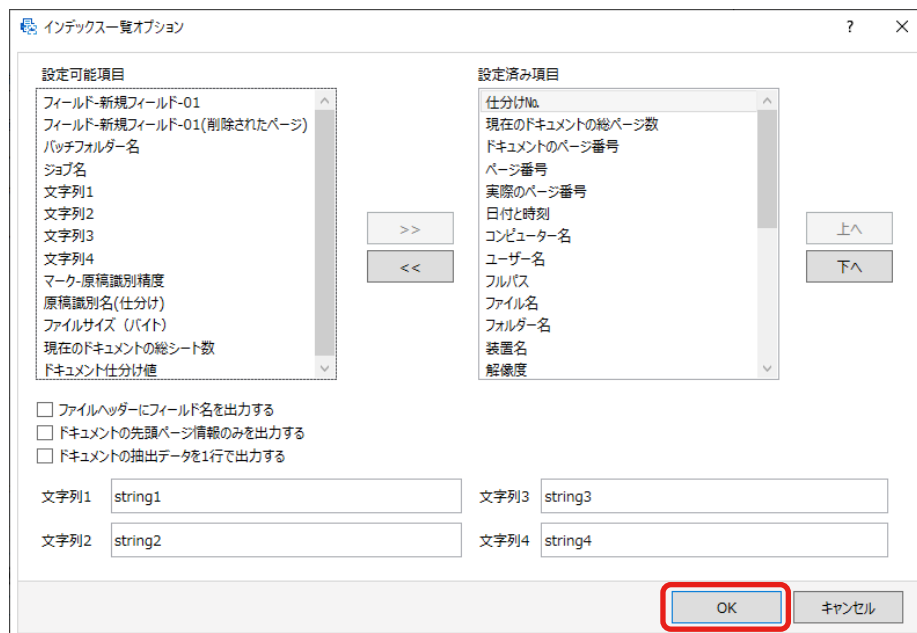
- 2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。
- 3 「出力先設定」タブを選択して、「インデックス情報を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。
- 4 「ファイル形式」でインデックス情報ファイルのファイル形式を選択します。
- 5 「インデックスファイル」の [ファイル名オプション] ボタンをクリックして、「抽出データ」でフィールド名を選択します。



- 6 インデックスファイルに出力する項目を設定します。
 - a 「インデックスファイル」の [データの選択] ボタンを選択します。

インデックス一覧オプション画面が表示されます。

- b 設定済み項目で不要な項目を選択し、[<<] ボタンをクリックして、設定可能項目側へ移動します。
- c 設定可能項目で必要な項目を選択し、[>>] ボタンをクリックして、設定済み項目側へ移動します。
- d 項目を選択し、[上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックして、インデックスファイルに出力する順序を設定します。
- e インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に指定していて、項目名を出力したい場合は、「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックスにチェックを付けます。
- f [OK] ボタンをクリックします。



PaperStream Capture の「出力先設定」タブに戻ります。

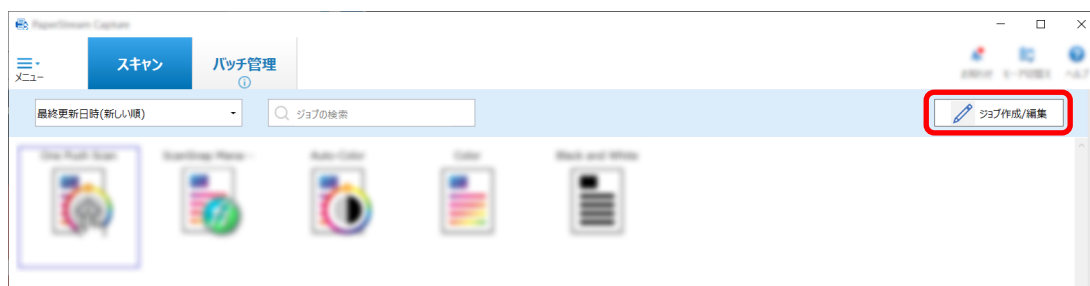
- 7 インデックス情報ファイルの出力方法を「ドキュメント毎に 1 ファイル」または「バッチ毎に 1 ファイル」から選択します。
- 8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

読み取った原稿内のバーコードの情報をファイル名やフォルダー名に使用する

読み取った原稿内のバーコードの情報を抽出する (116 ページ) で読み取ったバーコードの認識結果を使って、ファイル名やフォルダー名に使用する手順を説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

4 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンまたは [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。

5 表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用するフィールド名を選択します。



「フォルダー」または「ファイル」の入力域にタグ形式で追加されます。

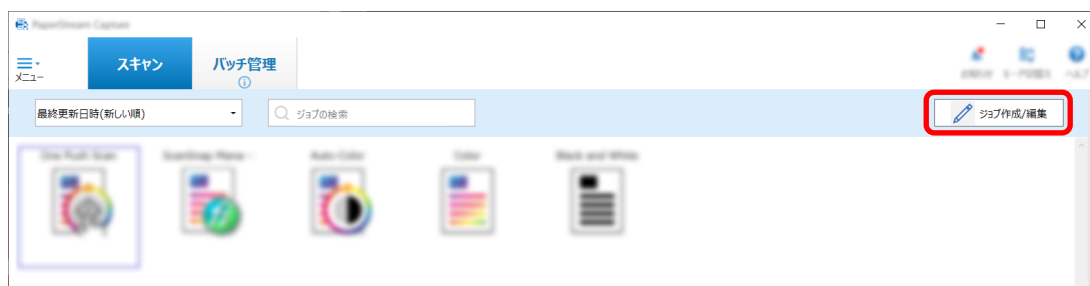
6 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

読み取った原稿内の文字列をファイル名やフォルダー名に使用する

読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する (118 ページ) で読み取ったゾーン OCR の認識結果を使って、ファイル名やフォルダー名に使用する手順を説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 2 使用するジョブの「データ抽出設定」タブ (229 ページ)を開いて、ゾーン OCR 機能を設定します。**
 読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する (118 ページ)を参照し、設定の保存まで実施してください。
 ゾーン OCR を使って原稿を分割し、その認識結果をファイル名に指定したい場合は、読み取った原稿内の文字列を使用して画像ファイルを自動で仕分ける (125 ページ)を参照し、設定の保存まで実施してください。

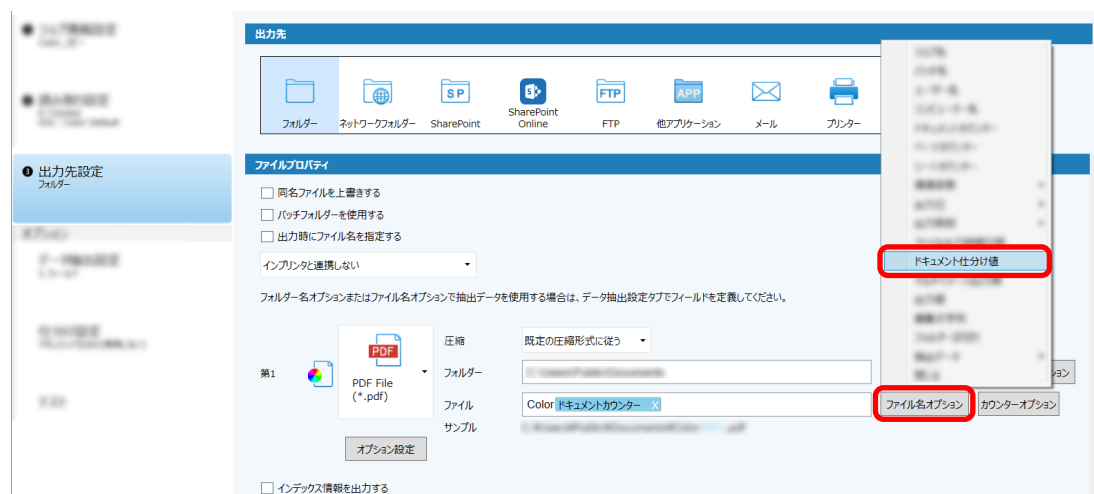
3 「出力先設定」タブを開きます。

4 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンまたは [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。

表示されたメニューから、「抽出データ」をクリックして、使用するフィールド名を選択します。



ゾーン OCR を使って原稿を分割し、その認識結果をファイル名に指定したい場合は、ファイル名の入力域の横にある【ファイル名オプション】ボタンをクリックし、表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」を選択してください。



5 【保存】ボタンをクリックし、設定を保存します。

6 【閉じる】ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

7 【前の画面に戻る】ボタンをクリックします。

8 原稿を読み取ります。

原稿を読み取る (バッチスキャンモード) (68 ページ)

9 読み取った画像を確認します。

「スキャン」画面 (確認 / 編集時) (282 ページ)で、読み取った画像およびゾーン OCR の認識結果を確認します。

必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

重要

- 同じジョブを使って読み取ると、ファイル名が重複する場合があります。以下を設定すれば、ファイルを誤って上書きしないようにできます。
 - 【カウンター】ボタンをクリックし、表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「初期値を自動更新する」を選択
 - 出力先フォルダーが読み取りごとに変わるよう、出力先フォルダーのフォルダー名オプションを設定

関連項目

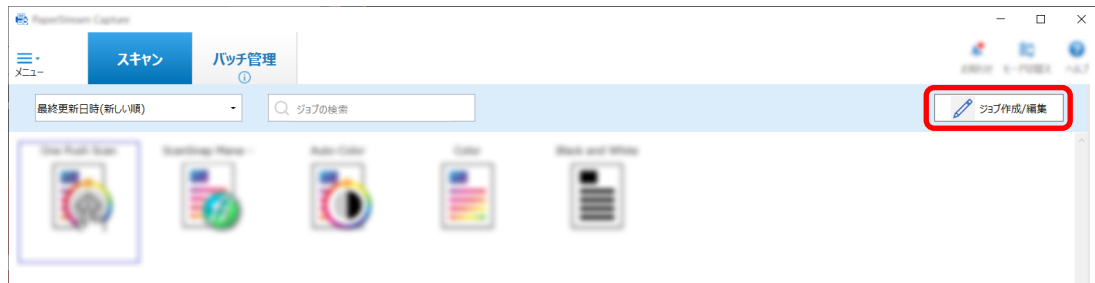
[ゾーン OCR の検知条件 \(495 ページ\)](#)

読み取った原稿内の文字列を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

ゾーン OCR の認識結果を利用して、連続して読み取ったスキャン画像のファイルを分割できます。

ここではこだわり作成で、ゾーン OCR の認識結果の文字列を使用して、複数のファイルに分割し、文字列ごとに出力先フォルダーに振り分ける手順を説明します。

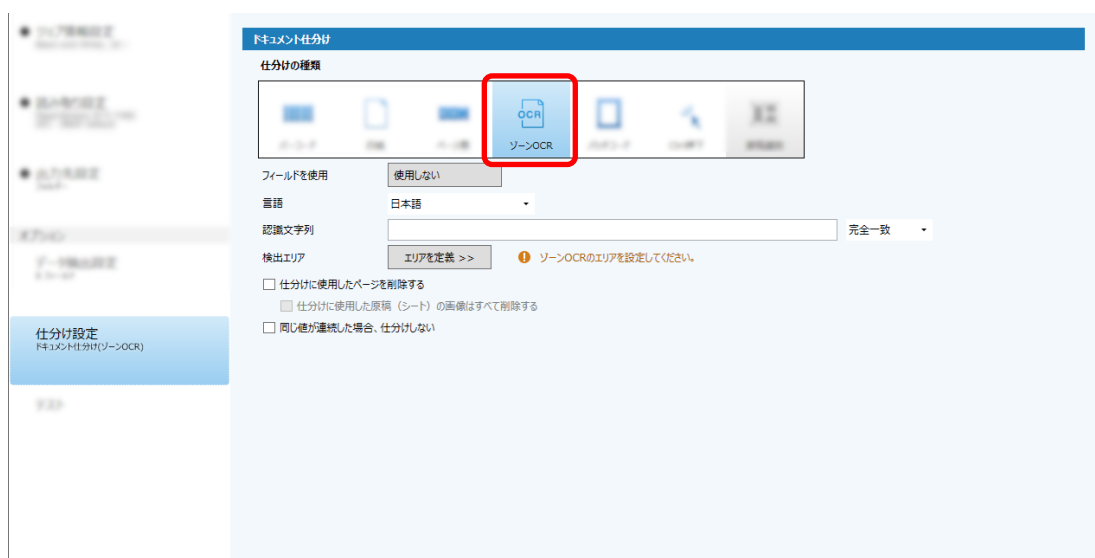
1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「仕分け設定」タブを選択します。

4 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択します。



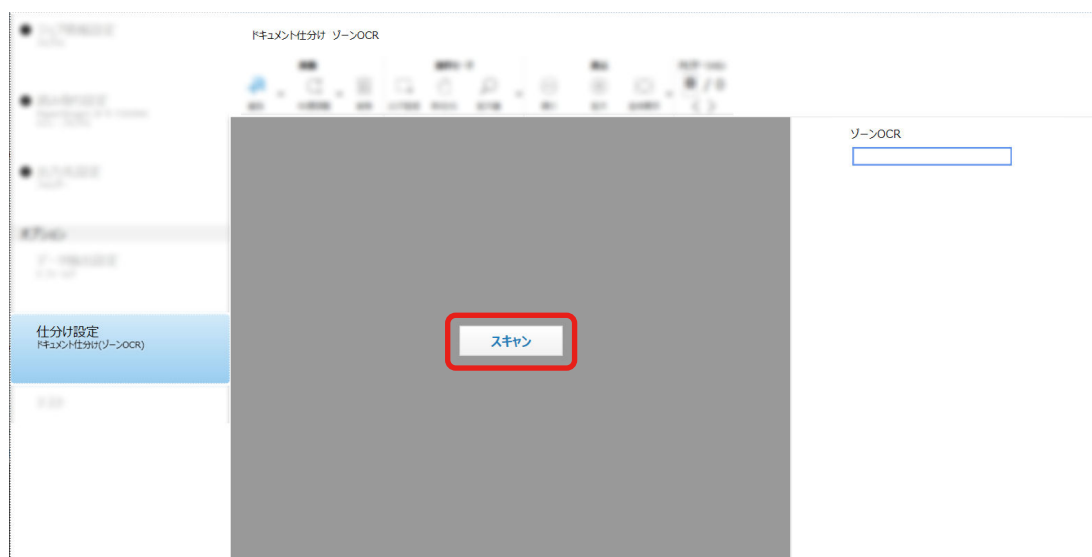
5 「ドキュメント仕分け」の各項目を設定します。

- a 認識する言語を「言語」のドロップダウンリストから選択します。
- b 認識する文字列を「認識文字列」に入力し、入力域の横にあるドロップダウンリストから認識の条件を選択します。

c [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。



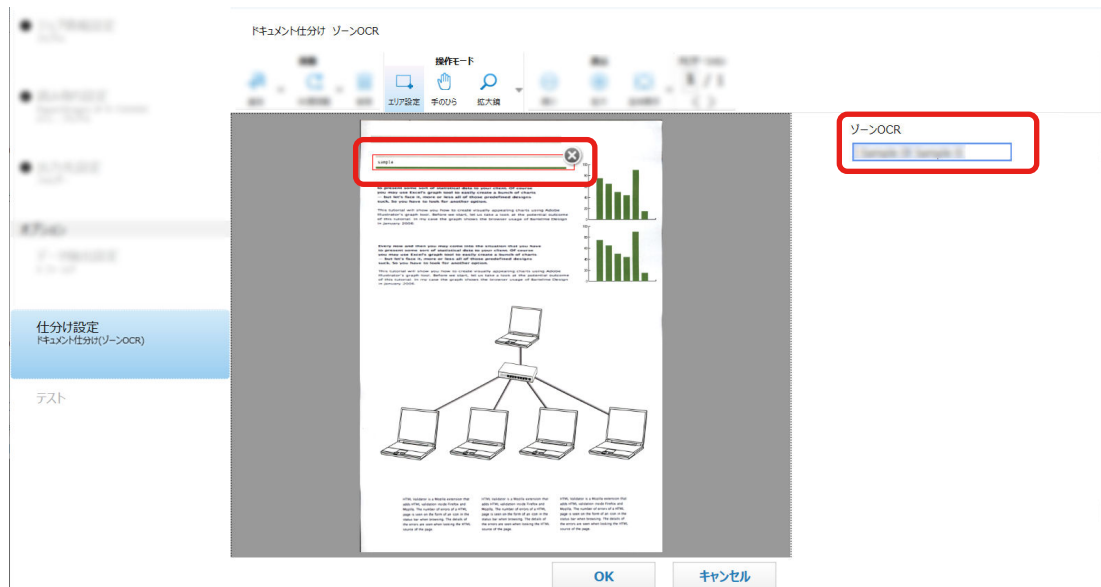
d スキャナーに原稿を 1 枚セットして、[スキャン] をクリックします。



e 読み取った画像上で、ゾーン OCR の認識領域をドラッグして選択します。
 選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン () をクリックすると、選択を解除できます。

選択した領域は、赤色の枠囲みで表示されます。



フィールドパネルに、選択した領域でのゾーン OCR の認識結果が表示されます。

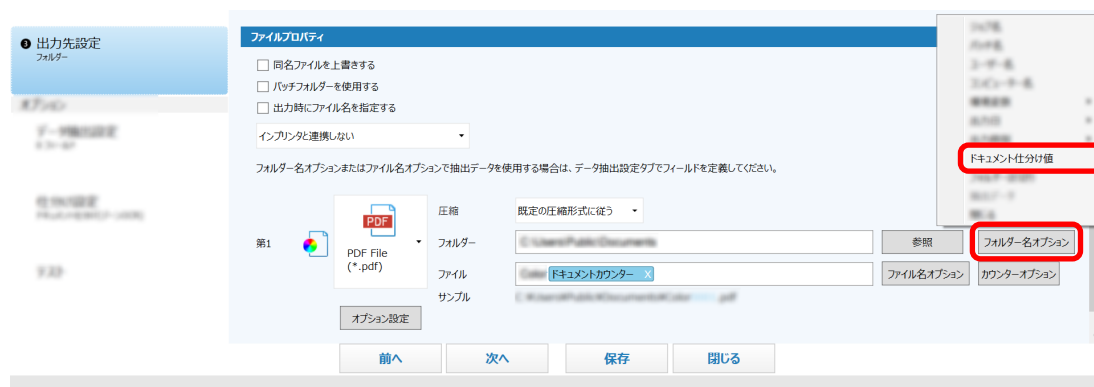
f 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

6 「出力先設定」タブをクリックします。

7 「出力先」で、読み取った画像の出力先をクリックします。

8 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンまたは [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。

9 表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」を選択します。



「フォルダー」または「ファイル」に選択した領域名が追加されます。

10 [保存] ボタンをクリックします。

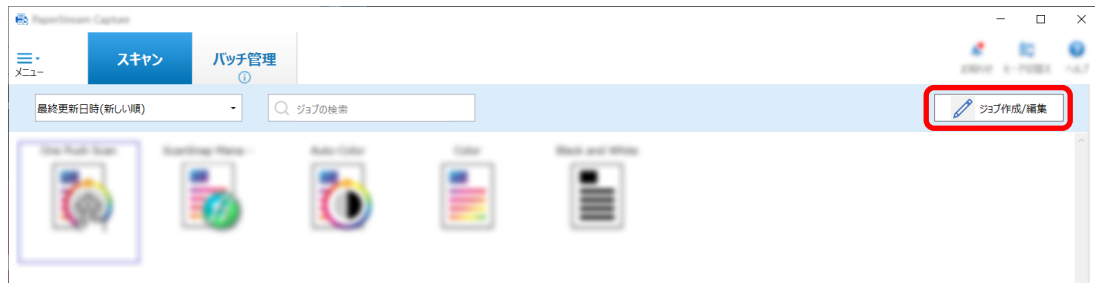
ジョブの設定が保存されます。

バーコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける

バーコードを利用して、連続して読み取ったスキャン画像のファイルを分割できます。

ここではこだわり作成で、バーコードをファイル分割の目印（仕分け）として複数のファイルに分割し、バーコードごとに出力先フォルダーに振り分ける手順を説明します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「仕分け設定」タブを選択します。

4 「仕分けの種類」で「バーコード」を選択します。



5 「仕分けに使用するバーコードの種類」から検知するバーコードの種類を 1 つ以上選択します。


6 「エリア定義」を選択して、[エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。

認識領域の設定画面が表示されます。

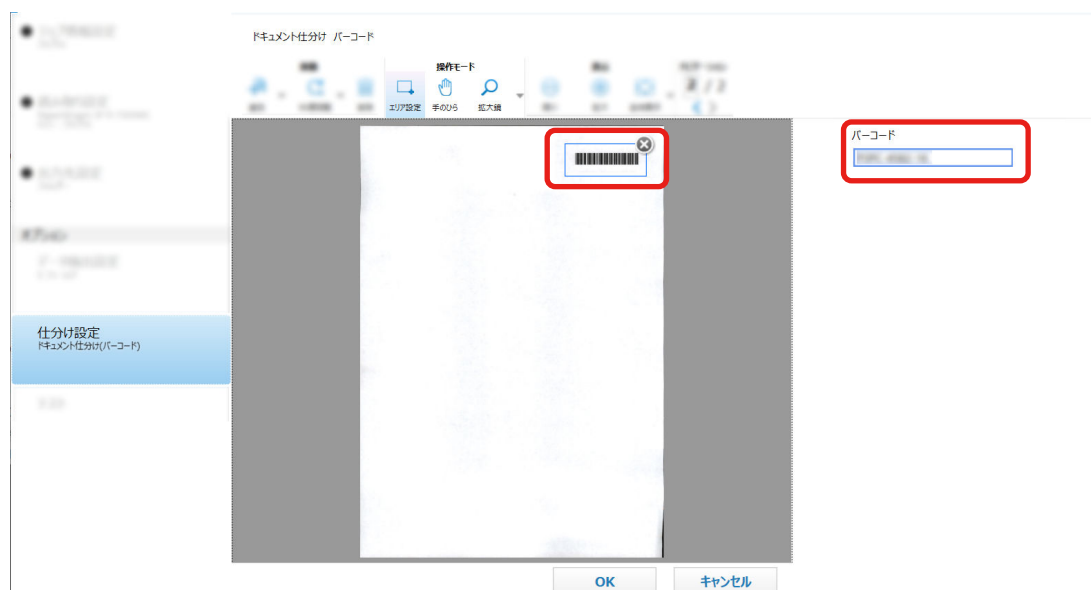
7 スキャナーに原稿を 1 枚セットして、[スキャン] をクリックします。

8 読み取った画像上で、バーコードを検出する領域をドラッグして選択します。

選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン () をクリックすると、選択を解除できます。

選択した領域は、青色の枠囲みで表示されます。



フィールドパネルに、選択した領域でのバーコード認識結果が表示されます。


- 9 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。
- 10 「出力先設定」タブをクリックします。
- 11 「出力先」で、読み取った画像の出力先をクリックします。
- 12 「ファイルプロパティ」で [フォルダー名オプション] ボタンをクリックします。
- 13 表示されたメニューから、「ドキュメント仕分け値」を選択します。



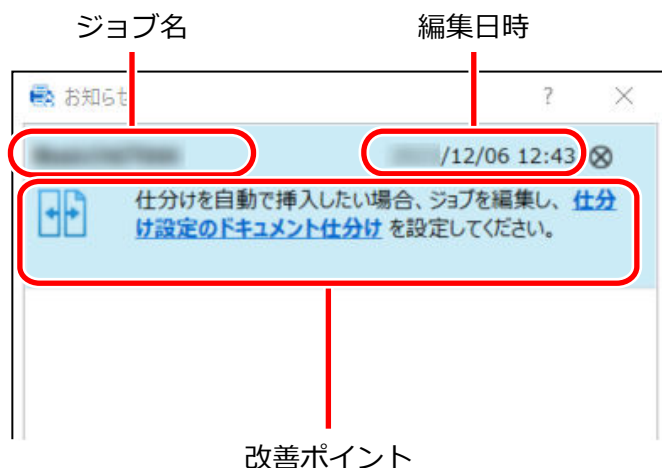
- 14 [保存] ボタンをクリックします。
ジョブの設定が保存されます。

ジョブの改善ポイントを確認する

読み取りしあとの編集操作から、ジョブの設定で自動化できる作業を判断し、設定の改善ポイントがある

場合は、メニューの [お知らせ] ボタンの表示を  にしてお知らせします。

[お知らせ] ボタンをクリックすると「お知らせ」画面が表示されます。
画面に表示されている改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。
以下は表示例です。

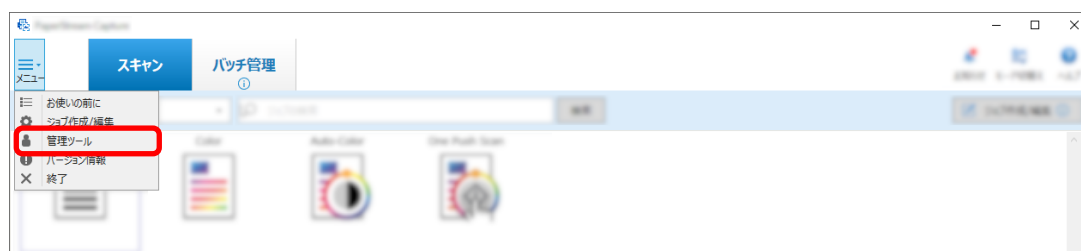


「お知らせ」画面は、「こだわり作成」画面にある「テスト」タブで行った読み取りテストでも、設定の改善ポイントがあると表示されます。

使い方に合わせた読み取り方法を選択する

PaperStream Capture では使い方に合わせて読み取り方法を選択できます。
「バッチスキャンのみを使用する」または「シンプルスキャンモードのみを使用する」を選択すると、どちらかの読み取り方法だけを使用して読み取りができます。
読み取り方法を選択するためのポイントを以下に示します。

- 1 メニューの  から、「管理ツール」を選択します。



「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブが表示されます。

- 2 「モード切替え」で読み取り方法を以下から選択します。

- バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する
- バッチスキャンのみを使用する
- シンプルスキャンモードのみを使用する

ヒント

- 「バッチスキャンのみを使用する」または「シンプルスキャンモードのみを使用する」を選択した場合、[モード切替え] ボタンは非表示になります。
- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を終了しても、前回設定した読み取り方法は継続されます。

3 [保存] ボタンをクリックします。

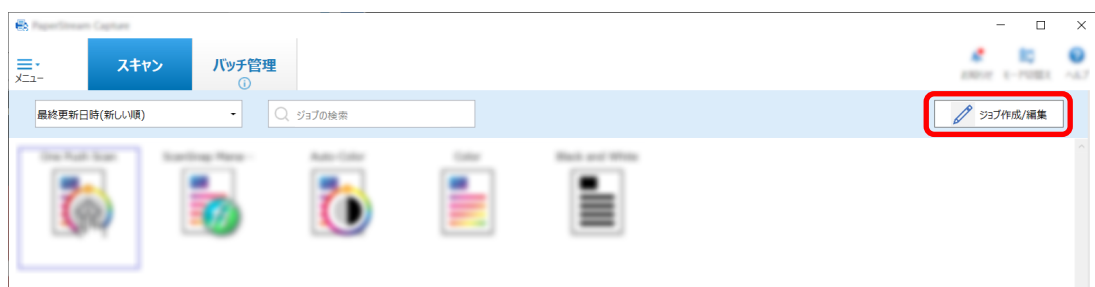
読み取り方法の設定が保存されます。

確認が必要な画像にマークを付ける

読み取った画像の問題が検出された場合、該当の画像にマークを付けて確認できます。

ここでは、バッチスキャンモードのこだわり作成で、新規のジョブを参照作成し、確認が必要な画像にマークを付けるためのポイントを以下に示します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「読み取り設定」タブを選択します。

4 「画像チェック」で、読み取った画像に対してマークを付けて確認したい項目を、以下から選択します。

- 折れ/破れ
原稿の折れや破れなどの異常を検出した場合、マークを付けます。
- 重送
原稿の重なりを検出した場合、マークを付けます。
- 白紙
原稿の白紙ページを検出した場合、マークを付けます。
- 原稿識別精度
PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの「自動プロファイル選択」機能を使って識別した原稿で、識別精度が低い画像を検出した場合、マークを付けます。
「読み取り設定」の「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合、有効になります。

5 [保存] ボタンをクリックします。

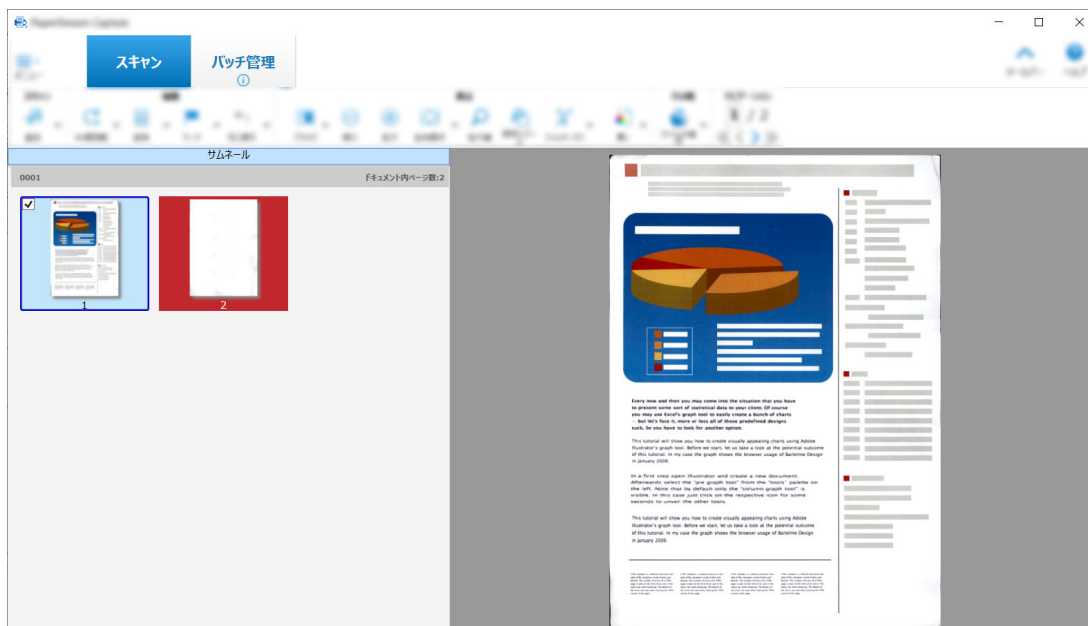
ジョブの設定が保存されます。

重要

- 「画像チェック」で確認したい項目を選択かつ「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択している場合は、検出された画像の確認を行う画面を表示するために、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスのチェックを付けてください。
- 「画像チェック」の設定は、PaperStream IP ドライバーのマルチフィード検出やブランクページ検出の設定より優先されます。

ヒント

- 「画像チェック」の設定項目が検出された場合、サムネールの背景とビューアーの枠にマークとして色が付きます。
「画像チェック」の設定項目に対応するマークの色は、以下のとおりです。
 - 折れ/破れ：黄色
 - 重送：赤色
 - 白紙：黒色
 - 原稿識別精度：紫色（PaperStream IP（TWAIN）ドライバーだけ対応）
 例えば、「画像チェック」で「重送」を選択し、原稿の重なりを検出した場合、以下のようなマークが付けられます。



インプリンタと連携して原稿に印字する

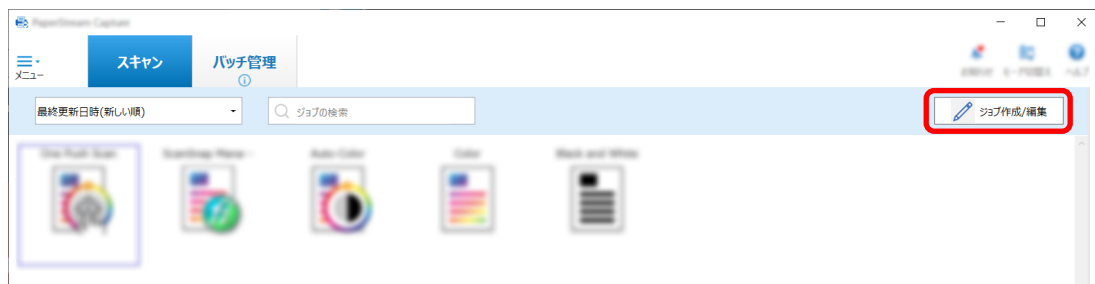
インプリンタと連携して、読み取った原稿に以下を印字できます。

- ページカウンター

- シートカウンター
- バッチフォルダー名
- バッチフォルダー名とページカウンター
- バッチフォルダー名とシートカウンター

インプリンタで印字すると、印字の有無で読み取った原稿とそうでない原稿を区別したり、印字されたバッチフォルダー名から読み取った画像が格納されているフォルダーを参照して確認したりできます。ここでは、バッチスキャンモードで、新規のジョブを参照作成し、インプリンタと連携してページカウンターを読み取った原稿に印字するためのポイントを以下に示します。

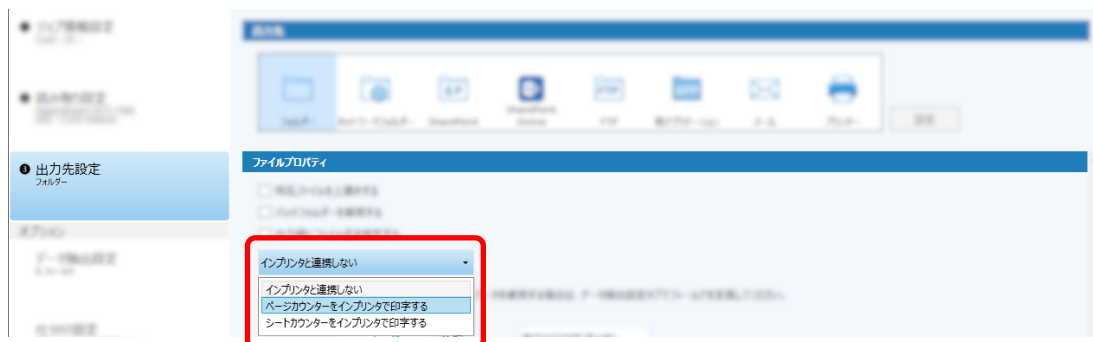
1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [参照作成] ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

4 「ファイルプロパティ」でインプリンタとの連携（以下の画像の該当箇所）をクリックし、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択します。



5 「ファイル」の入力域の右側にある [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。
メニューが表示されます。

6 表示されたメニューから「ページカウンター」を選択します。

「サンプル」にファイル名オプションに沿ったファイル名が自動的に表示されます。

7 [閉じる] ボタンを選択し、メニューを閉じます。

8 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

重要

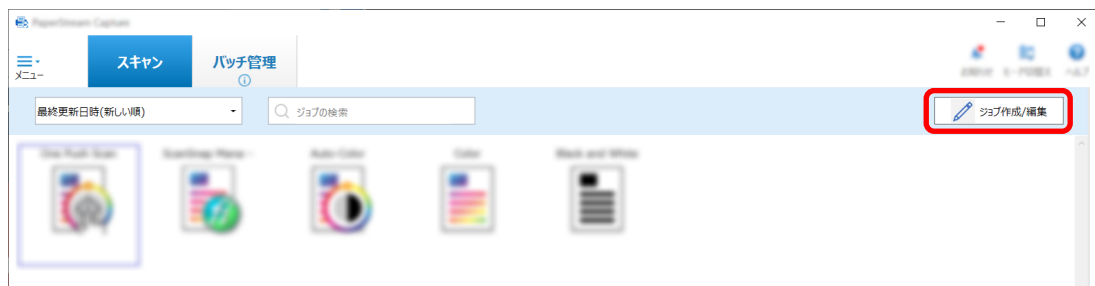
- PaperStream Capture Pro でインプリンタと連携するとき、バッチスキャンモードで、シングルステーションまたはマルチステーションのスキャン&インデックスの場合は、ページカウンターを原稿に印字できます。
- 以下の場合、ページカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。
 - 白紙削除やマルチイメージ出力などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
 - 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
 - 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
 - 読み取りしたあと、出力する前に、ページカウンターやページの出力順を変更した場合
- PaperStream IP ドライバー側で指定した印字文字列にカウンターが含まれない状態で、「出力先」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した場合、印字文字列のうしろにカウンターが付加されます。インプリンタカウンターの桁数は、「カウンターオプション」画面のページカウンターの初期値が 1~5 桁の場合は 5 桁、6 桁以上の場合は 8 桁になります。
「出力先」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した状態で、PaperStream IP (ISIS) ドライバーのインプリンタの設定を無効にすると、スキャナーによっては文字列が印字されずにカウンター値だけが印字される場合があります。
- 本機能は、PaperStream IP ドライバーのデジタルエンドーサのカウンター初期値と連携しません。
- ページカウンターは出力後に更新されます。そのため、以下の条件の場合、ページカウンターの番号とインプリンタ印字番号が異なる場合があります。十分注意して運用してください。
 - ジョブの設定
 - 「出力先」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択、かつファイル名に「ページカウンター」を指定する
 - 「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「初期値を自動更新する」を選択する
 - 「読み取り設定」タブで「スキャン後すぐに出力」以外を選択する
 - 読み取り
 - 上記ジョブで読み取ったバッチジョブを一時保存または中断する
 - 同じジョブで別の読み取りを開始する
 - あとで読み取ったバッチジョブを、一時保存または中断したバッチジョブより先に出力する
- 以下の場合、「出力先」タブで「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
 - ファイル名オプションで「ページカウンター」を設定していない
 - 追加や差し替えで読み取った原稿
 - 「テスト」タブで読み取った原稿
 ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。


ほかのツールで作成した画像を画質補正して取り込む

PaperStream Capture Pro では、ジョブの設定に従って、ファイルを画質補正して取り込めます。画質補正をすることにより、認識結果を向上できます。

ファイルの取り込みは、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「アクティベーション」タブ (273 ページ)にある、「ライセンス管理」の「インポートのアクティベート」でライセンス認証をした場合に使用できる機能です。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 2 使用するジョブの「読み取り設定」タブ (173 ページ)を開きます。
- 3 「スキャナー」のドロップダウンリストから、「PaperStream IP Import」を選択します。
- 4 「読み取り設定」の [詳細設定] ボタンをクリックします。
「PaperStream IP (TWAIN) - Import」画面が表示されます。
- 5 左側のツリーペインから「インポート」を選択します。
読み取り条件の項目が表示されます。
- 6 項目をクリックすると、右側の設定ペインに設定項目が表示されるので、設定を確認し、必要に応じて変更します。
詳細は、[PaperStream IP Import の設定項目 \(182 ページ\)](#)の説明を参照してください。
設定を変更すると、画面左上に表示されているドライバープロファイル名の番号部分にアスタリスク (*) が付きます。
- 7  をクリックします。
「プロファイルの保存」画面が表示されます。
- 8 「新規保存」を選択し、プロファイル名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。
「プロファイルの保存」画面が閉じ、「PaperStream IP (TWAIN) - Import」画面の左上に表示されているドライバープロファイル名が、設定したプロファイル名に変更されます。
- 9 [OK] ボタンをクリックします。
「PaperStream IP (TWAIN) - Import」画面が閉じます。
- 10 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。
- 11 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

12 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

13 ジョブをクリックし、ファイルを取り込みます。

読み取った画像を SharePoint に出力する

読み取った画像を SharePoint に出力するためのポイントを以下に示します。

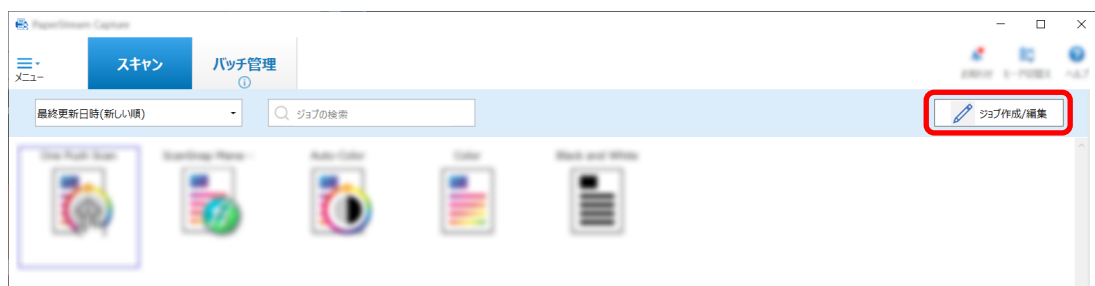
基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#)を参照してください。

1 登録先となる SharePoint に以下の項目が作成されていることを確認します。

- サイト URL
- ユーザー名
- パスワード
- ライブラリー
- コンテンツタイプ

詳細は、SharePoint のマニュアルを参照してください。

2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



3 使用するジョブの「出力先設定」タブ (188 ページ)を開きます。

4 「出力先」で「SharePoint」を選択します。

5 [設定] ボタンをクリックします。

「SharePoint オプション」画面 (198 ページ)が表示されます。

6 登録先となる SharePoint への接続情報 (サイト URL、ユーザー名、パスワード) を入力します。

Windows 認証を使用する場合は、「Windows 認証を使用する」チェックボックスにチェックを付けます。この場合、すでに「ユーザー名」と「パスワード」に入力されている情報は無効になります。

7 [接続] ボタンをクリックします。

8 「ライブラリー」でライブラリーを選択します。

9 「コンテンツタイプ」でコンテンツタイプを選択します。

10 [OK] ボタンをクリックします。

11 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

12 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

13 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

14 原稿を読み取ります。

原稿を読み取る (バッチスキャンモード) (68 ページ)

15 読み取った画像を確認します。

「スキャン」画面 (確認 / 編集時) (282 ページ)で、読み取った画像および抽出したデータを確認します。

必要に応じて、抽出データを編集したり、読み取った画像の確認を中断して一時保存したりできます。

16 読み取った画像を保存します。

読み取った画像を確認/編集する (バッチスキャンモード) (69 ページ)

ファイル名オプションを使ってファイル名を指定する

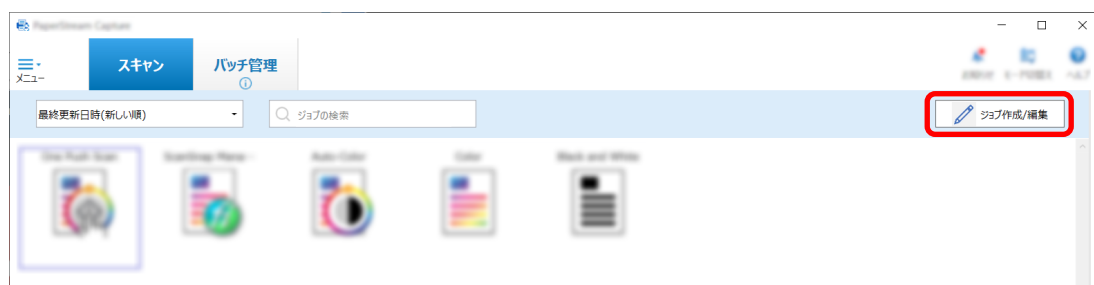
ファイル名やフォルダー名、およびインデックス情報ファイルに、規則に沿った名前を指定できます。

例えば、ファイル名に「出力日」、「ジョブ名」、「ページカウンター」を指定すると、いつ、どのようなジョブで、何ページ目かという情報が、ファイル名で判断できるようになります。

詳細は、[ファイル名オプション \(215 ページ\)](#)を参照してください。

ここでは、バッチスキャンモードのこだわり作成で、新規のジョブを参照作成し、ファイル名をファイル名オプションで指定するまでのポイントを以下に示します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「出力先設定」タブを選択します。

4 「ファイルプロパティ」で「ファイル」の入力域の右側にある [ファイル名オプション] ボタンをクリックします。

5 表示されたメニューから、指定する項目を選択します。

「サンプル」にファイル名オプションに沿ったファイル名が自動的に表示されます。

6 [閉じる] ボタンを選択し、メニューを閉じます。

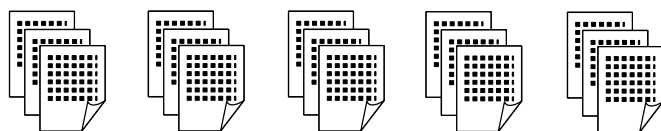
7 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

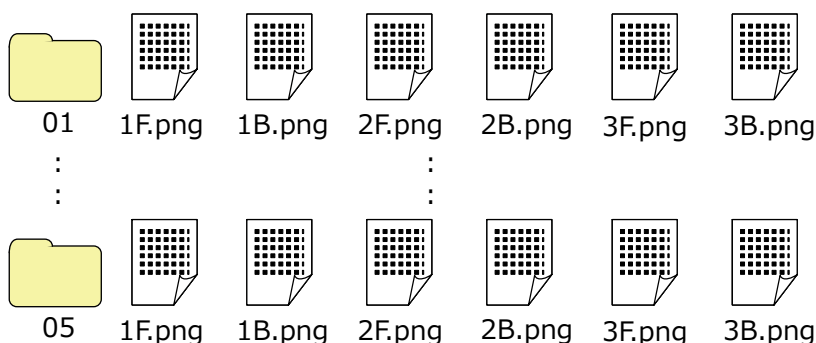
ヒント

- フォルダー名オプションまたはファイル名オプションを使って、以下のような出力例 1~3 のフォルダー名とファイル名にするには、どのように設定するかを説明します。なお、15枚の原稿を両面読み取りで読み取り、3枚1組（6ページ）で原稿分割するという前提とします。

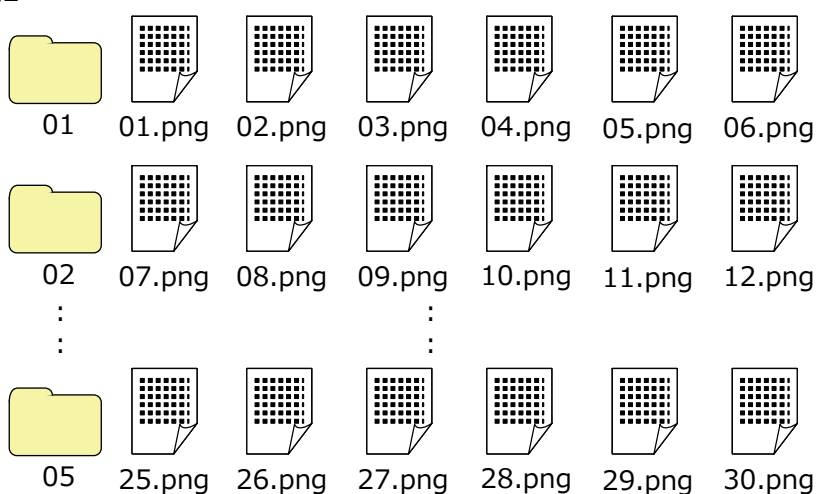
読み取り原稿例（3枚1組の原稿が5組で合計15枚の原稿）



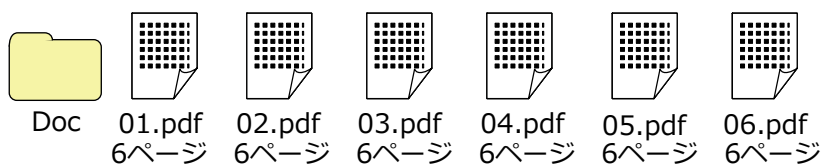
出力例1



出力例2



出力例3



「ファイル名オプション」で「ドキュメントカウンター」、「ページカウンター」および「シートカウンター」を選択した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「カウンターオプション」画面で、希望する出力になるように設定をしてください。

詳細は、[パッチコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける \(145 ページ\)](#)や[バーコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける \(128 ページ\)](#)を参照してください。

出力例 1

フォルダー名とファイル名

- フォルダー名
01、02、03、04、05
- ファイル名
1F.png、1B.png、2F.png、2B.png、3F.png、3B.png
各フォルダー内に同じファイル名のファイルが生成されます。数字は原稿の枚数を、Fは表面、Bは裏面を表しています。

どのように出力するか

- 原稿 1 組ごとにフォルダーを連番で作成し、画像ファイルを格納する
- 画像は 1 ページ 1 ファイルとし、何枚目の原稿の表面か裏面かを判別できるファイル名にする

設定内容

- ファイル形式
PNG 形式
- ファイル名
「ドキュメントカウンター」、「フォルダー区切り」、「シートカウンター」、「出力面」の順でファイル名オプションを指定します。
ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。

<Document Counter>¥<Sheet Counter><Output Side>

「<Document Counter>」は「ドキュメントカウンター」、「¥」は「フォルダー区切り」、「<Sheet Counter>」は「シートカウンター」、「<Output Side>」は「出力面」のことです。

- カウンターオプション
 - ドキュメントカウンター
「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。
 - シートカウンター
「初期値」を「1」、「読み取り毎に初期値に戻す」を選択、「最小桁数」を「1」で指定します。

出力例 2

フォルダー名とファイル名

- フォルダー名
01、02、03、04、05
- ファイル名
01.png、02.png、～略～、30.png
01 フォルダーには、01.png～06.png まで、02 フォルダーには、07.png～12.png までというように、各フォルダー内に 6 ファイルずつ格納されます。

どのように出力するか

- 原稿 1 組ごとにフォルダーを連番で作成し、画像ファイルを格納する
- 画像は 1 ページ 1 ファイルとし、フォルダーに関係なく、全ページ数が確認できるファイル名にする

設定内容

- ファイル形式
PNG 形式
- ファイル名
「ドキュメントカウンター」、「フォルダー区切り」、「ページカウンター」の順でファイル名オプションを指定します。
ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。

<Document Counter>¥<Page Counter>

「<Document Counter>」は「ドキュメントカウンター」、「¥」は「フォルダー区切り」、「<Page Counter>」は「ページカウンター」のことです。

- カウンターオプション
 - ドキュメントカウンター
「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。
 - ページカウンター
「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。

出力例 3

フォルダー名とファイル名

- フォルダー名
Doc
- ファイル名
01.pdf、02.pdf、03.pdf、04.pdf、05.pdf
各 PDF ファイルは、6 ページで形成されます。

どのように出力するか

原稿 1 組分を 1 ファイルとし、連番のファイル名で、すべて同じ「Doc」フォルダーに格納する

設定内容

- ファイル形式
PDF 形式
- ファイル名
ファイル名の入力域に「Doc」を入力してから、「ファイル名オプション」で「フォルダー区切り」、「ドキュメントカウンター」の順でファイル名オプションを指定します。
ファイル名の入力域には、以下のように表示されます。

Doc¥<Document Counter>

「¥」は「フォルダー区切り」、「<Document Counter>」は「ドキュメントカウンター」のことです。

- カウンターオプション

● ドキュメントカウンター

「初期値」を「1」、「初期値を自動更新する」を選択、「最小桁数」を「2」で指定します。

読み取る原稿の枚数が多い場合は、最小桁数を大きくしてください。例えば、連番で 1,000 ファイルを出力する場合は、最小桁数を 4 桁以上にしてください。

抽出データを設定して読み取った情報を使用する

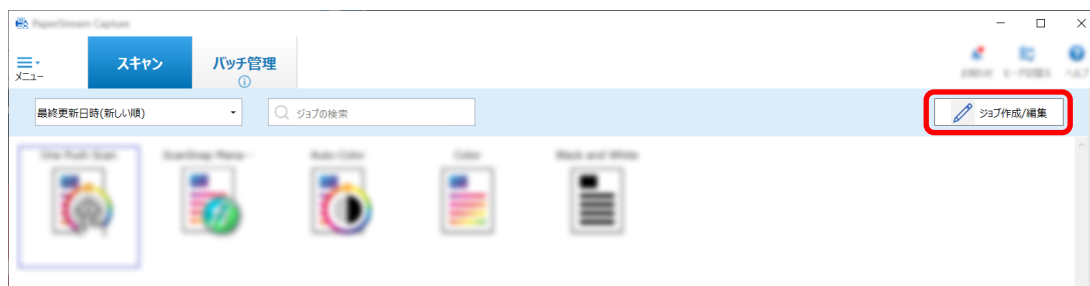
抽出データを設定すると、原稿に記載された以下の情報を読み取って、認識した文字列をファイル名やフォルダー、および PDF の検索キーワードに使用できます。

- ゾーン OCR
 - バーコード
 - パスポート
(MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号)
 - ID カード(TD1)
(MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段、発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名)
 - ID カード(TD2)
(MRZ 上段、MRZ 下段、発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報)
- ここでは、バッチスキャンモードで、新規のジョブを参照作成し、抽出データを設定するポイントを以下に示します。

ヒント

- PaperStream Capture Pro では、他の情報を使用した抽出データの設定ができます。詳細は、[抽出データの高度な設定 \(153 ページ\)](#)を参照してください。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 「データ抽出設定」タブを選択します。

4 「フィールドリスト」でフィールドを追加し、「フィールド属性」を設定します。

PaperStream Capture Pro の場合、併せて「フィールドルール」および「適用ページ」を設定します。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」および「ID カード(TD2)」の選択は不可となり、グレイアウトされます。

5 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

重要

- PaperStream Capture や PaperStream Capture Pro でパスポートまたは ID カード (TD1 および TD2 に準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone=MRZ) をフィールドの認識領域として自動的に指定します。
ただし、PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用してパスポートや ID カード (TD1 および TD2 に準拠) を読み取ると、自動で MRZ を検知できません。パスポートや ID カード (TD1 および TD2 に準拠) を読み取ったあと、「スキャン」画面 (編集/確認) の「エリア設定」で、情報が含まれている MRZ の段 (パスポートは 44 桁、ID カード (TD1) は 30 桁、ID カード (TD2) は 36 桁) を認識領域として指定してください。

白紙を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では、白紙を使った画像ファイルの仕分け機能をサポートしています。

本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが分割されます。指定した原稿単位でページが分割された結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。

ここでは、白紙原稿を使い、画像ファイルを仕分けるためのポイントを以下に示します。

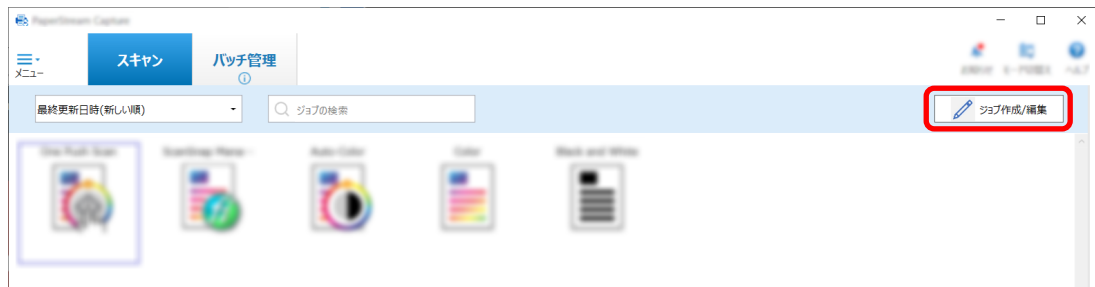
基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#)を参照してください。

1 白紙原稿を仕分け用原稿として用意します。

重要

- 白紙原稿を複数回使用すると、紙のよごれにより認識精度が低下する場合があります。正しく認識しない場合や、紙がよごれた場合は、新しい白紙原稿を使用してください。

2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。

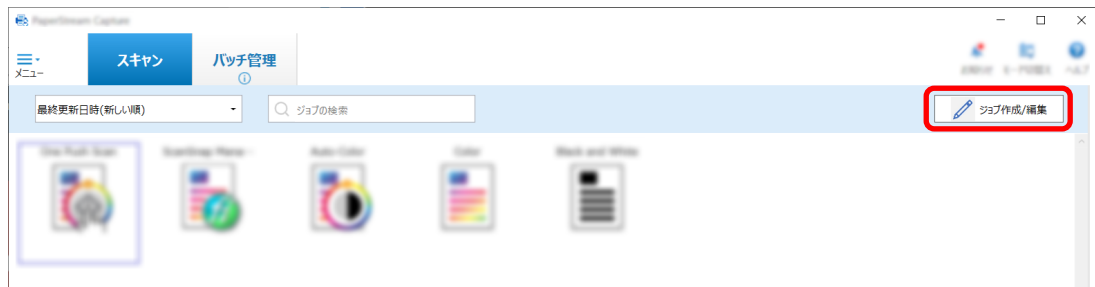


- 3 使用するジョブの「仕分け設定」タブ (249 ページ)を開きます。
- 4 「仕分けの種類」で「白紙」をクリックします。
- 5 仕分け用原稿として使用する白紙原稿の画像を保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。
- 6 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。
- 7 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。
- 8 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。
- 9 読み取る原稿を用意し、手順 1 の白紙原稿を区切りたい位置に入れます。
- 10 原稿を読み取ります。
詳細は、[原稿を読み取る \(バッチスキャンモード\) \(68 ページ\)](#)を参照してください。
原稿が、仕分け用原稿の位置で仕分けされながら読み取りされます。
- 11 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。
「スキャン」画面 (確認 / 編集時) (282 ページ)で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

ページ数を指定して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture では、ページ数の指定による仕分け機能をサポートしています。本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。ここでは、ページ数を指定して原稿を仕分けるためのポイントを以下に示します。基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#)を参照してください。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

3 使用するジョブの「仕分け設定」タブ (249 ページ)を開きます。

4 「仕分けの種類」で、「ページ数」をクリックします。

5 表示されたカウンターで、原稿を区切るページ数を指定します。

6 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

7 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

8 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

9 原稿を読み取ります。

詳細は、[原稿を読み取る \(バッチスキャンモード\) \(68 ページ\)](#)を参照してください。
原稿が、指定したページ数で仕分けされながら読み取りされます。

10 読み取った画像の仕分けページの位置を確認します。

[「スキャン」画面 \(確認 / 編集時\) \(282 ページ\)](#)で、読み取った画像の仕分けページの位置が正しいかを確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分けページの位置を編集します。

パッチコードを使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では、パッチコードによる仕分け機能をサポートしています。

本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像はドキュメントごとに区切られた状態で表示されます。

ここでは、パッチコードを使って原稿を仕分けするためのポイントを以下に示します。

詳細は、[バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#)を参照してください。

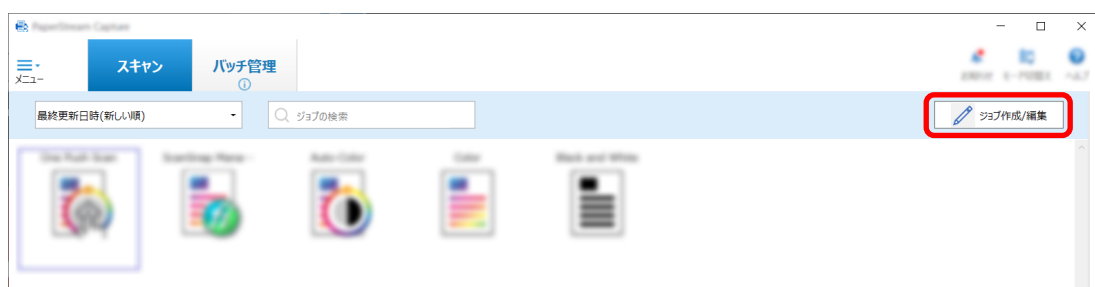
1 パッチコードを印刷した原稿を、仕分け用原稿として用意します。

PaperStream IP ドライバーで用意されているパッチコードシートを必要枚数だけ印刷してください。
詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

- PaperStream Capture の場合に PaperStream IP (ISIS) をドライバーを使用しているときは、使用できるパッチコードは、以下のとおりです。
 - Patch1
 - Patch2
 - Patch3
 - PatchT
 PaperStream Capture Pro は、PaperStream IP (ISIS) ドライバーに対応していません。

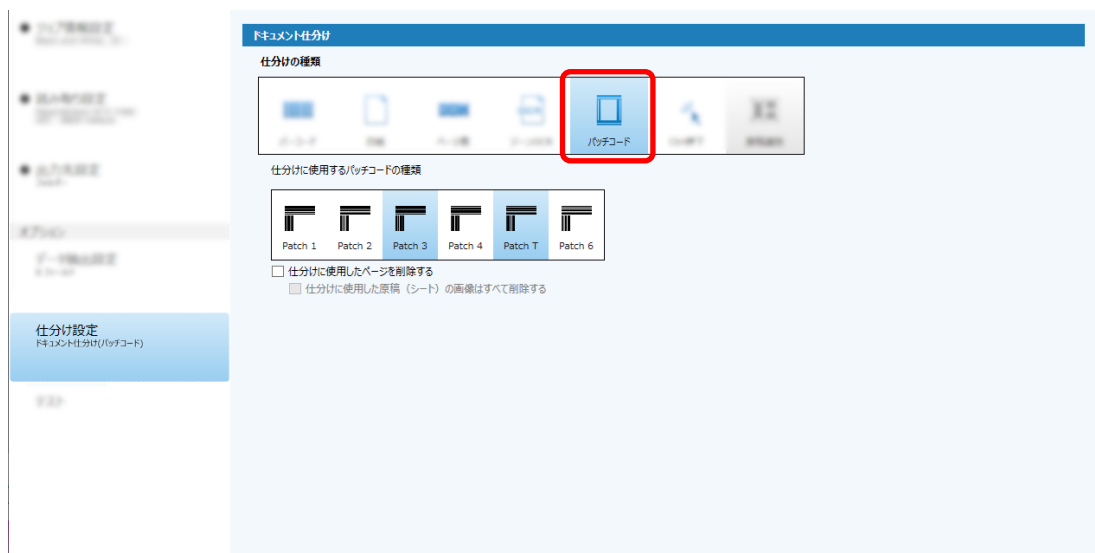
2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



3 既存のジョブを選択して、ツールバーの [編集] ボタンをクリックします。

4 「仕分け設定」タブを選択します。

5 「仕分けの種類」の「パッチコード」をクリックします。



6 「パッチコード」で検出するパッチコードを選択します。

7 仕分け用原稿として使用する原稿の画像を保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。

ヒント

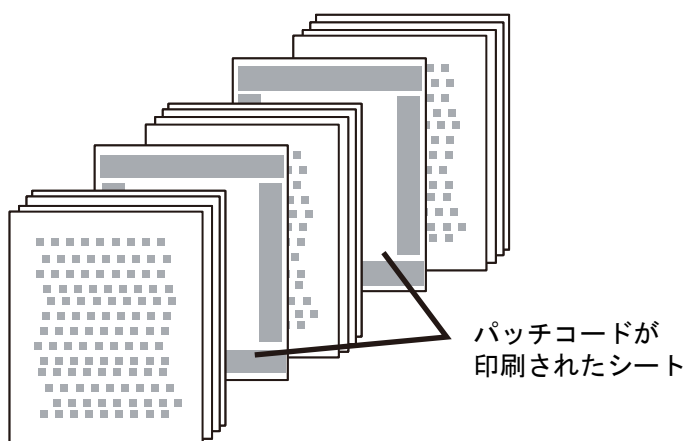
- PaperStream Capture の場合、仕分け用原稿として使用する原稿の画像をすべて削除するときは、「仕分けに使用した原稿（シート）の画像はすべて削除する」チェックボックスにチェックを付けます。
仕分け用原稿として使用する原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分け用原稿として使用する原稿の仕分けされた画像がすべて削除されます。

8 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

9 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

10 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

11 読み取る原稿を用意し、仕分け用原稿を区切りたい位置に入れます。



12 原稿を読み取ります。

原稿をスキャナーにセットするときは、仕分け用原稿の印字面を ADF 給紙シュート側に向けてください。

原稿が、仕分け用原稿の位置で仕分けされながら読み取りされます。

13 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

ヒント

- 読み取った原稿をパッチコードシートごとに別のフォルダーに格納することもできます。
ここでは、仕分け用原稿ごとに「ドキュメントカウンター」をフォルダー名に指定する例を説明します。

1 「出力先」タブをクリックします。

2 「ファイルプロパティ」で「ファイル」の入力域の右側にある [ファイル名オプション] ボタンをクリックし、表示されたメニューから「ドキュメントカウンター」を選択します。

3 入力域に表示された <Document Counter> のうしろに ¥ (出力先が FTP サーバーの場合、/) を入力します。

4 [保存] ボタンをクリックします。

ジョブの設定が保存されます。

Ctrl キーを押して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のこだわり作成では、「Ctrl」キーを押して画像ファイルを仕分けできます。

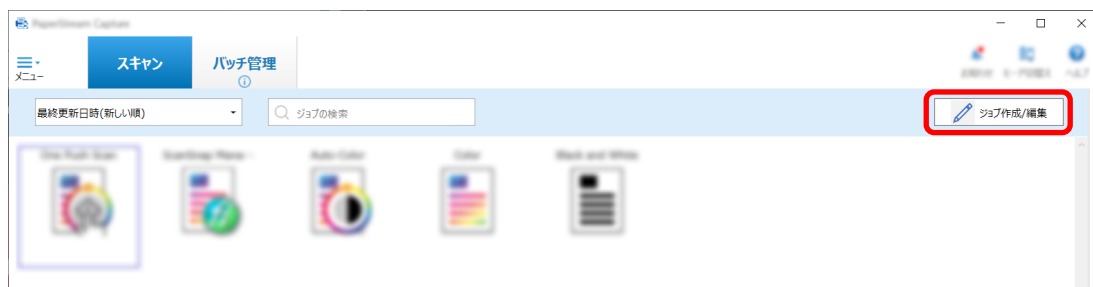
本機能を使用すれば、手差しで複数枚の原稿を読み取る場合、「Ctrl」キーを押したタイミングでページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。

原稿を仕分けするキーは、デフォルトでは「Ctrl」ですが、「[ユーザビリティ](#)」タブ (269 ページ) の「手動仕分けのショートカットキー」で任意のキーに変更できます。

ここでは、こだわり作成で、Ctrl キーを押して原稿を仕分けするためのポイントを以下に示します。

基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ](#) (48 ページ) を参照してください。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 使用するジョブの「仕分け設定」タブ (249 ページ)を開きます。

3 「仕分けの種類」の「Ctrl 押下」をクリックします。

4 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

5 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。

6 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。

7 手差しで原稿を読み取ります。

詳細は、[原稿を読み取る \(バッチスキャンモード\)](#) (68 ページ) を参照してください。

8 次の原稿をセットする前に「Ctrl」キーを押します。

9 手差しで次の原稿を読み取ります。

原稿が仕分けされて、読み取りされます。

10 読み取った画像の仕分け位置を確認します。

「[スキャン](#)」画面 (確認 / 編集時) (282 ページ) で、読み取った画像の仕分け位置が正しいかを確認します。

必要に応じて、読み取った画像の仕分け位置を編集します。

レイアウトを識別して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のこだわり作成では、原稿のレイアウトで識別する仕分け機能をサポートしています。

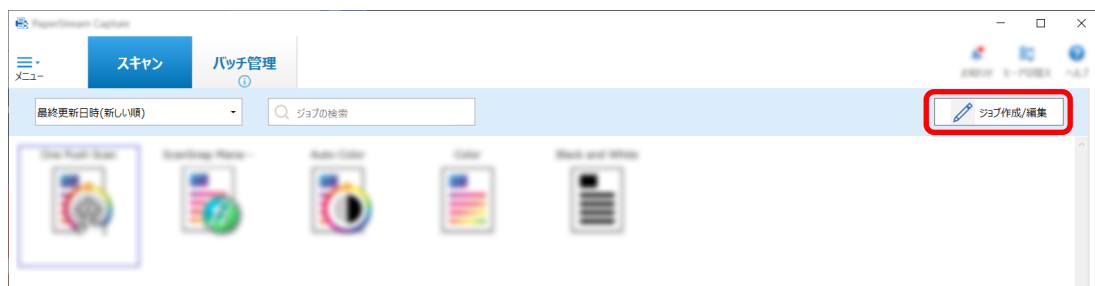
本機能を使用すれば、複数枚の原稿の読み取りを中断しなくても、指定した原稿単位でページが仕分けされます。指定した原稿単位でページが仕分けされた結果、読み取った画像がドキュメントとして区切られます。本機能は、ジョブで選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルが、「自動プロファイル選択」の設定を「オン」にしている場合、有効になります。

ジョブで選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルは、「読み取り設定」タブ (173 ページ) の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で確認できます。

ここでは、こだわり作成で、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーに登録済みの識別情報を使って原稿を仕分けするためのポイントを以下に示します。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプおよび [バッチスキャンモードの操作の流れ \(48 ページ\)](#) を参照してください。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成/編集] ボタンをクリックします。



「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ) が表示されます。

- 2 使用するジョブの「読み取り設定」タブを開き、「読み取り設定」の「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」になっていることを確認します。
- 3 「仕分け設定」タブ (249 ページ) を開きます。
- 4 「ドキュメント仕分け」の「原稿識別」をクリックします。
- 5 「登録済み識別情報」で、識別名の横にあるチェックボックスにチェックを付け、仕分け用原稿として使用する識別情報を選択します。
 識別情報を仕分け用原稿として使用すると、識別情報に登録されているレイアウトと同じレイアウトの原稿と、異なるレイアウトの原稿で仕分けします。
 レイアウトが異なる数種類の原稿を、レイアウトごとに仕分けしたい場合は、該当するレイアウトが登録されている識別情報の識別名を、「登録済み識別情報」からすべて選択します。
- 6 仕分け用原稿として使用する識別情報に登録されているレイアウトと同じレイアウトの原稿を画像として保存しない場合は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスにチェックを付けます。

ヒント

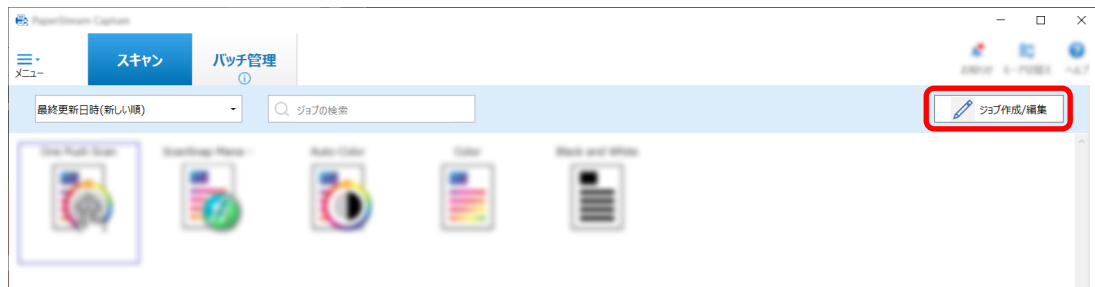
- 仕分け用原稿として使用する原稿の画像を削除して、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存し、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにする場合は、「削除されたページの抽出データ情報を残す」チェックボックスにチェックを付けます。
- 仕分け用原稿として使用する原稿の画像をすべて削除する場合は、「仕分けに使用した原稿（シート）の画像はすべて削除する」チェックボックスにチェックを付けます。
仕分け用原稿として使用する原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分け用原稿として使用する原稿の分割された画像がすべて削除されます。

- 7 仕分け用原稿として使用する識別情報に登録されているレイアウトとして識別できなかった原稿を仕分けして「未識別」フォルダーに格納する場合は、「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックスにチェックを付けます。**
この項目は、「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックスのチェックが外れている場合に有効になります。
「未識別」フォルダーの名前を変更する場合は、仕分け値にフォルダー名を入力します。
- 8 仕分け用原稿として使用する値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識したときに、最初に認識した原稿以外で原稿の仕分けをしない場合は、「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックスにチェックを付けます。**
- 9 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。**
- 10 [閉じる] ボタンをクリックし、ジョブの設定画面を閉じます。**
- 11 [前の画面に戻る] ボタンをクリックします。**
- 12 原稿を読み取ります。**
詳細は、[原稿を読み取る（バッチスキャンモード）（68 ページ）](#)を参照してください。
原稿が、選択した識別情報に登録されているレイアウトで識別され、仕分けされながら読み取りされます。
- 13 読み取った画像の仕分け用原稿の位置を確認します。**
「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）で、読み取った画像の仕分け用原稿の位置が正しいかを確認します。
必要に応じて、読み取った画像の仕分け用原稿の位置を編集します。

ファイル名を使用して画像ファイルを自動で仕分ける

PaperStream Capture Pro では、ファイル名による仕分け機能をサポートしています。
本機能は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「[アクティベーション](#)」タブ（273 ページ）にある、「ライセンス管理」の「インポートのアクティベート」でライセンス認証をした場合に使用できます。本機能を使用すれば、複数のファイルを取り込んだ場合、ファイル名単位でページが分割されます。ファイル名単位でページが分割された結果、取り込んだファイルがドキュメントとして区切られます。
ここでは、ファイル名を使って原稿を分割するためのポイントを以下に示します。
基本的な操作の流れは、[バッチスキャンモードの操作の流れ（48 ページ）](#)を参照してください。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 2 使用するジョブの「仕分け設定」タブ (249 ページ)を開きます。
- 3 「ドキュメント仕分け」の「ファイル名」をクリックします。
- 4 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

抽出した文字列を SharePoint のフィールド (列) に保存する

PaperStream Capture Pro では、ジョブの「データ抽出設定」タブにあるフィールドリストに、SharePoint のフィールド (列) を取り込めます。

そのジョブで出力先を SharePoint に設定し、画像を SharePoint に出力すると、SharePoint のフィールド (列) に抽出データを出力できます。

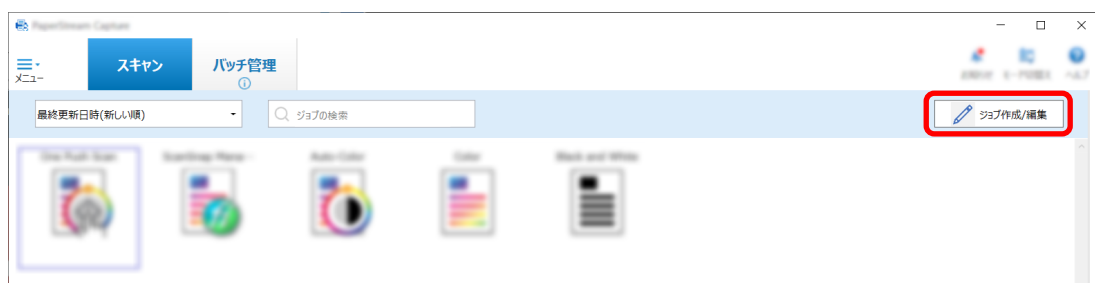
ここでは、SharePoint のフィールド (列) リストを取り込むためのポイントを以下に示します。

- 1 同期先となる SharePoint に次の項目が作成されていることを確認します。

- サイト URL
- ユーザー名
- パスワード
- ライブラリー
- コンテンツタイプ

詳細は、SharePoint のマニュアルを参照してください。

- 2 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



- 3 使用するジョブの「出力先設定」タブ (188 ページ)を開きます。
- 4 「出力先」で「SharePoint」を選択します。

5 [設定] ボタンをクリックします。

「SharePoint オプション」画面 (198 ページ)が表示されます。

6 登録先となる SharePoint への接続情報 (サイト URL、ユーザー名、パスワード) を入力します。

Windows 認証を使用する場合は、「Windows 認証を使用する」チェックボックスにチェックを付けます。この場合、すでに「ユーザー名」と「パスワード」に入力されている情報は無効になります。

7 [接続] ボタンをクリックします。

8 「ライブラリー」でライブラリーを選択します。

9 「コンテンツタイプ」でコンテンツタイプを選択します。

SharePoint サーバーのフィールドリストと同期するかを確認するメッセージ画面が表示されます。

10 [はい] ボタンをクリックします。

SharePoint サーバーと同期し、フィールド (列) リストを取り込みます。

重要

- 「データ抽出設定」タブ (229 ページ)の「フィールドリスト」にフィールドが設定されている状態で SharePoint サーバーと同期すると、すでに設定されているフィールドを削除し、SharePoint のフィールド (列) リストに置換します。

ヒント

- SharePoint のフィールド (列) は、「データ抽出設定」タブの「フィールド値プロパティ」では以下の 5 つに割り当てられます。
 - テキスト
 - 数値
 - 通貨
 - 日付と時刻
 - ブーリアン
- 事前に SharePoint の該当フィールドとの連携を確認してください。

11 [OK] ボタンをクリックします。

12 「データ抽出設定」タブを開きます。

「フィールドリスト」に、取り込んだフィールドが表示されていることを確認します。フィールドには、「フィールド属性」や「フィールドルール」などのフィールド定義が自動で設定されます。必要に応じて設定を変更してください。

13 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

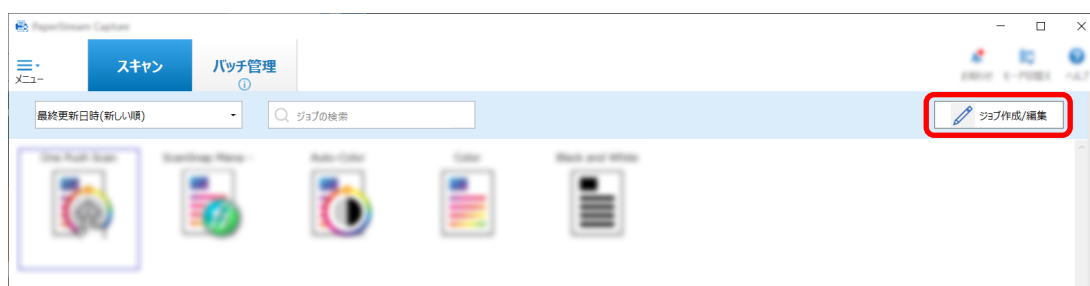
抽出した文字列にフィールドルールを設定する

PaperStream Capture Pro では、フィールド値の正規表現や長さ、および数値をフィールドルールとして指定できます。

指定すると、フィールドルールに沿わないフィールド値の場合、警告が表示されるので、フィールドルールに沿ったフィールド値に修正できます。

ここでは、すでに設定されているフィールドに対し、アルファベットと数字の組み合わせで、文字数が最大 5 文字で構成されるフィールド値をフィールドルールとして設定するためのポイントを以下に示します。

1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。



2 使用するジョブの「データ抽出設定」タブを開きます。

3 「フィールドリスト」から、フィールドルールを設定したいフィールド名を選択します。

4 「フィールドルール」の「正規表現」チェックボックスにチェックを付けます。

5 [ルール] ボタンをクリックし、表示されたリストから「アルファベット文字 (A-Z, a-z)」を選択します。

入力域に [A-Za-z] が表示されます。

6 もう一度 [ルール] ボタンをクリックし、表示されたリストから「数字 (0-9)」を選択します。

入力域に [0-9] が追加され、[A-Za-z][0-9] と表示されます。

7 「長さ」チェックボックスにチェックを付けます。

8 「最小」の入力域に 1、「最大」の入力域に 5 を入力します。

9 [保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。

抽出データの高度な設定

PaperStream Capture Pro では、フィールドごとに高度な機能を使用して、フィールド値を設定できます。ここでは、「データ抽出設定」タブで、選択したフィールドに、以下の種別を「フィールド属性」で設定する方法を説明します。

- DB ルックアップ
- DB オートフィル（ほかのフィールドの「フィールド属性」で「属性」に「DB ルックアップ」が設定されているか、「種別」が「リストから選択」でリストの定義をデータベースから移入している場合に選択できます）

- 組み合わせ（フィールドが複数ある場合に選択できます）
- 分割（ほかのフィールドの種別に「バーコード」が設定され、かつ「分割を使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合に選択できます）
- JSON 解析
- JSON 値（ほかのフィールドの種別に「JSON 解析」が設定されている場合に選択できます）

「DB ルックアップ」と「DB オートフィル」


「DB ルックアップ」は、フィールドに連携するデータベースを設定します。そのフィールドに設定されたデータベースから、対応する情報を取得してフィールド値を設定するのが「DB オートフィル」です。

「DB ルックアップ」と「DB オートフィル」を設定したジョブで読み取ると、「インデックス」画面のフィールドパネルに「DB ルックアップ」を設定したフィールドと「DB オートフィル」を設定したフィールドが表示されます。

「DB ルックアップ」を設定したフィールドのフィールド値に、データベースで設定している値を入力すると、「DB オートフィル」を設定したフィールドのフィールド値に、対応した値が自動的に設定されます。

なお、「DB ルックアップ」を設定する場合は、抽出データ用のデータベースとそのデータベースにアクセスするための ODBC データソースが必要です。事前に用意してください。

●「DB ルックアップ」の設定方法

- 1 「種別」で「直接入力」を選択します。
- 2 「属性」で「DB ルックアップ」を選択します。
- 3 「DB ルックアップ」をポイントして表示される  をクリックします。
「ODBC データソース」画面 (247 ページ)が表示されます。
- 4 「ODBC データソース」で該当するデータ名を選択します。
- 5 必要に応じて「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[接続] ボタンをクリックします。
- 6 「リスト情報」の「表」で、データベースから使用する表を選択します。
- 7 「フィールド」で、指定するデータベースのフィールドを選択します。
- 8 [OK] ボタンをクリックします。

●「DB オートフィル」の設定方法

- 1 「種別」で「DB オートフィル」をポイントします。
- 2 表示されたメニューから、指定するデータベースのフィールドを選択します。

「組み合わせ」

ほかのフィールドのフィールド値を組み合わせ、フィールド値を設定します。

例えば、A のフィールドに「Light」、B のフィールドに「Blue」という抽出データが設定されている場合、C のフィールドで、A と B のフィールドを選択した「組み合わせ」を設定すると、C のフィールドに「LightBlue」という値が自動的に設定されます。

- 「組み合わせ」の設定方法

- 1 「種別」で「組み合わせ」をポイントします。
- 2 表示されたメニューから、組み合わせたいフィールド名をすべて選択します。
- 3 「閉じる」をクリックし、メニューを閉じます。

「分割」

ほかのフィールドの設定が「バーコード」で、かつ「分割を使用する」チェックボックスにチェックが付いている場合、そのバーコードの認識結果を分割し、フィールド値を設定します。

例えば、フィールド「A」、「B」、「C」に、以下の設定をします。

- フィールド「A」

種別：「バーコード」を選択
分割：文字の「, (カンマ)」を指定

- フィールド「B」

種別：「分割」から、指定するフィールドとして「A」を選択
分割 No.： 1 を指定

- フィールド「C」

種別：「分割」から、指定するフィールドとして「A」を選択
分割 No.： 2 を指定

この場合、フィールド「A」のバーコードの認識結果が「"Country":"Japan","age":"29"」だったとき、フィールド「B」には、「"Country":"Japan"」という値が、フィールド「C」には「"age":"29"」という値が自動的に設定されます。

「JSON 解析」と「JSON 値」

「JSON 解析」は、フィールドで指定したバーコードの情報を解析します。解析した値を使って、フィールドのフィールド値を自動で取得するのが「JSON 値」です。

「JSON 値」を設定しているフィールド名が、「JSON 解析」で解析した値にある場合、「JSON 値」は、解析した値から対応する情報を取得してフィールド値を設定します。


例えば、「JSON 解析」を設定したフィールドで、解析したバーコードの情報が

「{"Country":"Japan"}」だった場合、「JSON 値」を設定したフィールドの名前が「Country」だと、そのフィールドのフィールド値に「Japan」が自動的に設定されます。

- 「JSON 解析」の設定方法

- 1 「種別」で「JSON 解析」を選択します。
- 2 「バーコードの種類」で、検出するバーコードの種類を 1 つ以上選択します。
- 3 [エリアを定義 >>] ボタンをクリックします。
エリア設定画面 (データ抽出) (243 ページ)が表示されます。
- 4 スキャナーに、原稿を 1 枚セットします。

- 5 [スキャン] をクリックします。
読み取りが完了すると、ビューアーに読み取った画像が表示されます。
- 6 ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリックします。
- 7 読み取った画像上で、バーコードを検出する領域をドラッグして選択します。
フィールドパネルに、選択した領域でのバーコード認識結果が表示されます。
選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン () をクリックすると、選択を解除できます。
選択した領域は、青色の枠囲みで表示されます。
認識領域の編集は、ツールバーの「編集」にある「エリア設定」をクリックすると、終了
できます。

- 8 正しく認識されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

●「JSON 値」の設定方法

- 1 「種別」で「JSON 値」をポイントします。
- 2 表示されたメニューから、JSON 解析を指定したフィールド名を選択します。
- 3 手順 2 で指定したフィールドで解析される JSON 形式に沿って、フィールド名を入力します。
例えば、解析したバーコードの情報が {"プロパティ名":"値"} の場合、プロパティ名に該当する内容をフィールド名に入力します。

運用環境を移出/移入する

ここでは、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境の移出および移入について説明します。

複数のコンピューターで、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を使用している場合、作成したジョブを「運用環境の移出」ツールで移出ファイルとして取り出し、その移出ファイルを、「運用環境の移入」ツールで、ほかのコンピューターの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入すれば、簡単に同じ運用環境を構築できます。

また、ScandAll PRO から移出したプロファイルを PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のジョブとして移入できます。

運用環境を移出する

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で作成したジョブや PaperStream IP ドライバーのプロファイルなどを含む運用環境を移出します。

重要

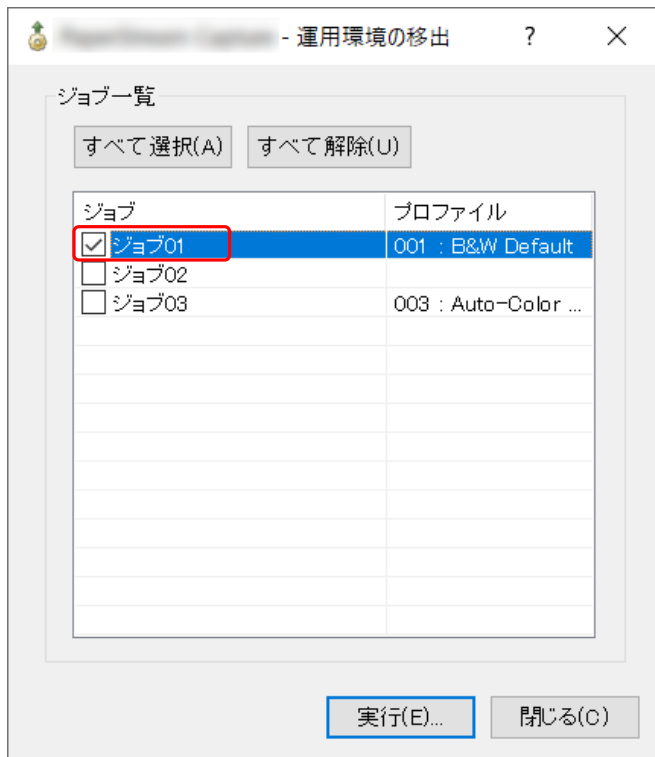
- PaperStream Capture Pro の場合、「ステーション」タブの「ストレージサーバー」で以下を選択しているときは、運用環境の移出ができます。
 - シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）
 - マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）

1 「運用環境の移出」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移出」をクリックします。

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に登録されているジョブが一覧で表示されます。

2 移出するジョブのチェックボックスにチェックを付けます。



3 [実行] ボタンをクリックします。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 移出ファイルを保存する場所やファイル名を指定して、[保存] ボタンをクリックします。

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境が移出され、移出処理完了のメッセージが表示されます。

移出ファイルは、「.dpav」の拡張子で作成されます。

5 [OK] ボタンをクリックします。

運用環境が移出されます。

ヒント

- 移出ファイルは、運用環境のバックアップとしても利用できます。
- サンプルのジョブは移出の対象に含まれません。

運用環境をほかのコンピューターに移入する

運用環境を移出する (157 ページ) で移出した PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境、または ScandAll PRO で移出したプロファイルを移入します。

重要

- PaperStream Capture Pro では、「ステーション」タブの「ストレージサーバー」で以下を選択している場合、運用環境の移入ができます。
 - シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）
 - マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）
- 運用環境の移入には管理者権限が必要です。
また、標準ユーザーが「管理者として実行」を実行しても、運用環境を移入できません。
- 移入先コンピューターの PaperStream Capture および PaperStream IP のバージョンは、移出元と同じ版数以降にしてください。

1 運用環境を移入する前に、移入先の運用環境のバックアップを作成します。

詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)を参照してください。

2 「運用環境の移入」画面を表示します。

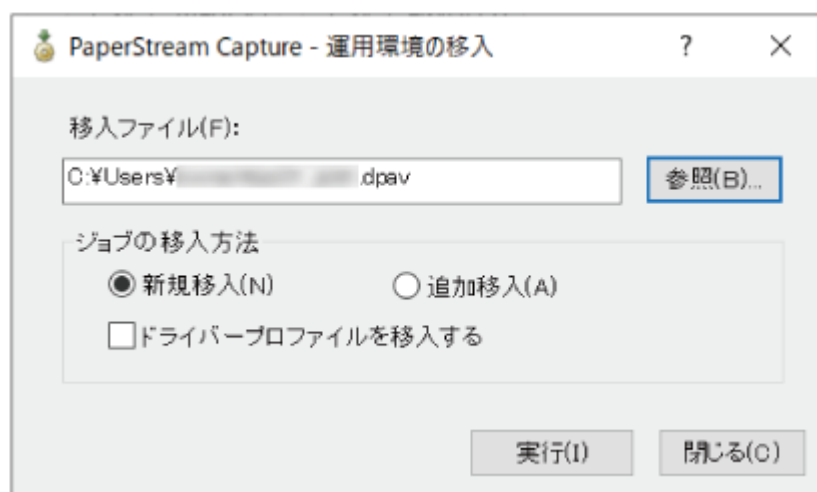
- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「運用環境の移入」をクリックします。

3 移入するファイルを指定します。

[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)で移出したファイル(.dpav(旧形式の場合は.cab))または ScandAll PRO で移出したファイル(.cab)を指定してください。

移入ファイルを指定するには、以下の方法があります。

- ファイルのパス名を 255 バイトまでの文字数で入力する
- [参照] ボタンをクリックして指定する
- ドラッグ & ドロップ操作で指定する

**4 ジョブの移入方法を選択します。**

移入方法には以下の種類があります。

- 新規移入

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に現在登録されているジョブをすべて削除し、移入ファイル内のジョブに置き換えます。

選択すると、「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックスが表示されます。

PaperStream IP ドライバーのプロファイルも移入する場合は、チェックを付けてください。チェックを付けて移入すると、移入先にあるドライバープロファイルが上書きされます。

- 追加移入

移入ファイル内のジョブを PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に追加します。

この場合、PaperStream IP ドライバーのプロファイルは移入されません。

5 [実行] ボタンをクリックします。

移入処理完了のメッセージが表示されます。

6 [OK] ボタンをクリックします。

運用環境が移入されます。

重要

- 移出した PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境は、同じ言語環境に移入してください。移出したシステムと異なる言語環境に移入できません。
- 新しいバージョンの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で移出した移出ファイルは、前のバージョンの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入できません。
- ScandAll PRO で使用していたドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバー以外だった場合、プロファイルを移入してもドライバーの設定は移入されません。
移入したジョブでは、PaperStream IP ドライバーの設定が「現在の設定」になるので、ドライバーの設定をし直してください。
ドライバーの設定をし直すと、ファイル形式が変更される場合があります。「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、移入元と同じファイル形式が設定されているかを確認してください。
- ScandAll PRO のプロファイルだけにある機能および運用環境は移入されません。

ヒント

- 移入するファイルの拡張子が「.dpav」の場合、ファイルを直接ダブルクリックして「運用環境の移入」画面を開けます。この方法で画面を開いたときは、手順 3 からの操作を行ってください。
- 追加移入すると、移出元に設定されたイベントがある場合、移入先にもそのイベントが設定されます（イベントは、「ユーザビリティ」タブの「イベント」で設定の確認ができます）。
- 「バッチ管理」画面に、一時保存または中断しているバッチジョブがある場合、「新規移入」は選択できません。
バッチを出力または削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。
また、PaperStream Capture Pro では、一時保存または中断しているバッチジョブがある状態で、PaperStream Capture Pro をアンインストールするとき、表示されるメッセージ画面で [いいえ] ボタンをクリックした場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブの「ス

トレージサーバー」で指定した「ストレージフォルダー」にファイルが残ります。この状態で別のバージョンの PaperStream Capture Pro をインストールすると、「新規移入」が選択できない場合があります。「バッチ管理」画面に一時保存または中断のバッチジョブがないのに「新規移入」が選択できない場合は、「ストレージフォルダー」に格納されているファイルを削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

運用環境の移入結果を確認する

運用環境の移入結果を確認する方法は、以下のとおりです。

1 移入結果が格納されているフォルダーを開きます。

デフォルトの移入結果格納先は以下のとおりです。

C:¥Users¥ユーザー名¥Documents¥PaperStreamCapture

2 ログファイルをダブルクリックします。

デフォルトのファイル形式およびファイル名は、以下のとおりです。

- ファイル形式
CSV
- ファイル名
PSCImpProfile.csv

3 1 行目にログが出力された日時、2 行目以降に、移入された各ジョブの移入結果が表示されます。

移入に成功した場合は「OK」、移入に失敗した場合は「NG」が表示されます。

例えば、2017 年 11 月 20 日月曜日 17 時 53 分 16 秒に Job1 と Job2 を移入し、移入結果が Job1 は成功、Job2 は失敗だった場合、以下のように表示されます。

Monday, November 20, 2017 17:53:16		
NG	NEW	Job2
OK	NEW	Job1

「お使いの前に」画面

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の基本的な使い方が記載されている、HTML 版 PaperStream Capture ユーザーズガイドのトピックへリンクしている画面です。

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を起動したとき以外にも、メニューの  から、「お使いの前に」を選択して表示できます。

お使いの前に

[基本的な読み取り操作 \(48 ページ\)](#)

ジョブ

[ジョブに関連するトピック](#)

もっと詳しく

[便利な設定に変更する \(88 ページ\)](#)

メニュー

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を操作するためのボタンを集めたメニューです。

- PaperStream Capture の場合



例：バッチスキャンモードの「スキャン」画面のメニュー

- PaperStream Capture Pro の場合



例：バッチスキャンモードの「スキャン&インデックス」画面のメニュー

ロゴイメージ

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブ (265 ページ) で設定したロゴイメージが表示されます。



クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- お使いの前に
選択すると、「[お使いの前に](#)」画面 (162 ページ) を表示します。
- ジョブ作成/編集
選択すると、「[ジョブ作成/編集](#)」画面 (166 ページ) を表示します。
- 管理ツール
選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブを表示します。
- オンラインリソース
選択すると、PaperStream Capture Pro の Web サイトを表示します。
この項目は、PaperStream Capture Pro 場合だけ表示されます。
- バージョン情報
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のバージョン情報を表示します。
- 終了
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を終了します。

【スキャン&インデックス】ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
クリックすると、「[スキャン&インデックス](#)」画面 (285 ページ) が表示されます。

【スキャン】 ボタン

クリックすると、「スキャン」画面 (280 ページ)が表示されます。

【QC】 ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

クリックすると、「QC」画面 (293 ページ)が表示されます。

【インデックス】 ボタン

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

クリックすると、「インデックス」画面 (296 ページ)が表示されます。


【バッチ管理】 ボタン

クリックすると、「バッチ管理」画面 (310 ページ)が表示されます。

【お知らせ】 ボタン

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブにある「おすすめ設定」で「お知らせする」を選択、または「お知らせするユーザーを選択」で表示するユーザーとして選択されている場合、以下の画面で表示されます。

- PaperStream Capture の場合
 - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面
 - 「ジョブ作成/編集」画面
 - 「かんたん作成」画面
 - 「こだわり作成」画面
 - 「スキャン」画面
- PaperStream Capture Pro の場合
 - 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面
 - 「ジョブ作成/編集」画面
 - 「かんたん作成」画面
 - 「こだわり作成」画面
 - 「スキャン&インデックス」画面
 - 「スキャン」画面

未読のお知らせがある場合は、ボタンの表示が  になります。
クリックすると、「お知らせ」画面 (318 ページ)が表示されます。

【モード切替え】 ボタン

クリックすると、バッチスキャンモードまたはシンプルスキャンモードに読み取り方法を切り替えられます。

ただし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブの「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択した場合、「モード切替え」ボタンは表示されません。

ジョブの並べ方

ジョブの表示順を変更できます。ドロップダウンリストからジョブの表示順を選択します。

- 最終更新日時（新しい順）
- 最終更新日時（古い順）
- 作成日時（新しい順）
- 作成日時（古い順）
- ジョブ名（昇順）
- ジョブ名（降順）
- ユーザー指定順

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して [検索] ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。

【ジョブ作成/編集】ボタン

選択すると、「[ジョブ作成/編集](#)」画面 (166 ページ)を表示します。

「ジョブ作成/編集」画面

ジョブを新規作成、参照作成、編集、および削除できます。
画面にジョブの一覧が表示されます。

ジョブの並べ方

ジョブの表示順を変更できます。ドロップダウンリストからジョブの表示順を選択します。

- 最終更新日時（新しい順）
- 最終更新日時（古い順）
- 作成日時（新しい順）
- 作成日時（古い順）
- ジョブ名（昇順）
- ジョブ名（降順）
- ユーザー指定順

並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。

変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して [検索] ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。

【前の画面に戻る】 ボタン

クリックすると、1 つ前の画面に戻ります。

【新規作成（かんたん）】 ボタン

新しいジョブを作成します。

クリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

【新規作成（こだわり）】 ボタン


新しいジョブを作成します。

クリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

【編集】 ボタン

ジョブを編集します。


こだわり作成のジョブをクリックして、[編集] ボタンをクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（ アイコン）をクリックして、[編集] ボタンをクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

【参照作成】 ボタン

ジョブを複製して、ジョブを作成します。

こだわり作成のジョブをクリックして、[参照作成] ボタンをクリックすると、「こだわり作成」画面が表示されます。

かんたん作成のジョブ（アイコン）をクリックして、[参照作成] ボタンをクリックすると、「かんたん作成」画面が表示されます。

【削除】 ボタン

ジョブを削除します。

クリックすると、ジョブを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

【編集（こだわりに移行）】 ボタン

かんたん作成のジョブを選択した場合に表示されます。

クリックすると、こだわり作成のジョブに移行され、「こだわり作成」画面が表示されます。

ジョブの一覧

ジョブが表示されます。

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブで、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- ScanSnap Manager for fi 互換
- One Push Scan
- 新規作成（かんたん）
- 新規作成（こだわり）

ジョブの上にカーソルを移動すると、ジョブの詳細が表示されます。

ジョブを右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

編集

ジョブを編集します。

参照作成

ジョブを複製して、ジョブを作成します。

複製するジョブを選択してから、このメニューをクリックします。

削除

ジョブを削除します。

削除するジョブを選択してから、このメニューをクリックします。

管理者権限のユーザーだけが操作できます。

編集（こだわりに移行）

かんたん作成のジョブを選択した場合に表示されます。

クリックすると、こだわり作成のジョブに移行され、「こだわり作成」画面が表示されます。

「こだわり作成」画面の構成

画面の構成は、以下のとおりです。

タブ

- 「ジョブ情報設定」タブ (168 ページ)
- 「読み取り設定」タブ (173 ページ)
- 「出力先設定」タブ (188 ページ)
- 「データ抽出設定」タブ (229 ページ)
- 「仕分け設定」タブ (249 ページ)
- 「テスト」タブ (257 ページ)

タブ名をクリックすると、表示するタブを切り替えられます。

【前へ】ボタン

前のタブに戻ります。

【次へ】ボタン

次のタブに進みます。

【保存】ボタン

ジョブの設定を保存して完了します。

【閉じる】ボタン

「こだわり作成」画面を閉じ、「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ) を表示します。
設定が未反映の場合、設定を反映するかどうかを確認するメッセージ画面が表示されます。

「ジョブ情報設定」タブ

ジョブ名およびアイコンを設定できます。

ジョブ情報

ジョブ名

ジョブ名を設定します。最大で 128 文字まで設定できます。
ただし、使用禁止文字 (¥ / : * ? " < > |) はジョブ名に使用できません。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチジョブが存在する場合、「ジョブ名」は編集できません。

ヒント

- ジョブ名に以下のような環境依存文字を使用すると、スキャナーの装置パネルにジョブ名が正しく表示されないことがあります。ジョブ名に環境依存文字を使用しないでください。
 - 丸囲み数字
 - ローマ数字
 - 単位
 - 省略文字
 - 人名・地名

説明

ジョブの説明を設定します。最大で 128 文字まで設定できます。

アイコン

ジョブのアイコンを設定します。
一覧からアイコン画像を選択します。

【追加】 ボタン

PNG (.png) 形式のファイルを独自のアイコン画像として追加します。
ファイルサイズが 500KB までのファイルをアイコン画像として指定できます。
サンプルジョブのアイコン画像は、以下のフォルダーに格納されています。
C:\ProgramData\PaperStreamCapture\Sample
必要に応じて追加してください。

【削除】 ボタン

選択したアイコン画像を削除します。

ホットキー

読み取りを開始するためのホットキーを、キーボードの任意のキーで指定します。
ホットキーの動作は、「ユーザビリティ」タブ (269 ページ) の「ホットキー動作モード」で指定できます。

重要

- ホットキーを定義し、かつ「ホットキー動作モード」で「システム全体のホットキーとして動作する」を選択した場合、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro が動作中は、ほかのすべてのアプリケーションで定義されたキーが使用できなくなります。ほかのアプリケーションで使用しないキーを定義することを推奨します。

優先度

バッチジョブの優先度を選択します。

表示

PaperStream Capture の場合、ジョブを「スキャン」画面 (280 ページ)に表示するかどうかを選択します。

PaperStream Capture Pro の場合、ジョブを「スキャン」画面 (280 ページ)または「スキャン&インデックス」画面 (285 ページ)に表示するかどうかを選択します。

- 表示
- 隠す
- 表示するユーザーを選択
選択すると、「選択」が活性化されます。「選択」をクリックして表示される「所属/ユーザーの選択」画面 (314 ページ)で、ジョブを表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

ジョブプレビュー

ジョブのプレビューが表示されます。

バッチ情報

バッチ名

バッチの名前を指定します。

【バッチ名オプション】 ボタン

クリックすると、バッチ名に指定できる項目が表示されます。詳細は、[バッチ名オプション \(170 ページ\)](#)を参照してください。

選択すると、バッチ名の入力域に、該当の項目が < > で括られて表示されます。

【カウンター】 ボタン

クリックすると、バッチカウンターの値を設定する「[バッチカウンターオプション](#)」画面 (172 ページ)が表示されます。

バッチ名オプションで「バッチカウンター」を選択した場合、設定してください。

バッチ名オプション

バッチ名のバッチ名オプションに設定できる項目を説明します。

PaperStream Capture Pro の「[仕分け設定](#)」タブ (249 ページ)で「バッチ仕分け」を設定している場合、出力されるバッチ名は「"バッチ名"_仕分け No. (数字 4 桁)」になります。

「[ジョブ情報設定](#)」タブ (168 ページ)にある「バッチ名」で【バッチ名オプション】 ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

ジョブ名を指定します。

ユーザー名

原稿の読み取りを実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

原稿の読み取りを実行したコンピューター名を指定します。

バッチカウンター

バッチカウンターを指定します。

指定した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「[バッチカウンターオプション](#)」画面 (172 ページ) で、バッチカウンターを設定してください。

作成日

作成日を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式
システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
日_月_年を表示します。
- DD
日を表示します。
- MM
月を表示します。
- YY
年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
年を表示します。
- YYDDD (ユリウス暦)

年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。

- YY-DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

作成時刻 (HHmmss-24 時間表記)

作成時刻を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- HHmmss
時分秒を表示します。
- HH_mm_ss
時_分_秒を表示します。
- HH-mm-ss
時-分-秒を表示します。

バッチ仕分け値

PaperStream Capture Pro の場合に表示されます。

バッチ仕分け値をバッチ名に指定します。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

閉じる

バッチ名の設定を完了します。

「バッチカウンターオプション」画面

バッチカウンターの値を設定します。

バッチカウンター

初期値

バッチカウンターの初期値を 1 ~ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

バッチカウンターの最小桁数を 1 ~ 10 桁の範囲で指定します (デフォルトは 4)。
実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁 (値の左側) に 0 が補われます。
実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。

以下に例を示します。

バッチカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

【OK】 ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「読み取り設定」タブ

スキャナーおよび読み取り条件を設定します。

読み取り設定

スキャナー

選択しているスキャナーのアイコンとスキャナー名が表示されます。

- PaperStream Capture の場合
 - クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナーを選択します。
 - PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合
コンピューターに接続しているスキャナーが表示されます。
 - PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合
対象スキャナー名が表示されます。
 - PaperStream Capture Pro の場合
 - 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「アクティベーション」タブで、インポートライセンスをアクティベートしている場合は、「PaperStream IP Import」も表示されます。
 - クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、使用するスキャナーまたは「PaperStream IP Import」を選択します。
 - PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合
コンピューターに接続しているスキャナーが表示されます。
 - PaperStream IP Import の場合
「PaperStream IP Import」が表示されます。
- 詳細は、[PaperStream IP Import の設定項目 \(182 ページ\)](#)を参照してください。

読み取り設定

- PaperStream Capture の場合
 - PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合、スキャナーの読み取り条件を設定できます。
 - PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合、読み取り設定の内容だけ表示します。

- PaperStream Capture Pro の場合

スキャナーの読み取り条件を設定できます。

スキャナーの読み取り条件で設定できるのは、以下の項目です。ただし、選択したスキャナーによっては、設定できる項目が異なる場合があります。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチジョブが存在する場合、「読み取り設定」は編集できません。

ドライバープロファイル

選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルが表示されます。

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、使用する PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

「読み取り設定」で設定値を変更すると、該当するプロファイル名の番号部分にアスタリスク (*) が付きます。

- PaperStream Capture の場合

一部の機種では、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用しているときに

「ScanSnap Manager for fi 互換」というドライバープロファイルが表示されます。

「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択した場合、「ジョブ作成/編集」画面で設定できる項目が「ScanSnap Manager for fi 互換」用に変更されます。

- PaperStream Capture Pro の場合

一部の機種では「ScanSnap Manager for fi 互換」というドライバープロファイルが表示されます。「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択した場合、「ジョブ作成/編集」画面で設定できる項目が「ScanSnap Manager for fi 互換」用に変更されます。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチジョブが存在する場合、「ドライバープロファイル」は編集できません。
- PaperStream Capture の場合、選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合、「読み取り設定」にある項目は非活性になり、ドライバーの設定に従います。
- PaperStream Capture Pro の場合、選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合、「読み取り設定」にある項目は「画質補正」以外は非活性になり、ドライバーの設定に従います。
- 設定によってドライバープロファイルの設定が無効になるものがあります。また、ドライバープロファイルの設定により、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の設定が無効になる場合もあります。詳細は、[PaperStream Capture](#) または [PaperStream Capture Pro とドライバープロファイルの設定の関係 \(503 ページ\)](#)を参照してください。

新規保存

現在の設定内容で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを新規に保存します。

クリックすると、「新規保存」画面が表示されます。

保存

現在の設定内容を、選択中の PaperStream IP ドライバーのプロファイルに上書き保存します。

画像タイプ

以下から選択できます。

- 二値白黒
 - グレースケール
 - カラー
 - カラー自動（二値白黒/カラー）
 - ドライバーの設定に従う
- ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- カラー自動
- カラー
- グレースケール
- 二値白黒
- カラー高圧縮

解像度

以下から選択できます。

- 150 dpi（ドラフト）
 - 200 dpi（標準）
 - 240 dpi（高標準）
 - 300 dpi（ファイン）
 - 400 dpi（スーパーファイン）
 - 600 dpi（エクセレント）
 - ドライバーの設定に従う
- ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。
- 自動
 - ノーマル（カラー/グレー：150dpi、白黒：300dpi 相当）
 - ファイン（カラー/グレー：200dpi、白黒：400dpi 相当）
 - スーパーファイン（カラー/グレー：300dpi、白黒：600dpi 相当）
 - エクセレント（カラー/グレー：600dpi、白黒：1200dpi 相当）

用紙サイズ

以下から選択できます。

- PaperStream Capture の場合
 - レター
 - リーガル
 - エグゼクティブ
 - A3 (*1)
 - A4
 - A5
 - スキャナーの最大値 (PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合)
 - 自動 (PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合)
 - ドライバーの設定に従う
- PaperStream Capture Pro の場合
 - レター
 - リーガル
 - エグゼクティブ
 - A3 (*1)
 - A4
 - A5
 - 自動
 - ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 自動 (*2)
- A3 (297 × 420 mm) (*1)
- A4 (210 × 297 mm)
- A5 (148 × 210 mm)
- A6 (105 × 148 mm)
- B4 (257 × 364 mm) (*1)
- B5 (182 × 257 mm)
- B6 (128 × 182 mm)
- はがき (100 × 148 mm)
- レター (8.5 × 11 インチ, 216 × 279.4 mm)
- ダブルレター (11 × 17 インチ, 279.4 × 431.8 mm) (*1)

- リーガル (8.5 × 14 インチ, 216 × 355.6 mm)
- 名刺 (55 × 91 mm)
- 長尺原稿

*1: 「入力」で選択しているスキャナーが A3 対応機種の場合、表示されます。

*2: 本設定で厚みがある原稿を読み取ると、画像の周囲に不要な空白帯ができる場合があります。この場合、画像または PDF を編集できるアプリケーションで、必要な部分を切り出してください。

読み取り面

以下から選択できます。

- 片面
- 両面
- フラットベッド (*1)
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 片面
- 両面
- フラットベッド (*1)
- 自動 (*1)

*1: 「入力」で選択しているスキャナーがフラットベッド搭載機の場合、表示されます。

継続読み取り

以下から選択できます。

- 有効
- 無効
- ドライバーの設定に従う

ただし、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合の選択肢は、以下になります。

- 無効
- 有効

画質補正

「無効」または「有効」から選択できます。

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

ヒント

- 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

【オプション設定】 ボタン

PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用し、かつ「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択すると表示されません。

PaperStream Capture Pro の場合、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択すると表示されます。

クリックすると、「[読み取りモードオプション](#)」画面 (185 ページ)が表示されます。

【詳細設定】 ボタン

「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルを編集できます。

クリックすると、PaperStream IP ドライバーの画面が表示されます。

PaperStream Capture では、PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合、この項目だけ表示されます。

「ページ」でページの回転やブランクページ (白紙) の削除を設定したり、「回転のカスタム設定」でドライバープロファイルへの原稿登録をしたりなど、詳細な読み取り設定ができます。詳細は、PaperStream IP ヘルプを参照してください。

重要

- 「スキャナー」でスキャナーを選択したり、「読み取り設定」の【詳細設定】ボタンから PaperStream IP ドライバーの画面を開いたりなど、選択中のスキャナーに PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro がアクセスして設定する操作では、「ジョブ作成/編集」画面を閉じるまで該当のスキャナーは占有されます。占有中は、他のアプリケーションで該当のスキャナーを使用できません。

画像表示オプション**表示オプション****ヒント**

- 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

スキャン中に画像表示

- PaperStream Capture の場合
選択すると、読み取り中に、画像が「スキャン」画面 (確認 / 編集時) に表示されます。読み取りが完了したあとだけ、画像を「スキャン」画面 (確認 / 編集時) に表示したい場合は、選択しないでください。

- PaperStream Capture Pro の場合
選択すると、読み取り中に、画像が「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示されます。読み取りが完了したあとだけ、画像を「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）に表示したい場合は、選択しないでください。

スキャン後すぐに出力

選択すると、ジョブで設定した出力先に、読み取った画像が自動で出力されます。

「インデックスをスキップ」チェックボックス

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

チェックを付けると、「データ抽出設定」タブでフィールドの定義をしても、抽出データを設定しません。そのため、抽出データが設定されない画像が自動で出力されます。

ただし、「別途 QC を行う」を選択した場合、チェックの有無にかかわらず、この項目が非表示になり、設定が無効になります。

「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックス

チェックを付けると、条件によって、以下の画面が表示されます。

- 読み取り中にエラーが検出された場合
リカバリー画面 (290 ページ)が表示されます。
- 「画像チェック」を設定し、設定した項目が検出された場合
 - PaperStream Capture の場合
「スキャン」画面（確認 / 編集時）が表示されます。
 - PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）が表示されます。

「出力速度を優先する」チェックボックス

「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスのチェックが外れている場合、選択できます。

チェックを付けると、読み取りながらファイルを出力します。

ただし、設定が以下の場合、ファイルの出力ができません。

- PaperStream Capture の場合
 - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「マルチイメージ」を選択している
 - PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」が「カラー/モノクロ自動判別」かつ「出力先設定」タブ (188 ページ)で「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックが付いている
 - 「仕分け設定」タブ (249 ページ)の「ドキュメント仕分け」で「白紙」を選択、かつ「両面が白紙ページの場合に仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている

- 「オプション設定」画面 (206 ページ)の「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックが付いている

● PaperStream Capture Pro の場合

- 「データ抽出設定」タブ (229 ページ)で「定義モード」の「標準モード」を選択している

- PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「マルチイメージ」を選択している

- PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」が「カラー/モノクロ自動判別」かつ「出力先設定」タブ (188 ページ)で「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックが付いている

- 「仕分け設定」タブ (249 ページ)でバッチ仕分けを設定している

- 「仕分け設定」タブ (249 ページ)の「ドキュメント仕分け」で「白紙」を選択、かつ「両面が白紙ページの場合に仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている

- 「オプション設定」画面 (206 ページ)の「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックが付いている

また、本項目は、以下の場合に設定できます。

- 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブ (274 ページ)にある「プロセスの設定」で「スキャン&インデックス」を選択、かつ「ストレージサーバー」でシングルステーション運用を選択している場合

- 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブにある「プロセスの設定」で「スキャン&インデックス」または「スキャン」を選択、かつジョブから「アドホックスキャン」で読み取る場合

ヒント

- 「バッチ管理」画面に、一時保存または出力処理を中断したバッチジョブがある場合、そのバッチジョブで使用されたジョブでは、本項目の設定を変更できません。ただし、「アドホックスキャン」で読み取るときだけ、設定の変更ができます。

スキャン中にウィンドウ最小化

選択すると、読み取り開始以降、画面を最小化します。

別途 QC を行う

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

選択すると、読み取りと QC を別々に作業できます。

マルチステーション運用で、QC ステーションを設定する場合は、選択してください。

QC は、「QC」画面 (293 ページ)で行います。「QC」画面は、「バッチ管理」画面で QC の操作待ちになっているバッチジョブをダブルクリックすると表示できます。

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブで、[スキャン&インデックス] ボタンを選択しているときは、本設定は無視されます。

ジョブ作成/編集

「スキャン後すぐに出力」を指定した場合、選択できます。

選択すると、スキャナーで読み取りを開始し、読み取った画像を自動で保存したあと、PaperStream Capture が自動で終了します。

画像チェック

ヒント

- 本項目は、「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

折れ/破れ

選択すると、原稿に折れや破れなどの異常を検出した場合、黄色のマークを付けます。また、選択すると PaperStream IP ドライバーの設定が「クロッピング」が「なし」、「背景」が「白」の場合でも、一時的に「クロッピング」を「自動」に変更して読み取りします。

PaperStream IP ドライバーの設定の詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

重送

選択すると、原稿の重送を検出した場合、読み取りは中止せず、赤色のマークを付けます。

白紙

選択すると、原稿に白紙ページを検出した場合、黒色のマークを付けます。

原稿識別精度

PaperStream Capture の場合、「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」のとき、有効になります。

選択すると、原稿の識別精度が低い画像を検出した場合、紫色のマークを付けます。

PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合、本項目は表示されません。

PaperStream Capture Pro の場合、「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」のとき、有効になります。

「自動フィルター」チェックボックス

「画像チェック」で「白紙」だけを有効にした場合、表示されます。

チェックを付けると、[ツールバー \(299 ページ\)](#)の「表示」に「白紙」が表示された状態になり、白紙ページとして検出したページが表示されます。

重要

- 「画像表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択している場合、「画像チェック」で設定した項目が検出されても、出力が優先されるため、検出された画像の確認 / 編集ができません。
検出された画像を確認 / 編集する場合は、「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックスにチェックを付けてください。
PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、「画像チェック>」で設定した項目が検出されたとき、「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）に検出された画像がマーク付きで表示され、画像の確認 / 編集ができます。
PaperStream Capture Pro の場合、チェックを付けると、「画像チェック」で設定した項目が検出されたとき、「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）（287 ページ）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）に検出された画像がマーク付きで表示され、画像の確認 / 編集ができます。
- 「画像チェック」の設定は、PaperStream IP ドライバーのマルチフィード検出やブランクページ検出の設定より優先されます。

ヒント

- 折れ/破れや重送が検出されたページは、ページを差し替えることを推奨します。

PaperStream IP Import の設定項目

インポートするファイル拡張子や格納先を指定したり、ファイルの拡張子を指定したり、ファイルをインポートしたあとの処理方法を設定したりします。

「読み取り設定」タブの「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択し、「読み取り設定」の「詳細設定」ボタンをクリックして表示される「PaperStream IP (TWAIN) - Import」画面の、左側のツリーペインから「インポート」を選択すると、右側の設定ペインに設定項目が表示されます。

ここでは、「インポート」の読み取り条件の各項目を選択したときに表示される設定項目について説明します。詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

ソースフォルダ

フォルダ名

インポートするファイルが格納されているフォルダーを指定します。
フォルダー名には、使用禁止文字 (* ? < > |) は指定できません。また、ファイル名またはフォルダー名に、システムロケールの設定言語に対して無効な文字コードが含まれている場合、正しくインポートできません。

[...] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

ファイル拡張子

インポートするファイルの拡張子を指定します。

サポートする拡張子は、BMP、JPG、TIF、JPEG、TIFF、および PDF です。拡張子の小文字 / 大文字は区別しません。

複数の拡張子を指定する場合は、「;」（セミコロン）で区切ります。

サブフォルダの検索

オン

「フォルダ名」で指定したフォルダーのサブフォルダーを、検索の対象とします。

オフ

「フォルダ名」で指定したフォルダーのサブフォルダーを、検索の対象としません。

ヒント

● インポートするファイルは、以下の順番で処理されます。

- 1 「フォルダ名」で指定したフォルダーに存在する、作成日時の古いファイルから順番に処理されます。
- 2 「サブフォルダの検索」がオンの場合、作成日時の古いフォルダーから順番に処理されます。

例えば、サブフォルダの中にさらにフォルダーがある場合、サブフォルダー配下の全フォルダーのファイルが処理されてから、次のサブフォルダー配下を処理する順番になります。

フォルダ監視

オン

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視し、新しいファイルがフォルダーに格納されると自動的にインポートします。

「監視の終了条件」で設定した条件のどれかを満たすとインポートを終了します。

監視の終了条件

最大待ち時間

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視する最大時間を、0 ～ 255 秒の範囲で指定します（デフォルトは 30）。

0 を指定した場合、監視時間の上限はなくなります。

フォルダーに最後のファイルが格納されたときから、指定した待ち時間で監視を開始します。

最大ファイル個数

自動的にインポートするファイルの最大数を、0 ～ 65535 の範囲で指定します（デフォルトは 0）。

0 を指定した場合、ファイル数の上限はなくなります。

終了マーカーファイル名

「フォルダ名」で指定したフォルダーの監視を終了するマーカーを指定します。

ここで指定した文字列が、インポートするファイル名の先頭と一致した場合、監視を終了します。

マーカーのファイル名には、使用禁止文字 (¥ / : ? " < > |) は指定できません。

重要

- 読み取りを開始する前に、監視対象のフォルダーに格納されたファイルはインポート対象になりません。
- 読み取りを開始したあと、監視対象のフォルダーに最初のファイルが格納されるまで、「最大待ち時間」の指定にかかわらず、監視し続けます。

オフ

「フォルダ名」で指定したフォルダーを監視せずに、フォルダーに現在格納されているファイルだけをインポートします。

インポート後の処理

なし

処理を実行しません。

プレフィックス付加

インポートしたファイル名の先頭に、指定された文字列を追加します。

サフィックス付加

インポートしたファイル名の末尾に、指定された文字列を追加します。

プレフィックス/サフィックス文字列

インポートしたファイル名の先頭または末尾に追加する文字列を指定します。

ファイル移動

インポートしたファイルを指定のフォルダーに移動します。

ファイル移動先フォルダ

ファイルを移動するフォルダーを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

エラー処理

GUI で選択

エラーが発生した場合、エラーの処理を選択するメッセージ画面を表示します。

読み取りを中断する

エラーが発生した場合、ファイルのインポートを中止します。

例外フォルダへ移動

インポートでエラーが発生したファイルを、例外フォルダに移動します。

無視

エラーを無視し、ファイルのインポートを継続します。

例外フォルダ名

インポートでエラーが発生したファイルを格納する例外フォルダを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダを指定します。

ログ格納フォルダ名

エラーのログを格納するフォルダを指定します。

[...] ボタン

表示される「フォルダの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダを指定します。

「読み取りモードオプション」画面

「ScanSnap Manager for fi 互換」で原稿を読み取る場合のオプションを設定します。

白黒読み取りの濃度

白黒で読み取る場合の濃度を指定します。「画像タイプ」が「二値白黒」の場合に設定できます。
-5 ~ 5 の 11 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 0）。数値に比例して、濃度は濃くなります。

数値を大きくすると濃度は濃くなり、数値を小さくすると濃度は薄くなります。

「文字をくっきりさせる」チェックボックス

チェックを付けると、画像の明暗を強調します。
以下のような原稿を読み取りたい場合に有効です。

- 両面印刷された白黒原稿
- 活字や手書き文字の原稿

「白紙ページを自動的に削除する」チェックボックス

チェックを付けると、原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除して出力します。
例えば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力できます。
読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、メッセージが表示され、画像は出力されません。

重要

- 以下のような原稿は、白紙として識別される場合があります。読み取った原稿を破棄される場合は、誤って削除されたページがないか必ず確認してください。
 - 白紙原稿内に、2、3 文字以内の文字だけが書かれている場合

- 白色ではないが、ページ全体が一様色（無地、黒色）の場合

「文字列の傾きを自動的に補正する」チェックボックス

チェックを付けると、原稿内の文字列が傾いている場合に、文字列の傾きを検出し、その傾きを補正して出力します。

最大± 5度の傾きを補正できます。

行数の多い文章が記入されている原稿を考慮しているため、以下のような原稿を読み取ると、間違っただ角度に補正される場合があります。

- 文字間や行間が極端に狭いまたは文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

間違っただ角度に補正される場合は、チェックを外してください。

「原稿の向きを自動的に補正する」チェックボックス

チェックを付けると、横向きや、上下逆さまに読み取られた原稿を、正しい向きに補正して出力します。

原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

- 文字サイズが 8 ～ 12 ポイント程度で文字が少ない原稿
- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が極端に狭いまたは文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- 文字の色が薄い原稿
- かすれた文字の原稿

正しい向きに補正されない場合は、チェックを外してください。

「原稿を上向きにしてセットする」チェックボックス

原稿を上向きにセットして読み取る場合にチェックを付けます。

上向きの面を 1 ページ目として読み取ります。

「重送検知」チェックボックス

チェックを付けると、選択した条件で原稿の重送を検出します。

条件設定

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、原稿の重送を検出する方法を選択します。

- 長さで検出
スキャナー内のセンサーで搬送される原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によって、原稿の重送を検出します。
- 重なりで検出(超音波)
原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によって、原稿の重送を検出します。

A3 キャリアシート設定

A3 キャリアシートを使用して原稿を読み取る場合の設定をします。

実行モード

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、A3 キャリアシートを使用した場合の読み取り方法を選択します。

- 見開き画像を出力する
A3 / B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を、2 つ折りにして両面を読み取るためのモードです。
読み取った画像を見開き状態に並べて、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。
- 表裏の画像をそれぞれ出力する
写真のような傷つきやすい原稿や、資料の切り抜きのような非定型サイズの原稿など、直接スキャナーの ADF にセットして読み取ることが難しい原稿を ADF で読み取るためのモードです。
読み取った画像を、指定したサイズで出力します。

実行モードによって、原稿のセット方法が異なります。詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

出力画像サイズ

クリックして、表示されるドロップダウンリストから、読み取った画像を出力するときの画像サイズを選択します。

以下の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

- 「見開き画像を出力する」の場合
 - サイズ自動選択
 - A3 (297 × 420 mm)
 - B4 (257 × 364 mm)
 - ダブルレター (11 × 17 インチ, 279.4 × 431.8 mm)

- 「表裏の画像をそれぞれ出力する」の場合
 - サイズ自動選択
 - A3 キャリアシートサイズ (220 × 297 mm)
 - A4 (210 × 297 mm)
 - A5 (148 × 210 mm)
 - A6 (105 × 148 mm)
 - はがき (100 × 148 mm)
 - B5 (182 × 257 mm)
 - B6 (128 × 182 mm)
 - レター (8.5 × 11 インチ, 216 × 279.4 mm)
 - 名刺縦 (55 × 91 mm)
 - 名刺横 (91 × 55 mm)

重要

- 「サイズ自動選択」と「A3 キャリアシートサイズ (220 × 297 mm)」以外を選択して原稿を読み取った場合、選択したサイズで原稿の表裏にある画像を切り出します。画像は、出力画像サイズの中心に配置されるため、選択した出力画像サイズから画像がはみ出した場合は、はみ出した部分が削除された状態で出力されます。また、出力する対象の画像が以下の場合、画像を中心に上下左右に空白帯を設け、選択した出力画像サイズの中央に配置して出力します。
 - 位置が原稿の中央にない
 - 定型サイズではない

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「出力先設定」タブ

出力ファイルの形式およびファイルの出力先を設定します。

出力先

読み取った画像の出力先または連携先を選択します。
出力先または連携先として選択できるのは、以下のとおりです。

- フォルダー
- ネットワークフォルダー

- SharePoint
- SharePoint Online
- FTP
- 他アプリケーション
- メール (*1)
- プリンター

***1** : 選択する場合は、以下の留意事項があります。

- MAPI (Microsoft Messaging Application Programming Interface) に対応した電子メールアプリケーションがコンピューターにインストールされている必要があります。
- 連携で起動するのは、「コントロールパネル」→「プログラム」→「既定のプログラム」の「既定のプログラムの設定」で、「MAPI」に関連付けされている電子メールアプリケーションです。
- 連携で起動した電子メールアプリケーションの画面が、PaperStream Capture の画面のうしろに表示される場合があります。
- 電子メールアプリケーションが正しく連携されない場合は、お使いの電子メールアプリケーションの発売元にお問い合わせください。

ヒント

- PaperStream Connector Option を追加でインストールすると、以下を出力先または連携先として選択できます。
 - Dropbox
 - メール送信
 - FAX
 - Google ドライブ
 - Microsoft OneDrive
- PaperStream Capture Pro Box Connector を追加でインストールすると、出力先として Box を選択できます。

【オプション設定】ボタン

「フォルダー」以外を選択した場合、クリックすると、各設定画面が表示されます。

- [「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面 \(198 ページ\)](#)
- [「SharePoint オプション」画面 \(198 ページ\)](#)
- [「SharePoint Online オプション」画面 \(199 ページ\)](#)
- [「FTP オプション」画面 \(200 ページ\)](#)
- [「アプリケーションの起動オプション」画面 \(201 ページ\)](#)
- [「メールオプション」画面 \(202 ページ\)](#)

- 「プリンターオプション」画面 (204 ページ)

重要

- PaperStream Capture から出力するファイルを、バックグラウンドで動作する別の業務システムで利用したい場合、業務システムが PaperStream Capture の出力先フォルダー（ネットワークフォルダーを含む）を監視し、出力されるファイルに処理を実行する方法だと、出力途中のファイルに業務システムがアクセスするため、処理に問題が発生します。正しく処理を実行するために、以下の手順で操作してください。

- 1 本タブでインデックス情報ファイルを出力する設定をします。
- 2 PaperStream Capture で原稿を読み取り、ファイルを出力します。
指定した出力先に、ファイルとインデックス情報ファイルが出力されます。
- 3 インデックス情報ファイルを業務システムで解析し、必要な情報を取得します。
- 4 手順 3 で取得した情報を基に、出力したファイルを業務システムで処理します。

ファイルプロパティ**「同名ファイルを上書きする」チェックボックス**

チェックを付けると、同名のファイルが出力先または連携先に存在する場合、常に上書きで出力します。

「バッチフォルダーを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、ジョブをクリックして読み取るたびに、バッチフォルダー名を指定する画面を表示します。

この画面で、バッチフォルダーの名前を入力し、[OK] ボタンをクリックすると、出力先または連携先に指定しているフォルダーの配下に、バッチフォルダーを作成し、ファイルを出力します。

入力したバッチフォルダー名は記憶され、次の読み取りでは、記憶したバッチフォルダー名を反映した状態で、バッチフォルダー名を指定する画面を表示します。

記憶したバッチフォルダー名の末尾が数値の場合、自動的に 1 を加算して表示します。例えば、バッチフォルダー名が「Doc_01」の場合、次回は「Doc_02」で表示します。

ただし、マルチステーション運用の場合、入力されたバッチフォルダー名は記憶されないため、毎回、バッチフォルダー名を指定する画面でバッチフォルダー名を入力してください。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「出力時にファイル名を指定する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイルを出力するときに、出力先とファイル名を指定する「[ファイル名の指定](#) 画面 (306 ページ)」を表示します。

ヒント

- 以下の場合、本項目を設定できません。
 - PaperStream IP ドライバーで、「表面・裏面を同時に設定する」を選択かつ「画像タイプ」の「カラー / モノクロ自動判別」、「コードシート切替え」、または「用紙長判別」を選択している場合
 - PaperStream IP ドライバーで、「画像タイプ」の「マルチイメージ」を選択している場合
 - 「出力先」で「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」以外を選択している場合
- 本項目を設定する場合、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択しないでください。

インプリンタとの連携

インプリンタと連携するかどうかを指定します。

ヒント

- 以下の場合、本項目は表示されません。
 - 「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合
 - 「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合
- **「ステーション」タブ (274 ページ)** で以下を設定した場合、インプリンタと連携できます。
 - 「ストレージサーバー」で「シングルステーション運用 (ストレージサーバーは使用しない)」を選択
 - 「プロセスの設定」で [スキャン&インデックス] ボタンを選択

選択できる項目は、以下のとおりです。

- インプリンタと連携しない
 - ページカウンターをインプリンタで印字する
 - シートカウンターをインプリンタで印字する
- 「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスにチェックを付けた場合、選択できる項目に、以下が追加されます。
- バッチフォルダーをインプリンタで印字する
 - バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する
 - バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する

最小桁数

「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」または「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択すると表示されます。インプリンタで印字するカウンターの桁数を 3 ~ 8 の範囲で指定します (デフォルトは 4)。

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

本項目は、以下の項目が選択されている場合、有効になります。

- ページカウンターをインプリンタで印字する
- シートカウンターをインプリンタで印字する
- バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する
- バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する

チェックを付けると、追加や差し替えて原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。

原稿を読み取るとインプリンタに印字するカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

重要

- 本機能は、PaperStream IP ドライバーのデジタルエンドーサのカウンター初期値と連携しません。

ページカウンターの場合

- 以下の場合、ページカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。
 - 白紙の削除などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
 - マルチイメージ出力で「第 1」のカウンター値設定と、「第 1」以外（「第 2」または「第 3」）のカウンター値設定が異なる場合
 - 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
 - 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
 - 読み取りしたあと、出力する前に、ページカウンターやページの出力順を変更した場合
- PaperStream IP ドライバー側で指定した印字文字列にカウンターが含まれない状態で、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した場合、印字文字列のうしろにカウンターが付加されます。インプリンタカウンターの桁数は、「[カウンターオプション](#)」画面 (223 ページ) のページカウンターの初期値が 1 ~ 5 桁の場合は 5 桁、6 桁以上の場合は 8 桁になります。
PaperStream Capture Pro の場合、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定した状態で、PaperStream IP (ISIS) ドライバーのインプリンタの設定を無効にすると、スキャナーによっては文字列が印字されずにカウンター値だけが印字される場合があります。
- ページカウンターは出力後に更新されます。そのため、以下の条件の場合、ページカウンターの番号とインプリンタ印字番号が異なる場合があります。十分注意して運用してください。
 - ジョブの設定
 - 「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択、かつファイル名に「ページカウンター」を指定する

- 「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「初期値を自動更新する」を選択する
- 「読み取り設定」タブで「スキャン後すぐに出力」以外を選択する
- 読み取り
 - 上記ジョブで読み取ったバッチジョブを一時保存または中断する
 - 同じジョブで別の読み取りを開始する
 - あとで読み取ったバッチジョブを、一時保存または中断したバッチジョブより先に出力する
- 以下の場合、「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
 - [ファイル名オプション \(215 ページ\)](#)で「ページカウンター」を設定していない
 - 追加や差し替えて読み取った原稿
 - [「テスト」タブ \(257 ページ\)](#)で読み取った原稿
 ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。

シートカウンターの場合

- 以下の場合、シートカウンターとインプリンタのカウンターは同期されません。
 - マルチイメージ出力で「第 1」のカウンター値設定と、「第 1」以外（「第 2」または「第 3」）のカウンター値設定が異なる場合
 - 仕分け用原稿を使用またはページ数を指定して、原稿を分割した場合
 - 読み取りしたあと、出力する前に、シートカウンターやシートの出力順を変更した場合
- 以下の場合、「シートカウンターをインプリンタで印字する」を指定しても、インプリンタで印字されません。
 - [ファイル名オプション \(215 ページ\)](#)で「シートカウンター」を設定していない
 - 追加や差し替えて読み取った原稿
 - 「テスト」タブで読み取った原稿
 ただし、PaperStream IP ドライバーの設定でインプリンタを有効にしている場合、インプリンタで印字されます。
- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。

「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックス

ヒント

- 本項目は、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。

PaperStream IP ドライバーで、表面・裏面を同時に設定するを選択し、画像タイプがカラー / モノクロ自動判別、コードシート切り替え、または用紙長判別の場合に表示されます。チェックを付けると、画像タイプごとに「圧縮」、「フォルダー」、「ファイル」を指定できます。

マルチイメージ

PaperStream IP ドライバーで、画像タイプを「マルチイメージ」に設定している場合、画像を「第 1」、「第 2」、「第 3」とし、指定している画像タイプのアイコンを横に表示します。各画像に、異なるファイル形式、フォルダー、およびファイル名が指定できます。マルチイメージを設定していない場合は、「第 1」とその画像タイプのアイコンだけが表示されます。

ファイル形式

読み取った画像のファイル形式を選択します。詳細は、[ファイル形式 \(470 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- ファイル形式で「Word 文書」、「Excel 文書」または「PowerPoint 文書」を選択した場合、読み取った画像は、PDF ファイルに保存されてから、選択したファイル形式に変換されます。そのため、設定によっては、PDF ファイルも出力先に格納されます。PDF ファイルが不要な場合は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「出力」タブ (271 ページ)にある「Word 文書/Excel 文書/PowerPoint 文書の出力設定」で、[ABBYY FineReader for ScanSnap の設定] ボタンをクリックして表示される「ABBYY FineReader for ScanSnap x.x 設定」画面で、認識したあとの画像を削除する設定をしてください。x.x には、バージョンが表示されます。

圧縮

読み取った画像の圧縮形式を選択します。読み取り設定がカラーモノクロ自動検出の場合は、既定の圧縮形式に従います。詳細は、[既定の圧縮形式 \(486 ページ\)](#)を参照してください。

【オプション設定】ボタン

クリックすると、「オプション設定」画面 (206 ページ)が表示されます。ファイル形式で PDF 形式 または JPEG 形式を選択した場合、設定が有効になります。ただし、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、PDF オプション画面が表示されます。

フォルダー

読み取った画像の出力先フォルダーを指定します。「出力先」で指定した出力先が「フォルダー」、「ネットワークフォルダー」、「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合、有効になります。「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合、デフォルトで C:¥Users¥Public ¥Documents が入力域に設定されます。以下の文字列は、フォルダー名に使用できません。

- 使用禁止文字
 - 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
/:?* "<>|
 - 「SharePoint」、 「SharePoint Online」、 または「FTP」の場合
:?* "<>¥|

- Windows 予約語だけ

以下の文字を設定すると、フォルダーを区切ります。

- 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
¥
- 「SharePoint」、 「SharePoint Online」、 または「FTP」の場合
/

【参照】 ボタン

表示される「フォルダーの参照」画面で、ファイル出力先のフォルダーを指定します。

【フォルダー名オプション】 ボタン

ヒント

- 本ボタンは、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。

クリックすると、フォルダー名に指定できる項目が表示されます。詳細は、[フォルダー名オプション \(212 ページ\)](#)を参照してください。

選択すると、フォルダー名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、 「バッチ仕分け値」、 または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、 「バッチ仕分け値」、 または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

ファイル

ヒント

- 本項目は、「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、表示されません。

読み取った画像のファイル名を指定します。

以下の文字列は、ファイル名に使用できません。

- 使用禁止文字
 - 出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合
¥/:?* "<>|,
 - 上記以外の場合
/:?* "<>|,

- Windows 予約語だけ

出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合、¥ を設定すると、フォルダーを区切ります。

なお、ファイル名に < および > を設定すると、出力時に < および > は削除されます。< および > は、ファイル名オプションの予約語で使用しているため、エラーメッセージは表示されません。

例えば、ファイル形式に PDF File (*.pdf) を選択し、ファイル名に <Document> と設定した場合、Document.pdf と出力されます。

【ファイル名オプション】 ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、[ファイル名オプション \(215 ページ\)](#)を参照してください。

選択すると、ファイル名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

【カウンター】 ボタン

クリックすると、ドキュメントカウンターおよびページカウンターの値を設定する「[カウンターオプション](#)」画面 (223 ページ)が表示されます。

ファイル名オプションで「ドキュメントカウンター」または「ページカウンター」を選択した場合、設定してください。

サンプル

本画面で設定したフォルダーとファイル名のパスをサンプルで表示します。

「インデックス情報を出力する」チェックボックス

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

チェックを付けると、インデックス情報ファイルを出力します。

インデックスファイル

インデックス情報ファイルのファイル名を指定します。

ただし、使用禁止文字 (¥ / : * ? " < > |) は指定できません。

【ファイル名オプション】 ボタン

クリックすると、ファイル名に指定できる項目が表示されます。詳細は、[ファイル名オプション \(インデックスファイル\) \(220 ページ\)](#)を参照してください。

選択すると、ファイル名の入力域に、該当の項目がタグ形式で表示されます。

- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」の場合は、黄色のタグが表示されます。
- 「ドキュメント仕分け値」、「バッチ仕分け値」、または「抽出データ」以外の場合は、青色のタグが表示されます。

【データの選択】 ボタン

クリックすると、インデックス情報ファイルに出力する項目を設定する「[インデックス一覧オプション](#)」画面 (228 ページ)が表示されます。

ドキュメント毎に 1 ファイル

選択すると、ドキュメントごとにインデックス情報ファイルを出力します。

バッチ毎に 1 ファイル

選択すると、バッチごとにインデックス情報ファイルを出力します。

ファイル形式

インデックス情報を格納するファイル形式を、以下から選択します。

- TXT
 - XML
 - CSV
- CSV を選択すると以下の項目が表示されます。

ドロップダウンリスト

出力する項目の区切り文字を選択できます。「その他」を選択すると、区切り文字を指定する入力域が表示されるので、指定したい区切り文字を入力してください。

「UTF-8 で出力する」 チェックボックス

チェックを付けると、UTF-8 (8-bit UCS Transformation Format) で出力します。
チェックが外れている場合は、システムロケールの設定言語のデフォルト文字コードで出力します。

「既にファイルが存在した場合、上書きする」 チェックボックス

チェックを付けると、出力先のフォルダーに同名のファイルが存在する場合、常に上書きで出力します。

重要

- SharePoint に保存する場合、チルダ (~) やシャープ (#) など SharePoint 側でファイル名に使用できない文字が含まれていると、出力に失敗します。
SharePoint 側で使用できない文字種は、お使いの SharePoint のバージョンにより異なります。詳細は Microsoft のサポートサイトでご確認ください。
- ファイル名にアラビア語を使用しないでください。

「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面

読み取った画像の出力先に指定するネットワークフォルダーの設定をします。

「Windows 認証を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、Windows 認証情報を使用します。
この場合、「ユーザー名」と「パスワード」の入力域が非活性になります。

ユーザー名

ネットワークフォルダーのサーバーにログインするときのユーザー名を指定します。

パスワード

ネットワークフォルダーのサーバーにログインするときのパスワードを指定します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「SharePoint オプション」画面

読み取った画像の出力先に SharePoint を設定します。

サイト URL

SharePoint のサイト URL を指定します。

「Windows 認証を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、Windows 認証情報を使用します。
この場合、「ユーザー名」と「パスワード」の入力域が非活性になります。

ユーザー名

SharePoint にサインインするときのユーザー名を指定します。

パスワード

SharePoint にサインインするときのパスワードを指定します。

[接続] ボタン

指定したサイト URL に接続し、指定したユーザー名およびパスワードでサインインします。
接続に成功すると、「ライブラリー」のドロップダウンリストに SharePoint のライブラリーが表示されます。

ライブラリー

ドロップダウンリストから、SharePoint のライブラリーを選択します。

コンテンツタイプ

ドロップダウンリストから、SharePoint のコンテンツタイプを選択します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「SharePoint Online オプション」画面

読み取った画像の出力先に SharePoint Online を設定します。

サイト URL

SharePoint Online のサイト URL を指定します。

「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックス

チェックを付けると、ブラウザーを表示して多要素認証を行います。

[接続] ボタンをクリックしたときに表示されるブラウザーでサインインに必要な情報を入力します。

ユーザー名

SharePoint Online にサインインするときのユーザー名を指定します。

「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックスにチェックを付けてサインインした場合、サインインしたアカウントが表示されます。

パスワード

SharePoint Online にサインインするときのパスワードを指定します。

多要素認証が指定されたアカウントで、アプリ パスワードを使って接続する場合、「ユーザー名」にアカウント、「パスワード」にアプリ パスワードを入力してください。

[接続] ボタン

指定したサイト URL に接続し、指定したユーザー名およびパスワードでサインインします。

「ブラウザーで多要素認証を行う」チェックボックスにチェックを付けている場合、多要素認証のためのサインイン画面がブラウザーで表示されます。

接続に成功すると、「ライブラリー」のドロップダウンリストにサイトのライブラリーが表示されます。

ライブラリー

ドロップダウンリストから、サイトのライブラリーを選択します。

コンテンツタイプ

ドロップダウンリストから、ライブラリーのコンテンツタイプを選択します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

ヒント

- ブラウザーで多要素認証を行う場合、バッチ処理をするときに、ブラウザーを表示してサインインします。
サインインしたときのセッション情報は、ジョブに保存します。
SharePoint Online のセッションの有効期間中は、ブラウザーが表示されずに再認証されます。
- ユーザー名およびパスワードで認証を行う場合、バッチ処理をするたびに、指定された情報でサインインします。

「FTP オプション」画面

読み取った画像の出力先に指定する FTP サーバーの、ユーザー認証や接続方法などの項目を設定します。

転送プロトコル

ファイルを転送するプロトコルを選択します。
選択できる転送プロトコルは、以下のとおりです。

- FTP
- SFTP

暗号化

FTP を暗号化してファイルを転送する方法を選択します。
選択できる方法は、以下のとおりです。

- なし
 - 暗黙の SSL/TSL 暗号化
 - 明示的な SSL/TSL 暗号化
- 「転送プロトコル」で「SFTP」を選択した場合、この項目は非表示になります。

ホスト

ファイルを転送する FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

ポート

FTP サーバーのポート番号を指定します。
通常は標準の値を指定してください。サーバー管理者から指定がある場合は変更してください。

「匿名ユーザー」 チェックボックス

チェックを付けると、「ユーザー名」と「パスワード」が非表示になります。
アノニマス FTP サーバー（匿名で接続できるサーバー）にログインする場合に選択します。
「転送プロトコル」で「SFTP」を選択した場合、この項目は非表示になります。

ユーザー名

FTP サーバーにログインするためのユーザー名を入力します。

「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合、この項目は非表示になります。

パスワード

FTP サーバーにログインするためのパスワードを入力します。

「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合、この項目は非表示になります。

メールアドレス

アノニマス FTP サーバーにログインするための e-mail アドレスを入力します。

「匿名ユーザー」チェックボックスにチェックが付いている場合に表示されます。

「タイムアウトを設定する」チェックボックス

チェックを付けると、一定時間 FTP サーバーからの応答がなければ、処理を中断します。

指定した時間だけ待ち合わせを行い、その間に FTP サーバーから応答がなければ、処理を中断します。

タイムアウト時間は、1 ~ 300 秒の範囲で指定してください。

デフォルトは 60 秒です。

接続時

接続時のタイムアウト時間を指定します。

データ送信時

データ送信時のタイムアウト時間を指定します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

ヒント

- FTP のプロキシ設定は、Windows のネットワーク設定の内容に従って動作します。

「アプリケーションの起動オプション」画面

読み取り後に連携して起動するアプリケーションを設定します。

アプリケーションパス

起動するアプリケーションの格納先が表示されます。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、起動するアプリケーションを指定します。

パラメーター

アプリケーションを起動する場合に、アプリケーションに渡すコマンド引数を指定します。

指定できるパラメーターは、アプリケーションによって異なります。

詳細は、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

- %f
ファイル名を渡します。
ファイルが複数の場合、すべてのファイル名がコマンド引数に渡されます。
- %i
インデックス情報ファイル名を渡します。
詳細は、[インデックス情報ファイル形式 \(PaperStream Capture\) \(473 ページ\)](#)または[インデックス情報ファイル形式 \(PaperStream Capture Pro\) \(479 ページ\)](#)を参照してください。
以下に起動アプリケーションに渡すコマンド引数の例を示します。
- パラメーターに「%f」を指定または省略した場合
Application.exe ファイル名 1 ファイル名 2 …
起動アプリケーションのパラメーターにファイル名が追加されます。
- パラメーターに「%i」を指定した場合
Application.exe インデックス情報ファイル名
インデックス情報ファイル名は、「出力先設定」タブ (188 ページ)の「インデックスファイル」で指定します。
- パラメーターに「/s %i %f」を指定した場合
Application.exe /s インデックス情報ファイル名 ファイル名 1 ファイル名 2 …
複数のパラメーターを指定できます。パラメーターには「%i」「%f」以外にアプリケーションに渡す任意の文字列が指定できます。

作業フォルダー

アプリケーションと連携するファイルの出力先を表示します。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、連携するファイルの出力先を指定します。

「固定ファイル名を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、0001 ~ 9999 までの連番でファイル名を生成します。

チェックを外すと、「出力先」タブの「ファイルプロパティ」で設定したファイル名に従って、ファイル名が生成されます。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「メールオプション」画面

読み取った画像の出力先を連携するメールアプリケーションにして、添付ファイルとして送信する設定をします。

「送信ファイルを残す」チェックボックス

チェックを付けると、添付した画像ファイルを「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で指定したフォルダーに残します。

メール送信の単位

一通のメールに全てのファイルを添付する

メールアプリケーションのメッセージ画面を 1 つ起動し、読み取った画像をすべて添付して送信します。

ただし、添付できるファイル数は、最大 10 ファイルです。

一通のメールにファイルを 1 つ添付し、ファイル数分のメールを送る

メールアプリケーションのメッセージ画面をファイル数と同じ数だけ起動し、1 つのメッセージ画面に対し 1 つの画像ファイルを添付して送信します。

「ファイルサイズの警告」チェックボックス

チェックを付けると、添付ファイルのファイルサイズを 1~9999 MB の範囲で指定できます。添付ファイルのファイルサイズの合計が、指定したファイルサイズを超える場合、警告メッセージを表示します。

ヒント

- 一通のメールに添付できるファイルサイズは、お使いのメールアプリケーションやメールサーバーによって異なります。
マルチページ形式で出力したファイルを添付する場合は、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「ファイルオプション」で、ファイルを分割する設定をし、「メール送信の単位」で「一通のメールにファイルを 1 つ添付し、ファイル数分のメールを送る」を選択することを推奨します。

宛先

メールアプリケーションのメッセージ画面の宛先に設定するメールアドレスを入力します。
複数の宛先を指定する場合は、メールアドレスを「, (カンマ)」で区切ってください。
入力できる文字数は、最大 1000 文字です。

件名

メールアプリケーションのメッセージ画面の件名に設定する文字列を入力します。
入力できる文字数は、最大 200 文字です。
「一通のメールにファイルを 1 つ添付し、ファイル数分のメールを送る」を選択している場合、件名の最初に (n/m) が自動的に付与されます。n には、現在のファイル番号、m には全ファイル数が表示されます。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「プリンターオプション」画面

読み取った画像の出力先をプリンターにして印刷する設定をします。

プリンター**プリンター名**

ドロップダウンリストから使用するプリンターを選択します。

プロパティ

クリックすると、プリンターのプロパティ画面を表示します。

状態

プリンターの状態を表示します。

種類

プリンターの種類を表示します。

場所

プリンターの場所を表示します。

コメント

プリンターのコメントを表示します。

印刷範囲**すべて**

すべてのページを印刷します。

ページ指定

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では指定できません。

選択した部分

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では指定できません。

印刷部数**部数**

印刷する部数を指定します。

「部単位で印刷」 チェックボックス

2 部以上印刷する場合、有効になります。
チェックを付けると、部単位で印刷します。

ヘッダー

「ページ番号」チェックボックス

チェックを付けると、ヘッダー部分にページ番号を印刷します。

「日付」チェックボックス

チェックを付けると、ヘッダー部分に日付を印刷します。

印刷形式

ページに合わせて印刷する

プリンターのプロパティ画面で指定した用紙サイズに合わせて、画像を拡大または縮小して印刷します。

実際のサイズに合わせて印刷する

画像と同じサイズで印刷します。

プリンターのプロパティ画面で指定した用紙サイズが、実際の画像サイズより小さい場合、用紙サイズからはみ出た部分は印刷されません。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

チェックを付けると、画像を用紙の中央に印刷します。

向き

自動

画像の向きに合わせて自動で印刷します。

縦

画像を縦向きで印刷します。

横

画像を横向きで印刷します。

拡張設定

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

チェックを付けると、印刷した画像ファイルを「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で指定したフォルダーに残します。

「印刷画面を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、出力するときに、印刷のプレビュー画面を表示します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「オプション設定」画面

読み取った画像を以下の形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

- PDF 形式
- JPEG 形式
- TIFF 形式 (マルチページ)
- PDF 形式 (マルチページ)

ただし、「読み取り設定」タブ (173 ページ) の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、PDF オプション画面が表示され、PDF 形式 (マルチページを含む) のオプションだけが設定できます。

PDF オプション

圧縮

PDF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。

1 ~ 7 の 7 段階から、スライダーで指定します (デフォルトは 3)。数値に比例して、圧縮率は高くなります。

数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

本設定は、カラー画像に対してだけ適用されます。白黒画像として出力する場合は、本設定は無視されて白黒用の圧縮が適用されます。

重要

- 表示されているページの画質と出力されるファイルの画質は異なります。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「カラー高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、カラー画像を高圧縮で出力します。

画像の文字部分と画像部分を分離して画像部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくできます。

一方、高圧縮されて画質が劣化するため、写真や図などの原稿の読み取りには適していません。

重要

- システムが高負荷となり、非常に時間がかかる場合があります。
- 読み取った画像サイズが A3 より大きい場合、正しく動作しないことがあります。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「グレー高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、グレースケール画像で読み取りのときだけ高圧縮で出力します。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「検索可能な PDF を作成する」チェックボックス

チェックを付けると、テキスト認識を行って、検索可能な PDF ファイルとして出力します。

ヒント

- PaperStream Capture の場合「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）で「ファイルの追加」を行ったとき、以下の条件を満たしていると、ファイルから追加したページが検索可能となります。
 - 「カラー高圧縮を行う」チェックボックスおよび「グレー高圧縮を行う」チェックボックスにチェックを付けていない
 - 追加したファイルが画像読み取り用アプリケーション（PaperStream ClickScan、PaperStream Capture、ScanSnap Manager for fi Series、または ScandAll PRO）を使用して出力した検索可能な PDF ファイルである

言語

テキスト認識する言語を指定します。

中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ギリシャ語、トルコ語、アラビア語、ベトナム語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ヘブライ語、ウクライナ語、タイ語、インドネシア語から選択できます。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。
- 「こだわり作成」画面の「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、認識する文字の言語として、以下は指定できません。
 - ギリシャ語
 - ベトナム語

- スウェーデン語
- オランダ語
- ポーランド語
- チェコ語
- ルーマニア語
- ヘブライ語
- ウクライナ語
- タイ語
- インドネシア語

「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス

チェックを付けると、複数ページの画像を検索可能な PDF ファイルとして出力する場合に、先頭ページだけテキスト認識を行います。

全ページに対して処理するのに比べて、処理時間を短縮できます。

重要

- テキスト認識には、非常に時間がかかる場合があります。
- テキスト認識する場合は、以下の設定を推奨します。

画像タイプ	解像度	用紙サイズ
二値白黒	400 / 600 dpi	A3 以下
グレースケール	200 / 300 dpi	
カラー		

上記以外の設定の場合、正しくテキスト認識できない場合があります。

- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。
 - PaperStream Capture の場合

各言語共通

- 手書き文字
- 低解像度での小さな文字
- 傾いた原稿
- 設定言語以外の言語の原稿

日本語、中国語（簡体字） / 中国語（繁体字）

- イタリック体（斜体）
- 上下添え字、複雑な数式
- 文字の背景が不均一色の原稿

- 文字の背景に模様がある原稿
- 影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 網がけ内の文字
- 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿（このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります）
- PaperStream Capture Pro の場合
 - 手書き文字
 - 低解像度での小さな文字
 - 傾いた原稿
 - 設定言語以外の言語の原稿
- PaperStream IP ドライバーの設定によっては、正しくテキスト認識できない場合があります。

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」で「自動」が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」で「0度」を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。

「開くパスワードを設定する」チェックボックス

PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を、16 文字以内（半角文字換算）で付加できます。本チェックボックスは PDF ファイルにだけチェックを付けられます（PDF/A ファイルではチェックを付けられません）。

「固定のパスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、固定のパスワードを設定できます。

「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。

チェックを外すと、PDF ファイルを出力するときに表示される画面でパスワードを設定できます。

PaperStream Capture の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックすると、表示されます。

PaperStream Capture Pro の場合、パスワードの設定画面は、画像を確認 / 編集する画面で、[完了] ボタンをクリックしたときの処理が、PDF ファイルとして出力になる場合、表示されます。

パスワード付き PDF ファイルは PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では扱えないため、パスワードを付加したあとは、PDF ファイル閲覧アプリケーションを使用して参照してください。

「キーワードを設定する」チェックボックス

チェックを付けると、PDF に設定したキーワードを埋め込みます。

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

入力域に、指定したい値を直接入力するか、[キーワードの選択] ボタンをクリックし、指定する設定値を選択します。値の指定後、不要な「;」（セミコロン）は削除してください。

ヒント

- 複数のキーワードを指定する場合は、「;」（セミコロン）で区切ってください。
「"」（ダブルクォート）を文字としてキーワードに含める場合は、「"'」と入力すると「"」を文字としてキーワードに指定できます。
例えば、「キーワード"A」という文字列をキーワードにする場合は「キーワード"'A」と、「"A"キーワード」という文字列をキーワードにする場合は「"'A"'キーワード」と入力します。
- Adobe® Acrobat® では、次の記号は区切り文字として扱われます。
 - ; （セミコロン）
 - ; （全角セミコロン）
 - , （カンマ）
 - , （全角カンマ）
 - 、 （読点）
 - 、 （半角カタカナの読点）
 これらの記号をキーワードに含める場合は、「"」（ダブルクォート）でキーワードを囲んでください。

「キーワードの選択」ボタン

キーワードとして指定する設定値を選択します。

クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- ドキュメント仕分け値
- データ抽出
項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。

重要

- マルチページ形式の PDF ファイルに対し、「抽出データ」をキーワードに指定した場合、先頭ページの抽出データの情報がキーワードとして設定されます。
- 「ファイルオプション」で「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスにチェックを付けている場合、先頭ページの抽出データの情報が、分割後のすべての PDF ファイルに設定されます。

PDF ページ分割

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されます。

すべてのページを 1 つの PDF ファイルにする

読み取った画像をすべて 1 つのファイルにまとめて保存します。

設定ページごとに PDF ファイルを作る

指定したページ数ごとにファイルを作成します。

例えば、2 ページで指定し、6 ページある原稿を読み取ると、ファイルが 3 つ作成されます。

ファイルの圧縮率を指定する（カラー、グレイメージのみ有効）

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されます。

圧縮

PDF 形式で出力するファイルの圧縮率を指定します。

1 ～ 5 の 5 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 3）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。

数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

JPEG オプション

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

画質

JPEG 形式で出力する場合の画質を指定します。

-1 ～ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。

数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用する場合は、24bit カラーで出力するときに有効となります。

重要

- 1 つのジョブで共通の設定になります。
- 「画質」が「-1」または「0」の場合、表示されるページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

ファイルオプション

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックス

チェックを付けると、以下の形式でマルチページのファイルを出力する場合、指定したファイルサイズの上限を超えないようにファイルを分割して出力します。

ファイルサイズは、1 ～ 512MB の範囲で指定できます（デフォルトは 50MB）。

- TIFF
- PDF
- PDF/A
- RTF

重要

- PDF または PDF/A を出力する場合、「PDF オプション」で「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスにチェックを付けているときは、本機能が無効になります。

【OK】 ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

フォルダー名オプション

フォルダー名のフォルダー名オプションに設定できる項目を説明します。

「出力先設定」タブ (188 ページ) にある「ファイルプロパティ」で出力先フォルダーを指定する入力域の横にある「フォルダー名オプション」ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターの名を指定します。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。

表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式
システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
日_月_年を表示します。
- DD
日を表示します。
- MM
月を表示します。
- YY
年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY

年を表示します。

- YYDDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻

出力した時刻を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- HHmmss-24 時間表記
 - HHmmss
時分秒を表示します。
 - HH_mm_ss
時_分_秒を表示します。
 - HH-mm-ss
時-分-秒を表示します。
- HH-24 時間表記
- mm
- ss

抽出データ

「データ抽出設定」タブ (229 ページ) で、定義済みのフィールド名を指定します。

項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。

指定すると、フィールドのフィールド値がフォルダー名に使用されます。

なお、フォルダー名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。

例：

- ゾーン OCR
先頭から 32 文字まで
- バーコード
この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
先頭から 128 バイトまで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値
この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
先頭から 128 バイトまで
- パスポート

- MRZ 上段、MRZ 下段
44 文字まで
- 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
64 文字まで
- ID カード(TD1)
 - MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
30 文字まで
 - 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
64 文字まで
- ID カード(TD2)
 - MRZ 上段、MRZ 下段
36 文字まで
 - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
64 文字まで

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。

ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

ファイル名オプション

ファイル名のファイル名オプションに設定できる項目を説明します。

「出力先設定」タブ (188 ページ)にある「ファイルプロパティ」でファイル名を指定する入力域の横にある [ファイル名オプション] ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターを指定します。

「ドキュメントカウンター」を選択した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「[カウンターオプション](#)」画面 (223 ページ) で、ドキュメントカウンターを指定してください。

例えば、「初期値」が「1」、「初期値を自動更新する」を選択し、「最小桁数」が「2」の場合、ファイル名は「01」になります。出力したファイルが1つの場合、次回の「初期値」は「2」に設定され、ファイル名は「02」になります。

ページカウンター

ページカウンターを指定します。

「ページカウンター」を選択した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「[カウンターオプション](#)」画面で、ページカウンターを指定してください。

例えば、「初期値」が「1」、「初期値を自動更新する」を選択し、「最小桁数」が「2」の場合、ファイル名は「01」になります。出力したファイルが1つでページ数が2ページの場合、次回の「初期値」は「3」に設定され、ファイル名は「03」になります。

シートカウンター

シートカウンターを指定します。

「シートカウンター」を選択した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「[カウンターオプション](#)」画面で、シートカウンターを指定してください。

例えば、「最小桁数」が「3」の場合、ファイル名は「001」になります。

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式

システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。

- yyyyMMdd
年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
日_月_年を表示します。
- DD
日を表示します。
- MM
月を表示します。
- YY
年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
年を表示します。
- YYDDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻

出力した時刻を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- HHmmss-24 時間表記
 - HHmmss
時分秒を表示します。
 - HH_mm_ss
時_分_秒を表示します。
 - HH-mm-ss
時-分-秒を表示します。
- HH-24 時間表記
- mm
- ss

ファイル出力詳細日時

出力するファイルを作成し始めた時間をファイル名に指定します。

ファイル形式で「Word 文書」、「Excel 文書」、または「PowerPoint 文書」を選択した場合、読み取った画像は、PDF ファイルに保存されてから、選択したファイル形式に変換されるため、ファイル名は、PDF ファイルを作成し始めた時間になります。

出力されるファイル名は、年月日と時刻 (hhmmssfff) を合わせて表示します。

年月日の表示は、システムロケールに合わせた形式になります。

ドキュメント仕分け値

ドキュメント仕分け値をファイル名に指定します。

ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"SEPARATOR" + 仕分け No. (数字 4 桁)」の文字列が、ファイル名に出力されます。

バッチ仕分け値

PaperStream Capture Pro の場合に表示されます。

バッチ仕分け値をファイル名に指定します。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をファイル名に指定します。

PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。

なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「1」となります。

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

出力面

ADF 両面読み取りの場合、原稿の出力面（表面 / 裏面）をファイル名に指定します。

表面の場合は「F」を、裏面の場合は「B」を出力します。

なお、フラットベッドでの読み取りや「ファイルの追加」を行った場合は、固定値「F」を出力します。

編集文字列

任意の文字列をファイル名に指定します。

PaperStream Capture で指定した場合、「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）で、[完了] ボタンをクリックすると、表示されるファイル名の編集画面（308 ページ）でファイル名を入力します。

PaperStream Capture Pro で指定した場合、ファイルを出力するときに表示されるファイル名の編集画面（308 ページ）でファイル名を入力します。

抽出データ

「データ抽出設定」タブ（229 ページ）で、定義済みのフィールド名を指定します。

項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。

指定すると、フィールドのフィールド値がファイル名に使用されます。

なお、ファイル名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。

例：

- ゾーン OCR
 - 先頭から 32 文字まで
- バーコード（PaperStream Capture の場合）
 - 先頭から 128 バイトまで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値（PaperStream Capture Pro の場合）
 - 先頭から 128 バイトまで
- パスポート
 - MRZ 上段、MRZ 下段
44 文字まで
 - 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
64 文字まで
- ID カード(TD1)
 - MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
30 文字まで
 - 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
64 文字まで
- ID カード(TD2)
 - MRZ 上段、MRZ 下段
36 文字まで
 - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
64 文字まで

ヒント

- 本項目は、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバプロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。

ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

ファイル名オプション（インデックスファイル）

インデックスファイル名のファイル名オプションに設定できる項目を説明します。

「出力先設定」タブ (188 ページ)にある「ファイルプロパティ」でインデックスファイル名を指定する入力域の横にある「ファイル名オプション」ボタンをクリックすると以下の項目が表示されます。

ジョブ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したジョブ名を指定します。

バッチ名

「ジョブ情報設定」タブで指定したバッチ名を指定します。

ユーザー名

ファイルの出力を実行したコンピューターのユーザー名を指定します。

コンピューター名

ファイルの出力を実行したコンピューター名を指定します。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターを指定します。

指定した場合、[カウンター] ボタンをクリックし、表示された「カウンターオプション」画面 (223 ページ)で、ドキュメントカウンターを設定してください。

環境変数

ファイルの出力を実行したコンピューターの環境変数を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- ユーザー変数
- システム変数

各サブメニューに、定義されている環境変数が表示されます。

表示される環境変数は、お使いの環境によって異なります。

出力日

出力した日を指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- システム標準形式
システムロケールに合わせた形式で年月日を表示します。
- yyyyMMdd
年月日を表示します。
- yyyy-MM-dd
年-月-日を表示します。
- yyyy_MM_dd
年_月_日を表示します。
- MMddyyyy
月日年を表示します。
- MM-dd-yyyy
月-日-年を表示します。
- MM_dd_yyyy
月_日_年を表示します。
- ddMMyyyy
日月年を表示します。
- dd-MM-yyyy
日-月-年を表示します。
- dd_MM_yyyy
日_月_年を表示します。
- DD
日を表示します。
- MM
月を表示します。
- YY
年を表示します。表示は、西暦の下 2 桁になります。
- YYYY
年を表示します。
- YYDDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16075 と表示されます。
- YY-DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。
例えば、2016 年 3 月 16 日の場合、16-075 と表示されます。
- YY_DDD (ユリウス暦)
年日を表示します。表示は、西暦の下 2 桁 + 1 月 1 日からの通日になります。

例えば、2016年3月16日の場合、16_075 と表示されます。

出力時刻(HHmmss-24 時間表記)

出力した時刻を指定します。

時刻の区切り文字を追加したい場合は、インデックスファイル名を指定する入力域に表示された HHmmss 部分に、「_」(アンダースコア) または「-」(ハイフン) のどちらかを直接入力してください。

例えば、「-」(ハイフン) を追加する場合、HH-mm-ss になるよう入力します。

ドキュメント仕分け値

ドキュメント仕分け値をインデックスファイル名に指定します。

ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"SEPARATOR" + 仕分け No. (数字 4 桁)」の文字列が、インデックスファイル名に出力されます。

バッチ仕分け値

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

バッチ仕分け値をインデックスファイル名に指定します。

マルチイメージ出力順

マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をインデックスファイル名に指定します。

PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。

なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「1」となります。

抽出データ

「[データ抽出設定](#)」タブ (229 ページ) で、定義済みのフィールド名を指定します。

項目をマウスでポイントすると表示されるサブメニューで、定義済みのフィールド名を選択します。指定すると、フィールドのフィールド値がインデックスファイル名に使用されます。

なお、インデックスファイル名に使用される文字列長は、フィールド種別によって異なります。

例：

- ゾーン OCR
 - 先頭から 32 文字まで
- バーコード、JSON 解析、JSON 値
 - この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
 - 先頭から 128 バイトまで
- バーコード
 - この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
 - 先頭から 128 バイトまで
- パスポート
 - MRZ 上段、MRZ 下段
44 文字まで
 - 発行国、姓、名、旅券番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、個人番号
64 文字まで
- ID カード(TD1)

- MRZ 上段、MRZ 中段、MRZ 下段
30 文字まで
- 発行国、文書番号、発行国拡張情報上段、生年月日、性別、有効期間満了日、国籍、発行国拡張情報中段、姓、名
64 文字まで
- ID カード(TD2)
 - MRZ 上段、MRZ 下段
36 文字まで
 - 発行国、姓、名、文書番号、国籍、生年月日、性別、有効期間満了日、拡張情報
64 文字まで

既定値に戻す

ファイル名オプションの設定を規定値に戻します。

フォルダー区切り

フォルダーを区切ります。

ただし、「出力先設定」タブの「出力先」で「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」が選択されている場合、表示されません。

閉じる

設定を完了します。

「カウンターオプション」画面

ドキュメントカウンター、ページカウンター、およびシートカウンターの値を設定します。

ドキュメントカウンター

1 回の読み取りの単位（仕分け設定がある場合はそれにより分割された単位）で 1 つのドキュメントとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ~ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。

2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、[ファイル名の編集画面 \(308 ページ\)](#)で、ドキュメントカウンターの初期値を直接入力できます。

PaperStream Capture の場合、ファイル名の編集画面は、「[スキャン](#)」画面（[確認 / 編集時](#)）（[282 ページ](#)）で [完了] ボタンをクリックすると表示されます。

PaperStream Capture Pro の場合、ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。ただし、マルチステーション運用をしている場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

最小桁数

ドキュメントカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。以下に例を示します。

ドキュメントカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

ページカウンター

読み取った原稿の面が 1 ページとなり、その単位でカウンター値が付与されます。両面読み取りの場合は表裏で 2 ページ、上下分割した場合は上下で 2 ページとなります。

初期値

ページカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。

2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

また、ドキュメントカウンターと同時に指定した場合、ドキュメントごとにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、ページカウンターの初期値を直接入力できます。

● PaperStream Capture の場合

ファイル名の編集画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で [完了] ボタンをクリックすると表示されます。

ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」を選択

● PaperStream Capture Pro の場合

ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとページカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- マルチステーション運用をしている

最小桁数

ページカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。

実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。

実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。

以下に例を示します。

ページカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。

原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。

「出力先」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「ページカウンターをインプリンタで印字する」を選択した場合、読み取り開始前に、PaperStream IP ドライバーで設定するインプリンタ印字文字列のカウンター桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」を合わせておくと、桁数の最大値を超えてもページカウンターは同期されます。

PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、ページカウンターは正しく同期されません。

ヒント

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用、かつ「ページカウンター」の設定が以下のとき、インプリンタの印字は桁数の最大値で印字されます。

- 「初期値」がドライバーで設定しているカウンターの桁数を超過している

- 「桁数を固定する」チェックボックスのチェックが外れている

例えば、ドライバーの設定でカウンターの桁数を 5、「ページカウンター」の「初期値」を 6 桁の 100000 とした場合、インプリンタによる印字は、5 桁の最大値である 99999 から開始されます。

シートカウンター

読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ~ 2000000000 の範囲で指定します。

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。

2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されます。

重要

- PaperStream Capture Pro の場合、「仕分け設定」タブ (249 ページ) の「バッチ仕分け」でバッチの分割が設定されているときは、「読み取り毎に初期値に戻す」を選択していても、シートカウンターの値は、バッチの分割ごとに「初期値」で指定した値に戻りません。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピュータの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、シートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、シートカウンターの初期値を直接入力できます。

● PaperStream Capture の場合

ファイル名の編集画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で [完了] ボタンをクリックすると表示されます。

ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「シートカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択

● PaperStream Capture Pro の場合

ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

ただし、以下の場合は、本設定が無効となり、出力時に編集できません。

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「シートカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、ドロップダウンリストから「バッチフォルダーとシートカウンターをインプリンタで印字する」を選択
- マルチステーション運用をしている

最小桁数

シートカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。

実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。

実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。

以下に例を示します。

シートカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。
- 「読み取り設定」タブ (173 ページ) で以下を設定している場合、原稿の表面を読み取ったあとに原稿の裏面を逆順で読み取り、両面データとして合成するため、裏面にはシートカウンターの番号が逆順の状態が付与されます。
 - 「入力」で仮想的に両面を読み取る機能に対応した片面読み取りスキャナーを選択

- 「読み取り設定」で「読み取り面」が「ドライバーの設定に従う」かつ PaperStream IP ドライバーの「給紙」で「フィーダー (両面(仮想))」を選択

【OK】 ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「インデックス一覧オプション」画面

インデックス情報ファイルに出力する項目を指定します。

設定可能項目

指定できる項目が表示されます。

「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押したまま項目を選択すると、複数の項目を選択できます。

【> >】 ボタン

「設定可能項目」で選択した項目を「設定済み項目」に移動します。

【< <】 ボタン

「設定済み項目」で選択した項目を「設定可能項目」に移動します。

設定済み項目

出力する項目が表示されます。

デフォルトは、指定できる項目がすべて設定されています。

【上へ】 ボタン

クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ上に移動します。

【下へ】 ボタン

クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ下に移動します。

「ファイルヘッダーにフィールド名を出力する」チェックボックス

「出力先設定」タブ (188 ページ) で、インデックス情報ファイルのファイル形式を「TXT」または「CSV」に設定した場合、表示されます。

チェックを付けると、インデックス情報ファイルの 1 行目に項目名を出力します。

「ドキュメントの先頭ページ情報のみを出力する」チェックボックス

チェックを付けると、ドキュメントごとに先頭ページだけインデックス行を出力します。

ヒント

- 本項目は、「ドキュメントの抽出データを 1 行で出力する」チェックボックスと同時には選択できません。

「ドキュメントの抽出データを 1 行で出力する」チェックボックス

チェックを付けると、ドキュメントの特定ページのフィールド値を 1 つずつ抽出し、1 行で出力します。

- PaperStream Capture の場合
フィールド値のあるページのうち、最も小さなページ番号にあるフィールド値を抽出データとして出力します。
- PaperStream Capture Pro の場合
ドキュメントのどのページのフィールド値が抽出データとして出力されるかを以下に示します。
 - 「データ抽出フィールド定義」の「適用ページ」で「指定ページ」を設定した場合
設定したページのフィールド値を出力します。
 - 「データ抽出フィールド定義」の「適用ページ」で「全ページ」を設定した場合、または「定義モード」で「互換モード」を選択した場合
フィールド値のあるページのうち、最も小さなページ番号にあるフィールド値を出力します。

ヒント

- 本項目は、「ドキュメントの先頭ページ情報のみを出力する」チェックボックスと同時に選択できません。

文字列 1 ~ 4

インデックス情報ファイルに出力する文字列を指定します。
指定可能な最大文字数は 32 文字です。
文字列の先頭および末尾の空白は削除されます。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「データ抽出設定」タブ

データ抽出フィールド定義を設定します。

重要

- 一時保存、中断、またはエラーのバッチジョブが存在する場合、「データ抽出設定」タブは編集できません。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

データ抽出フィールド定義

フィールドリスト

フィールドの名前と種別がリストで表示されます。

【追加】 ボタン

クリックすると、フィールドを追加します。

- PaperStream Capture の場合
追加できるフィールドは、以下の組み合わせで最大 20 か所です。
 - ゾーン OCR
 - バーコード
 - パスポート
 - ID カード(TD1)
 - ID カード(TD2)
- PaperStream Capture Pro の場合
追加できるフィールドは、以下の組み合わせで最大 100 か所です。
 - ゾーン OCR
 - バーコード
 - パスポート
 - ID カード(TD1)
 - ID カード(TD2)

【参照作成】 ボタン

クリックすると、フィールドリストで選択しているフィールドを複製して、フィールドを追加します。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブ (249 ページ) で仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールドの参照作成は不可となり、本項目はグレイアウトされます。

【削除】 ボタン

クリックすると、選択しているフィールドを削除します。

フィールド数

「フィールド数 (設定しているフィールド数/フィールド数の上限値)」を表示します。

【バーコードの設定】 ボタン

クリックすると、「バーコードの設定」画面（データ抽出）（243 ページ）を表示します。

定義モード

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

データ抽出フィールドを定義するモードを、以下から選択します。

- 標準モード

選択すると、PaperStream Capture Pro に対応したモードでデータ抽出フィールドを設定できます。

追加したデータ抽出フィールドは、指定したページに適用されます。ただし、「フィールド属性」の「種別」が「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」の場合、すべてのページに適用されます。

データ抽出フィールドは、最大 100 か所に指定できます。

- 互換モード

選択すると、PaperStream Capture に対応したモードでデータ抽出フィールドを設定できます。

追加したデータ抽出フィールドは、すべてのページに適用されます。

データ抽出フィールドは、以下の組み合わせで最大 20 か所に指定できます。

- ゾーン OCR
- バーコード
- パスポート
- ID カード(TD1)
- ID カード(TD2)

フィールド属性

フィールドリストで選択しているフィールドの詳細が表示されます。

- PaperStream Capture の場合

名前

フィールドの名前が表示されます。入力域に直接文字を入力して名前を変更できます。

種別

フィールド種別を選択します。

クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- ゾーン OCR
フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- パスポート
フィールド値に、パスポートから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 下段
- 発行国
- 姓
- 名
- 旅券番号
- 国籍
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 個人番号

パスポートを読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (44 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[パスポートの検知条件 \(497 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用してパスポートを読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (44 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[パスポートの検知条件 \(497 ページ\)](#)を参照してください。

- ID カード(TD1)

フィールド値に、ICAO (国際民間航空機関) の規格 (Doc 9303) に沿った TD1 (ID-1 サイズ) の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 中段
- MRZ 下段
- 発行国
- 文書番号
- 発行国拡張情報上段
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 国籍
- 発行国拡張情報中段
- 姓
- 名

IDカード (TD1 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (30 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD1\) の検知条件 \(499 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用して ID カード (TD1 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (30 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD1\) の検知条件 \(499 ページ\)](#)を参照してください。

- ID カード(TD2)

フィールド値に、ICAO (国際民間航空機関) の規格 (Doc 9303) に沿った TD2 (ID-2 サイズ) の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。

サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 下段
- 発行国
- 姓
- 名
- 文書番号
- 国籍
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 拡張情報

IDカード (TD2 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (36 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD2\) の検知条件 \(501 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用して ID カード (TD2 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (36 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD2\) の検知条件 \(501 ページ\)](#)を参照してください。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード (TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、「ID カード(TD2)」の選択は不可となり、グレイアウトされます。

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、パスポートの MRZ を自動で検知できません。
パスポートを読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として指定してください。

検出エリア

データ抽出の検出エリアを設定します。

画像全体

種別に「バーコード」を選択すると表示されます。
選択すると、読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

種別に「バーコード」を選択すると表示されます。
選択すると、[エリアを定義 >>] ボタンが有効になります。

[エリアを定義 >>] ボタン

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
クリックすると、認識領域を設定する[エリア設定画面（データ抽出）](#)（243 ページ）が表示されます。

言語

「種別」で「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。
ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。
詳細は、[ゾーン OCR の検知条件](#)（495 ページ）を参照してください。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。
クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。
詳細は、[バーコードの種類と検知条件](#)（490 ページ）を参照してください。

不正なフィールド値

「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を選択すると表示されます。
出力するときに、不正なフィールド値があった場合の動作を、ドロップダウンリストから選択します。

- エラーにする

認識結果に不正なフィールド値があった場合、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。

- 確認メッセージを表示する
認識結果に不正なフィールド値があった場合、確認メッセージを表示します。
[はい] ボタンをクリックすると、そのまま出力します。
[いいえ] ボタンをクリックすると、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。ただし、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合、編集画面には遷移せず、エラーとなり「バッチ管理」画面に表示されます。
- エラーにせずに出力する
認識結果に不正なフィールド値があっても、そのまま出力します。

- PaperStream Capture Pro の場合

名前

フィールドの名前が表示されます。入力域に直接文字を入力して名前を変更できます。

種別

フィールド種別を選択します。

クリックすると、以下のフィールド種別がリストで表示されます。

- 直接入力
フィールド値を直接入力する場合に指定します。
- ゾーン OCR
フィールド値に、ゾーン OCR の認識結果を使用する場合に指定します。
- バーコード
フィールド値に、バーコードの認識結果を使用する場合に指定します。
- システム
フィールド値に、システム値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。サブメニューから、指定する形式を選択してください。
 - ジョブ名
 - バッチ名
 - ユーザー名
 - コンピューター名
 - 環境変数
 - スキャン日
 - スキャン時刻 (HHmmss-24 時間表記)
 - 出力面
ユーザー名、コンピューター名、および環境変数は、原稿の読み取りを実行したコンピューターの値になります。
- リストから選択
フィールド値を「[リストの定義](#)」画面 (246 ページ) で設定したリストから選択する場合に指定します。

- DB オートフィル
フィールド値に、データベースから取得した値を設定する場合に指定します。
- 組み合わせ
フィールド値に、ほかのフィールドのフィールド値を組み合わせた値を設定する場合に指定します。
- 分割
フィールド値に、バーコードの認識結果を分割した値を設定する場合に指定します。
- JSON 解析
フィールド値に、JSON 解析で解析するバーコードの値を設定する場合に指定します。
- JSON 値
フィールド値に、JSON 解析で解析した値を取得し、設定する場合に指定します。
- パスポート
フィールド値に、パスポートから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。
 - MRZ 上段
 - MRZ 下段
 - 発行国
 - 姓
 - 名
 - 旅券番号
 - 国籍
 - 生年月日
 - 性別
 - 有効期間満了日
 - 個人番号パスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[パスポートの検知条件 \(497 ページ\)](#)を参照してください。
PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用してパスポートを読み取った場合、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[パスポートの検知条件 \(497 ページ\)](#)を参照してください。
- ID カード(TD1)
フィールド値に、ICAO（国際民間航空機関）の規格（Doc 9303）に沿った TD1（ID-1 サイズ）の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。
項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。
サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 中段
- MRZ 下段
- 発行国
- 文書番号
- 発行国拡張情報上段
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日
- 国籍
- 発行国拡張情報中段
- 姓
- 名

ID カード (TD1 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (30 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD1\) の検知条件 \(499 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用して ID カード (TD1 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (30 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD1\) の検知条件 \(499 ページ\)](#)を参照してください。

- ID カード(TD2)

フィールド値に、ICAO (国際民間航空機関) の規格 (Doc 9303) に沿った TD2 (ID-2 サイズ) の ID カードから取得した値を使用する場合に指定します。

項目をマウスでポイントすると、さらに以下のサブメニューが表示されます。

サブメニューから、指定する形式を選択してください。

- MRZ 上段
- MRZ 下段
- 発行国
- 姓
- 名
- 文書番号
- 国籍
- 生年月日
- 性別
- 有効期間満了日

- 拡張情報

ID カード (TD2 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (36 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD2\) の検知条件 \(501 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用して ID カード (TD2 準拠) を読み取った場合、機械読み取り領域 (Machine Readable Zone = MRZ) のうち、「フィールド属性」で指定した「種別」の情報が含まれている MRZ の段 (36 桁) を認識領域として自動的に指定します。詳細は、[ID カード \(TD2\) の検知条件 \(501 ページ\)](#)を参照してください。

重要

- 「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード (TD2)」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、「ID カード(TD2)」の選択は不可となり、グレイアウトされます。

検出エリア

データ抽出の検出エリアを設定します。

画像全体

「種別」で「バーコード」または「JSON 解析」を選択すると表示されます。選択すると、読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

「種別」で「バーコード」、または「JSON 解析」を選択すると表示されます。選択すると、[エリアを定義 >>] ボタンが有効になります。

[エリアを定義 >>] ボタン

「種別」で「直接入力」、「ゾーン OCR」、「バーコード」、または「JSON 解析」を選択すると表示されます。

クリックすると、認識領域を設定する[エリア設定画面 \(データ抽出\) \(243 ページ\)](#)が表示されます。

[設定] ボタン

「種別」で「リストから選択」を選択すると表示されます。クリックすると、「リストの定義」画面が表示されます。

分割 No.

「種別」で「分割」を選択すると表示されます。

ただし、選択したフィールドの「分割」の設定が「長さ」かつ「カスタマイズ」以外の場合に、表示されます。

分割された何番目かを 1 ~ 3741 までの値で指定します。

文字

「種別」で「分割」を選択すると表示されます。


ただし、選択したフィールドの「分割」の設定が「長さ」かつ「カスタマイズ」の場合に、表示されます。

何文字目から何文字目までの長さで分割するかを 1 ~ 3741 までの値で指定します。

属性

以下から選択できます。


- 必須
選択すると、入力が必須になります。

以下の条件をすべて満たす場合は、項目をマウスでポイントするとが表示されます。

- 「定義モード」が「標準モード」
- 「種別」が「バーコード」、「ゾーン OCR」、「DB オートフィル」、「分割」、「JSON 値」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」
- 「属性」が「必須」

をクリックすると、「代替オプション」画面 (247 ページ)が表示されます。

- 読み取り専用
選択すると、読み取り専用になります。
- 継続
選択すると、ドキュメントの 1 ページ目のフィールド値が、同じドキュメントの全ページに設定されます。また、「適用ページ」の設定は無効になります。
「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を指定したときは、選択できません。
- DB ルックアップ
「種別」で「直接入力」、「バーコード」、または「ゾーン OCR」を指定した場合に選択できます。
選択すると、「ODBC データソース」画面 (247 ページ)で指定したデータベースと連携します。

項目をマウスでポイントし、表示されたをクリックすると、「ODBC データソース」画面が表示されます。

「フィールドを隠す」チェックボックス

「種別」で「直接入力」、「ゾーン OCR」、「バーコード」、「JSON 解析」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。

チェックを付けると、インデックスを編集する画面のフィールドパネルにフィールドが表示されません。

言語

「種別」で「直接入力」または「ゾーン OCR」を選択すると表示されます。ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。詳細は、[ゾーン OCR の検知条件 \(495 ページ\)](#)を参照してください。

バーコードの種類

「種別」で「バーコード」または「JSON 解析」を選択すると表示されます。クリックすると、検知するバーコードの種類を選択できます。詳細は、[バーコードの種類と検知条件 \(490 ページ\)](#)を参照してください。

分割

「種別」で「バーコード」を選択すると表示されます。バーコードの認識結果を分割する場合に指定します。

「分割を使用する」チェックボックス

チェックを付けると、バーコードの認識結果を分割します。以下の分割方法があります。

- 文字
どの文字で分割するかを入力して指定します。
- 長さ (固定)
何文字で分割するかを 1~3741 までの値で指定します。
- 長さ (カスタマイズ)
「種別」が「分割」のフィールドにある「文字」で、何文字目から何文字目までの長さで分割するかを 1~3741 までの値で指定します。

フィールド値プロパティ

フィールド値のプロパティを指定します。フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。出力先が SharePoint の場合、SharePoint のフィールド値と同期されます。ただし、設定値は変更できません。

種別

フィールド値の種別は、以下から選択できます。

- テキスト
- 数値
「数値」を選択した場合は、さらに「少数の位」を指定します。
- 通貨
「通貨」を選択した場合は、さらに「少数の位」と「通貨形式」を指定します。
- 日付と時刻
- ブーリアン

なお、フィールド値は、選択したフィールド値の種別に沿って、以下のようにチェックされます。

- テキスト
文字列であるかをチェックします。
- 数値
数値であるかをチェックします。数値ではない場合や、指定した小数の位と異なる場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
桁区切り文字で区切られている場合、桁区切りの位置はチェックしません。ただし、先頭に桁区切り文字がある場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
- 通貨
数値だけ、または文字列の最初か最後に指定した通貨記号を含む数値であるかをチェックします。
指定した小数の位と異なる場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
桁区切り文字で区切られている場合、桁区切りの位置はチェックしません。ただし、先頭に桁区切り文字がある場合は、フィールドパネルに警告メッセージが表示されます。
- 日付と時刻
指定されている日付と時刻の形式に沿った値であるかをチェックします。
日付と時刻の形式は、「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」→「地域と言語」の「形式」タブの指定に従います。
- ブーリアン
Boolean 型の文字列 (true / false)、または数値であるかをチェックします。
Boolean 型の文字列の場合、大文字小文字の区別はしません。
数値の場合、0 は false、0 以外の数値は true を意味します。
さらに厳密なチェックを実施したい場合は、「フィールドルール」での設定を追加してください。

不正なフィールド値

「種別」で「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」を選択すると表示されます。

出力するときに、不正なフィールド値があった場合の動作を、ドロップダウンリストから選択します。

- エラーにする
認識結果に不正なフィールド値があった場合、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。
- 確認メッセージを表示する
認識結果に不正なフィールド値があった場合、確認メッセージを表示します。
[はい] ボタンをクリックすると、そのまま出力します。
[いいえ] ボタンをクリックすると、出力せずに編集画面へ遷移し、不正なフィールド値を選択した状態で表示します。ただし、「読み取り設定」タブの「表示オプション」で「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合、編集画面には遷移せず、エラーとなり「バッチ管理」画面に表示されます。
- エラーにせずに出力する

認識結果に不正なフィールド値があっても、そのまま出力します。

フィールドルール

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

フィールド値の文字列のルールを指定します。

フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。

「正規表現」チェックボックス

チェックを付けると、正規表現の指定ができます。

入力域に直接入力するか、[ルール] ボタンから選択します。

[ルール] ボタン

クリックすると、正規表現に指定できる項目が表示されます。

以下から選択できます。

- 文字 (.)
- アルファベット文字 (A-Z,a-z)
- 数字 (0-9)
- 直前の表現が 1 個以上 (+)
- 直前の表現が 0 個以上 (*)

「OCR 時に使用する」チェックボックス

「言語」で英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、またはインドネシア語を選択している場合、表示されます。

チェックを付けると、ゾーン OCR を使用して読み取る場合に、正規表現で指定したルールに基づいて読み取ります。

「正規表現」の設定内容によっては、認識精度が劣化する場合があります。

重要

- 正規表現を直接入力する場合、次の構文を指定すると、期待する認識結果が得られません。
 ¥、\$、?、{n}、{n,}、{n,m}、(?:pattern)、(?:=pattern)、(?:!pattern)、¥B、
 ¥cx、¥d、¥D、¥f、¥n、¥r、¥S、¥s、¥t、¥v、¥w、¥W、¥xn、¥n、¥nm、¥nml、
 ¥un
- 認識する対象の文字とは明らかに異なる正規表現を指定した場合、期待する認識結果が得られません。

「長さ」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる文字数を指定できます。

文字数は、1 ~ 255 までの値で指定できます。

出力先が SharePoint の場合、SharePoint のフィールド値と同期されます。

「数値」チェックボックス

チェックを付けると、使用できる数字の範囲を指定できます。
数字の範囲は、 $-1.79E+308$ ~ $1.79E+308$ までの値で指定できます。
出力先が SharePoint の場合、SharePoint のフィールド値と同期されます。

適用ページ

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
指定したページにフィールドを設定します。
フィールドの「種別」で、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、または「ID カード(TD2)」以外を選択すると表示されます。
「定義モード」が「互換モード」の場合は、この項目が非表示になります。

指定ページ

指定するページを、1 ~ 999 の範囲で直接入力します。
読み取り直後は、各ドキュメントの、ここで指定したページのフィールドとして設定されます。
抽出データの編集でフィールドに対する指定ページの値も変更できます。

全ページ

すべてのページを指定します。

関連項目

- [読み取った原稿内のバーコードの情報を抽出する \(116 ページ\)](#)
- [読み取った原稿内の文字列の情報を抽出する \(118 ページ\)](#)
- [抽出データの高度な設定 \(153 ページ\)](#)

「バーコードの設定」画面（データ抽出）

バーコードの認識方法や出力方法を設定する画面です。

「UTF-8 の QR コードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、QR コードを UTF-8 の文字コードで認識します。

「2次元コード内に制御コード[NUL]以降のデータも出力」チェックボックス

チェックを付けると、2次元コードのバーコードを認識したときに、データの途中に制御コードの [NUL] があっても情報を切らずに出力します。

エリア設定画面（データ抽出）

データを抽出するフィールドの認識領域を設定する画面です。

名前

認識領域を設定するフィールド属性の名前を表示します。クリックして表示されるリストで、設定するフィールドを変更できます。

ツールバー

認識領域の確認や編集に使用します。

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

画像

追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。

クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。

クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。

操作モード

エリア設定

フィールドの認識範囲を変更します。

読み取った画像上で、フィールド値を検出する領域をドラッグして選択します。

選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン () をクリックすると、選択を解除できます。

認識領域を選択すると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。

● PaperStream Capture Pro の場合

フィールド属性の「種別」が「直接入力」または「ゾーン OCR」の場合、認識する文字の種別を選択する領域が表示されます。表示された領域で、認識する文字の種別をドロップダウンリストから選択し、必要に応じて文字数を指定します。文字の数は、1 ~ 2147483647 までの値で指定します。対象の言語は英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン

語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。

以下に認識する文字の種別を示します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	<u>EXAMPLE</u>
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	EXAMPLE
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	E X A M P L E
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	<u>E X A M P L E</u>
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	E X A M P L E
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

フィールドパネル

フィールドのフィールド値を表示します。

[スキャン] ボタン

クリックすると、原稿の読み取りを開始します。

[OK] ボタン

クリックすると、エリアの設定を確定して「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

[キャンセル] ボタン

クリックすると、「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

「リストの定義」画面

リストに表示する抽出データを定義します。

入力域

リストに表示される抽出データが表示されます。

「データベースから移入」チェックボックス

チェックを付けると、リストに表示する抽出データを、データベースから移入できます。

[設定] ボタン

クリックすると、「[ODBC データソース](#)」画面 (247 ページ)が表示されます。

「リストにない値の入力を許可」チェックボックス

チェックを付けると、リストに表示する抽出データを、入力域に直接入力できます。

「重複データを削除し、昇順に並び替える」チェックボックス

チェックを付けると、リストから重複しているデータを削除し、昇順に並べ替えて表示します。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「ODBC データソース」画面

抽出データに使用する ODBC データソースおよび ODBC データソースに接続する情報を設定します。

データソース仕様**ODBC データソース**

定義済みの ODBC データソースの一覧を、ドロップダウンリストで表示します。

抽出データに使用するデータソースを、リストから選択します。

リストに表示できる ODBC データソースの抽出データは、先頭から数えて最大 1000 件までという制限を設けています。

【更新】 ボタン

定義済みの ODBC データソースの一覧を更新します。

ユーザー名

選択したデータソースに接続するためのユーザー名を入力します。

パスワード

選択したデータソースに接続するためのパスワードを入力します。

【接続】 ボタン

選択したデータソースに接続します。

リスト情報**表**

選択したデータソースに設定されている表の一覧を、ドロップダウンリストで表示します。

使用する表を、リストから選択します。

フィールド

選択した表に設定されているフィールド一覧を、ドロップダウンリストで表示します。

使用するフィールドを、リストから選択します。

【OK】 ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

また、設定した値が「データ抽出設定」タブの各設定に反映されます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「代替オプション」画面

フィールド値の認識に失敗した場合の代替文字列を設定します。

デフォルトは、「空文字」が設定されています。

フィールド値抽出失敗時の代替文字列

空文字

選択すると、フィールド値は空文字になります。

連番

選択すると、フィールド値に連番が付きます。

「連番」の初期値と最小桁数は、「連番オプション」で指定できます。

任意文字列

選択すると、フィールド値は任意の文字列になります。

入力域に、任意の文字列を入力します。

デフォルトは、「REPLACEMENT」です。

「任意文字列の後ろに連番を付加する」チェックボックスにチェックを付けた場合に付加される数値を含めて、文字列は 128 文字まで入力できます。

半角空白だけの文字列は使用できません。

また、文字列の前後に半角空白がある場合、半角空白は削除されます。

「任意文字列の後ろに連番を付加する」チェックボックス

チェックを付けると、「任意文字列」で設定した文字列のうしろに「連番」で設定した数値が追加されます。

例えば、「任意文字列」が「Customer」、「連番オプション」の「初期値」が「1」、「最小桁数」が「4」の場合、代替文字列は「Customer0001」になります。

連番オプション

初期値

「連番」の初期値を 1～9999 までの値で指定します。

デフォルトは、「1」です。

最小桁数

「連番」の最小桁数を 1～10 までの値で指定します。

デフォルトは、「4」です。

重要

- 以下の場合、フィールド値は空文字になります。
 - 「読み取り設定」タブ (173 ページ) の「画像表示オプション」の「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックを付けている場合
 - 「データ抽出設定」タブ (229 ページ) の「適用ページ」の「指定ページ」で指定したページ数が、実際に読み取った原稿のページ数よりも多い場合

【OK】 ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「仕分け設定」タブ

- PaperStream Capture の場合
原稿の分割方法を設定できます。
原稿を分割すると、ファイル名オプションの「ドキュメントカウンター」がカウントアップされます。
- PaperStream Capture Pro の場合
原稿およびバッチの分割方法を設定できます。
原稿やバッチを分割すると、ファイル名オプションの「ドキュメントカウンター」がカウントアップされます。

「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイル名オプション」にあるファイル名の設定で、「ドキュメントカウンター」をファイル名の要素として指定している場合、ドキュメント区切りによって、ファイル名を変更できます。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

ドキュメント仕分け

原稿を何で分割するかを設定します。何も選択しない場合は、原稿を分割しません。
原稿の分割方法は、以下から選択できます。

白紙

白紙原稿を使用して、原稿を分割します。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「両面が白紙の場合に仕分けする」チェックボックス

チェックを付けると、両面が白紙の場合だけ、原稿を分割します。
ただし、チェックを付けていても、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」で「読み取り面」に「片面」を選択し、かつ原稿の読み取った面が白紙ページの場合は、原稿が分割されません。

PaperStream Capture では、本チェックボックスは PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合だけ表示されます。

ページ数

設定したページ数ごとに原稿を分割します。
分割するページ数を指定します。

ゾーン OCR

特定の領域で特定の文字列を認識すると、原稿を分割します。

重要

- 仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数と、「データ抽出設定」タブ (229 ページ) で設定されている「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード(TD1)」、および「ID カード(TD2)」のフィールド数の合計が上限値に達している場合、「ゾーン OCR」はグレイアウトされ、設定できません。

フィールドを使用

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
「データ抽出設定」タブで設定したフィールドを使用するかを設定します。
データ抽出情報を使用する場合は、フィールドの名前を選択します。

言語

ドロップダウンリストから、ゾーン OCR で認識する言語を選択します。
詳細は、[ゾーン OCR の検知条件 \(495 ページ\)](#)を参照してください。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム (OS) 環境での利用を推奨します。

認識文字列

入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識する文字列を指定します。
条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

重要

- 正規表現を直接入力する場合、次の構文を指定すると、期待する認識結果が得られません。
¥、\$、?、{n}、{n,}、{n,m}、(?:pattern)、(?=pattern)、(?:!pattern)、¥B、¥cx、¥d、¥D、¥f、¥n、¥r、¥S、¥s、¥t、¥v、¥w、¥W、¥xn、¥n、¥nm、¥nml、¥un

- 認識する対象の文字とは明らかに異なる正規表現を指定した場合、期待する認識結果が得られません。

検出エリア

[エリアを定義 >>] ボタンをクリックすると、認識領域を設定する**エリア設定画面**（仕分け）（255 ページ）が表示されます。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用している値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識した場合は、最初に認識した原稿以外では原稿を分割しません。

パッチコード

パッチコードが印刷されている原稿を使用して、原稿を分割します。

パッチコード

検出するパッチコードを選択します。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。
チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。
仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。

バーコード

バーコードが印刷されている原稿を使用して、原稿を分割します。

バーコードの種類

検知するバーコードの種類を選択します。

詳細は、[バーコードの種類と検知条件 \(490 ページ\)](#)を参照してください。

【バーコードの設定】ボタン

クリックすると、「[バーコードの設定](#)」画面（[データ抽出](#)）（[243 ページ](#)）を表示します。

フィールドを使用

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
「[データ抽出設定](#)」タブで設定したフィールドを使用するかを設定します。
データ抽出情報を使用する場合は、フィールドの名前を選択します。

検出エリア

バーコードの検出エリアを設定します。

画像全体

読み取った画像全体からバーコードを検出します。

エリア定義

選択すると、[[エリアを定義 >>](#)] ボタンが有効になります。

【[エリアを定義 >>](#)] ボタン

クリックすると、認識領域を設定する[エリア設定画面（仕分け）](#)（[255 ページ](#)）が表示されます。

「[バーコード文字列](#)」チェックボックス

チェックを付けると、入力域に入力した文字列とドロップダウンリストで選択した条件に従って、認識するバーコードの文字列を指定できます。

文字列は、128 バイト以内になるよう入力してください。条件は以下から選択できます。

- 完全一致
- 先頭一致
- 部分一致
- 正規表現

「[仕分けに使用したページを削除する](#)」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。

チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「[削除されたページのデータ抽出情報を残す](#)」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「[仕分けに使用した原稿\(シート\)の画像はすべて削除する](#)」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。

仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、バーコードの種類に関係なく、仕分けに使用した値と完全に一致する認識結果の原稿を連続して認識した場合は、最初に認識した原稿以外では原稿を分割しません。

Ctrl 押下

読み取り中に「Ctrl」キーを押して、原稿を分割します。

原稿を分割するキーは、「ユーザビリティ」タブ (269 ページ) の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。

デフォルトは「Ctrl」です。

キーを指定すると、項目名に反映されます。

例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl 押下」から「Alt 押下」に変更されます。

原稿識別

● PaperStream Capture の場合

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で使用する、登録済みの識別情報を使って原稿を分割します。

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合、有効になります。

PaperStream IP (ISIS) ドライバーの場合、本項目は表示されません。

● PaperStream Capture Pro の場合

PaperStream IP ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で使用する、登録済みの識別情報を使って原稿を分割します。

「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合、有効になります。

「仕分けに使用したページを削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像を削除します。

チェックを外すと、仕分けに使用した原稿の画像を先頭ページにします。

「削除されたページのデータ抽出情報を残す」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用する原稿の画像を削除し、原稿に印刷されているバーコードなどの抽出データだけを保存して、ファイル名やフォルダー名に使用できるようにします。

「仕分けに使用した原稿(シート)の画像はすべて削除する」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した原稿の画像をすべて削除します。

仕分けに使用した原稿の両面の画像や、PaperStream IP ドライバーで「上下分割」を設定した場合は、仕分けに使用した原稿の分割された画像がすべて削除されます。

登録済み識別情報

PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーに登録済みの識別情報から、仕分けに使用した識別情報の識別名を選択します。

PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP ドライバーに登録済みの識別情報から、仕分けに使用した識別情報の識別名を選択します。

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックス

チェックを付けると、識別されなかった原稿を分割します。

「登録済み識別情報」で帳票を選択していない場合は、分割された原稿は「未識別」フォルダーに格納されます。

仕分け値

「識別しなかった原稿を仕分けする」チェックボックスにチェックが付いている場合、有効になります。

チェックを付けると、「未識別」フォルダーのフォルダー名を指定できます。

フォルダー名は、128 バイト以内になるよう入力してください。

「同じ値が連続した場合、仕分けしない」チェックボックス

チェックを付けると、仕分けに使用した帳票と完全に一致する帳票を連続で認識した場合は、最初に認識した帳票以外では原稿を分割しません。

ファイル名

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

入力ファイル名で、原稿を分割します。

「読み取り設定」タブの「スキャナー」で「PaperStream IP Import」を選択している場合に有効になります。

バッチ仕分け

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

バッチを何で分割するかを設定します。何も選択しない場合は、バッチを分割しません。

設定項目は、「ドキュメント仕分け」と同じです。

ただし、ドキュメント仕分けと同じ方法は指定できません。

なお、分割したバッチは、2 つ目以降が「一時保存」の扱いとなり、「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) で管理されます。

「バーコードの設定」画面 (仕分け)

バーコードの認識方法や出力方法を設定する画面です。

「UTF-8 の QR コードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、QR コードを UTF-8 の文字コードで認識します。

「2 次元コード内に制御コード [NUL] 以降のデータも出力」チェックボックス

チェックを付けると、2 次元コードのバーコードを認識したときに、データの途中に制御コードの [NUL] があっても情報を切らずに出力します。

エリア設定画面（仕分け）

仕分けに使用するゾーン OCR やバーコードの認識領域を設定する画面です。

仕分けの種類

認識領域を設定する仕分けの種類を表示します。

ツールバー

認識領域の確認や編集に使用します。

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

画像

追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。

クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。

クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90 度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。


操作モード

エリア設定

ゾーン OCR やバーコードの認識範囲を変更します。

読み取った画像上で、ゾーン OCR やバーコードを検出する領域をドラッグして選択します。

選択できる領域は 1 か所です。十分な余白がある領域を選択してください。

選択した領域横のキャンセルボタン（）をクリックすると、選択を解除できます。
認識領域を選択すると、フィールドパネルに認識結果が表示されます。

● PaperStream Capture Pro の場合

フィールド属性の「種別」が「ゾーン OCR」の場合、認識する文字の種別を選択する領域が表示されます。表示された領域で、認識する文字の種別をドロップダウンリストか

ら選択し、必要に応じて文字数を指定します。文字の数は、1 ~ 2147483647 までの値で指定します。対象の言語は英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。

以下に認識する文字の種別を示します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	<u>EXAMPLE</u>
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	EXAMPLE
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	E X A M P L E
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	E X A M P L E
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	E X A M P L E
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E

手のひら

画像表示をスクロールします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

表示

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

フィールドパネル

ゾーン OCR やバーコードの認識結果を表示します。

【スキャン】 ボタン

クリックすると、原稿の読み取りを開始します。

【OK】 ボタン

クリックすると、エリアの設定を確定して「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

【キャンセル】 ボタン

クリックすると、「仕分け設定」タブ画面に戻ります。

「テスト」タブ

設定した内容で、読み取りテストができます。

読み取りテストをした場合、設定したジョブの内容は保存されます。

ヒント

- 本タブは、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、表示されません。

ジョブボタンをクリックしてテストを開始します。

設定した内容のジョブを表示します。

アイコンをクリックすると、「スキャン(テスト) 画面 (258 ページ)」が表示されます。

「出力先設定」タブ (188 ページ)で、「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、バッチフォルダー名を設定する画面が表示されます。

バッチフォルダー名は最大で 32 文字まで入力できます。

【テストスキャン】 ボタン

選択したジョブを使用して、読み取りを開始します。

ジョブ概要

ジョブの詳細を表示します。

「スキャン(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

画面の表示は、以下になります。

- 抽出データが設定されていない場合
「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
- 抽出データが設定されている場合
「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
ただし、PaperStream Capture Pro の場合、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「[ステーション](#)」タブ (274 ページ)にある「プロセスの設定」で、[スキャン] ボタンを選択している場合は、画面の表示が「ブラウズ」になります。

PaperStream Capture の場合は、ビューアーの横にサムネール一覧やフィールドパネルが表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。

サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。

分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。

画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、または「サムネール」の場合だけ表示されます。

【スキャン完了】 ボタン

- PaperStream Capture の場合
読み取った画像を確定して、出力します。
- PaperStream Capture Pro の場合
読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。

ただし、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブにある「プロセスの設定」で、[スキャン] ボタンを選択かつ、ジョブで以下を設定している場合は、次のバッチ（テスト）に遷移します。

- 「読み取り設定」タブ (173 ページ) で「別途 QC を行う」チェックボックスにチェックが付いている

- 「データ抽出設定」タブ (229 ページ) で抽出データを設定している

なお、次のバッチ（テスト）は、「ジョブ作成/編集」画面を閉じ、メニューの [バッチ管理] ボタンをクリックして表示される「バッチ管理」画面 (310 ページ) で確認してください。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。

- 「編集文字列」を指定

- 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「シートカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【テスト中止】 ボタン

読み取った画像を破棄して、「テスト」タブ (257 ページ) に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

関連項目

[「お知らせ」画面 \(318 ページ\)](#)

「QC(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

確認する画像を表示します。
画面の表示が、「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」または「サムネール」の場合だけ表示されます。

【QC完了】ボタン

画像の処理を確定する、または出力処理を実行します。
処理状況は、[「バッチ管理」画面 \(310 ページ\)](#)で確認してください。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「シートカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【テスト中止】 ボタン

テスト用のバッチを削除し、「バッチ管理」画面に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

関連項目

[「お知らせ」画面 \(318 ページ\)](#)

「インデックス(テスト)」画面

「テスト」タブのジョブから読み取った画像で、抽出データの設定がされているページのデータ抽出フィールドを変更したり、新たに追加したりします。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

抽出データが設定されている画像が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」または「ブラウザ」の場合だけ表示されます。

【インデックス完了】 ボタン

抽出データを確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「シートカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【テスト中止】 ボタン

テスト用のバッチを削除し、「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ)に戻ります。

ステータスバー

画像をマウスでポイントすると、左から順に以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面

「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の構成

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の構成は、以下のとおりです。

タブ

- 「一般」タブ (265 ページ)
- 「ユーザビリティ」タブ (269 ページ)
- 「出力」タブ (271 ページ)
- 「アクティベーション」タブ (273 ページ)
- 「ステーション」タブ (274 ページ)
このタブは、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
- 「サポート」タブ (277 ページ)
タブ名をクリックすると、表示するタブを切り替えられます。

【前へ】ボタン

前のタブに戻ります。

【次へ】ボタン

次のタブに進みます。

【保存】ボタン

設定を反映します。


【閉じる】ボタン

「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面を閉じます。

設定が未反映の場合、設定を反映するかどうかを確認するメッセージ画面を表示します。

ヒント

- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面

では、 をクリックして表示されるメニューが以下のようになります。

- バージョン情報
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のバージョン情報を表示します。
- 終了

選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面を閉じます。

「一般」タブ

画面表示やスキャナードライバーなどの環境を設定します。

表示

ロゴイメージ

[メニュー \(163 ページ\)](#)に表示するロゴイメージを指定します。
指定すると、ロゴイメージの格納先が表示されます。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、ロゴイメージを指定します。指定すると、ロゴイメージのプレビューが表示されます。

選択できるファイル形式は、BMP (.bmp)、JPEG (.jpg)、および PNG (.png) です。
ロゴイメージのファイルを作成する場合は、縦 32 × 横 204 ピクセルのサイズで作成してください。

ロゴイメージをインストールしたときの状態に戻す場合は、以下のファイルを選択してください。なお、以下は PaperStream Capture をデフォルトの状態です。インストールした場合のファイルパスです。

- PaperStream Capture の場合

C:\Program Files\Scanner\PaperStream Capture\assets\img_logo_PSC.png
(64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:\Program Files (x86)\Scanner\PaperStream Capture\assets\img_logo_PSC.png)

- PaperStream Capture Pro の場合

C:\Program Files\Scanner\PaperStream Capture Pro\assets\img_logo_PSCpro.png
(64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:\Program Files (x86)\Scanner\PaperStream Capture Pro\assets\img_logo_PSCpro.png)
(64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:\Program Files (x86)\Scanner\PaperStream Capture\assets\img_logo_PSC.png)
(64 ビットオペレーティングシステムの場合は、C:\Program Files (x86)\Scanner\PaperStream Capture\assets\img_logo_PSCpro.png)

ロゴ名

ロゴイメージの説明を入力します。

「サンプルジョブを表示する」チェックボックス

- PaperStream Capture の場合

チェックを付けると、「スキャン」画面 ([280 ページ](#))および「ジョブ作成/編集」画面 ([166 ページ](#))にジョブのサンプルを表示します。

ただし、サンプルジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」が表示されるのは、ジョブ設定の画面だけです。

- PaperStream Capture Pro の場合
チェックを付けると、「スキャン」画面 (280 ページ)、「スキャン&インデックス」画面 (285 ページ)、および「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ)にジョブのサンプルを表示します。
ただし、サンプルジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」が表示されるのは、ジョブ設定の画面だけです。

【サンプルジョブの初期化】ボタン

クリックすると、サンプルジョブの設定内容を初期化します。

最大ジョブ数

表示するジョブの数を 10 ~ 500 までの値で指定します。

出力済みのバッチを xxx 日間表示する

出力済みのバッチを、「バッチ管理」画面に表示しておく日数を指定します。
xxx には、指定した日数が表示されます。
デフォルトは、1 日です。

サムネイル画質

表示するサムネイルの画質を指定します。
「低画質」、「標準画質」または「高画質」から選択します。

「画像を高品質のビットマップスケーリングで表示する」チェックボックス

チェックを付けると、二値白黒、グレースケール、およびカラーのサムネイルを高品質のビットマップスケーリングで表示します。

「確認メッセージを表示する」チェックボックス

PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、「スキャン」画面 (確認 / 編集時) (282 ページ)で [完了] ボタンをクリックすると、バッチを出力するかどうかの確認メッセージを表示します。
PaperStream Capture Pro の場合、チェックを付けると、バッチを出力するときに確認メッセージを表示します。

「ジョブの概要を表示する」チェックボックス

PaperStream Capture の場合、チェックを付けると、「スキャン」画面の表示を 2 分割し、左側にジョブの一覧、右側にジョブの概要を表示します。
PaperStream Capture Pro の場合、チェックを付けると、「スキャン」画面または「スキャン&インデックス」画面の表示を 2 分割し、左側にジョブの一覧、右側にジョブの概要を表示します。

ジョブ表示サイズ

ジョブの表示サイズを変更します。
表示サイズは「中」または「大」から選択できます。
デフォルトの表示サイズは「中」です。

管理パスワード

環境設定およびジョブの設定を保護するために、管理パスワードを設定します。

設定すると、メニューの  から、「ジョブ作成/編集」または「管理ツール」を選択すると、「パスワードの入力」画面を表示します。

「パスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、パスワードを設定できます。
「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。

「アドホックスキャンはパスワードを使用しない」チェックボックス

チェックを付けると、管理パスワードが設定されていても、パスワードを入力せずにアドホックスキャンで原稿の読み取りができます。

スキャナードライバー

この項目は、PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。
「TWAIN」または「ISIS」を選択します。
ここでの指定がジョブを新規作成または編集するときに反映されます。

「スキャナー装置を占有して読み取り開始時間を短くする」チェックボックス

チェックを付けると、スキャナーを占有し、読み取りを開始するまでの時間を短縮させます。
ただし、占有中は、ほかのアプリケーションで、該当のスキャナーが使用できなくなります。
本チェックボックスは PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合だけ表示されます。

重要

- 使用するジョブを以下のように変更した場合、変更直後の読み取りだけ、本機能の性能が低下します。
 - ドライバープロファイルの設定が「ScanSnap Manager for fi 互換」のジョブから、「ScanSnap Manager for fi 互換」以外のジョブに変更
 - ドライバープロファイルの設定が「ScanSnap Manager for fi 互換」以外のジョブから、「ScanSnap Manager for fi 互換」のジョブに変更

バッチ管理画面の自動更新間隔

「バッチ管理」画面 (310 ページ) の表示を更新する間隔を 30 ~ 999 までの値で直接入力します。
デフォルトは 60 秒です。

モード切替え

読み取り方法を選択します。
デフォルトは「バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する」が選択されています。

- バッチスキャンとシンプルスキャンモードの両方を使用する
選択すると、バッチスキャンモードとシンプルスキャンモードの両方の読み取り方法を使用できます。
- バッチスキャンのみを使用する
選択すると、読み取り方法としてバッチスキャンモードだけ使用できます。

- シンプルスキャンモードのみを使用する
選択すると、読み取り方法としてシンプルスキャンモードだけ使用できます。

「終了後に常駐する」チェックボックス

チェックを付けると、PaperStream Capture の終了後、タスクバーにアイコンを常駐させ、次の起動時間を短縮します。

作業フォルダー

- バッチスキャンモードの場合
 - PaperStream Capture の場合
ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバプロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。
格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。
引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。
詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)または[運用環境をほかのコンピューターに移入する \(158 ページ\)](#)を参照してください。
 - PaperStream Capture Pro の場合
シングルステーション運用でステーションとして使用する端末のとき、ストレージサーバーから転送されたデータを格納する作業フォルダーを指定します。
バッチスキャンモード運用のとき、またはマルチステーション運用でストレージサーバーとして使用する端末のときは、作業フォルダーを指定しても無視されます。
以下の管理ファイルの格納先は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「[ステーション](#)」タブ ([274 ページ](#))にある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で変更できます。
- ジョブ
- バッチ
- PaperStream IP のドライバプロファイル

ヒント

- 「ステーション」タブの「ストレージサーバー」は、以下の手順で「管理ツール」を起動すると表示されます。
 - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

- シンプルスキャンモードの場合
読み取ったファイルが一時的に格納される作業フォルダーを指定します。
パスに環境依存文字 (Unicode) が含まれるフォルダーは指定できません。

なお、以下は PaperStream Capture をデフォルトの状態です。インストールした場合、作業フォルダーに指定されているパスです。

- PaperStream Capture の場合
C:\ProgramData\PaperStreamCapture\Storage
- PaperStream Capture Pro の場合
C:\ProgramData\PaperStreamCapture\work

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、作業フォルダーを指定します。

おすすめ設定

お知らせ

ジョブの設定の改善ポイントをお知らせするボタンをメニューに表示するかどうかを選択します。

- お知らせする
- お知らせしない
- お知らせするユーザーを選択
選択すると、「選択」が活性化されます。「選択」をクリックして表示される「[所属/ユーザーの選択](#)」画面 (314 ページ) で、[お知らせ] ボタンを表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

「ユーザビリティ」タブ

スキャナーのボタンを押したときに実行される動作、キーボード、およびマウスの設定をします。

イベント

スキャナーのボタン (スキャン または Send to) を押したときに、バッチスキャンモードで設定したジョブで読み取るか、またはシンプルスキャンモードで読み取るか指定します。

ボタン名の下アイコンをクリックすると、ジョブの一覧とシンプルスキャンモードが項目として表示されます。

読み取る時の設定をジョブの一覧またはシンプルスキャンモードから選択します。

スキャナーのスキャンボタンには、デフォルトでジョブの「One Push Scan」が指定されています。

【既定値に戻す】 ボタン

設定をすべてデフォルトに戻します。

キーボード/マウス

クリック方法

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro での操作を、シングルクリックで実行するか、またはダブルクリックで実行するかを指定します。

「シングルクリック」または「ダブルクリック」を選択します。

ホットキー動作モード

ホットキーの動作を指定します。

- PaperStream Capture が最前面の場合のみ動作する
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro が最前面に表示されているときだけ、ホットキーが有効になります。
- システム全体のホットキーとして動作する
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の起動中は、システム全体のホットキーとして動作します。

スキャン中止のホットキー

読み取りを中止するためのホットキーを、キーボードの任意のキーで指定します。

ホットキーの動作は、「ホットキー動作モード」で指定できます。

重要

- ホットキーを定義し、かつ「ホットキー動作モード」で「システム全体のホットキーとして動作する」を選択した場合、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro が動作中は、ほかのすべてのアプリケーションで定義されたキーが使用できなくなります。ほかのアプリケーションで使用しないキーを定義することを推奨します。

手動仕分けのショートカットキー

任意の時点で、手動で原稿を分割する場合に押下するキーを指定できます。

デフォルトは「Ctrl」です。

キーを指定すると、以下の項目に反映されます。

- 「仕分け設定」タブ (249 ページ) の「仕分けの種類」の「xxx キー押下」
- 「スキャンの設定」画面 (328 ページ) の「オプション」にある「ドキュメント分割」の「xxx が押されたら分割する」
xxx には、指定したキーが表示されます。

ショートカット設定

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の各操作に、ショートカットキーを定義できます。

[設定] ボタンをクリックすると、「ショートカット設定」画面 (270 ページ) が表示されます。

「ショートカット設定」画面

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の各操作に、ショートカットキーを定義します。

分類

クリックすると表示されるドロップダウンリストから、操作画面やツールバーが選択できます。選択すると、その操作画面またはツールバーで定義できる操作とそのショートカットキーを一覧で表示します。

ショートカットの入力

操作の一覧から操作を選択すると、入力域に、その操作に定義されているショートカットキーが表示されます。

ショートカットキーを変更する場合は、入力域を選択してから、キーボードの任意のキーで指定します。

【既定値に戻す】ボタン

設定をすべてデフォルトに戻します。

【OK】ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。


【キャンセル】ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「出力」タブ

出力されるファイルの形式を設定します。

ヒント

- この画面の項目「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックスは、メニューの  から、「管理ツール」を選択した場合、表示されません。設定が必要な場合は、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を終了し、以下の手順で「管理ツール」を起動してください。
 - Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

ファイル形式

TIFF の JPEG 圧縮形式

TIFF の JPEG 圧縮形式を選択します。
選択できる圧縮形式は以下のとおりです。

- Old JPEG (Compression=6)
- JPEG (Compression=7)

PDF のバージョン

ドロップダウンリストから、出力する PDF のバージョンを選択します。
PDF のバージョンは、1.2 (Acrobat 3) ~ 1.7 (Acrobat 8) で選択できます (デフォルトは、1.7 (Acrobat 8))。

重要

- PDF/A の場合、本項目の指定に関係なく、PDF のバージョンは、1.4 (Acrobat 5) となります。
- PDF または PDF/A の場合、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目の指定は無効となり、PDF のバージョンは 1.7 (Acrobat 8) となります。
- PDF の場合、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「PDF オプション」で、「検索可能な PDF を作成する」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目で「1.2 (Acrobat 3)」を選択しても、PDF のバージョンは 1.7 (Acrobat 8) となります。
- PDF の場合、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「PDF オプション」で、「開くパスワードを設定する」チェックボックスのチェックが付いているときは、本項目の指定は無効となり、PDF のバージョンは 1.7 (Acrobat 8) となります。

Word 文書/Excel 文書/PowerPoint 文書の出力設定**[ABBYY FineReader for ScanSnap の設定] ボタン**

Word、Excel、および PowerPoint 文書の出力に関する設定をします。
 ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされている場合、有効になります。
 クリックすると、「ABBYY FineReader for ScanSnap x.x 設定」画面が表示されます。
 x.x には、バージョンが表示されます。
 詳細は、ABBYY FineReader for ScanSnap のユーザーズガイドを参照してください。

重要

- 「一般設定」タブで「保存の前にファイル名を変更する」チェックボックスにチェックを付けた場合、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の「出力先設定」タブ (188 ページ) で、指定した出力先は無効になります。ABBYY FineReader for ScanSnap が表示する画面で、保存先とファイル名を指定してください。
- 「一般設定」タブで「認識後にスキャン画像を削除する」チェックボックスのチェックを外しても、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では設定が無効となり、スキャン画像が削除されます。

ヒント

- 「Scan to Searchable PDF」タブで設定をしても、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では無効になります。

バーコード**「フル ASCII の Code 3 of 9 を使用する」チェックボックス**

チェックを付けると、Code39 のバーコードを Full ASCII 形式で認識します。
 ASCII 形式で認識する場合は、チェックを外してください。

「アクティベーション」タブ

ライセンス情報の確認、および管理をする画面です。

ライセンス情報

ライセンス名

ライセンス名が表示されます。

ユーザー名

PaperStream Capture Pro のライセンス購入者の名前が表示されます。

ライセンスコード

PaperStream Capture Pro のアクティベートに使用したライセンスコードが表示されます。

ライセンス種別

PaperStream Capture Pro のライセンス種別が表示されます。

マシン ID

お使いのコンピューターの ID が表示されます。

保守満了日

PaperStream Capture Pro の保守満了日時が表示されます。

体験版を使用している場合、試用期限と試用バッチ回数の残数が表示されます。

【更新】ボタン

クリックすると、保守契約の更新サイトをブラウザで表示します。

ライセンス管理

購入

クリックすると、PaperStream Capture Pro の購入サイトをブラウザで表示します。

アクティベート

PaperStream Capture の場合、PaperStream Capture Pro のライセンスを認証します。

PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream Capture Pro のライセンスが認証されていない場合に表示されます。

クリックすると、ライセンスを入力する画面が表示されます。

取得したライセンスコードを入力し、[アクティベート] ボタンをクリックすると、ライセンスが認証されます。ライセンス認証が成功すると、[アクティベート] ボタンは [ディアクティベート] ボタンに切り替わります。

ディアクティベート

PaperStream Capture Pro のライセンスが認証済みの場合に表示されます。

クリックすると、ライセンスの認証を解除します。

なお、PaperStream Capture Pro のインポート用ライセンスが認証済みの場合、同時に認証を解除します。

インポートのアクティベート

PaperStream Capture の場合 PaperStream Capture Pro のインポート用のライセンスを認証します。

PaperStream Capture Pro の場合 PaperStream Capture Pro のインポート用ライセンスが認証されていない場合に表示されます。

インポート用のライセンスを認証するには、[アクティベート] ボタンをクリックして、PaperStream Capture Pro のライセンスを認証してから、[インポートのアクティベート] をクリックします。

ライセンスを入力する画面で取得したライセンスコードを入力し、[アクティベート] ボタンをクリックすると、ライセンスが認証されます。

ライセンス認証が成功すると、[インポートのアクティベート] ボタンは [インポートのディアクティベート] ボタンに切り替わります。

インポートのディアクティベート

PaperStream Capture Pro のインポート用ライセンスが認証済みの場合に表示されます。クリックすると、インポート用ライセンスの認証を解除します。

評価

クリックすると、「PaperStream Capture Pro へようこそ」画面が表示されます。

[評価版] ボタンをクリックして、PaperStream Capture を再起動すると、PaperStream Capture Pro の評価を開始できます。

評価を開始すると、[評価] ボタンは [評価中止] ボタンに切り替わります。評価を中止したい場合は、[評価中止] ボタンを押してください。評価を中止した状態から再び評価を行うことはできません。


評価期間は 30 日、バッチ数は 200 です。

評価できるのは、1 つの端末につき 1 度だけです。

「ステーション」タブ

PaperStream Capture Pro の運用プロセスや形態を設定します。

ヒント

- この画面の項目「ストレージサーバー」は、メニューの  から、「管理ツール」を選択した場合、表示されません。マルチステーション運用で、設定が必要な場合は、PaperStream Capture を終了し、以下の手順で「管理ツール」を起動してください。

- Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022
「スタート」メニュー → 「PaperStream Capture」 → 「管理ツール」をクリックします。

- Windows 11

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「PaperStream Capture」→「管理ツール」をクリックします。

プロセスの設定

【スキャン&インデックス】ボタン

スキャン、QC、インデックス、および出力処理を一度に行う場合に選択します。
マルチステーション運用では、読み取り、画像の確認や編集、または抽出データの確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。
デフォルトは、選択されています。

【スキャン】ボタン

原稿の読み取りを行う場合に選択します。
マルチステーション運用では、読み取り操作ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

【QC】ボタン

読み取った画像を確認したり、編集したりする場合に選択します。
マルチステーション運用では、画像確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

【インデックス】ボタン

読み取った画像の抽出データを確認したり、変更したりする場合に選択します。
マルチステーション運用では、抽出データの確認や編集ができるクライアント端末として指定する場合に選択します。

【次のバッチに自動的に遷移する】チェックボックス

【スキャン&インデックス】ボタン以外を選択している場合、設定できます。
チェックを付けると、次のバッチに自動的に遷移します。

【出力する前に最終確認を行う】チェックボックス

「マルチステーション運用（ストレージサーバーとして使用する）」を選択した場合、表示されます。
チェックを付けると、クライアント端末のステーションが「QC」の場合だけ、該当のバッチジョブが表示され、出力前に画像の最終確認ができます。

ストレージサーバー

シングルステーション運用（ストレージサーバーは使用しない）

ストレージサーバーを使用しない運用の場合に選択します。

ストレージフォルダー

ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバープロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。
パスに環境依存文字（Unicode）が含まれるフォルダーは指定できません。

格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。

引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)または[運用環境をほかのコンピューターに移入する \(158 ページ\)](#)を参照してください。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、格納するフォルダーを指定します。

マルチステーション運用 (ストレージサーバーとして使用する)

マルチステーション運用で、ストレージサーバーとして端末を使用する場合に選択します。

ストレージフォルダー

ジョブ、バッチ、および PaperStream IP のドライバープロファイルの管理ファイルを格納するフォルダーを指定します。

ネットワークフォルダーやパスに環境依存文字 (Unicode) が含まれるフォルダーは指定できません。

格納するフォルダーを変更する場合、変更前のフォルダーに格納されている既存のジョブは使用できなくなります。

引き続きジョブを使用したい場合は、フォルダーの変更前に運用環境を移出し、変更後に運用環境を移入してください。

詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)または[運用環境をほかのコンピューターに移入する \(158 ページ\)](#)を参照してください。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、格納するフォルダーを指定します。

出力サービス

【開始】 ボタン

クリックすると、ストレージサーバーで PFU.PaperStream.Capture.ReleaseService を開始します。

【停止】 ボタン

クリックすると、ストレージサーバーで PFU.PaperStream.Capture.ReleaseService を停止します。

ストレージファイアウォール

【開く】 ボタン

クリックすると、ストレージサーバーのファイアウォールのポートを開き、クライアント端末からの通信を許可します。

【閉じる】ボタン

クリックすると、ストレージサーバーのファイアウォールのポートを閉じ、クライアント端末からの通信を遮断します。

マルチステーション運用（ステーションとして使用する）

マルチステーション運用で、スキャンや QC、インデックスの操作をするクライアント端末として使用する場合に選択します。

サーバーのアドレス

マルチステーション運用でストレージサーバーとして設定した端末の IP アドレスまたはホスト名を指定します。

【テスト】ボタン

クリックすると、ストレージサーバーへの接続確認を実行します。

「サポート」タブ

ログファイルの出力、および出力する情報を設定します。
読み取りの履歴やエラーなどの情報を、Windows のイベントログに出力できます。

サポートツール

イベントログ設定

「メッセージのログ」チェックボックス

すべてのメッセージを出力します。

「選択したイベントのログ」チェックボックス

選択されたログイベントを出力します。選択できるログイベントは、以下のとおりです。

スキャンの実行

原稿が読み取られた時点でログを出力します
ログイベント種別は、情報になります。

ページ削除

ページが削除された時点でログを出力します。
白紙スキップ機能でページが削除された場合も同様です。
仕分け用原稿の破棄については出力されません。
ログイベント種別は、情報になります。

紙詰まり

原稿づまりが発生し、PaperStream IP ドライバーのメッセージに応答して読み取りを中止した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、エラーになります。

重送

重送が PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に通知された時点でログを出力します。

PaperStream IP ドライバーのマルチフィードリカバリーなどの機能で読み取りが継続された場合、ログは出力されません。

ログイベント種別は、エラーになります。

その他のエラー

原稿の読み取り中にエラーが発生するとログを出力します。

ログイベント種別は、エラーになります。

バッチの生成

バッチを作成し、保存した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

スキャン開始

スキャンを開始した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

スキャン終了

スキャンが終了した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

QC 開始

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

QC を開始した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

QC 終了

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

QC を終了した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

インデックス開始

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

「インデックス」画面を開いた時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

インデックス終了

この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。

「インデックス」画面を閉じた時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

出力開始

出力を開始した時点でログを出力します。

ログイベント種別は、情報になります。

出力終了

出力が終了した時点でログを出力します。
ログイベント種別は、情報になります。

【既定値に戻す】ボタン


設定をすべてデフォルトに戻します。


「スキャン」画面

事前に設定したジョブを選択して、原稿を読み取ります。
画面にジョブの一覧が表示されます。

ジョブの並べ方

ジョブの並べ方をボタンで表示します。
ジョブの並べ方はアイコンの上部に表示されます。

ボタンをマウスでポイントすると、右端に  が表示されます。

 をクリックし、表示されるメニューから、以下の並べ方を選択できます。

- 最終更新日時（新しい順）
 - 最終更新日時（古い順）
 - 作成日時（新しい順）
 - 作成日時（古い順）
 - ジョブ名（昇順）
 - ジョブ名（降順）
 - ユーザー指定順
- 並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。
変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。
ボタンをクリックすると、昇順と降順を切り替えられます。
ただし、「ユーザー指定順」を選択している場合は、切り替えが無効になります。

ジョブの検索

ジョブ名またはジョブ名の一部を入力して [検索] ボタンをクリックすると、対象のジョブが表示されます。
128 文字まで入力できます。

ジョブの一覧

ジョブの一覧を表示します。
「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブで、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- One Push Scan

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーでは、サンプルでの読み取りは未サポートです。

アイコンをクリックすると、ジョブの設定に従って読み取りを開始します。
アイコンを右クリックすると「アドホックスキャン」が表示されます。「アドホックスキャン」を選択すると、選択したジョブの読み取り条件を、一時的に変更して原稿を読み取れます。
詳細は、[ジョブの設定を一時的に変更して読み取る \(バッチスキャンモード\) \(74 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- サンプルのジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」は、デフォルトの設定では表示されません。

表示する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。
- 2 ジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
- 3 表示された「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、「表示」の設定を「表示」にして保存します。



クリックすると、「ジョブ概要」の表示 / 非表示を切り替えます。

ジョブ概要

選択しているジョブの詳細を表示します。

「スキャン」画面（確認 / 編集時）

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

• PaperStream Capture の場合

画面の表示は、以下のとおりです。

- 抽出データが設定されていない場合

「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。

- 抽出データが設定されている場合

「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。

ビューアーの横にサムネール一覧やフィールドパネルが表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。

サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。

分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

• PaperStream Capture Pro の場合

原稿を読み取りしたあとの画面の表示は、「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。

ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。

サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。

分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け


サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。


PaperStream Capture の場合、画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」のときだけ表示されます。



PaperStream Capture Pro の場合、画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」のときだけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。

バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。

デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

【完了】 ボタン

- PaperStream Capture の場合
読み取った画像を確認して、出力処理を実行します。
- PaperStream Capture Pro の場合
抽出データが設定されていない場合や、読み取りと QC を別々に作業しない場合は、読み取った画像を確認して、出力処理を実行します。
抽出データが設定されている場合や、読み取りと QC を別々に作業する場合は、次のバッチに遷移します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「シートカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【一時保存】 ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。

ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、[はい] ボタンをクリックします。

- 後で再開
あとで確認する場合に選択します。
- 画質
画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他

そのほかの理由で中断する場合に選択します。
入力域に理由を記入してください。

【キャンセル】ボタン

読み取った画像を破棄して、「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中


ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。


「スキャン&インデックス」画面

事前に設定したジョブを選択して、原稿を読み取ります。
画面にジョブの一覧が表示されます。

ジョブの並べ方

ジョブの並べ方をボタンで表示します。
ジョブの並べ方はアイコンの上部に表示されます。

ボタンをマウスでポイントすると、右端に  が表示されます。

 をクリックし、表示されるメニューから、以下の並べ方を選択できます。

- 最終更新日時
- 作成日時
- ジョブ名
- ユーザー指定順
並び順を自由に変更できます。ジョブをマウスでポイントし、「Shift」キーを押しながらドラッグして、配置したい位置にドロップします。
変更した並び順は、ログオンしたユーザーごとで管理されます。
ボタンをクリックすると、昇順と降順を切り替えられます。
ただし、「ユーザー指定順」を選択している場合は、切り替えが無効になります。

ジョブの一覧

ジョブの一覧を表示します。

「PaperStream Capture 管理ツール」の「一般」タブ (265 ページ) で、「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、以下のジョブがサンプルで表示されます。

- Auto-Color
- Color
- Black and White
- One Push Scan

アイコンをクリックすると、ジョブの設定に従って読み取りを開始します。

アイコンを右クリックすると「アドホックスキャン」が表示されます。「アドホックスキャン」を選択すると、選択したジョブの読み取り条件を、一時的に変更して原稿を読み取れます。

詳細は、[ジョブの設定を一時的に変更して読み取る \(バッチスキャンモード\) \(74 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- サンプルのジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」は、デフォルトの設定では表示されません。
表示する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

- 1 PaperStream Capture のメイン画面で、[ジョブ作成 / 編集] ボタンをクリックします。
- 2 ジョブ「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択し、[編集] ボタンをクリックします。
- 3 表示された「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ情報」で、「表示」の設定を「表示」にして保存します。



クリックすると、「ジョブ概要」の表示 / 非表示を切り替えます。

ジョブ概要

選択しているジョブの詳細を表示します。

「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー





読み取った画像を表示します。
画面の表示は、以下になります。

- 抽出データが設定されていない場合
「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
- 抽出データが設定されている場合
「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」、「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」または「サムネール」の場合だけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。
バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。
バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。
 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。
デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

【完了】 ボタン

読み取った画像を確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「シートカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【一時保存】 ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。

ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、[はい] ボタンをクリックします。

- 後で再開
あとで確認する場合に選択します。
- 画質
画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
そのほかの理由で中断する場合に選択します。
入力域に理由を記入してください。

【キャンセル】 ボタン

読み取った画像を破棄して、「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

リカバリー画面

エラーが検出された画像を、確認したり編集したりできます。

ツールバー

編集

削除

選択しているページを削除します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

表示

オールインワン

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2×1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。
サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが2ページ並んだ状態で表示します。

縮小

ページを1段階縮小して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを1段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。
表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の原稿のサイズでページを表示します。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

第 1

クリックして、マルチイメージを第 2 または第 3 の表示に切り替えられます。
マルチイメージ出力の場合に有効です。

ナビゲーション

現在ページ数/全ページ数が表示されます。
アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

ビューアー

読み取った画像を表示します。
原稿を読み取りしたあとの画面の表示は、「オールインワン」または「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。PaperStream Capture Pro の場合は、ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け


サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合に表示されます。
仕分けのバーは灰色で表示されます。


バッチの仕分け



サムネール一覧で、各バッチの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合に表示されます。仕分けのバーは水色で表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。

バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。

デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

【継続読み取り】 ボタン

読み取りを続けます。

【キャンセル】 ボタン

PaperStream Capture の場合、読み取った画像を破棄して、「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

PaperStream Capture Pro の場合、読み取った画像を破棄して、「スキャン&インデックス」画面 (285 ページ)または「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

重要

- マルチイメージ出力の場合は、ページ単位で画像を編集します。そのため、第 1 の画像を選択していれば、第 2、第 3 の画像も同時に編集されます。ただし、第 2、第 3 の画像を選択している場合は、ツールバーの「編集」にある「元に戻す」と「やり直す」以外のツールは使用できません。

「QC」画面

読み取った画像を確認したり編集したりできます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

確認する画像を表示します。表示されるページ数は最大 9999 ページまでです。
画面の表示が、「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。
PaperStream Capture Pro の場合は、ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「ブラウズ」または「サムネール」の場合だけ表示されます。

【完了】ボタン

画像の処理を確定する、または出力処理を実行します。
処理状況は、「バッチ管理」画面で確認してください。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「シートカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【一時保存】ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。

ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

- 後で再開
あとで確認する場合に選択します。
- 画質
画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
そのほかの理由で中断する場合に選択します。
入力域に理由を記入してください。

【キャンセル】ボタン

読み取った画像を破棄して、「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

「インデックス」画面

抽出データの設定がされているページのデータ抽出フィールドを変更したり、新たに追加したりします。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。
詳細は、[ツールバー \(299 ページ\)](#)を参照してください。

ビューアー

抽出データが設定されている画像が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、中央に選択しているページ、右側にフィールドパネルが表示されます。
ビューアーの左側にサムネール一覧が表示されている場合、境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。
サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。
分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。

ドキュメントの仕分け

サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。
画面の表示が「オールインワン」または「ブラウザ」の場合だけ表示されます。

【完了】 ボタン

抽出データを確定して、出力処理を実行します。

ヒント

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、読み取った画像を出力する前に「ファイル名の指定」画面が表示され、出力先フォルダーやファイル名を設定できます。
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の設定で、ファイル名オプションに以下のどれかを設定している場合、読み取った画像を出力する前にファイル名の編集画面が表示され、ファイル名を編集できます。
 - 「編集文字列」を指定
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ [カウンター] ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

- 「シートカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面で、「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェック

【一時保存】ボタン

読み取った画像の確認を中断して、一時保存します。

ボタンをクリックすると表示される画面で、中断理由を選択し、「はい」ボタンをクリックします。

- 後で再開
あとで確認する場合に選択します。
- 画質
画像の品質が理由で中断する場合に選択します。
- その他
そのほかの理由で中断する場合に選択します。
入力域に理由を記入してください。

【キャンセル】ボタン

読み取った画像を破棄して、「スキャン」画面 (280 ページ)に戻ります。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像をマウスでポイントした場合

ステータスバーの左から順に、以下の項目が表示されます。

バッチ名

画面下に、バッチ名が表示されます。

ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、選択中のドキュメント数が表示されます。

ページ数

画面下に、選択中のページ数が表示されます。

属性情報

画面下に、選択中のページのカラー、解像度および画像サイズが表示されます。

総ドキュメント数

画面下に、ドキュメントを分割している場合、ドキュメントの総数が表示されます。
デフォルト（原稿を分割していない場合）は、「1」です。

総ページ数

読み取った画像の総ページ数が表示されます。

出力または一時保存の処理中

ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。
メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。
画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を中断できます。

ツールバー

読み取った画像の確認や編集に使用します。

PaperStream Capture の場合、「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）や「スキャン(テスト)」画面（258 ページ）で表示されます。

PaperStream Capture Pro の場合、以下の画面で表示されます。

- 「スキャン&インデックス」画面（確認 / 編集時）（287 ページ）
- 「スキャン」画面（確認 / 編集時）（282 ページ）
- 「QC」画面（293 ページ）
- 「インデックス」画面（296 ページ）
- 「スキャン(テスト)」画面（258 ページ）
- 「QC(テスト)」画面（260 ページ）
- 「インデックス(テスト)」画面（262 ページ）

表示されていないツールは、アイコンの右側にある▼をクリックして選択できます。

スキャン

追加

別の原稿を読み取って、選択しているページの直後に追加します。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

追加（アシストスキャン）

PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして原稿を読み取り、選択しているページの直後に追加します。

ただし、PaperStream IP ドライバーの、ほかの読み取り条件や選択したプロファイルの内容によっては、アシストスキャンが無効となり、エラーメッセージを表示して処理を中止する場合があります。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

差し替え

別の原稿を読み取って、選択しているページを差し替えます。
クリックすると、読み取った画像と同じ設定に従って読み取りを開始します。

差し替え（アシストスキャン）

PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして原稿を読み取り、選択しているページを差し替えます。

ただし、PaperStream IP ドライバーの、ほかの読み取り条件や選択したプロファイルの内容によっては、アシストスキャンが無効となり、エラーメッセージを表示して処理を中止する場合があります。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

差し替え（表裏判別しない）

PaperStream IP ドライバーの「基本」の「表裏判別」で「判別しない」以外を選択している場合、表示されます。

身分証のような顔写真がある原稿でも表裏判別せずに読み取り、選択しているページを差し替えます。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

追加（ドライバープロファイル）

一時的にドライバープロファイルを変更して別の原稿を読み取り、選択しているページの直後に追加します。

以下の場合、このツールを選択できます。

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream Capture の場合、[「読み取り設定」タブ \(173 ページ\)](#)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合
- PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream Capture Pro の場合、[「読み取り設定」タブ \(173 ページ\)](#)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合

ただし、PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーのときは、「追加（ドライバープロファイル）」は選択できません。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

差し替え（ドライバープロファイル）

一時的にドライバープロファイルを変更して別の原稿を読み取り、選択しているページを差し替えます。

以下の場合、このツールを選択できます。

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream Capture の場合、[「読み取り設定」タブ \(173 ページ\)](#)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合
- PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP ドライバーの「画像タイプ」で「カラー / モノクロ自動判別」または「コードシート切替え」を選択している場合
- PaperStream Capture Pro の場合、[「読み取り設定」タブ \(173 ページ\)](#)の「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で選択している PaperStream IP ドライバーのプロファイルで、「自動プロファイル選択」の設定が「オン」の場合

ただし、PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーのときは、「差し替え（ドライバープロファイル）」は選択できません。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

編集

画質補正(ASC)

この項目は PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
PaperStream IP ドライバーのアシストスキャン機能を有効にして、選択しているページを再読み取りせずに、画質補正したページに差し替えます。

90 度回転

この項目は PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
選択しているページを右に 90 度回転します。
「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

-90 度回転

この項目は PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
選択しているページを左に 90 度回転します。
「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

180 度回転

この項目は PaperStream Capture の場合だけ表示されます。
選択しているページを 180 度回転します。
「ファイルの追加」でファイルから追加したページを選択した場合、ページによっては回転できない場合があります。

削除

選択しているページを削除します。

白紙削除

白紙のマークが付いているページをすべて削除します。

切り取り

選択しているページを切り取ります。

コピー

選択しているページをコピーします。

貼り付け

切り取りまたはコピーしたページを貼り付けます。

ドキュメントを分割

選択しているページの直前で、ドキュメントを分割します。

ドキュメントを結合

選択しているドキュメントと直前のドキュメントを結合します。

ページ並び替え

読み取った画像の順番を並べ替えます。
原稿を以下のように読み取った場合に有効です。

- 片面読み取りで、原稿の表面（奇数ページ）を読み取ったあとに、裏面（偶数ページ）を読み取った場合
- 原稿のページを降順で読み取った場合

折畳み

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。

平行移動

ページ順に画像を並べ替えます。
読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。

逆順

全ページを逆から順番に並べ替えます。
降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。

マーク

選択しているページにマークを付けます。
マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠がオレンジ色になります。

白紙マーク

選択しているページに白紙のマークを付けます。
マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠が黒色になります。

マークを解除

選択しているページのマークを解除します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

エリア設定

フィールド値として認識する領域を変更します。
このツールは、画面の表示が「オールインワン」または「フルページ」で、かつ、ページにフィールド値として認識する領域が設定されている場合に表示されます。

表示

オールインワン

ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページ、ビューアーの右側にフィールドパネルを表示します。

PaperStream Capture の場合、このツールは、ページに抽出データが設定されている場合に表示されます。

PaperStream Capture Pro の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面で表示されます。

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2×1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。

サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。

PaperStream Capture Pro の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面以外で、表示されます。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。

ページに抽出データが設定されている場合は、ビューアーの右側にフィールドパネルを表示し、ビューアーにページの詳細、フィールドパネルにフィールドのフィールド値を表示します。

フィールド値は、直接入力または編集できます。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが 2 ページ並んだ状態で表示します。

PaperStream Capture Pro の場合、このツールは、インデックスを確認 / 編集する画面以外で、表示されます。

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

100%

ビューアーに実際の実稿のサイズでページを表示します。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

フィルターオフ

すべてのページを表示対象にします。

重送

原稿の重送を検出したページを表示対象にします。

折れ/破れ

原稿に折れや破れなどの異常を検出したページを表示対象にします。

白紙

白紙を検出したページを表示対象にします。

「白紙」が選択された状態で「白紙削除」を実行した場合、「フィルターオフ」に自動で切り替わります。

原稿識別精度

PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で識別した原稿の、識別精度が低いページを表示対象にします。

PaperStream Capture Pro の場合、PaperStream IP ドライバーの「自動プロファイル選択」機能で識別した原稿の、識別精度が低いページを表示対象にします。

マーク

マークを付けたページを表示対象にします。

インデックスなし

この項目は PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
インデックスの必須フィールドが未入力の場合、ページを表示対象にします。

第 1

クリックして、マルチイメージを第 2 または第 3 の表示に切り替えられます。
マルチイメージ出力の場合に有効です。

その他

ファイルの追加

選択しているページの直後に、ファイルを追加します。

クリックすると、追加するファイルを選択する画面が表示されます。

詳細は、[ファイル形式 \(470 ページ\)](#)を参照してください。

PaperStream Capture の場合、マルチイメージ出力のとき、無効になります。

PaperStream Capture Pro の場合、「読み取り設定」タブの「読み取り設定」で「画質補正」が「有効」またはマルチイメージ出力の場合、無効になります。

印刷

クリックすると、現在開いているファイルを印刷します。

ナビゲーション

現在ページ数 / 全ページ数が表示されます。

アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

重要

- マルチイメージ出力の場合は、ページ単位で画像を編集します。
そのため、第 1 の画像を選択していれば、第 2、第 3 の画像も同時に編集されます。ただし、第 2、第 3 の画像を選択している場合は、ツールバーにある以下のツールが使用できません。
 - 「スキャン」にあるツール
 - 「編集」にある「元に戻す」と「やり直す」以外のツール

「ファイル名の指定」画面

読み取った画像の出力先やファイル名を指定できます。

「出力先設定」タブ (188 ページ)の「ファイルプロパティ」にある「出力時にファイル名を指定する」チェックボックスにチェックを付けている場合、[完了] ボタンをクリックすると表示されます。

フォルダー

読み取った画像を出力するフォルダーのパスを表示します。

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるフォルダー名の入力域で指定した値が初期表示されます。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

日付を使用する

ファイル名に、ファイルの出力日時を使用します。表示形式は、以下から選択します。

- yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒
- yyyyMMddHHmmss

出力先に同名のファイルがある場合は、ファイル名のうしろに「_」(アンダースコア) と 3 桁の連番を自動的に付与します。

自分で名前を付ける

ファイル名に、任意の文字列と連番を付与します。

先頭文字列

ファイル名に指定する任意の文字列を入力域に入力します。

連番

ファイル名に付与する連番の桁数を、0 ～ 6 桁の範囲で指定します。

ファイル数が、指定した桁数を超える場合は、桁数を 1 つ繰り上げて連番を付与します。

指定した先頭文字列と桁数の構成が、出力先にあるファイル名と同じ場合は、出力先のファイル名にない最小の数字から連番を付与します。

以下に、「先頭文字列」が「document」で、10 ファイルを PDF 形式で 出力した場合の例を記載します。

- 「連番」の桁数が「0」のとき
document.pdf、document1.pdf、document2.pdf、document3.pdf、document4.pdf、document5.pdf、document6.pdf、document7.pdf、document8.pdf、document9.pdf
- 「連番」の桁数が「1」のとき
document1.pdf、document2.pdf、document3.pdf、document4.pdf、document5.pdf、document6.pdf、document7.pdf、document8.pdf、document9.pdf、document10.pdf
- 「連番」の桁数が「2」で、出力先に「document01.pdf」、「document03.pdf」のファイルがあるとき

document02.pdf、 document04.pdf、 document05.pdf、 document06.pdf、
document07.pdf、 document08.pdf、 document09.pdf、 document10.pdf、
document11.pdf、 document12.pdf

サンプル

本画面で設定したフォルダーとファイル名のパスをサンプルで表示します。

【OK】 ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。

また、変更した値が「出力先設定」タブの各設定に反映されます。

【キャンセル】 ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

ファイル名の編集画面

読み取った画像の出力先やファイル名の一部を編集できます。

「出力先設定」タブ (188 ページ)の「ファイルプロパティ」にある「ファイル名オプション」ボタンをクリックすると表示されるリストで、以下のどれかを指定している場合、スキャン画像の確認画面で「完了」ボタンをクリックすると表示されます。

- 「編集文字列」
 - 「ドキュメントカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面 (223 ページ)の「ドキュメントカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
 - 「ページカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
 - 「シートカウンター」を指定し、かつ「カウンター」ボタンをクリックして表示される「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」の「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
- マルチイメージの場合は、第 1、第 2、第 3 の画像でそれぞれ異なるフォルダー名やファイル名を指定できます。

フォルダーパス

読み取った画像を出力するフォルダーを表示します。

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるフォルダー名の入力域で指定した値が初期表示されます。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域で指定した値が表示されません。

編集項目

編集文字列

ファイル名を入力します。最大で 128 文字まで入力できます。

ただし、使用禁止文字 (¥ / : * " ? " < > |) はファイル名に使用できません。

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「編集文字列」を指定していない場合はグレイアウトされます。

同一のジョブで前回設定した値が初期表示されます。初めて本画面を表示した場合は、未入力状態で表示されます。

ドキュメントカウンター

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ~ 2000000000 の範囲で指定します。ただし、以下の場合は、グレイアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「ドキュメントカウンター」を指定していない

- 「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
 - PaperStream Capture Pro の場合、マルチステーション運用かつ「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
- 「カウンターオプション」画面の「ドキュメントカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

ページカウンター

ページカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

ただし、以下の場合は、グレイアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「ページカウンター」を指定していない
 - 「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
 - PaperStream Capture Pro の場合、マルチステーション運用かつ「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
- 「カウンターオプション」画面の「ページカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

シートカウンター

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

ただし、以下の場合は、グレイアウトされます。

- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にあるファイル名の入力域に「シートカウンター」を指定していない
 - 「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けていない
 - PaperStream Capture Pro の場合、マルチステーション運用かつ、「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」で「出力時に編集する」チェックボックスにチェックを付けている
- 「カウンターオプション」画面の「シートカウンター」の「初期値」で設定した値が初期表示されます。

[OK] ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。

また、変更した値が「出力先設定」タブの各設定に反映されます。


[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。


「バッチ管理」画面

バッチジョブの一覧を表示します。





出力済みおよびテスト出力済みのバッチジョブの場合、バッチ名の左側に  が表示されます。クリックすると、「出力済みファイル一覧」画面 (312 ページ)が表示されます。

ヒント

- PaperStream Capture 2.1.0 または PaperStream Capture Pro 2.1.0 より前のバージョンで作成した出力済みのバッチジョブには、 は付きません。

バッチ名

ジョブで指定したバッチ名が表示されます。

出力前のバッチを選択した状態で、バッチ名をマウスでポイントすると  が表示されます。  をクリックすると、バッチ名を変更できます。バッチ名は最大で 256 文字まで設定できます。

状況

バッチジョブの状況が、以下のように表示されます。

- 出力済み
出力先に正常に出力されたバッチジョブ
- スキャン
 - PaperStream Capture の場合
エラーや一時保存、中断になっているバッチジョブ
 - PaperStream Capture Pro の場合
「スキャン」の作業待ち、または原稿の読み取りをする画面の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチジョブ
- QC
この項目は、PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
「QC」の作業待ち、または「QC」画面 (293 ページ)の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチジョブ
- インデックス
この項目は PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
「インデックス」の作業待ち、またはインデックスを編集する画面の操作で、エラーや一時保存、中断になっているバッチジョブ
- テスト出力済み
「スキャン(テスト)」画面 (258 ページ)から出力先に出力したバッチジョブ
- スキャン(テスト)

「スキャン(テスト)」画面の操作で、エラーや中断になっているバッチジョブ

- QC(テスト)
この項目は PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
「スキャン(テスト)」画面から遷移、または「[QC\(テスト\)画面 \(260 ページ\)](#)」の操作で、エラーや中断になっているバッチジョブ
- この項目は PaperStream Capture Pro の場合だけ表示されます。
インデックス(テスト)
「スキャン(テスト)」画面や「QC(テスト)」画面から遷移、または「[インデックス\(テスト\)画面 \(262 ページ\)](#)」の操作で、エラーや中断になっているバッチジョブ




状態

バッチジョブの状態が表示されます。一時保存中および出力中のバッチジョブは、プログレスバーで進捗状況を確認できます。

一時保存のバッチジョブは「一時保存」、出力や一時保存を手動で中断したバッチジョブは「中断」、エラーにより中断されたバッチジョブは「エラー」と表示されます。

ただし、原因を取り除いて作業が再開できる状態になった場合は、ドロップダウンリストから「操作待ち」を選択して、状態を変更できます。

なお、バッチジョブの異常は、[バッチ管理] ボタンの左上に表示される、以下のアイコンでも確認できます。

-  : 出力処理中に、対処の確認があるときに表示されます。
-  : エラーが発生したときに表示されます。
-  : 一時保存や中断がある状態のときに表示されます。

作成日時

バッチジョブの作成日時が表示されます。

優先度


バッチジョブの優先度が表示されます。

優先度は、ドロップダウンリストから「高」または「標準」を選択できます。

オペレーター

バッチジョブに対して操作できる作業者を割り当てできます。デフォルトは空欄で、作業者を割り当てると作業者名が表示されます。



作業者は、「[所属/ユーザーの選択](#)画面 (314 ページ)」で選択します。

「オペレーター」欄をマウスでポイントすると表示される  をクリックして、「所属/ユーザーの選択」画面を開いてください。

作業者が割り当てられたバッチジョブは、管理者と作業を割り当てられた作業者の「バッチ管理」画面以外では非表示になります。

備考

バッチジョブの情報が表示されます。

バッチを選択した状態で、「備考」欄をマウスでポイントすると  が表示されます。 をクリックすると、「備考」画面 (313 ページ)が表示されます。

再読み込み

バッチジョブを再読み込みし、最新の状態にします。

全て再開

一時保存または出力処理を中断したバッチジョブを再出力します。

クリックすると、中断していた処理が再開され、ステータスバーの右側に「バッチの出力中、または一時保存中です」と表示されます。

メッセージ上をクリックすると、処理を中断する画面が表示されます。

画面が表示されている間に、[中断] ボタンをクリックすると、処理を再度中断できます。

削除

選択したバッチジョブを削除します。管理者権限のユーザーだけが操作できます。

PaperStream Capture の場合、「状態」が「中断」になっているバッチジョブは、削除できません。

PaperStream Capture Pro の場合、以下の状態のバッチジョブは、削除できません。

- マルチステーション運用で、ほかの端末が編集している
- マルチステーション運用で、ネットワークが原因でストレージサーバーにファイルのアップロードができず「状態」が「エラー」になっている
- 「状態」が「中断」、または「進行中」でエラーになっている

ヒント

- 出力されたバッチジョブは、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブ (265 ページ)にある「出力済みのバッチを xxx 日間表示する」で指定した日数を経過すると、一覧から削除されます。

「出力済みファイル一覧」画面


出力済みおよびテスト出力済みのバッチジョブの一覧を表示します。


マルチイメージ番号

マルチイメージの出力順が表示されます。

ファイル名

ファイル名がフルパスで表示されます。

ファイル名をマウスでポイントすると  が右側に表示されます。

 をクリックすると、フルパスをクリップボードにコピーします。

圧縮

ファイルの圧縮形式が表示されます。

【閉じる】ボタン

画面を閉じます。

「備考」画面

選択中のバッチジョブの情報を表示します。

中断（エラー）や一時保存の理由を履歴で確認したり、コメントを追加したりできます。

履歴

選択中のバッチジョブの中断（エラー）や一時保存の理由が履歴で表示されます。

選択中のバッチジョブが出力前の場合、履歴情報を編集できます。

コメント追加

選択中のバッチジョブが出力前の場合、コメントの編集ができます。

【保存】ボタン

編集した内容を保存して、画面を閉じます。


【閉じる】ボタン

画面を閉じます。

編集した内容を保存せずに、本ボタンをクリックした場合は、編集した内容を破棄して画面を閉じます。

「所属/ユーザーの選択」画面

表示するユーザーやグループ、または組織を選択します。

以下の項目を設定するときに、「選択」または をクリックすると表示されます。

- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「一般」タブ (265 ページ)にある「お知らせ」の「お知らせするユーザーを選択」
- 「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ)の「ジョブ情報設定」タブ (168 ページ)にある「表示」の「表示するユーザーを選択」
- 「バッチ管理」画面 (310 ページ)にある「オペレーター」

入力域

検索したいユーザー名やグループ名、または組織名の、一部または全部を入力します。
ワイルドカード (*) を使用して、検索対象を絞ることもできます。

【検索】ボタン

クリックすると、表示されるドロップダウンリストから、検索方法を選択します。
ユーザー名で検索する場合は「ユーザー検索」を、グループ名や組織名で検索する場合は「グループ検索」を選択します。
選択すると、入力域に入力された値でユーザー名やグループ名、または組織名を検索します。
複数の候補が存在する場合は、一覧を検索結果画面に表示します。
一覧から候補を選択し、[OK] ボタンをクリックすると、検索結果画面が閉じ、所属リストやユーザーリストに反映されます。

ユーザーフィルター

ユーザーリストに表示されるユーザー名を、入力した文字で絞り込んで表示できます。

所属リスト

グループ名または組織名を表示します。
ユーザー名でユーザーを検索した場合、該当するユーザーが所属するグループ名または組織名を選択した状態で表示します。
グループ名または組織名をダブルクリックすると、「選択結果」の入力域に太字で表示されます。

ヒント

- 表示するユーザーとして、グループ名に「Guests」を設定しても、コンピューターの Guest アカウントでログオンした Guest ユーザーには表示されません。

ユーザーリスト

ユーザー名を表示します。
ユーザー名でユーザーを検索した場合、該当するユーザー名を選択した状態で表示します。
ユーザー名をダブルクリックすると、「選択結果」の入力域に表示されます。

選択結果

選択したユーザー名やグループ名、および組織名が表示されます。

表示されているユーザー名やグループ名、または組織名を削除する場合は、削除したい名前を選択した状態で、「Delete」キーを押下してください。

[OK] ボタン

設定を反映して、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「同名ファイルの扱い確認」画面

出力先に出力処理するファイルと同名のファイルがある場合に表示されます。

プレビュー

画面の左側に出力するファイルの画像が表示されます。

上書きする

選択すると、出力先の同名ファイルに上書きします。

読み取り方法がシンプルスキャンモードの場合、この項目は非表示になります。

名前を付けて保存する

選択すると、変更したファイル名で保存します。

自動的に変名する

選択すると、同名のファイルがある場合、ファイル名を自動的に変更し、別名で保存します。

例えば、同名ファイルが Doc0001.jpg の場合、Doc0001(2).jpg として保存します。

別名で保存される場合、() 内は 2 以降の数字が順番に付けられます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

【参照】ボタン

クリックすると表示される画面で、出力するファイルの出力先を指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。


ページ番号指定


ページ番号を指定すると、該当するページが表示されます。



アイコンをクリックすることでも、ページを移動できます。

スライダー

表示中の画像の縮小または拡大ができます。

バーを左に移動させる、または  をクリックすると、表示中の画像が縮小されます。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、表示中の画像が拡大されます。

 または  をクリックした場合、1 段階だけ表示中の画像が縮小または拡大されます。

デフォルトのバーの位置は左端です。

【OK】ボタン

設定を反映して、出力処理を実行します。

【キャンセル】ボタン

設定を反映せず、出力エラーになり、画面を閉じます。

以下の場合、この項目は非表示になります。

- 読み取り方法が、シンプルスキャンモードの場合
- バッチスキャンモードの「読み取り設定」タブ (173 ページ)にある「表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」を選択かつ、「出力速度を優先する」チェックボックスにチェックを付けている場合

「お知らせ」画面

読み取りしたあとの編集操作から、ジョブの設定で自動化できる作業を判断し、設定の改善ポイントをお知らせします。

改善ポイントに従って、該当するジョブの設定を見直すことで、読み取りしたあとの編集作業の効率を改善できます。

本画面は以下のどちらかの操作で表示されます。

- [メニュー \(163 ページ\)](#)の「お知らせ」ボタンをクリック
- 「テスト」タブ ([257 ページ](#))の読み取りテストで、設定の改善ポイントがある編集操作をした場合
情報は最新操作から順に表示します。内容は以下のとおりです。

ジョブ名

該当のジョブ名が表示されます。

編集日時

該当する編集操作を実施した時間が表示されます。

改善ポイント

該当する編集操作のアイコンと、編集操作の効率を改善するために変更をお勧めするジョブの設定ポイントが表示されます。

リンクが設定されている文字をクリックすると、その設定を行う画面のヘルプトピックが表示されます。



クリックすると情報を削除します。

全てのお知らせをクリア

クリックすると、表示されている情報をすべて削除します。



画面を閉じます。

ヒント

「テスト」タブでの操作中に表示された本画面は、ジョブの設定画面を閉じた場合でも画面が閉じません。

「運用環境の移出」画面

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移出します。

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境には、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも含まれます。

ジョブ一覧

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で現在登録されているジョブ名が一覧表示されます。移出するジョブ名を選択し、左横に配置されているチェックボックスにチェックを付けます。

【すべて選択】 ボタン

クリックすると、ジョブ一覧に表示されているジョブの、すべてのチェックボックスにチェックが付けられます。

【すべて解除】 ボタン

クリックすると、ジョブ一覧に表示されているジョブの、すべてのチェックボックスのチェックが外されます。

【実行】 ボタン

クリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されます。移出ファイル名(.dpav)を入力して保存すると、ジョブ一覧でチェックが付いているジョブと PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移出します。

【閉じる】 ボタン

画面を閉じます。

関連項目

[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)

「運用環境の移入」画面

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境または ScandAll PRO で移出したプロファイルを移入します。

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境には、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも含まれます。

ScandAll PRO のプロファイルは、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のジョブに変換して移入します。

移入ファイル

移入ファイルを指定します。

移入ファイルを指定するには、以下の方法があります。

- ファイルのパス名を入力する
 - [参照] ボタンをクリックして指定する
 - ドラッグ & ドロップ操作で指定する
- 指定できるファイル名の長さは 260 バイトまでです。

【参照】ボタン

「ファイルを開く」画面が表示されます。移入するファイルを指定します。

[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#) で取り出したファイル (.dpav (旧形式または ScandAll PRO から移出した場合は .cab)) を指定してください。

ジョブの移入方法

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のジョブの移入方法を指定します。

新規移入

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に現在登録されているジョブをすべて削除し、移入ファイル内のジョブにすべて置き換えます。

「ドライバープロファイルを移入する」チェックボックス

「新規移入」を選択すると表示されます。

チェックを付けると、PaperStream IP ドライバーのプロファイルも移入します。

ヒント

- 本項目は、PaperStream IP ドライバーがインストールされていない場合、表示されません。
- PaperStream Capture 4.0 より前のバージョンで作成したドキュメントプロファイル (ジョブ) は、すべてこだわり作成編集モードに移入されます。

追加移入

移入ファイル内のジョブを PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に追加します。

【実行】 ボタン

クリックすると、移入ファイルから PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移入します。

ジョブの移入結果は、ログファイルに出力されます。詳細は、[ジョブ移入結果ログ \(502 ページ\)](#)を参照してください。

【閉じる】 ボタン

画面を閉じます。

重要

- 運用環境を移入する前に、移入先の運用環境のバックアップを作成することを推奨します。詳細は、[運用環境を移出する \(157 ページ\)](#)を参照してください。
- 移出した PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境は、同じ言語環境に移入してください。移出したシステムと異なる言語環境に移入できません。
- 新しいバージョンの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で移出した移出ファイルは、前のバージョンの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入できません。
- ScandAll PRO で使用していたドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバー以外だった場合、プロファイルを移入してもドライバーの設定は移入されません。プロファイルが移入されたあとは、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの設定が「現在の設定」になるので、ドライバーの設定をし直してください。ドライバーの設定をし直すと、ファイル形式が変更される場合があります。「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で、移入元と同じファイル形式が設定されているかを確認してください。
- ScandAll PRO のプロファイルだけにある機能および運用環境は移入されません。
- 運用環境の移入には管理者権限が必要です。また、標準ユーザーが「管理者として実行」を実行しても、運用環境を移入できません。

ヒント

- 移出元に設定されたイベントがある場合、移入先にもそのイベントが設定されます（イベントは、「ユーザビリティ」タブの「イベント」で設定の確認ができます）。
- 「バッチ管理」画面に、一時保存または中断しているバッチジョブがある場合、「新規移入」は選択できません。バッチを出力または削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。また、一時保存または中断しているバッチジョブがある状態で、PaperStream Capture Pro をアンインストールするとき、表示されるメッセージ画面で [いいえ] ボタンをクリックした場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブ ([274 ページ](#))の「ストレージサーバー」で指定した「ストレージフォルダー」にファイルが残ります。この状態で別のバージョンの PaperStream Capture Pro をインストールすると、「新規移入」が選択できない場合があります。「バッチ管理」画面に一時保存または中断のバッチジョブがないのに「新規移入」が選択できない場合は、「ストレージフォルダー」に格納されているファイルを削除してから、運用環境の移入を再度実行してください。

関連項目

[運用環境をほかのコンピューターに移入する \(158 ページ\)](#)

「シンプルスキャンモード」画面

シンプルスキャンモードによる読み取りをする場合に表示されます。

● メニュー

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を操作するためのボタンを集めたメニューです。



クリックすると、以下のメニューが表示されます。

- お使いの前に
選択すると、「[お使いの前に](#)」画面 (162 ページ) を表示します。
- 管理ツール
選択すると、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「[一般](#)」タブ (265 ページ) を表示します。
- オンラインリソース
PaperStream Capture Pro の場合、選択すると、PaperStream Capture Pro の Web サイトを表示します。
- バージョン情報
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のバージョン情報を表示します。
- 終了
選択すると、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を終了します。

【モード切替え】ボタン

クリックすると、バッチスキャンモードまたはシンプルスキャンモードに読み取り方法を切り替えられます。

ただし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面または「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「[一般](#)」タブの「モード切替え」で「[シンプルスキャンモードのみを使用する](#)」を選択した場合、表示されません。

● ツールバー

原稿の読み取り、読み取った画像の確認、編集、または出力に使用します。

表示されていないツールは、ツールバー上で右クリックし、表示されたメニューの項目から選択すると、ツールバーに項目が追加されます。

また、ツールバーに表示されている項目を初期化する場合は、ツールバー上で右クリックし、表示されたメニューの「[ツールバーをリセット](#)」を選択すると、ツールバーの項目が初期化されます。

スキャン

スキャン

原稿を読み取って、ビューアーに読み取った画像を表示します。

クリックすると、原稿の読み取りを開始します。

読み取り中は「スキャン」が「キャンセル」に変更され、クリックすると読み取りが中止されます。

追加スキャン

別の原稿を読み取って、任意のドキュメントに挿入したり、選択しているページと差し替えたりします。

クリックすると、「追加/挿入/差替え」画面 (344 ページ)が表示されます。

ファイルを開く

既存のファイルを開きます。

クリックすると、開くファイルを選択する画面が表示されます。

ファイルの追加

既存のファイルを、任意のドキュメントに挿入したり、選択しているページと差し替えたりします。

クリックすると、「追加/挿入/差替え」画面が表示されます。

保存

読み取った原稿を保存します。

クリックすると、「名前を付けて保存」画面 (346 ページ)が表示されます。

編集

90 度回転

選択しているページを右に 90 度回転します。

-90 度回転

選択しているページを左に 90 度回転します。

180 度回転

選択しているページを 180 度回転します。

削除

選択しているページを削除します。

切り取り

選択しているページを切り取ります。

コピー

選択しているページをコピーします。

貼り付け

切り取りまたはコピーしたページを貼り付けます。

仕分けの挿入

選択しているページの直前で、ドキュメントを分割します。

仕分けの削除

選択しているドキュメントと直前のドキュメントを結合します。

折畳み

ページ順に画像を並べ替えます。

読み取った画像のページが、1、3、5、6、4、2のように、表面にあたる画像（奇数ページ）が昇順で並んでいるのに対し、裏面にあたる画像（偶数ページ）が降順で並んでいる場合に有効です。

平行移動

ページ順に画像を並べ替えます。

読み取った画像のページが、1、3、5、2、4、6のように、表面にあたる画像（奇数ページ）も裏面にあたる画像（偶数ページ）も昇順で並んでいる場合に有効です。

逆順

全ページを逆から順番に並べ替えます。

降順で並んでいるページを昇順に並べ替える場合に有効です。

マーク

選択しているページにマークを付けます。

マークを付けると、サムネールの背景およびビューアーの枠がオレンジ色になります。

マークを解除

選択しているページのマークを解除します。

元に戻す

直前の編集操作を取り消します。

やり直す

元に戻した編集操作をやり直します。

表示

ブラウズ

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページを表示します。

ブラウズ(2×1)

ビューアーの左側にサムネール一覧を、ビューアー内の左側にサムネール一覧で選択しているページ、右側に次のページを表示します。

サムネール

ビューアー全体に、ドキュメントの全ページのサムネールを表示します。

サムネールをダブルクリックすると、表示を「フルページ」に変更し、ページを表示します。

フルページ

ビューアーに、選択しているページを表示します。

見開きページ

ビューアーに、選択しているページと次のページが 2 ページ並んだ状態で表示します。

縮小

ページを 1 段階縮小して表示します。

表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階縮小して表示します。

拡大

ページを 1 段階拡大して表示します。

表示が「サムネール」の場合、サムネールを 1 段階拡大して表示します。

ユーザー指定

ページの表示倍率を指定します。

表示倍率が 100% の場合、ビューアーにページを実際 of 原稿のサイズで表示します。

全体表示

ビューアーにページの全体を表示します。

横幅に合わせる

ビューアーの横幅に合わせてページを表示します。

手のひら

マウスでポイントした箇所を、ドラッグした方向に動かします。

拡大鏡

マウスでポイントした箇所を拡大表示します。

矩形にズーム

マウスでドラッグした範囲を拡大表示します。

マークフィルター

マークの付いたページだけを表示します。

ナビゲーション

現在ページ数 / 全ページ数が表示されます。

アイコンをクリックすることでも、ページまたはドキュメントを移動できます。

設定

読み取り設定

クリックすると、「[スキャンの設定](#)」画面 (328 ページ) が表示されます。

スキャナーの選択

クリックすると、接続しているスキャナーの名称と選択が可能なスキャナーの名称が表示されます。

スキャン時に設定変更

クリックすると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに「スキャンの実行」画面 (330 ページ) が表示されます。

印刷

クリックすると、現在開いているファイルを印刷します。

ビューアー

読み取った画像を表示します。

画面の表示は「ブラウズ」になり、ビューアーの左側にサムネール一覧、ビューアーにサムネール一覧で選択しているページが表示されます。

ビューアーとサムネール一覧の境界線をドラッグすると表示領域を変更できます。

サムネール一覧のタイトル部分をドラッグして画面外にドロップすると、サムネール一覧画面が分離して表示されます。

分離したサムネール一覧画面のタイトルをドラッグして、メイン画面内にドロップすると結合され、分離状態が解除されます。


ドキュメントの仕分け


サムネール一覧で、各ドキュメントの最初に、仕分け番号とドキュメント内のページ数が表示されます。



画面の表示が「ブラウズ」、「ブラウズ(2×1)」、または「サムネール」の場合だけ表示されます。

スライダー

サムネール一覧の下のスライダーでサムネールのサイズを変更します。

バーを左に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは小さくなります。

バーを右に移動させる、または  をクリックすると、サムネールのサイズは大きくなります。

 または  をクリックした場合、1 目盛だけサムネールのサイズが変更されます。

デフォルトの目盛の位置は左から 3 番目です。

ステータスバー

各種情報が表示されます。

画像タイプ

画面の下に、二値白黒、グレースケール、カラーのどれかの画像タイプが表示されます。

ただし、「ファイルの追加」で開いたページの画像タイプが判定できない場合、画像タイプは 4bit 画像または 8bit 画像と表示されます。

縦解像度

画面の下に、縦解像度が表示されます。

画像サイズ

画面の下に、縦と横の画像サイズが表示されます。

ファイル名のフルパス

出力済みまたは既存ファイルを開いたときだけ、画面の下に、開いたファイルのフルパスとファイル名が表示されます。

「スキャンの設定」画面

ファイルの出力、原稿の読み取り条件、ドキュメントの分割方法について設定します。

ファイルの出力

「スキャン中にファイル出力する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中にファイルが出力されます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

【詳細設定】 ボタン

クリックすると、「[ファイル名の詳細設定](#)」画面 (333 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

詳細は、[ファイル形式](#) (470 ページ)を参照してください。

【オプション】 ボタン

クリックすると、「[TIFF オプション](#)」画面 (339 ページ)、「[PDF オプション](#)」画面 (340 ページ)、「[JPEG オプション](#)」画面 (343 ページ)が表示されます。

「ファイル形式」で TIFF、PDF、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

読み取り

ドライバープロファイル

PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。
バッチスキャンモードで選択できるドライバープロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。

〔詳細設定〕 ボタン

クリックすると表示される画面で、PaperStream IP ドライバーの設定をします。
詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

読み取り枚数

読み取り枚数を、以下から選択できます。

- 全て読み取る
選択すると、すべてのページを読み取ります。
- 指定ページ数のみ読み取る
選択すると、指定したページ数だけ読み取ります。
ページ数の指定は、「読み取り枚数」の右側の入力域で指定します。

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用して両面読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定するときは、必ず偶数の値を指定してください。奇数の値を指定すると、読み取り枚数が 1 枚少なくなる場合があります。または、"[SX03043E] 原稿がなくなりました"となる場合があります。
- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用して白紙スキップ読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定すると、読み取り枚数が少なくなることがあります。
または、[SX03043E]や[SX03041E]のエラーメッセージが表示されることがあります。

「スキャン時に TWAIN ドライバーの UI を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの画面が表示されます。
PaperStream Capture の場合、本チェックボックスは PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合だけ表示されます。

オプション

ドキュメント分割

読み取った画像の分割方法を、以下から選択できます。

- 分割しない
選択すると、読み取った画像を分割しません。
- 指定ページ単位に分割する
選択すると、指定したページ単位で、読み取った画像を分割します。

ページ数の指定は、「ドキュメント分割」の右側の入力域で指定します。

- Ctrl が押されたら分割する

選択すると、「Ctrl」キーを押したときに、読み取った画像を分割します。

原稿を分割するキーは、「ユーザビリティ」タブ (269 ページ) の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。

デフォルトは「Ctrl」です。

キーを指定すると、項目名に反映されます。

例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl が押されたら分割する」から「Alt が押されたら分割する」に変更されます。

「スキャン画像を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中に画像が表示されます。

ヒント

- 読み取り中の画像を表示したくない場合は、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックを外してください。

ただし、「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスのチェックが外れている場合、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックは外せません。

デフォルトは、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックが付いています。

[OK] ボタン

設定を反映し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「スキャンの実行」画面

ファイルの出力、原稿の読み取り条件、ドキュメントの分割方法について設定し、実行します。

ファイルの出力

ヒント

- ツールバーの「追加スキャン」で読み取りをした場合、「ファイルの出力」項目は表示されません。

「スキャン中にファイル出力する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中にファイルが出力されます。

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

【参照】 ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

【詳細設定】 ボタン

クリックすると、「ファイル名の詳細設定」画面 (333 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

詳細は、[ファイル形式 \(470 ページ\)](#)を参照してください。

【オプション】 ボタン

クリックすると、「TIFF オプション」画面 (339 ページ)、「PDF オプション」画面 (340 ページ)、または「JPEG オプション」画面 (343 ページ)、が表示されます。

「ファイル形式」で TIFF、PDF、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

読み取り**ドライバープロファイル**

PaperStream IP ドライバーのプロファイルを選択します。

【詳細設定】 ボタン

クリックすると表示される画面で、PaperStream IP ドライバーの設定をします。

詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

読み取り枚数

読み取り枚数を、以下から選択できます。

- 全て読み取る
選択すると、すべてのページを読み取ります。
- 指定ページ数のみ読み取る
選択すると、指定したページ数だけ読み取ります。
ページ数の指定は、「読み取り枚数」の右側の入力域で指定します。

重要

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用して両面読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定するときは、必ず偶数の値を指定してください。

奇数の値を指定すると、読み取り枚数が 1 枚少なくなる場合があります。または、"[SX03043E] 原稿がなくなりました"となる場合があります。

- PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用して白紙スキップ読み取りを行い、かつ、読み取り枚数を指定すると、読み取り枚数が少なくなることがあります。
または、[SX03043E]や[SX03041E]のエラーメッセージが表示されることがあります。

「スキャン時に TWAIN ドライバーの UI を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、「スキャン」または「追加スキャン」で読み取りするときに PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの画面が表示されます。

PaperStream Capture の場合、本チェックボックスは PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合だけ表示されます。

オプション

ドキュメント分割

読み取った画像の分割方法を、以下から選択できます。

- 分割しない
選択すると、読み取った画像を分割しません。
- 指定ページ単位に分割する
選択すると、指定したページ単位で、読み取った画像を分割します。
ページ数の指定は、「ドキュメント分割」の右側の入力域で指定します。
- Ctrl が押されたら分割する
選択すると、「Ctrl」キーを押したときに、読み取った画像を分割します。
原稿を分割するキーは、「ユーザビリティ」タブ (269 ページ)の「手動仕分けのショートカットキー」で指定できます。
デフォルトは「Ctrl」です。
キーを指定すると、項目名に反映されます。
例えば、「Alt」キーを指定した場合、項目名は「Ctrl が押されたら分割する」から「Alt が押されたら分割する」に変更されます。

「スキャン画像を表示する」チェックボックス

チェックを付けると、読み取り中に画像が表示されます。

ヒント

- 読み取り中の画像を表示したくない場合は、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックを外してください。
ただし、「スキャン中にファイル出力する」チェックボックスのチェックが外れている場合、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックは外せません。
デフォルトは、「スキャン画像を表示する」チェックボックスのチェックが付いています。

【スキャン】ボタン

設定を反映し、出力処理を実行します。

【キャンセル】ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「ファイル名の詳細設定」画面

保存するファイルに付ける名前に関する規則を設定します。

「フォルダー名オプション/ファイル名オプションを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、本画面で指定されたファイル名オプションに基づいて、ファイル名が自動で生成されます。

ファイル名オプションを使用する場合、ファイル名の直接入力はできません。

ファイル名

本画面で設定したサンプルファイル名が表示されます。

設定可能項目

ファイル名オプションに指定できる項目が表示されます。

- ドキュメントカウンター
ドキュメントカウンターの値をファイル名に指定します。
- フォルダー区切り 1 ~ 5
フォルダー区切りより上位の項目をフォルダー名に指定します。
- 文字列 1 ~ 4
任意の文字列をファイル名に指定します。
- 日付と時刻
読み取りを開始した日付、または日付と時刻をファイル名に指定します。
- ページカウンター
ページカウンターの値をファイル名に指定します。
- シートカウンター
シートカウンターの値をファイル名に指定します。
ただし、PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用しているときは、常に設定されたシートカウンターの初期値がファイル名になります。
- ドキュメント仕分け値
ドキュメント仕分け値をファイル名に指定します。
ドキュメント仕分けに文字列が設定されていない場合、形式が「"SEPARATOR" + 仕分け No. (数字 4 桁)」の文字列が、ファイル名に出力されます。
- 編集文字列
「名前を付けて保存」画面で任意の文字列を指定する場合に指定します。
- マルチイメージ出力順
マルチイメージ出力の場合、そのページの出力順をファイル名に指定します。
PaperStream IP ドライバーの設定でマルチイメージが指定されている場合、有効になります。
なお、マルチイメージ出力以外の場合は、固定値「1」となります。
- 出力面
ADF 両面読み取りの場合、原稿の出力面（表面 / 裏面）をファイル名に指定します。

表面の場合は「F」を、裏面の場合は「B」を出力します。

なお、フラットベッドでの読み取りや「ファイルの追加」を行った場合は、固定値「F」を出力します。



クリックすると、「設定可能項目」で選択した項目を「設定済み項目」に移動します。



クリックすると、「設定済み項目」で選択された項目を「設定可能項目」に移動します。

設定済み項目

ファイル名オプションに設定済みの項目の一覧が表示されます。



クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ上に移動します。



クリックすると、「設定済み項目」で選択した項目が 1 つ下に移動します。

ドキュメントカウンター

1 回の読み取りの単位（仕分けがある場合はそれにより分割された単位）で 1 つのドキュメントとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

ドキュメントカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

ドキュメントカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。

実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。

実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。

以下に例を示します

ドキュメントカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。

例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されます。

2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

例えば、初期値「1」で2つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されません。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ドキュメントカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、**ファイル名の編集画面 (308 ページ)**で、ドキュメントカウンターの初期値を直接入力できます。

ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

ページカウンター

読み取った原稿の面が1ページとなり、その単位でカウンター値が付与されます。両面読み取りの場合は表裏で2ページ、上下分割した場合は上下で2ページとなります。

初期値

ページカウンターの開始番号の初期値を1～2000000000の範囲で指定します。

最小桁数

ページカウンターの最小桁数を1～10桁の範囲で指定します。実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に0が補われます。実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。以下に例を示します。

ページカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。例えば、初期値「1」で2つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されません。

2000000000を超えた場合、1に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

例えば、初期値「1」で2つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されません。

また、ドキュメントカウンターと同時に指定した場合、ドキュメントごとにページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタイミングで、ページカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、ページカウンターの初期値を直接入力できます。

ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

「インプリンタと連携する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの初期値を、インプリンタのカウンターの初期値に設定します。

また、インプリンタのカウンターの増減値などにも、最適な値を設定します。

ただし、読み取り開始後は、インプリンタのカウンターとページカウンターは独立して更新されるため、以下の場合、ページ番号とインプリンタのカウンターは同期できないことがあります。

- 白紙の削除などの機能により、スキャナーが読み取ったページ数と読み込みページ数が一致しない場合
- 両面読み取りで、インプリンタの印字面が裏面の場合
- カラー / モノクロ自動判別を設定している場合
- 仕分けやページ数を指定し、ドキュメントを区切った場合
- 「指定ページ単位に分割する」を指定した場合

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

「インプリンタと連携する」チェックボックスにチェックを付けると有効になります。

チェックを付けると、追加や差し替えで原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。

原稿を読み取るとインプリンタに印字するページカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、ページカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。

原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。

PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「ページカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、ページカウンターは正しく同期されません。

シートカウンター

読み取った原稿 1 枚が 1 シートとなり、その単位でカウンター値が付与されます。

初期値

シートカウンターの開始番号の初期値を 1 ～ 2000000000 の範囲で指定します。

最小桁数

シートカウンターの最小桁数を 1 ～ 10 桁の範囲で指定します。
 実際の桁数が最小桁数より少ない場合、残りの桁（値の左側）に 0 が補われます。
 実際の桁数が最小桁数より多い場合、すべての桁が表示されます。
 以下に例を示します。

シートカウンターの値	最小桁数	表示
12	3	012
1234	3	1234

初期値を自動更新する

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの初期値が加算され、続き番号となります。
 例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「3」に設定されま
 す。
 2000000000 を超えた場合、1 に更新されます。

読み取り毎に初期値に戻す

選択すると、読み取りのたびにシートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻さ
 れます。
 例えば、初期値「1」で 2 つのファイルを出力した場合、次回の初期値は「1」に設定されま
 す。

日付が変わったら初期値に戻す

選択すると、コンピューターの日付が変更されたあとに、読み取りまたはジョブを編集したタ
 イミングで、シートカウンターの開始番号が「初期値」で指定した値に戻されます。

「出力時に編集する」チェックボックス

チェックを付けると、ファイル名の編集画面で、シートカウンターの初期値を直接入力できま
 す。
 ファイル名の編集画面は、ファイルを出力するときに表示されます。

「インプリンタと連携する」チェックボックス

チェックを付けると、シートカウンターの初期値を、インプリンタのカウンターの初期値に設
 定します。
 また、インプリンタのカウンターの増減値などにも、最適な値を設定します。
 ただし、読み取り開始後は、インプリンタのカウンターとシートカウンターは独立して更新さ
 れるため、以下の場合、シートカウンターとインプリンタのカウンターは同期できないことが
 あります。

- カラー / モノクロ自動判別を設定している場合
- 仕分けやページ数を指定し、ドキュメントを区切った場合
- 「指定ページ単位に分割する」を指定した場合

「追加/差替えスキャン時にカウンターを印字する」チェックボックス

「インプリンタと連携する」チェックボックスにチェックを付けると有効になります。チェックを付けると、追加や差し替えで原稿を読み取る場合も、インプリンタで印字します。

原稿を読み取るとインプリンタに印字するシートカウンターの初期値を指定する画面が表示されます。

「桁数を固定する」チェックボックス

チェックを付けると、シートカウンターの桁数を「最小桁数」で指定した桁数で固定します。原稿の読み取り中に桁数の最大値を超えた場合、カウンターは 0 に戻ります。

PaperStream IP ドライバーの設定で指定しているカウンターの桁数と「シートカウンター」の「最小桁数」が異なる場合、シートカウンターは正しく同期されません。

日付と時刻

日付フォーマット

日付の形式を、以下から選択します。

- yyyyMMdd
- MMddyyyy
- ddMMyyyy

時刻の区切り

時刻の区切りの形式を、以下から選択します。

- なし
- "-"(アンダースコア)
- "-"(ハイフン)

「時刻を付加する」チェックボックス

チェックを付けると、日付に加えて、読み取りまたは保存処理を開始した時点の時刻を付加します。

文字列

文字列 1 ～ 4

ファイル名に使用する文字列を指定します。

指定可能な最大文字数は 32 文字です。

¥ / : ? * " < > | , は使用できません。

半角空白だけの文字列は使用できません。

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、「シートカウンター」の値は、常に設定された初期値になります。

- 以下を設定している場合、原稿の表面を読み取ったあとに原稿の裏面を逆順で読み取り、両面データとして合成するため、裏面にはシートカウンターの番号が逆順の状態が付与されます。
 - 「スキャナーの選択」で仮想的に両面を読み取る機能に対応した片面読み取りスキャナーを選択
 - 「読み取り設定」タブの「詳細設定」ボタンをクリックして、表示された PaperStream IP ドライバーの「給紙」で「フィーダー (両面(仮想))」を選択

【OK】ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

【キャンセル】ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

「TIFF オプション」画面

読み取った画像を TIFF 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

選択できる形式と圧縮レベルは、PaperStream IP ドライバーの設定によって異なります。

形式

圧縮形式を、以下から選択します。

- 「画像タイプ」が「二値白黒」の場合
 - 非圧縮
 - CCITT G3(1D)
 - CCITT G3(2D)
 - CCITT G4
 - JBIG
 - LZW
 - Packbits
- 「画像タイプ」が「グレースケール」の場合
 - 非圧縮
 - LZW
 - Packbits
 - JPEG
- 「画像タイプ」が「カラー」の場合
 - 非圧縮
 - Packbits
 - JPEG

- Progressive JPEG
- 「画像タイプ」が「カラー / モノクロ自動判別」など、一度の読み取りで複数の画像タイプが出力される場合
 - 既定の圧縮形式に従う
 - 非圧縮
- 「名前を付けて保存する」を選択している場合
 - 既定の圧縮形式に従う
 - 非圧縮

「圧縮レベルを変更する」チェックボックス

チェックを付けると、圧縮レベルを設定する項目を表示します。

本項目は、ファイルを保存するときに表示される「名前を付けて保存」画面 (346 ページ) から本画面を表示した場合、表示されます。

圧縮レベル

TIFF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。

本項目は、ファイルを保存するときに表示される「名前を付けて保存」画面から本画面を表示した場合、「圧縮レベルを変更する」チェックボックスにチェックを付けると表示されます。

-1 ~ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します (デフォルトは 4)。数値に比例して、圧縮率は高くなります。

数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

重要

- 「圧縮」の「形式」が「JPEG」で、かつ「圧縮レベル」が「-1」または「0」の場合、表示されているページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

【OK】 ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

【キャンセル】 ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

「PDF オプション」画面

読み取った画像を PDF 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

「高圧縮を行う」チェックボックス

チェックを付けると、画像タイプがグレースケールまたはカラーの場合だけ、ファイルを高圧縮し、ファイルサイズを小さくします。

圧縮レベル

PDF 形式で出力する場合の圧縮率を指定します。

1 ～ 7 の 7 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 3）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。

数値を大きくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

数値を小さくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

重要

- 表示されているページの画質と出力されるファイルの画質は異なります。

オプション

「検索可能な PDF を作成する」チェックボックス

チェックを付けると、テキスト認識を行って、検索可能な PDF ファイルとして出力します。

言語

テキスト認識する言語を指定します。

中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、ギリシャ語、トルコ語、アラビア語、ベトナム語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ヘブライ語、ウクライナ語、タイ語、インドネシア語から選択できます。

重要

- アラビア語を選択する場合は、アラビア語オペレーティングシステム（OS）環境での利用を推奨します。

「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス

チェックを付けると、複数ページの画像を検索可能な PDF ファイルとして出力する場合に、先頭ページだけテキスト認識を行います。

全ページに対して処理するのに比べて、処理時間を短縮できます。

重要

- テキスト認識には、非常に時間がかかる場合があります。
- テキスト認識する場合は、以下の設定を推奨します。

画像タイプ	解像度	用紙サイズ
二値白黒	400 / 600 dpi	A3 以下
グレースケール	200 / 300 dpi	
カラー		

上記以外の設定の場合、正しくテキスト認識できない場合があります。

- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。
 - 手書き文字
 - 低解像度での小さな文字
 - 傾いた原稿
 - 設定言語以外の言語の原稿

PaperStream Capture の場合で日本語、中国語（簡体字） / 中国語（繁体字）のとき

- イタリック体（斜体）
- 上下添え字、複雑な数式
- 文字の背景が不均一色の原稿
 - 文字の背景に模様がある原稿
 - 影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 網がけ内の文字
- 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿（このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります）
- PaperStream IP ドライバーの設定によっては、正しくテキスト認識できない場合があります。

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」で「自動」が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」で「0度」を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。

「開くパスワードを設定する」チェックボックス

PDF ファイルを開くときのパスワードを、16 文字以内（半角文字換算）で付加できます。本チェックボックスは PDF ファイルにだけチェックを付けられます（PDF/A ファイルではチェックを付けられません）。

パスワード付き PDF ファイルは PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では扱えないため、パスワードを付加したあとは、PDF ファイル閲覧アプリケーションを使用して参照してください。

「固定のパスワードを使用する」チェックボックス

チェックを付けると、固定のパスワードを設定できます。

「パスワード」および「確認」の入力域に、指定したい値を入力します。

チェックを外すと、PDF ファイルを出力するときに表示される画面でパスワードを設定できます。

PaperStream Capture の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックすると、表示されます。

PaperStream Capture Pro の場合、パスワードの設定画面は、「スキャン」画面（確認 / 編集時）で、[完了] ボタンをクリックしたときの処理が、PDF ファイルとして出力になる
とき、表示されます。

パスワード

入力域にパスワードを入力します。

確認

確認のため、再度、入力域にパスワードを入力します。

[OK] ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

「JPEG オプション」画面

読み取った画像を JPEG 形式で出力する場合に使用するオプションを設定します。

圧縮

選択できる形式と圧縮レベルは、PaperStream IP ドライバーの設定によって異なります。

形式

圧縮形式を、以下から選択します。

- グレースケールの場合
 - JPEG
- カラーの場合
 - JPEG
 - Progressive JPEG
- 「名前を付けて保存する」を選択している場合
 - JPEG

圧縮レベル

JPEG 形式で出力する場合の画質を指定します。

-1 ~ 7 の 9 段階から、スライダーで指定します（デフォルトは 4）。数値に比例して、圧縮率は高くなります。

数値を大きくすると、ファイルサイズは大きくなりますが、画質の劣化が少なくなります。

数値を小さくすると、ファイルサイズは小さくなりますが、画質が劣化します。

PaperStream Capture の場合、PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用するときは、24bit カラーで出力するときに有効となります。

重要

- 「圧縮」の「形式」が「JPEG」で、かつ「圧縮レベル」が「-1」または「0」の場合、表示されているページの画質と出力されるファイルの画質が異なります。

[OK] ボタン

設定内容を保存し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定内容を破棄し、画面を閉じます。

「追加/挿入/差替え」画面

ページを追加、挿入、または差し替えする位置を指定します。

対象**ページ**

選択すると、追加、挿入、または差し替え先とする対象がページになります。

ドキュメント

選択すると、追加または挿入先とする対象がドキュメントになります。

操作**前に挿入**

選択すると、指定したページまたはドキュメントの前に、ページを挿入します。

後に追加

選択すると、指定したページまたはドキュメントのうしろに、ページを追加します。

差替え

選択すると、選択しているページを差し替えます。

「対象」で「ドキュメント」を選択した場合、表示されません。

位置**最初**

選択すると、先頭のページの前に、ページを追加します。

また、「操作」で選択した項目が無効になります。

最後

選択すると、最後のページのうしろに、ページを追加します。

また、「操作」で選択した項目が無効になります。

「ページ」または「ドキュメント」

本項目は「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」と表示されます。

選択すると、「操作」の処理を実行するページまたはドキュメントを指定できます。

「対象」で「ページ」を選択し、「操作」で「差替え」を選択した場合、差し替えるページの範囲を指定できます。

[OK] ボタン

設定を反映し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

設定を反映せず、画面を閉じます。

「仕分けの挿入」画面

仕分けを挿入または追加する位置を指定します。

対象**ページ**

選択すると、仕分けの挿入先とする対象がページになります。

ドキュメント

選択すると、仕分けの挿入先とする対象がドキュメントになります。

操作**前に挿入**

選択すると、指定したページまたはドキュメントの前に、仕分けを挿入します。

後に追加

選択すると、指定したページまたはドキュメントのうしろに、仕分けを追加します。

位置**最初**

選択すると、先頭のページの前に、仕分けを追加します。

また、「操作」で選択した項目が無効になります。

最後

選択すると、最後のページのうしろに、仕分けを追加します。

また、「操作」で選択した項目が無効になります。

「ページ」または「ドキュメント」

本項目は「対象」で「ページ」を選択した場合は「ページ」、「ドキュメント」を選択した場合は「ドキュメント」と表示されます。

選択すると、「操作」の処理を実行するページまたはドキュメントを指定できます。

[OK] ボタン

仕分けを挿入し、画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン

仕分けを挿入せず、画面を閉じます。

「名前を付けて保存」画面

ファイルの出力について設定します。

ファイルの出力

フォルダー

ファイルの出力先を入力します。

[参照] ボタン

クリックすると表示される画面で、出力先のフォルダーを指定します。

ファイル名

ファイル名を入力します。

[詳細設定] ボタン

クリックすると、「[ファイル名の詳細設定](#)」画面 (333 ページ)が表示されます。

ファイル形式

ファイル形式を選択します。

詳細は、[ファイル形式](#) (470 ページ)を参照してください。

[オプション] ボタン

クリックすると、「[TIFF オプション](#)」画面 (339 ページ)、「[PDF オプション](#)」画面 (340 ページ)、または「[JPEG オプション](#)」画面 (343 ページ)、が表示されます。

「ファイル形式」で TIFF、PDF、または JPEG を選択したときだけ、選択しているファイル形式の設定画面が表示されます。

同名ファイルの扱い

同名ファイルを出力する場合の扱いを、以下から選択します。

- 名前を付けて保存する
- 上書き保存する

[OK] ボタン

設定を反映し、出力処理を実行します。

【キャンセル】ボタン


設定を反映せず、出力を中止します。

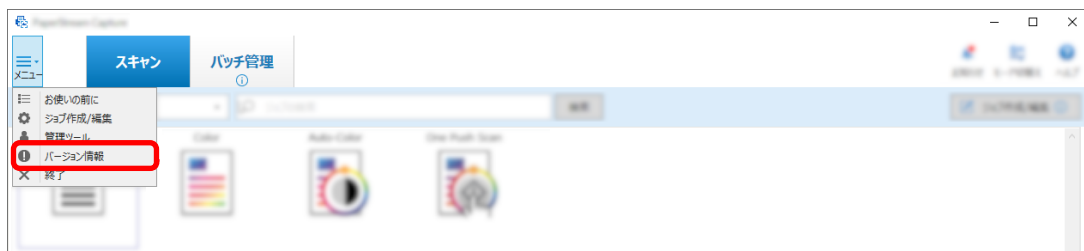
困ったときには

ここでは、バージョンの確認方法と「バッチ管理」画面のエラーの解除方法について説明します。

バージョンの情報を確認する

PaperStream Capture のバージョンを確認する方法は、以下のとおりです。

- 1 メニューの  から、「バージョン情報」を選択します。



バージョンに関する画面が表示されます。




画面上部に「PaperStream Capture x.x.x.x」または「PaperStream Capture Pro x.x.x.x」と表示されます。x.x.x.xに記載された番号が、使用している PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のバージョンです。

出力処理中の警告に対応する



出力処理中に警告が表示されたバッチをリカバリーし、再度出力する方法は、以下のとおりです。

ヒント

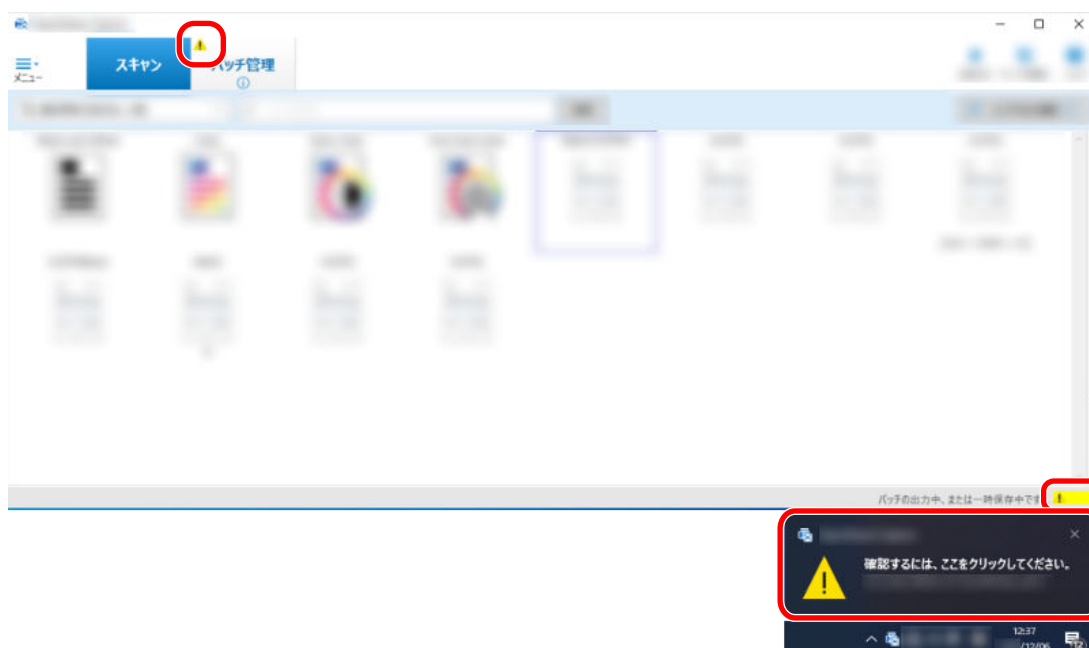
バッチジョブの異常は、[バッチ管理] ボタンの左上に表示される、以下のアイコンでも確認できます。

-  : 出力処理中に、対処の確認が必要なときに表示されます。
-  : エラーが発生したときに表示されます。
-  : 一時保存や中断がある状態のときに表示されます。

- 1 以下の通知のどれかをクリックします。

- 画面右下に表示された 
- [バッチ管理] ボタンの左上に表示された 
- タスク バーからの通知


タスクバーの右端にあるアクションセンターからバナーで通知されます。アクションセンターの設定により、バナーで通知されない場合は、アクションセンターのアイコンをクリックすると、通知内容を確認できます。

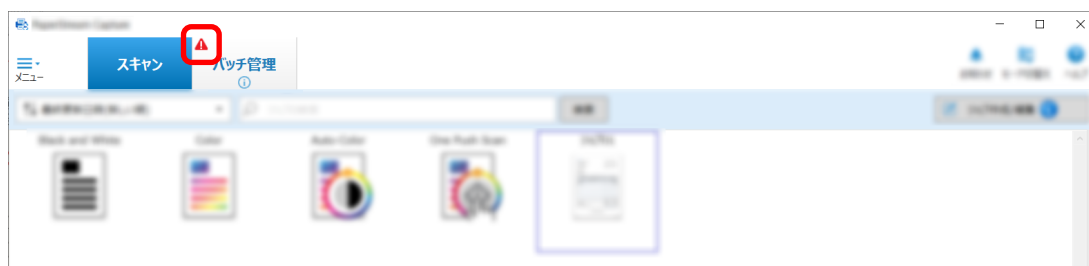


メッセージ画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、対応を選択します。



対処が不要な場合はメッセージが表示されず、バッチが出力されます。

選択した結果、出力に失敗した場合、バッチがエラー状態になり、[バッチ管理] ボタンの左上に  が表示されます。



3 メニューの [バッチ管理] ボタンをクリックします。

「バッチ管理」画面が表示されます。

出力に失敗したバッチは、「状態」に「エラー」と表示されます。バッチを選択し、「備考」欄をマウスでポイントすると  が表示されます。  をクリックするとエラーの内容を確認できます。

4 エラーの内容を確認し、エラーを取り除きます。

5 再出力するバッチのバッチ名をダブルクリックします。

画像を確認/編集する画面に再出力するバッチが表示されます。

6 [完了] ボタンをクリックします。

バッチが再出力され、表示された「バッチ管理」画面の「状況」に「出力済み」と表示されます。

ヒント

- バッチジョブの削除は、管理者権限のユーザーだけが操作できます。
ただし、「状態」が「中断」になっている、または「進行中」でエラーになっているバッチジョブは、削除できません。

ゾーン OCR で文字が正しく認識されない

ゾーン OCR で文字が正しく認識されない場合は、文字を抽出する原稿の読み取り条件を変更して、文字を認識しやすい画像にしてください。

以下の方法があります。

また、原稿（文字）や PaperStream IP ドライバーの設定については、[ゾーン OCR の検知条件 \(495 ページ\)](#)を参照してください。

- 画像の解像度を高くする
[画像の画質の設定を変更する \(94 ページ\)](#)または[画像のファイルサイズを設定する \(111 ページ\)](#)を参照してください。
画像の解像度は、以下を推奨します。カラー / グレーは 600dpi より大きい解像度は認識できません。
 - 白黒 : 400 / 600 dpi
 - カラー / グレー : 200 / 300 dpi
- 画像タイプを変更する
- 画像の圧縮率を低くする
「オプション設定」画面で圧縮率を変更します。
- 画像の向きを確認する

メッセージ一覧

起動や接続に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の起動や接続に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX01001E	設定ファイルのロードに失敗しました。(353 ページ)
SX01002E	<ul style="list-style-type: none">● PaperStream Capture の場合 PaperStream Capture の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。(353 ページ)● PaperStream Capture Pro の場合 PaperStream Capture Pro の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。(353 ページ)
SX01003E	パスワードが異なります。正しいパスワードを入力してください。(354 ページ)
SX01004E	ジョブのロードに失敗しました。ジョブを確認してください。(354 ページ)
SX01005E	<ul style="list-style-type: none">● PaperStream Capture の場合 別のユーザーが PaperStream Capture を起動しています。起動中の PaperStream Capture を終了してから、本アプリケーションを実行してください。(354 ページ)● PaperStream Capture Pro の場合 別のユーザーが PaperStream Capture Pro を起動しています。起動中の PaperStream Capture Pro を終了してから、本アプリケーションを実行してください。(355 ページ)
SX01006E	<ul style="list-style-type: none">● PaperStream Capture の場合 PaperStream Capture 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。(355 ページ)● PaperStream Capture Pro の場合 PaperStream Capture Pro 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。(355 ページ)
SX01007E	<ul style="list-style-type: none">● PaperStream Capture の場合 PaperStream Capture が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。PaperStream Capture を終了した後、本アプリケーションを起動してください。(355 ページ)● PaperStream Capture Pro の場合

コード	メッセージ
	PaperStream Capture Pro が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。 PaperStream Capture Pro を終了した後、本アプリケーションを起動してください。(356 ページ)
SX01008E	<ul style="list-style-type: none"> ● PaperStream Capture の場合 PaperStream Capture の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。(356 ページ) ● PaperStream Capture Pro の場合 PaperStream Capture Pro の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。(356 ページ)
SX01009E	<ul style="list-style-type: none"> ● PaperStream Capture の場合 他のユーザーが「PaperStream Capture 管理ツール」を実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。(357 ページ) ● PaperStream Capture Pro の場合 他のユーザーが「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。(357 ページ)
SX01013Q	ストレージサーバーへの接続に失敗しました。再試行しますか？(357 ページ)
SX01014E	ステーションとストレージサーバーの PaperStream Capture のバージョンが一致していません。(358 ページ)
SX01015E	本アプリケーションが正常に終了されなかったため、起動できません。しばらく待った後、再試行してください。問題が解決しない場合は、ログオフ後にログインし直すか、コンピューターを再起動した後、再試行してください。(358 ページ)
SX01016W	ライセンス変更により PaperStream Capture の再起動が必要です。PaperStream Capture を終了します。(358 ページ)
SX01017E	ストレージサーバーへの接続に失敗しました。以下をご確認の上、再度お試しください。・サーバーとのネットワーク接続に問題がないこと・サーバー上のストレージサービス、および出力サービスが開始されていること・サーバー上のストレージファイアウォールが開いていること・インターネットインフォメーションサービス (IIS) のサイト (PaperStreamCapture Pro) が開始されていること (359 ページ)
SX01019E	不明なエラーが発生しました。本アプリケーションを再起動した後、再試行してください。(359 ページ)
SX01020Q	スキャナー装置添付の無償版 PaperStream Capture で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。ライセンスを認証す

コード	メッセージ
	ると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？ (360 ページ)
SX01021Q	PaperStream Capture Pro で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。 ライセンスを解除すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。 継続してもよろしいですか？ (360 ページ)
SX01022Q	「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、シンプルスキャンモードをご利用いただけません。 管理ツールの「一般」タブの「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択してください。 (360 ページ)
SX99999E	予期しないエラーです。 エラー詳細： {0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。 (361 ページ)

- **設定ファイルのロードに失敗しました。**

原因

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を起動するときに、設定ファイルのロードに失敗したため、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を起動できませんでした。

対処

以下の設定ファイルの存在とアクセス権が付与されているかを確認してから再度処理を実行してください。

`%ALLUSERSPROFILE%\¥PaperStreamCapture¥PROSettings.xml`

- **PaperStream Capture の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。**

原因

PaperStream Capture の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールが起動しているため、PaperStream Capture を起動できませんでした。

対処

PaperStream Capture の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールを終了してから、PaperStream Capture を起動してください。

- **PaperStream Capture Pro の運用環境の移出・移入ツールが実行されているため、本アプリケーションを起動できません。**

原因

PaperStream Capture Pro の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールが起動しているため、PaperStream Capture Pro を起動できませんでした。

対処

PaperStream Capture Pro の「運用環境の移出」ツールまたは「運用環境の移入」ツールを終了してから、PaperStream Capture Pro を起動してください。

- **パスワードが異なります。正しいパスワードを入力してください。**

原因

入力されたパスワードと設定済みのパスワードが一致しないため、「管理ツール」の起動、ジョブの編集、および「アドホックスキャン」が実行できませんでした。

対処

正しいパスワードを入力し、再度実行してください。

パスワードを紛失した場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ジョブのロードに失敗しました。ジョブを確認してください。**

原因

ジョブのロードに失敗しました。

対処

ジョブが格納されているフォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。

- PaperStream Capture の場合

フォルダーの場所は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「一般」タブ (265 ページ)にある「作業フォルダー」で確認できます。

- PaperStream Capture Pro の場合

フォルダーの場所は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「ステーション」タブ (274 ページ)にある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で確認できます。「ストレージフォルダー」は、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動すると表示されます。

- **別のユーザーが PaperStream Capture を起動しています。起動中の PaperStream Capture を終了してから、本アプリケーションを実行してください。**

原因

別のユーザーが PaperStream Capture を起動しているコンピューターで、PaperStream Capture を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture は、同じコンピューター上で 1 つしか起動できません。以下のどちらかの対処を行ってください。

- 別のアカウントでログオンしているユーザーの PaperStream Capture を使用する

- 別のアカウントでログオンしているユーザーに PaperStream Capture の画面を閉じてもらってから、自分のアカウントでログオンし、PaperStream Capture を起動する

- **別のユーザーが PaperStream Capture Pro を起動しています。起動中の PaperStream Capture Pro を終了してから、本アプリケーションを実行してください。**

原因

別のユーザーが PaperStream Capture Pro を起動しているコンピューターで、PaperStream Capture Pro を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture Pro は、同じコンピューター上で 1 つしか起動できません。以下のどちらかの対処を行ってください。

- 別のアカウントでログオンしているユーザーの PaperStream Capture Pro を使用する
- 別のアカウントでログオンしているユーザーに PaperStream Capture Pro の画面を閉じてもらってから、自分のアカウントでログオンし、PaperStream Capture Pro を起動する

- **PaperStream Capture 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。**

原因

スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動した状態で、PaperStream Capture を起動しようとした。

対処

[「PaperStream Capture 管理ツール」画面](#) / [「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 \(264 ページ\)](#) を閉じてから、PaperStream Capture を起動してください。

- **PaperStream Capture Pro 管理ツールが実行中のため、本アプリケーションを起動できません。管理ツールを終了してから、本アプリケーションを起動してください。**

原因

スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動した状態で、PaperStream Capture Pro を起動しようとした。

対処

[「PaperStream Capture 管理ツール」画面](#) / [「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 \(264 ページ\)](#) を閉じてから、PaperStream Capture Pro を起動してください。

- **PaperStream Capture が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。PaperStream Capture を終了した後、本アプリケーションを起動してください。**

原因

PaperStream Capture が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動してください。

- **PaperStream Capture Pro が実行中のため、本アプリケーションを起動できません。PaperStream Capture Pro を終了した後、本アプリケーションを起動してください。**

原因

PaperStream Capture Pro が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture Pro を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動してください。

- **PaperStream Capture の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。**

原因

PaperStream Capture の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動してください。

- **PaperStream Capture Pro の運用環境移出入ツールが実行中のため、管理ツールを起動できません。運用環境移出入ツールを終了してから、管理ツールを起動してください。**

原因

PaperStream Capture Pro の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」が起動している状態で、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動しようとした。

対処

PaperStream Capture Pro の「運用環境の移出」または「運用環境の移入」を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動してください。

- **他のユーザーが「PaperStream Capture 管理ツール」を実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。**

原因

ほかのユーザーが「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しているコンピューターで、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture 管理ツール」を起動しようとした。

- **他のユーザーが「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を実行中のため、管理ツールを起動できません。実行中の管理ツールを終了してから、再度起動してください。**

原因

ほかのユーザーが「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動しているコンピューターで、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動しようとした。

対処

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」は、同じコンピューター上で 1 つしか起動できません。別のアカウントでログオンしているユーザーに「[PaperStream Capture 管理ツール](#) 画面 / [PaperStream Capture Pro 管理ツール](#) 画面 (264 ページ)」を閉じてもらってから、自分のアカウントでログオンし、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動してください。

- **ストレージサーバーへの接続に失敗しました。再試行しますか？**

原因

ストレージサーバーへの接続に失敗しました。
以下の原因が考えられます。

- ストレージサーバーのアドレスが正しくない
- ストレージサーバーが正常に動作していない
- ネットワーク環境に問題がある
- ネットワークがパブリックネットワークである
- ストレージサーバーのストレージサービスが起動していない
- ストレージサーバーのストレージファイアウォールが閉じている

対処

以下を確認してから、処理を選択してください。

- ストレージサーバーのアドレスが正しいか
- ストレージサーバーが正常に動作しているか
- ネットワーク環境に問題がないか
- ネットワークがパブリックネットワークでないか

- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが [停止] になっているか
- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが [閉じる] になっているか
[はい] ボタンをクリックすると、ストレージサーバーへの接続を再度実行します。
[いいえ] ボタンをクリックすると、ストレージサーバーに接続せずに処理を継続します。この場合、ジョブが正しく保存されなかったり、バッチの状態が異常になったりして、「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) でバッチを確認できなくなる可能性があります。
PaperStream Capture Pro を再起動してもバッチが表示されない場合は、インストールフォルダー内にある「PFU.PaperStream.Capture.RecoveryTool.exe」でバッチを復元してください。

- **ステーションとストレージサーバーの PaperStream Capture のバージョンが一致していません。**

原因

以下の原因により PaperStream Capture Pro を起動できませんでした。
以下の原因が考えられます。

- ストレージサーバーが起動していない
- ストレージサーバーとクライアント端末にインストールされている PaperStream Capture Pro のバージョンが一致していない

対処

以下の対処を実施してから、PaperStream Capture Pro を起動してください。

- ストレージサーバーを起動する
- ストレージサーバーとクライアント端末にインストールされている PaperStream Capture Pro のバージョンを合わせる

- **本アプリケーションが正常に終了されなかったため、起動できません。しばらく待った後、再試行してください。問題が解決しない場合は、ログオフ後にログインし直るか、コンピューターを再起動した後、再試行してください。**

原因

タスクマネージャーから PaperStream Capture Pro のプロセスを強制終了させるなど、正常な終了が行われなかったため、PaperStream Capture Pro の一部のプロセスが終了しませんでした。

対処

しばらく時間を空けてから、PaperStream Capture Pro を起動してください。それでも改善されない場合は、ログオフしてからログオンし直し、またはコンピューターを再起動してから、PaperStream Capture Pro を起動してください。

- **ライセンス変更により PaperStream Capture の再起動が必要です。PaperStream Capture を終了します。**

原因

PaperStream Capture Pro の試用回数が上限に達したか、試用期間が終了しました。

対処

PaperStream Capture Pro を再度起動するとライセンス確認画面が表示されるので、以下の対処をしてください。

- PaperStream Capture Pro を継続して使用する場合
購入したライセンスを入力して、アクティベーションを行ってください。
- PaperStream Capture Pro の試用を終了する場合
選択肢から PaperStream Capture を選択してください。

なお、PaperStream Capture Pro のインストーラーからインストールした場合は、選択肢として PaperStream Capture は表示されません。

- **ストレージサーバーへの接続に失敗しました。以下をご確認の上、再度お試しください。** ・サーバーとのネットワーク接続に問題がないこと ・サーバー上のストレージサービス、および出力サービスが開始されていること ・サーバー上のストレージファイアウォールが開いていること ・インターネットインフォメーションサービス (IIS) のサイト (PaperStreamCapture Pro) が開始されていること

原因

ストレージサーバーに接続するときに、リトライ不可能なエラーが発生しました。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ストレージサーバーが正常に動作しているか
- ネットワーク環境に問題がないか
- ストレージサービスが開始しているか
- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが [停止] になっているか
- 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが [閉じる] になっているか
- インターネットインフォメーションサービス (IIS) で PaperStream Capture Pro の Web サイトが起動しているか

- **不明なエラーが発生しました。本アプリケーションを再起動した後、再試行してください。**

原因

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の子プロセスが初期化に失敗しました。

対処

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を再起動してから、再度実行してください。

エラーが頻発する場合は、購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- スキャナー装置添付の無償版 PaperStream Capture で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。ライセンスを認証すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されず。継続してもよろしいですか？

原因

PaperStream Capture で作成したバッチジョブが、出力されず一時保存または中断した状態のまま、PaperStream Capture Pro へのアクティベートを実施しようとした。

対処

バッチの出力処理をする場合は、[いいえ] ボタンをクリックし、「バッチ管理」画面 (310 ページ) で出力処理を実行してから、再度アクティベートを実施してください。

バッチの出力処理をしない場合は、[はい] ボタンをクリックし、アクティベートを続行してください。ライセンスが認証されると製品が PaperStream Capture Pro になり、「バッチ管理」画面の表示が初期化されます。

- PaperStream Capture Pro で作成された一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っています。ライセンスを解除すると、これらのバッチはバッチ管理画面から削除されます。継続してもよろしいですか？

原因

PaperStream Capture Pro で作成したバッチジョブが、出力されず一時保存または中断した状態のまま、ディアクティベートを実施しようとした。

対処

バッチの出力処理をする場合は、[いいえ] ボタンをクリックし、「バッチ管理」画面 (310 ページ) で出力処理を実行してから、再度ディアクティベートを実施してください。

バッチの出力処理をしない場合は、[はい] ボタンをクリックし、ディアクティベートを続行してください。ライセンスの認証が解除されると製品が PaperStream Capture になり、「バッチ管理」画面の表示が初期化されます。

- 「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、シンプルスキャンモードをご利用いただけません。管理ツールの「一般」タブの「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択してください。

原因

お使いのコンピューターが「QC」または「インデックス」ステーションのクライアント端末として管理者に設定されているためです。

このステーションでは、原稿の読み取りができないため、「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ) でも読み取りができません。

対処

誤って表示の切り替えを行わないように、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ) の「一般」タブ (265 ページ) にある「モード切替え」で「バッチスキャンのみを使用する」を選択して、[モード切替え] ボタンを非表示にしてください。

- 予期しないエラーです。エラー詳細：{0} エラーが発生したときの操作手順と表示されているエラーをお控えの上、当社サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

原因

予期しないエラーが発生しました。
エラーの詳細として、以下の情報が {0} に表示されます。

- スキャンの中止に失敗しました。
- スキャンの実行に失敗しました。
- 追加スキャンの実行に失敗しました。
- 差し替えスキャンの実行に失敗しました。
- イメージの保存に失敗しました。
- PaperStream IP ドライバーの設定画面の表示に失敗しました。
- バッチの編集に失敗しました。
- 「スキャンなしで画質補正」の実行に失敗しました。

対処

エラーが発生したときの操作手順と、{0} に表示されているエラーの詳細をメモしていただき、購入された販売店 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

管理ツールやジョブ設定に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の管理ツールやジョブ設定に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX02001Q	「{0}」で指定されているスキャナー装置は「{1}」イベントをサポートしていません。設定してもよろしいですか？ (363 ページ)
SX02004E	ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。 (363 ページ) ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。こだわりに移行の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。 (364 ページ)
SX02005E	ホットキーが重複しています。 (364 ページ)
SX02006E	一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っているため、作業フォルダーを変更できません。 (364 ページ)
SX02007E	設定内容を保存するファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイルパスが不正です。保存するファイルを使用中の他のアプリケーションの処理を終わらせる、上書き禁止の設定を解除する、または

コード	メッセージ
	フォルダーパスを変更して、再度設定の保存を行ってください。(364 ページ)
SX02008E	サンプルジョブが壊れている、または、アクセス権限がないため、サンプルジョブを初期化できません。(365 ページ)
SX02009E	初期化を行うとジョブ数が {0} 個を超えるため、初期化できません。(365 ページ)
SX02010Q	サンプルジョブが存在する場合は、インストール時の状態に戻ります。よろしいですか？(366 ページ)
SX02012Q	設定内容は保存されませんでした。変更は破棄されます。管理ツールを終了しますか(366 ページ)
SX02014E	ストレージサーバーに接続できません。(366 ページ)
SX02016Q	ストレージサーバーのアドレスが変更されました。ジョブが変更されるため、スキャンイベントの設定を既定値に戻します。継続してもよろしいですか？(367 ページ)
SX02017W	ストレージサーバーを起動できませんでした。インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーから PaperStream Capture サイトを開始してください。(367 ページ)
SX02018E	中断されたバッチが残っているため、ストレージサーバーのアドレスは変更できません。(367 ページ)
SX02019E	同じショートカットキーが既に定義されています。(368 ページ)
SX02020E	ジョブ数が上限値を超えているため、上限値を変更できません。(368 ページ)
SX02021Q	指定されたジョブは、PaperStream Capture Pro で作成されたものです。編集を行うと、PaperStream Capture Pro 固有機能の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。継続してもよろしいですか？(368 ページ)
SX02024Q	評価を中止すると、再評価はできません。評価を中止してもよろしいですか？(368 ページ)
SX02026E	ストレージフォルダーにネットワークフォルダーを設定することはできません。ストレージフォルダーには、ローカルフォルダーを指定してください。(369 ページ)
SX02028E	管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」が選択されています。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択する必要があります。管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択してください。(369 ページ)
SX02029E	指定されたジョブの読み取り設定で選択されているスキャナーと現在接続されているスキャナーが異なる、もしくは現在スキャナーが接続されていません。編集（「こだわり作成」に移行）を行うには指定されたジョブの読み取り

コード	メッセージ
	設定で選択されている装置（スキャナー）に接続している必要があります。対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を現在接続されているスキャナーに再選択してください。または対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置（スキャナー）を接続してください。（369 ページ）

- 「{0}」で指定されているスキャナー装置は「{1}」イベントをサポートしていません。設定してもよろしいですか？

原因

選択したジョブに指定されているスキャナーに、該当するイベント機能がないためです。

{0} と {1} には、以下が表示されます。

{0}: ジョブ名

{1}: イベント名 (Scan, Send to (Function1) …)

対処

以下の対処を行ってください。

- そのまま設定する場合
[はい] ボタンをクリックし、設定を反映してください。
 - 設定せずに破棄する場合
[いいえ] ボタンをクリックし、ジョブに指定されているスキャナーがサポートするイベントの範囲内で再度設定をしてください。
- ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。

原因

指定したジョブ名が 128 文字を超えているため、ジョブを保存できません。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「ジョブ情報設定」タブ (168 ページ) の「ジョブ名」に表示されている文字を、128 文字以内に変更する
- 参照作成したときのジョブ名が 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を変更する

ヒント

- ジョブを参照作成すると、自動的に「(参照元のジョブ名) _コピー」というジョブ名が設定されます。

- **ジョブ名が最大長の 128 文字を超えています。こだわりに移行の場合は、"_コピー"を含めて 128 文字以内になるように、参照元のジョブ名を見直してください。**

原因

ジョブをこだわり作成に移行すると、移行元のジョブ名が 128 文字を超えるため、ジョブを移行できません。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ジョブをこだわり作成に移行したときの移行元のジョブ名が「_コピー」を含めて 128 文字以内になるように、移行元のジョブ名を変更する
- こだわり作成で、新規にジョブを作成する

ヒント

- ジョブをこだわり作成に移行すると、移行元のジョブは自動的に「(移行元のジョブ名) _コピー」というジョブ名に変更されます。

- **ホットキーが重複しています。**

原因

すでに、ほかのジョブで定義されているホットキーを指定したためです。

対処

ほかのジョブに定義されているホットキーと重複しない値を指定してから、再度処理を実行してください。

- **一時保存、エラー、または中断されたバッチが残っているため、作業フォルダーを変更できません。**

原因

一時保存やエラー、または中断されたバッチが出力されないまま、作業フォルダーを変更しようとしたためです。

対処

「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) で該当のバッチの出力処理、または削除をしてから、作業フォルダーを変更してください。

- **設定内容を保存するファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイルパスが不正です。保存するファイルを使用中の他のアプリケーションの処理を終わらせる、上書き禁止の設定を解除する、またはフォルダーパスを変更して、再度設定の保存を行ってください。**

原因

以下の理由により「PaperStream Capture 管理ツール」、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」、またはジョブの設定画面での設定内容を保存できませんでした。

- 作業フォルダーのパスが長い
- 作業フォルダーに存在しないドライブなど不正なパスが指定されている
- 作業フォルダーと同じ格納先に保存されているジョブをほかのアプリケーションで開いている

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーのパスが短くなるように見直す
- 作業フォルダーに正しいパスを設定し直す
- 以下のファイルを開いているアプリケーションを終了する
 - ProSettings.xml
 - (User) -YYYYMMDDHHmmss.xml
 - (User) -YYYYMMDDHHmmss.ini

(User) は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ) の「アクティベーション」タブ (273 ページ) で「ライセンス情報」にある「マシン ID」に表示されている値になります。

YYYYMMDDHHmmss は、ジョブを作成した日付と時間になります。

- サンプルジョブが壊れている、または、アクセス権がないため、サンプルジョブを初期化できません。

原因

以下の理由によりサンプルジョブの初期化ができませんでした。

- 初期設定のサンプルジョブが存在しない
- 初期設定のサンプルジョブが壊れている
- 初期設定のサンプルジョブへのアクセス権がない

対処

初期設定のサンプルジョブに問題がないか確認してください。初期設定のサンプルジョブは以下に格納されています。

%ALLUSERSPROFILE%\¥PaperStreamCapture¥Sample

初期設定のサンプルジョブに問題がある場合は、以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ファイルが存在しないまたは壊れている場合
PaperStream Capture を再インストールしてください
- アクセス権がない場合
アクセス権を付与してください

- 初期化を行うとジョブ数が {0} 個を超えるため、初期化できません。

原因

サンプルジョブを初期化すると、ジョブ数が上限値を超えてしまうため、初期化ができませんでした。{0} には、ジョブ数の上限が表示されます。

対処

定義済みのジョブ数を確認し、必要に応じてジョブ数の上限値を増やしてください。
ジョブ数は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「一般」タブ (265 ページ)で「表示」にある「最大ジョブ数」で変更できます。

- サンプルジョブが存在する場合は、インストール時の状態に戻ります。よろしいですか？

原因

サンプルジョブを初期化しようとした。

対処

以下の対処を行ってください。

- サンプルジョブを初期化する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。サンプルジョブの設定値が初期化されます。
- サンプルジョブを初期化しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- 設定内容は保存されませんでした。変更は破棄されます。管理ツールを終了しますか

原因

「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)で変更した内容を保存せずに [閉じる] ボタンを押したか、コンピューターの電源を切ろうとしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 変更した内容を反映しない場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 変更した内容を反映する場合
 - PaperStream Capture の場合
[いいえ] ボタンをクリックし、「PaperStream Capture 管理ツール」画面で [保存] ボタンをクリックしてください。変更した内容が反映されます。
 - PaperStream Capture Pro の場合
[いいえ] ボタンをクリックし、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面で [保存] ボタンをクリックしてください。変更した内容が反映されます。

- ストレージサーバーに接続できません。

原因

ストレージサーバーへの接続に失敗しました。

対処

以下を確認してから、再度接続テストを実施してください。

- ストレージサーバーのアドレスが正しいか
 - ストレージサーバーが正常に動作しているか
 - ストレージサービスが開始しているか
 - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「出力サービス」のボタンが [停止] になっているか
 - 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」の「ストレージファイアウォール」のボタンが [閉じる] になっているか
- **ストレージサーバーのアドレスが変更されました。ジョブが変更されるため、スキャンイベントの設定を既定値に戻します。継続してもよろしいですか？**

原因

ストレージサーバーのアドレスを変更しました。

対処

以下の対処を行ってください。

- イベントの設定を初期化する場合
[OK] ボタンをクリックしてください。
 - イベントの設定を初期化しない場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- **ストレージサーバーを起動できませんでした。インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャーから PaperStream Capture サイトを開始してください。**

原因

インターネットインフォメーションサービス (IIS) で PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の Web サイトの起動に失敗しました。

対処

購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **中断されたバッチが残っているため、ストレージサーバーのアドレスは変更できません。**

原因

一時保存やエラー、または中断されたバッチジョブが出力されないまま、ストレージサーバーの設定を変更しようとしてしました。

対処

[「バッチ管理」画面 \(310 ページ\)](#)で該当のバッチジョブの出力処理または削除をしてから、ストレージサーバーの設定を変更してください。

- **同じショートカットキーが既に定義されています。**

原因

すでに、ほかの操作に定義されているショートカットキーを指定しました。

対処

ほかの操作に定義されているショートカットキーと重複しない値を指定してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブ数が上限値を超えているため、上限値を変更できません。**

原因

すでに定義されているジョブの数が指定された上限値よりも多いためです。

対処

すでに定義しているジョブの、数以上の上限値を指定するか、不要なジョブを削除してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたジョブは、PaperStream Capture Pro で作成されたものです。編集を行うと、PaperStream Capture Pro 固有機能の定義情報が失われ、元に戻せなくなります。継続してもよろしいですか？**

原因

PaperStream Capture Pro で作成されたジョブを PaperStream Capture で編集しようとしたしました。

対処

PaperStream Capture Pro で作成されたジョブは、PaperStream Capture でも編集できます。ただし、PaperStream Capture Pro 固有の機能については、定義が失われます。以下の対処を行ってください。

- **編集を継続する場合**
[はい] ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture Pro 固有の機能の定義を破棄して編集処理を継続します。
- **編集しない場合**
[いいえ] ボタンをクリックしてください。編集処理を行わずに「ジョブ一覧」画面へ戻ります。

- **評価を中止すると、再評価はできません。評価を中止してもよろしいですか？**

原因

体験版で使用している PaperStream Capture Pro の評価を中止しようとしたためです。

対処

体験版で使用している PaperStream Capture Pro の体験利用を中止すると、体験可能な期間に達していなくても、再度、体験版としての利用はできません。以下の対処を行ってください。

- 評価を終了する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。評価を終了し、製品が PaperStream Capture になります。
 - 評価を継続する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。評価を継続し、体験可能な期間まで PaperStream Capture Pro を使用できます。
- **ストレージフォルダーにネットワークフォルダーを設定することはできません。ストレージフォルダーには、ローカルフォルダーを指定してください。**

原因

[[ステーション](#)] タブ (274 ページ) の「ストレージサーバー」にある「マルチステーション運用 (ストレージサーバーとして使用する)」を選択した状態で、「ストレージフォルダー」にドライブを割り当てたネットワークフォルダーを指定しているためです。

対処

「ストレージフォルダー」に指定しているフォルダーをローカルフォルダーに変更してから、再度処理を実行してください。

- **管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」が選択されています。編集 (「こだわり作成」に移行) を行うには管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択する必要があります。管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択してください。**

原因

管理ツールの「スキャナードライバー」で「ISIS」を選択している場合に、[編集 (こだわりに移行)] ボタンをクリックしたときに表示されます。

対処

管理ツールの「スキャナードライバー」で「TWAIN」を選択します。

- **指定されたジョブの読み取り設定で選択されているスキャナーと現在接続されているスキャナーが異なる、もしくは現在スキャナーが接続されていません。編集 (「こだわり作成」に移行) を行うには指定されたジョブの読み取り設定で選択されている装置 (スキャナー) に接続している必要があります。対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置 (スキャナー) を現在接続されているスキャナーに再選択してください。または対象ジョブの読み取り設定で選択されている装置 (スキャナー) を接続してください。**

原因

対象のジョブで選択されているスキャナーに接続していない状況の場合に、[編集 (こだわりに移行)] ボタンをクリックしたときに表示されます。

対処

対象のジョブで選択されているスキャナーに接続します。

読み取りや編集に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の読み取りや編集に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX03001E	ジョブが存在しません。(374 ページ)
SX03002Q	読み取りを続けますか？ 継続して読み取るには、原稿をセットして、[はい]をクリックしてください。読み取りを終了する場合は、[いいえ]をクリックしてください。(374 ページ)
SX03003Q	スキャナーの紙詰まりです。詰まっている紙を取り除き、操作を続けてください。読み取りを続けますか？(375 ページ)
SX03005I	スキャナーのボタンが押されましたが、「{0}」イベントに対応する動作が設定されていません。管理ツールのユーザビリティタブで、スキャナーのボタン操作で実行したいジョブを設定してください。(375 ページ)
SX03007E	選択されたイメージの削除に失敗しました。(375 ページ)
SX03009E	ファイルの追加に失敗しました。(375 ページ)
SX03012E	切り取り処理でエラーが発生しました。(376 ページ)
SX03013E	コピー処理でエラーが発生しました。(376 ページ)
SX03014E	貼り付け処理時にエラーが発生しました。(376 ページ)
SX03015E	イメージの回転に失敗しました。(377 ページ)
SX03016E	マークの付加に失敗しました。(377 ページ)
SX03017E	マークの解除に失敗しました。(377 ページ)
SX03018E	ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合は、PaperStream IP ドライバーで「マルチイメージ出力」、「白紙削除」、および「上下分割」を同時に指定できません。PaperStream IP ドライバーの設定画面で「マルチイメージ出力」、「白紙削除」および「上下分割」の選択を解除してください。(378 ページ)
SX03019E	ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合、仕分け設定を同時に指定できません。ジョブ作成/編集設定画面の「仕分け設定」タブで、全ての仕分け指定を解除してください。(378 ページ)
SX03020E	折れ/破れ検知は PaperStream IP ドライバーの設定画面のページタブで、クロッピングが自動、傾き補正のいずれか、または背景に黒が設定されている場合のみ有効です。(378 ページ)
SX03021E	「重送マーク」は PaperStream IP ドライバーの設定画面の「用紙搬送」において「マルチフィード検出」を「検出する」に設定し、条件を「重なり」、「長さ」または「重なりと長さ」のいずれかが設定されている場合に有効です。(379 ページ)

コード	メッセージ
SX03023Q	画像認識チェック機能(折れ/破れ検知)をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されています。折れ/破れ検知は行われません。継続してもよろしいですか？(379 ページ)
SX03034E	アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足していません。(379 ページ)
SX03035Q	ADF 給紙シュートに用紙の裏面をセットして、読み取りを継続してください。読み取りを継続しますか？(380 ページ)
SX03036Q	スキャンを中止します。スキャンした画像を破棄しますか？(380 ページ)
SX03037Q	全てのイメージが選択されています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？(380 ページ)
SX03038Q	選択されているイメージを削除してもよろしいですか？(381 ページ)
SX03039E	現在の画面では、ホットキーによるスキャンを実行できません。(381 ページ)
SX03040E	現在の画面では、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。(381 ページ)
SX03041E	以下の理由により、読み取りを中止します。{0} (381 ページ)
SX03042E	原稿がセットされていませんでした。(382 ページ)
SX03045E	メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。メモリーが不足していないか、ディスク容量が不足していないかをご確認ください。また、ディスクが故障していないか等も併せてご確認ください。(382 ページ)
SX03047E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用している可能性があります。(382 ページ)
SX03049E	指定されたファイル(フォルダー)、またはインデックス情報ファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはフォルダーパスが不正です。フォルダーパスの長さが最大長を超えていないか、および、フォルダーのアクセス権限が書き込み不可になっていないか確認してください。(383 ページ)
SX03052W	原稿がセットされていませんでした。または、全ての原稿が白紙と判定されました。(383 ページ)
SX03053E	PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルが異常です。PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの設定画面において、ドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルの設定を確認してください。(383 ページ)
SX03055Q	バッチを削除してもよろしいですか？(384 ページ)

コード	メッセージ
SX03056E	指定されたフォルダーにファイルは作成できません。 アクセスできない、またはライトプロテクトされています。 {0} 作業フォルダーのディスクドライブやパスについて、書き込み可能かどうかをご確認ください。(384 ページ)
SX03057E	作業フォルダーに十分な空き容量がありません。(385 ページ)
SX03060E	イメージの移動に失敗しました。(385 ページ)
SX03063E	ファイルパスが長すぎます。 {0} (385 ページ)
SX03065E	一時保存処理中にエラーが発生しました。(386 ページ)
SX03066E	ファイルのアップロードに失敗しました。(386 ページ)
SX03068Q	指定されたファイル名オプションの場合、単一ファイルのみが作成されます。 このため、ファイルを 1 つ作成した時点で、他のファイルの出力を終了します。 処理を続けますか？ (386 ページ)
SX03069Q	選択している仕分けを削除してもよろしいですか？ 仕分け No. : {0} (386 ページ)
SX03072E	ジョブが編集中のためスキャンを開始できません。(387 ページ)
SX03073E	バッチが使用されているためバッチを削除できません。(387 ページ)
SX03074E	バッチが他の状態に移行したため開けません。(388 ページ)
SX03078E	スキャン中にオリジナル画像の取得に失敗しました。(388 ページ)
SX03079E	オリジナル画像のロードに失敗しました。(388 ページ)
SX03080E	PaperStream IP は「画質補正 (ASC)」をサポートしていません。(388 ページ)
SX03082I	ストレージサーバーへのアップロード中に中断されました。アップロードを再開します。(389 ページ)
SX03083E	いくつかのファイルがアップロードできませんでした。(389 ページ)
SX03084E	バッチが使用中のため、バッチ情報を更新できません。(389 ページ)
SX03086E	以下の理由により、ストレージサーバーからのデータの取得に失敗しました。 {0} (389 ページ)
SX03087E	以下の理由により、ストレージサーバーへのデータのアップロードに失敗しました。 {0} (390 ページ)
SX03088Q	接続されたスキャナーは重送検知をサポートしていません。続けますか？ (390 ページ)
SX03089E	入力に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」ライセンスが認証されていないため、インポートできません。(390 ページ)

コード	メッセージ
SX03094E	サポート外のファイル形式のため、指定された機能を実行できません。ファイル種別、画像タイプ、圧縮形式を確認してください。(391 ページ)
SX03095Q	白紙マークの付いた全てのイメージを削除しますか？(391 ページ)
SX03096Q	全てのイメージに白紙マークが付いています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？(391 ページ)
SX03097E	白紙マークの付いたイメージの削除に失敗しました。(391 ページ)
SX03098E	白紙マークの付加に失敗しました。(392 ページ)
SX03099Q	画質補正 (ASC) を行うと、折れ/破れ検知マーク、および重送マークが解除されます。継続してもよろしいですか？(392 ページ)
SX03100E	シンプルスキャンモードの作業中のため、ホットキー定義で設定したスキャンができません。(392 ページ)
SX03101E	シンプルスキャンモードの作業中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。(392 ページ)
SX03104E	「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、イベント定義で設定されたスキャンを行う権限がありません。(393 ページ)
SX03105E	このコンピューターはスキャンステーションではありません。スキャナーのボタンが押されましたが、イベント定義で設定されたスキャンは実行されません。(393 ページ)
SX03107E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用しているか、もしくは接続されたスキャナー用のライセンス認証が行われていない可能性があります。(393 ページ)
SX03108Q	表示しているデータへの変更を保存しますか？(394 ページ)
SX03109E	仕分け文字列は 128 バイト以内で指定してください。(394 ページ)
SX03110W	画像チェックにより、スキャン中にマークが付加されました。マークの付いた画像を確認するため、すぐに出力は行わず、確認/編集画面を表示します。(394 ページ)
SX03111Q	出力が完了していないバッチが存在するため、カウンターが更新が完了していません。インプリンタの印字カウンターがファイル名のカウンターと一致しない可能性があります。継続してもよろしいですか？(395 ページ)
SX03112I	ScandAll PRO から移入されたジョブにファイルをドラッグ&ドロップ出来ません。ファイルをドラッグ&ドロップするには、ジョブを編集し、ドライバープロファイルを設定してください。(395 ページ)
SX03114E	ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、スキャンを開始できません。(396 ページ)

コード	メッセージ
SX03115E	自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、スキャンを開始できません。(396 ページ)
SX03116E	このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。読み取り設定が移入されていないため、スキャンを開始できません。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。(396 ページ)
SX03117E	以下の理由により、読み取りを中止します。U ターン給紙口、リターン給紙口両方に用紙がセットされています。いずれかの原稿を取り除いてください。(396 ページ)
SX03119E	選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。{0} (397 ページ)
SX03120E	インストール済みの PaperStream IP (TWAIN) は「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないバージョンです。「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。(397 ページ)
SX03122I	指定されているジョブは以下の原因で実行できません。・表示を隠す・表示するユーザーに設定されていないジョブの設定を見直してください。または、管理ツールの一般タブで、サンプルジョブを表示するに設定してください。(397 ページ)
SX03123Q	ファイル追加を中止します。追加した画像を破棄しますか？(398 ページ)

- **ジョブが存在しません。**

原因

コマンドプロンプトから PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を起動しようとしたが、/Doctype: パラメーターで指定されたジョブが存在しなかったため、バッチスキャンモードでの読み取りを実行できませんでした。

対処

ジョブ名を確認し、/Doctype: パラメーターに正しいジョブ名を指定してから、再度処理を実行してください。

- **読み取りを継続しますか？ 継続して読み取るには、原稿をセットして、[はい]をクリックしてください。読み取りを終了する場合は、[いいえ]をクリックしてください。**

原因

ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーで、「読み取り面」に「両面」、「継続読み取り」に「有効」が設定されているジョブを使った原稿の読み取りが終了しました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 読み取りを継続する場合
スキャナーに原稿をセットしてから [はい] ボタンをクリックしてください。原稿を継続して読み取ります。

使用しているドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの場合は、スキャナーの [Scan] または [Send to] ボタンを押しても、原稿の読み取りが継続できます。

- 読み取りを終了する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。読み取りが終了します。

- **スキャナーの紙詰まりです。詰まっている紙を取り除き、操作を続けてください。読み取りを継続しますか？**

原因

読み取り中の原稿がスキャナーに詰まりました。

対処

スキャナーに詰まっている原稿を取り除いてから、以下の対処を行ってください。

- 読み取りを継続する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。原稿を継続して読み取ります。
- 読み取りを終了する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。読み取りが終了します。

- **スキャナーのボタンが押されましたが、「{0}」イベントに対応する動作が設定されていません。管理ツールのユーザビリティタブで、スキャナーのボタン操作で実行したいジョブを設定してください。**

原因

イベントが設定されていないスキャナーのボタンが押されました。
{0} には、Scan や Send to 1 などのイベントが表示されます。

対処

[「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 \(264 ページ\)](#)の「[ユーザビリティ](#)」タブ ([269 ページ](#))にある「[イベント](#)」で、スキャナーのボタンを押したときの動作を設定してから、再度処理を実行してください。

- **選択されたイメージの削除に失敗しました。**

原因

選択されている画像の削除に失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ファイルの追加に失敗しました。**

原因

「ファイルの追加」を選択または既存のファイルをドラッグ&ドロップして、選択中のページの直後にファイルを追加しようとしたのですが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- 追加しようとしたファイルがサポートしているファイル形式か
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

● 切り取り処理でエラーが発生しました。

原因

「切り取り」を選択し、選択中のページを切り取ろうとしましたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● コピー処理でエラーが発生しました。

原因

「コピー」を選択し、選択中のページをコピーしようとしたのですが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● 貼り付け処理時にエラーが発生しました。

原因

「貼り付け」を選択し、コピーしたページを貼り付けようとしたのですが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
 - ファイルを追加しようとしているドキュメントのページ数が 9999 ページ未満か
- 作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
- 改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● イメージの回転に失敗しました。**原因**

「90 度回転」や「180 度回転」、または「-90 度回転」を選択し、選択中のページを回転させようとしたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● マークの付加に失敗しました。**原因**

「マーク」を選択し、選択中のページにマークを付与しようとしたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● マークの解除に失敗しました。**原因**

「マークを解除」を選択し、選択中のページに付与されているマークを解除しようとしたが、エラーが発生し処理できませんでした。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合は、PaperStream IP ドライバーで「マルチイメージ出力」、「白紙削除」、および「上下分割」を同時に指定できません。PaperStream IP ドライバーの設定画面で「マルチイメージ出力」、「白紙削除」および「上下分割」の選択を解除してください。**

原因

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、マルチイメージの出力や白紙の削除、および上下分割の機能を同時に設定しようとした。

対処

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定した場合、使用するドライバープロファイルでマルチイメージの出力や白紙の削除、および上下分割の機能を同時に設定できません。

「読み取り設定」の [詳細設定] ボタンをクリックし、表示される PaperStream IP ドライバーの設定画面で、以下の設定を解除してください。

- 「基本」 - 「画像タイプ」 - 「マルチイメージ」
 - 「ページ」 - 「上下分割」 - 「オン」
 - 「ページ」 - 「空白ページ検出」 - 「画像の出力」 - 「出力しない」
- **ADF 両面（仮想）読み取りを行う場合、仕分け設定を同時に指定できません。ジョブ作成/編集設定画面の「仕分け設定」タブで、全ての仕分け指定を解除してください。**

原因

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、仕分けの設定をしようとした。

対処

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定した場合、仕分けの機能は使用できません。[「仕分け設定」タブ \(249 ページ\)](#)で、指定されている機能をすべて解除してください。

- **折れ/破れ検知は PaperStream IP ドライバーの設定画面のページタブで、クロッピングが自動、傾き補正のいずれか、または背景に黒が設定されている場合のみ有効です。**

原因

「画像チェック」で「折れ/破れ」を検出したページにマークを付加する設定がされていますが、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが「折れ/破れ」の検出をサポートしていない設定になっています。

対処

PaperStream IP (ISIS) ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「ページ」を選択し、以下のどれかを設定してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で「詳細設定」ボタンをクリックすると表示できません。

- 「クロッピング」で「自動」を選択
- 「クロッピング」で「傾き補正」を選択かつ「背景」で「黒」を選択

- 「重送マーク」は PaperStream IP ドライバーの設定画面の「用紙搬送」において「マルチフィード検出」を「検出する」に設定し、条件を「重なり」、「長さ」または「重なりと長さ」のいずれかが設定されている場合に有効です。

原因

「画像チェック」で「重送」を検出したページにマークを付加する設定がされていますが、PaperStream IP (ISIS) ドライバーのプロファイルが「重送」の検出をサポートしていない設定になっています。

対処

PaperStream IP (ISIS) ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「用紙搬送」を選択し、「マルチフィード検出」の「検出する」を選択かつ「条件」で「重なり」、「長さ」、または「重なりと長さ」を選択してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で「詳細設定」ボタンをクリックすると表示できません。

- 画像認識チェック機能（折れ/破れ検知）をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されています。折れ/破れ検知は行われません。継続してもよろしいですか？

原因

ジョブで設定されている「画像チェック」の「折れ/破れ」は、インストール済みの PaperStream IP ドライバーではサポートしていません。

対処

以下の対処を行ってください。

- 画像認識チェックを行わずに原稿を読み取る場合
[はい] ボタンをクリックしてください。この場合、折れ/破れマークは付きません。
- 原稿の読み取りを中止する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足しています。

原因

アプリケーションの処理に必要なメモリーまたはリソースが不足しているため、処理ができませんでした。

対処

ほかに起動している不要なアプリケーションを終了したあと、再度処理を実行してください。

- **ADF 給紙シュートに用紙の裏面をセットして、読み取りを継続してください。読み取りを継続しますか？**

原因

使用するスキャナーに、ADF 両面（仮想）読み取り機能を搭載したスキャナーを指定かつ「読み取り面」を「両面」に指定したジョブで、原稿の表面の読み取りが完了しました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 読み取りを継続する場合
スキャナーに用紙の裏面をセットしてから、[はい] ボタンをクリックしてください。原稿を継続して読み取ります。
 - 読み取りを終了する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。読み取りが終了します。
- **スキャンを中止します。スキャンした画像を破棄しますか？**

原因

原稿の読み取り中に [キャンセル] ボタンまたはキーボードの「Esc」キーが押されました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 受信済みの画像を破棄して、読み取りを中止する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
 - 受信済みの画像を破棄せず、読み取りを中止する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。
- **全てのイメージが選択されています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？**

原因

すべてのページが選択した状態で [削除] ボタンまたはキーボードの「Delete」キーが押されました。

対処

以下の対処を行ってください。

- バッチを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- バッチを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **選択されているイメージを削除してもよろしいですか？**

原因

ページを選択した状態で [削除] ボタンまたはキーボードの「Delete」キーが押されました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 選択しているページを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 選択しているページを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **現在の画面では、ホットキーによるスキャンを実行できません。**

原因

表示している画面では、ホットキーでの読み取りが実行できません。

対処

表示中の画面からホットキーでの読み取りが可能な画面に遷移し、再度ホットキーによる読み取りを実行してください。

- **現在の画面では、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。**

原因

表示している画面では、イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りが実行できません。

対処

表示中の画面からイベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りが可能な画面に遷移し、再度イベントで定義した、スキャナーのボタンによる読み取りを実行してください。

- **以下の理由により、読み取りを中止します。 {0}**

原因

読み取り中に発生したエラーにより、読み取りを中止しました。

{0} には、以下のエラー詳細が表示されます。

- スキャナーカバーが開いています。
- スキャナーの搬送系のトラブルです。スキャナーをチェックしてください。
- スキャナーの用意ができていません。もう一度操作しなおしてください。
- スキャナードライバーのメモリー不足です。
- 重送を検出しました。
- インプリンタのプリントカートリッジを確認してください。

- 読み取りが中断されました。
- ハードウェア異常を検出しました。
- 異常スキューを検出しました。
- 読み取り領域指定異常を検出しました。
- TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えました。
- RTF ファイルが最大サイズの 512MB に達しました。

対処

エラーの解除および対処をしてから、再度処理を実行してください。

- **原稿がセットされていませんでした。**

原因

スキャナーに原稿がセットされていなかったため、原稿を読み取ることができませんでした。

対処

スキャナーに原稿をセットしてから、再度処理を実行してください。

- **メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。メモリーが不足していないか、ディスク容量が不足していないかをご確認ください。また、ディスクが故障していないか等も併せてご確認ください。**

原因

以下の操作で、ファイルの保存処理に失敗しました。

- ジョブでの読み取り
- 編集画面での「追加」を選択した読み取り
- 編集画面での「差し替え」を選択した読み取り

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- メモリーが不足していないか
- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ディスクが破損していないか

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用している可能性があります。**

原因

以下の理由で、スキャナーを検出できませんでした。

- スキャナーが接続されていない
- スキャナーの電源が投入されていない

- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- スキャナーが接続されているか
 - スキャナーの電源が投入されているか
 - スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか
 - PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用している場合、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーが正しくインストールされているか
- **指定されたファイル (フォルダー)、またはインデックス情報ファイルにアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはフォルダーパスが不正です。フォルダーパスの長さが最大長を超えていないか、および、フォルダーのアクセス権限が書き込み不可になっていないか確認してください。**

原因

以下の作成に失敗しました。

- ファイル
- インデックス情報ファイル
- フォルダー

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作成後のフォルダーパスの長さが最大長を超えていないか
 - 指定したフォルダーに書き込み権限があるか
- **原稿がセットされていませんでした。または、全ての原稿が白紙と判定されました。**

原因

読み取った原稿が、すべて白紙と判断され削除されたため、原稿の合計が 0 ページと判定されました。

対処

白紙原稿だけを読み取っていないかを確認してから、再度処理を実行してください。

なお、PaperStream IP ドライバーの「ページ」で「空白ページ検出」を「オン」にし、「画像の出力」で「出力しない」が設定されている場合だけ、白紙と判定されたページが削除されます。

- **PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルが異常です。PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの設定画面において、ドロップアウトカラーのカスタムパターン、または、ダウンロードファイルの設定を確認してください。**

原因

原稿を読み取るときに使用する PaperStream IP (TWAIN) ドライバーで以下の定義ファイルに異常が発生しました。

- ドロップアウトカラーのカスタムパターン
- ディザパターンファイル
- ガンマパターンファイル

対処

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドライバープロファイル設定画面で「画像」を選択し、以下の設定に問題がないか確認してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で [詳細設定] ボタンをクリックすると表示できません。

- ドロップアウトカラーのカスタム
「ドロップアウトカラー」で、カスタムが定義されているか
 - ディザパターンファイル
「ハーフトーンパターン」の「ダウンロード」で指定しているディザパターンのファイルが存在するか、またファイルの内容は正しい構成で作成されているか
 - ガンマパターンファイル
「トーン調整」の「ダウンロード」で指定しているガンマパターンのファイルが存在するか、またファイルの内容は正しい構成で作成されているか
- それでも改善されない場合は、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーの設定画面で [初期化] ボタンをクリックし、設定内容を初期化してから、再度処理を実行してください。詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。

● バッチを削除してもよろしいですか？

原因

「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) で選択したバッチジョブを削除しようとした。

対処

以下の対処を行ってください。

- バッチジョブを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- バッチジョブを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

● 指定されたフォルダーにファイルは作成できません。アクセスできない、またはライトプロテクトされています。{0} 作業フォルダーのディスクドライブやパスについて、書き込み可能かどうかをご確認ください。

原因

指定したフォルダーにファイルを書き込むことができません。
{0} には、問題があるファイルパスが表示されます。

対処

指定したフォルダーに書き込み権限があるかどうかを確認してから、再度処理を実行してください。

- PaperStream Capture の場合
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
- PaperStream Capture Pro の場合
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」、または「ステーション」タブにある「ストレージサーバー」の「ストレージフォルダー」で確認できます。

- **作業フォルダーに十分な空き容量がありません。**

原因

指定した作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量がありません。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ディスクが破損していないか

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **イメージの移動に失敗しました。**

原因

サムネールをドラッグ&ドロップして操作するページの移動に失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **ファイルパスが長すぎます。{0}**

原因

出力するファイルのパスが長すぎるため、出力処理に失敗しました。

対処

以下が短くなるように対処してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーのパス
- 出力先のフォルダー名
- 出力するときのファイル名

- 一時保存処理中にエラーが発生しました。

原因

ディスクの容量不足などの理由により、バッチの一時保存に失敗しました。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーが格納されているディスクに十分な空き容量があるか
- ディスクが破損していないか

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- ファイルのアップロードに失敗しました。

原因

FTP サーバーへの保存に失敗しました。

対処

FTP サーバーに問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- 指定されたファイル名オプションの場合、単一ファイルのみが作成されます。このため、ファイルを 1 つ作成した時点で、他のファイルの出力を終了します。処理を継続しますか？

原因

複数のファイルを出力しようとしたのですが、ファイル名オプションで固定のファイル名が指定されているので、1 つのファイルしか出力できません

対処

以下の対処を行ってください。

- 最初のドキュメントだけを出力する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。指定されたファイル名で最初のドキュメントだけが出力されます。ほかのドキュメントは出力されず処理が完了します。
- すべてのドキュメントをファイルとして出力したい場合
[はい] ボタンをクリックしてください。処理が中断され、「バッチ管理」画面 (310 ページ) にエラー状態のバッチジョブとして表示されます。そのあと、「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ) で原稿の読み取りに使用したジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブ (188 ページ) の「ファイルプロパティ」で固定のファイル名にならないように見直してください。見直しが完了したら、「バッチ管理」画面に戻り、該当のバッチジョブを開き、[完了] ボタンをクリックして再度処理を実行してください。

- 選択している仕分けを削除してもよろしいですか？ 仕分け No. : {0}

原因

選択している仕分けに使用したページを削除しようとした。

{0} には、仕分けに使用したページの番号が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 仕分けに使用したページを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 仕分けに使用したページを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

● ジョブが編集中のためスキャンを開始できません。

原因

指定したジョブは、ほかの端末で以下の操作を行っているため、読み取りに使用できません。

- ジョブを編集している
- ジョブを使って読み取り中

対処

使用したいジョブが、ほかの端末で使用されていない状態で、再度処理を実行してください。

● バッチが使用されているためバッチを削除できません。

原因

- PaperStream Capture の場合
削除しようとしたバッチジョブは、出力が中断された状態のため、削除できません。
- PaperStream Capture Pro の場合
削除しようとしたバッチジョブは、以下の理由により削除できません。
 - ほかの端末が該当のバッチジョブを編集している
 - ネットワーク切断によりバッチジョブがストレージサーバーにアップロードできない
 - ほかの端末で一時保存または出力が中断された状態

対処

[[バッチ管理](#)] [画面 \(310 ページ\)](#)で「再読み込み」をクリックし、バッチジョブの一覧を更新してください。

- PaperStream Capture の場合
そのあとに、出力が中断されたバッチジョブではないかを確認してから、再度処理を実行してください。
- PaperStream Capture Pro の場合
そのあとに、以下を確認してから、再度処理を実行してください。
 - ほかの端末が該当のバッチジョブを使用していないか
 - バッチジョブがストレージサーバーにアップロードできる状態か
 - ほかの端末で一時保存または出力が中断されたバッチジョブではないか

- **バッチが他の状態に移行したため開けません。**

原因

選択したバッチジョブは、ほかの端末での操作により状況が出力済み等に変更されたか、ストレージサーバーからバッチジョブの情報取得に失敗したため開けません。

対処

「[バッチ管理](#)」画面 (310 ページ) で「再読み込み」をクリックし、バッチジョブの一覧を更新してから、再度処理を実行してください。

改善されない場合は、ストレージサーバーと正しく通信できる状態か確認してください。

- **スキャン中にオリジナル画像の取得に失敗しました。**

原因

「画質補正」が「有効」に設定されているジョブで原稿の読み取りを実行したときに、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーから受け取った RAW 画像の格納に失敗しました。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **オリジナル画像のロードに失敗しました。**

原因

PaperStream IP ドライバーから受信した RAW 画像が存在しないか読み取り権限がないため、「画質補正(ASC)」の処理に失敗しました。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

- **PaperStream IP は「画質補正 (ASC)」をサポートしていません。**

原因

インストールされている PaperStream IP (TWAIN) ドライバーが、「画質補正(ASC)」をサポートしていないためです。

対処

最新の PaperStream IP (TWAIN) ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **ストレージサーバーへのアップロード中に中断されました。アップロードを再開します。**

原因

ネットワーク切断などにより、アップロード中のバッチ情報がストレージサーバーにアップロードできませんでした。

対処

[OK] ボタンをクリックすると、該当のバッチを開く前に、再度バッチ情報をストレージサーバーにアップロードします。ストレージサーバーにバッチ情報のアップロードが完了次第、ほかのバッチ情報のアップロードを再開します。

- **いくつかのファイルがアップロードできませんでした。**

原因

FTP サーバーにファイルのアップロードを実行しましたが、一部のファイルがアップロードできませんでした。

対処

FTP サーバーとの通信環境に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **バッチが使用中のため、バッチ情報を更新できません。**

原因

選択したバッチジョブは、以下の理由により更新できません。

- ほかの端末が該当のバッチジョブを編集している
- ほかの端末で一時保存または出力が中断された状態
- ほかの端末で出力している

対処

[[バッチ管理](#)] [画面 \(310 ページ\)](#)で「再読み込み」をクリックし、バッチジョブの一覧を更新してください。そのあとに、以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のバッチジョブを使用していないか
- 該当のバッチジョブが出力済みになっていないか

- **以下の理由により、ストレージサーバーからのデータの取得に失敗しました。 {0}**

原因

ストレージサーバーからジョブやバッチをダウンロードしようとしたのですが失敗しました。{0} には、詳細な原因が表示されます。

対処

詳細な原因を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- 以下の理由により、ストレージサーバーへのデータのアップロードに失敗しました。{0}

原因

ジョブやバッチをストレージサーバーへアップロードしようとしたのですが失敗しました。
{0} には、詳細な原因が表示されます。

対処

詳細な原因を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- 接続されたスキャナーは重送検知をサポートしていません。継続しますか？

原因

ジョブで設定されている「画像チェック」の「重送」を、使用しているスキャナーまたはインストール済みの PaperStream IP ドライバーがサポートしていません。

対処

以下の対処を行ってください。

- 処理を継続する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。原稿の重送を検出せずに原稿の読み取りを実施します。
- 処理を終了する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。読み取りを実行せずに処理を終了します。

- 入力に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」ライセンスが認証されていないため、インポートできません。

原因

ジョブの「読み取り設定」タブ (173 ページ) で「スキャナー」に「PaperStream IP Import」が指定されていますが、「PaperStream Capture Pro Import」のライセンスがアクティベーションされていないため、機能が使用できません。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ジョブの「読み取り設定」タブで「スキャナー」に指定されている「PaperStream IP Import」を使用可能なスキャナーに変更する
- 「PaperStream Capture Pro Import」のライセンスを購入し、アクティベーションする
アクティベーションは、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ) の「アクティベーション」タブ (273 ページ) にある「ライセンス管理」の「インポートのアクティベート」で実施できます。

- サポート外のファイル形式のため、指定された機能を実行できません。ファイル種別、画像タイプ、圧縮形式を確認してください。

原因

選択したファイルは、拡張子が BMP、DIB、TIFF、TIF、J2K、JPG、JPEG、JPE、JFIF、PDF、または PNG のファイルですが、以下の理由により処理ができませんでした。

- ファイルの内容が拡張子と一致しない
- 白黒、2 ビット、3 ビット、4 ビット、8 ビット、または 24 ビットカラー以外の画像

対処

ファイルの内容に問題がないことを確認してから、再度処理を実行してください。

処理できないファイルを画像処理アプリケーションで開き、保存し直すとファイルの内容が修正され、処理できるファイルになる場合があります。

- 白紙マークの付いた全てのイメージを削除しますか？

原因

白紙マークが付いているページがあるドキュメントで「白紙削除」を選択しました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 白紙マークが付いたページをすべて削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 白紙マークが付いたページを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- 全てのイメージに白紙マークが付いています。これらのイメージを削除した場合、バッチそのものが破棄されます。継続してもよろしいですか？

原因

白紙マークがすべてのページに付いているドキュメントで「白紙削除」を選択しました。

対処

以下の対処を行ってください。

- バッチを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- バッチを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- 白紙マークの付いたイメージの削除に失敗しました。

原因

白紙マークが付いているページがあるドキュメントで「白紙削除」を選択しましたが、該当ページの削除に失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● 白紙マークの付加に失敗しました。**原因**

選択したページに白紙マークを付けようとしたのですが、失敗しました。

対処

再度処理を実行してください。

改善されない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

● 画質補正 (ASC) を行うと、折れ/破れ検知マーク、および重送マークが解除されます。 継続してもよろしいですか？**原因**

ツールバーの「画質補正(ASC)」を選択し、選択したページの画質補正を実行しようとした。

対処

選択したページに「折れ/破れ」や「重送」などのマークが付いていた場合、画質補正するとマークが解除されます。

以下の対処を行ってください。

● 画質補正をする場合

[はい] ボタンをクリックしてください。表示される「アシストスキャン」画面で画質補正を実施してください。保存するとマークは解除されます。

● 画質補正をしない場合

[いいえ] ボタンをクリックしてください。マークは解除されません。

● シンプルスキャンモードの作業中のため、ホットキー定義で設定したスキャンができません。**原因**

シンプルスキャンモードで「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)を開いている状態で、バッチスキャンモードでの読み取りを実行しようとした。

対処

「モード切替え」で「シンプルスキャンモード」画面からバッチスキャンモードの画面に切り替えてから、再度処理を実行してください。

● シンプルスキャンモードの作業中のため、イベント定義で設定されたスキャンを実行できません。**原因**

シンプルスキャンモードで「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ)の操作中に、スキャナーのボタンを押して原稿の読み取りをしようとした。

対処

「シンプルスキャンモード」画面で操作中の作業を終了してから、再度処理を実行してください。

- 「QC/Index Station」ライセンスが適用されているため、イベント定義で設定されたスキャンを行う権限がありません。

原因

お使いのコンピューターが「QC」または「インデックス」ステーションのクライアント端末として管理者に設定されている状態で、スキャナーのボタンから原稿の読み取りを実行しようとした。 「QC」および「インデックス」ステーションでは、原稿の読み取りができません。

対処

設定されているステーションが正しいか管理者に確認してください。

- このコンピューターはスキャンステーションではありません。 スキャナーのボタンが押されましたが、イベント定義で設定されたスキャンは実行されません。

原因

「スキャン&インデックス」または「スキャン」以外のステーションが設定されている状態で、スキャナーのボタンから原稿の読み取りを実行しようとした。

対処

「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「ステーション」タブ (274 ページ)で「スキャン&インデックス」または「スキャン」を選択し、読み取り可能なプロセスで設定を保存してください。

- 選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。 スキャナーが接続されていないか、電源が入っていないか、他のアプリケーションで使用しているか、もしくは接続されたスキャナー用のライセンス認証が行われていない可能性があります。

原因

以下の理由により、接続可能なスキャナーが見つかりませんでした。

- スキャナーが接続されていない
- スキャナーの電源が投入されていない
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている
- スキャナーのライセンス認証が行われていない

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- スキャナーが接続されているか
- スキャナーの電源が投入されているか
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか
- スキャナーのライセンス認証は実施済みか

- PaperStream IP (TWAIN) ドライバーが正しくインストールされているか

- **表示しているデータへの変更を保存しますか？**

原因

「シンプルスキャンモード」画面 (323 ページ) で画像の編集をした状態で、以下の操作をしました。

- 原稿の読み取り
- モード切替え
- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の終了

対処

以下の対処を行ってください。

- 表示中のドキュメントを保存する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。「名前を付けて保存」画面 (346 ページ) が表示されます。
[OK] ボタンをクリックすると表示中のドキュメントが保存されたあと、選択した操作が実行されます。
- 表示中のドキュメントを破棄する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。表示中のドキュメントが破棄されたあと、選択した操作が実行されます。
- 表示中のドキュメントの編集に戻る場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。選択した操作を実行せず、「シンプルスキャンモード」画面に戻ります。

- **仕分け文字列は 128 バイト以内で指定してください。**

原因

「仕分けの編集」画面で、仕分け文字列に 128 バイト以上の文字列を入力しました。

対処

仕分け文字列を 128 バイト以内で入力してから、再度処理を実行してください。

- **画像チェックにより、スキャン中にマークが付加されました。マークの付いた画像を確認するため、すぐに出力は行わず、確認/編集画面を表示します。**

原因

「読み取り設定」タブ (173 ページ) の「画像表示オプション」で「スキャン後すぐに出力」が選択されていますが、以下の設定がされているため、該当する画像はすぐに出力が行われず、確認/編集画面に表示されます。

- 「エラー/マーク検出時に画像確認を行う」チェックボックス
- 画像チェック

対処

マークが付加されたページが表示された場合は、内容を確認し、必要に応じて編集してから出力してください。

- **出力が完了していないバッチが存在するため、カウンターの更新が完了していません。インプリンタの印字カウンターがファイル名のカウンターと一致しない可能性があります。継続してもよろしいですか？**

原因

ページカウンターやシートカウンターをインプリンタで印字する設定のジョブで、読み取りしたバッチを出力せずに、同じジョブで原稿の読み取りを実行しようとしたためです。

対処

インプリンタでは、読み取りするときにページカウンターやシートカウンターを印字できますが、ファイル名に使用するページカウンターやシートカウンターは、出力したあとに番号が更新されません。

そのため、原稿を読み取って作成されたバッチジョブの順番と出力する順番が異なると、インプリンタで印字されたカウンターとファイル名のカウンターが一致しない可能性があります。

以下のどちらかの対処をしてください。

- **読み取る場合**

[はい] ボタンをクリックしてください。原稿の読み取りを開始します。バッチジョブを出力する順番によっては、インプリンタが印字したカウンターとファイル名に設定されるカウンターが一致しない可能性があります。

- **読み取りしない場合**

[いいえ] ボタンをクリックしてください。

出力が完了していないバッチジョブをすべて出力してから、再度処理を実行するとインプリンタで印字したカウンターとファイル名に設定されるカウンターを一致した状態にできます。

- **ScandAll PRO から移入されたジョブにファイルをドラッグ&ドロップ出来ません。ファイルをドラッグ&ドロップするには、ジョブを編集し、ドライバープロファイルを設定してください。**

原因

ScandAll PRO のプロファイルを移入したままのジョブのアイコンに、ファイルをドラッグ&ドロップして読み取ろうとしたためです。

対処

ScandAll PRO から移入したままのジョブには、ドライバープロファイルが設定されていないため、ドラッグ&ドロップでのファイルの読み取りができません。

ドラッグ&ドロップでファイルの読み取りをする場合は、「[ジョブ作成/編集](#)」画面 (166 ページ) で、移入したジョブを「編集」で開き、「[読み取り設定](#)」タブ (173 ページ) の「ドライバープロファイル」で使用するドライバープロファイルを選択してください。

- **ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、スキャンを開始できません。**

原因

出力ファイル形式に「Word 文書」、「Excel 文書」、または「PowerPoint 文書」が設定されているジョブで原稿の読み取りを実行しましたが、使用しているコンピューターに ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、読み取りできませんでした。

対処

以下のどちらかの対処をしてから、再度処理を実行してください。

- ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールする
 - 「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ) で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブ (188 ページ) で指定している出力ファイル形式を「Word 文書」、「Excel 文書」、または「PowerPoint 文書」以外に変更する
- **自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、スキャンを開始できません。**

原因

原稿識別の設定がされているジョブで原稿の読み取りを実行しましたが、インストールされている PaperStream IP ドライバーが、原稿識別に関連する自動プロファイル選択をサポートしていないため、読み取りできませんでした。

対処

最新の PaperStream IP ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。読み取り設定が移入されていないため、スキャンを開始できません。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。**

原因

ScandAll PRO のプロファイルを移入するときにスキャンの設定が移入できなかったままのジョブで原稿の読み取りを実行しました。

対処

「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ) で、移入したジョブを「編集」で開き、「読み取り設定」タブ (173 ページ) の設定を見直したあと、再度処理を実行してください。

- **以下の理由により、読み取りを中止します。U ターン給紙口、リターン給紙口両方に用紙がセットされています。いずれかの原稿を取り除いてください。**

原因

スキャナーの ADF 給紙シュート (フィーダー) およびリターン給紙口の両方に原稿がセットされているため、読み取りができませんでした。

対処

ADF 給紙シュート（フィーダー）またはリターン給紙口のどちらかの原稿を取り除き、どちらか一方に原稿がセットされた状態で再度処理を実行してください。

● 選択可能なスキャナーが見つかりませんでした。{0}**原因**

以下の理由により、接続可能なスキャナーが見つかりませんでした。

- スキャナーが接続されていない
- スキャナーの電源が投入されていない
- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されている
- スキャナーのライセンス認証が行われていない
- スキャナーがドライバプロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」に対応していない

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- スキャナーが接続されているか
 - スキャナーの電源が投入されているか
 - スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないか
 - スキャナーのライセンス認証は実施済みか
 - ドライバプロファイル「ScanSnap Manager for fi 互換」に対応しているスキャナーか
- インストール済みの PaperStream IP (TWAIN) は「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないバージョンです。「ScanSnap Manager for fi 互換」は選択できません。**

原因

インストールされている PaperStream IP (TWAIN) ドライバが、「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

対処

最新の PaperStream IP (TWAIN) ドライバをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- 指定されているジョブは以下の原因で実行できません。・表示を隠す・表示するユーザーに設定されていないジョブの設定を見直してください。または、管理ツールの一般タブで、サンプルジョブを表示するに設定してください。**

原因

指定のジョブがジョブ一覧に表示されていないため、読み取りができませんでした。

対処

「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ)で該当のジョブを「編集」で開き、「ジョブ情報設定」タブ (168 ページ)の「表示」の設定を確認し、ジョブ一覧に表示されるように変更してから、再度処理を実行してください。

表示されていないジョブがサンプルジョブの場合は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「一般」タブ (265 ページ)で「サンプルジョブを表示する」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **ファイル追加を中止します。追加した画像を破棄しますか？**

原因

ファイルの追加中に [キャンセル] ボタンまたはキーボードの「Esc」キーが押されました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 受信済みの画像を破棄して、ファイルの追加を中止する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 受信済みの画像を破棄せず、ファイルの追加を中止する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

詳細設定や環境設定に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のジョブや管理ツールでの詳細な設定に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX04001E	ホスト名が設定されていません。(404 ページ)
SX04002E	正しいポート番号を設定してください。(1~65535) (405 ページ)
SX04004E	ユーザー名が設定されていません。(405 ページ)
SX04005E	メールアドレスが設定されていません。(405 ページ)
SX04007E	正しい接続時のタイムアウト時間を設定してください。(1~300) (405 ページ)
SX04008E	正しいデータ送信時のタイムアウト時間を設定してください。(1~300) (405 ページ)
SX04009E	FTP 連携情報が設定されていません。(406 ページ)
SX04011E	SharePoint Server のファイル格納先サイトの URL が設定されていません。(406 ページ)
SX04012E	SharePoint Server のユーザー名が設定されていません。(406 ページ)
SX04013E	SharePoint Server のパスワードが設定されていません。(406 ページ)

コード	メッセージ
SX04014E	SharePoint Server のライブラリー名が設定されていません。(407 ページ)
SX04016E	SharePoint Server への接続に失敗しました。(407 ページ)
SX04022E	ジョブ名が入力されていません。(407 ページ)
SX04023E	スキャナーを選択してください。(407 ページ)
SX04024	バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定を行ってください。{0} (407 ページ)
SX04024	ゾーン OCR の検出エリア設定が行われていません。ゾーン OCR の検出エリア設定を行ってください。{0} (408 ページ)
SX04026Q	選択されたジョブを削除してもよろしいですか？ バッチデータも同時に削除されます。(408 ページ)
SX04027E	インポートする画像の解像度が不明のため、読み込みできません。インポートする画像の解像度を指定してください。解像度は 200dpi 以上の解像度を設定してください。(408 ページ)
SX04028E	{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。(409 ページ)
SX04029E	以下の設定が未入力です。{0} (409 ページ)
SX04030E	使用できない環境依存文字(Unicode)があります。{0} (409 ページ)
SX04034E	連携起動するアプリケーションが指定されていません。起動アプリケーションを指定してください。(409 ページ)
SX04036Q	表示中のイメージを差し替え、選択領域をクリアします。継続してもよろしいですか？ (410 ページ)
SX04039E	「初期値」が「最小桁数」で指定した桁数を超えています。(410 ページ)
SX04042E	指定されたファイル名は空文字になる可能性があります。ファイル名が空文字にならないようファイル名オプションにページカウンターやドキュメントカウンターを追加してください。(410 ページ)
SX04044E	PDF/A ファイルにはパスワードは付けられません。(410 ページ)
SX04045E	パスワードを入力してください。(411 ページ)
SX04046E	確認パスワードが一致しません。パスワードを入力し直してください。(411 ページ)
SX04047Q	ジョブは作成されません。よろしいですか？ (411 ページ)
SX04048Q	ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？ (411 ページ)
SX04049E	PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていません。PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。(412 ページ)

コード	メッセージ
SX04051E	出力設定において同名のファイル名が指定されています。(412 ページ)
SX04053E	指定されたジョブは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていないためスキャンできません。ジョブの設定を見直し、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。(413 ページ)
SX04054W	PaperStream IP プロファイルの画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式、および圧縮形式を再設定してください。(413 ページ)
SX04055E	マルチイメージ、および画像タイプごとにファイルを出力する時、ファイル形式に PDF、または、PDF/A を指定する場合は、全ての出力に同じ種類のファイル形式を指定してください。(413 ページ)
SX04056E	出力先設定タブの「他アプリケーション」の設定で指定されたアプリケーションが見つかりませんでした。{0} (413 ページ)
SX04057E	{0} 使用可能な文字を入力してください。使用可能文字：ASCII コード (414 ページ)
SX04059Q	エリアの定義済みの場合、エリア設定は削除されます。継続してもよろしいですか？ (414 ページ)
SX04060Q	表示しているイメージを削除します (指定した領域も削除されます)。よろしいですか？ (414 ページ)
SX04061E	メモリー空き容量が不足しているため画像を表示できません。(415 ページ)
SX04066E	フォルダー名がすでに存在します。(415 ページ)
SX04071E	ジョブは現在使用中のため削除できません。(415 ページ)
SX04072Q	同じアイコンファイルが既に存在します。アイコンファイルを上書きしますか？ (415 ページ)
SX04073Q	選択されたアイコンを削除しますか？ (416 ページ)
SX04074E	アイコンの追加に失敗しました。{0} (416 ページ)
SX04075E	アイコンの削除に失敗しました。(416 ページ)
SX04076E	同じフィールド名が他のフィールドで使用されています。(417 ページ)
SX04077Q	<ul style="list-style-type: none"> ● かんたん作成の場合 選択されたフィールドは PaperStream Capture のほかの機能 (フォルダー、ファイル) で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も稼働時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？ (417 ページ) ● こだわり作成の場合 選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能 (フォルダー名オプション / ファイル名オプション、ドキュメント仕分け、バッチ仕分け、PDF のキーワード) で使用されています。フィールドを削除すると、

コード	メッセージ
	フィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？(417 ページ)
SX04078E	ジョブは現在使用中のため編集できません。(418 ページ)
SX04079Q	SharePoint サーバーのフィールドリストと同期しますか？同期すると、関連する仕分け設定、SharePoint に存在しないフィールドは全て削除されます。(418 ページ)
SX04080E	FTP サーバーへの接続に失敗しました。(418 ページ)
SX04081E	ジョブが存在しません。(419 ページ)
SX04082E	お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバプロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバプロファイルの保存を行ってください。(419 ページ)
SX04083E	お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバプロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバプロファイルの保存を行ってください。(419 ページ)
SX04084E	ドライバプロファイル数の上限は 999 です。(420 ページ)
SX04086E	データベース情報が設定されていません。(420 ページ)
SX04087E	表が設定されていません。(420 ページ)
SX04088E	以下の理由により ODBC データベースに接続できません。{0} (420 ページ)
SX04089E	DB ルックアップ属性フィールドのデータベース情報が設定されていません。{0} (420 ページ)
SX04090E	ジョブ数の上限 {0} に達しているため、ジョブを追加できません。(421 ページ)
SX04091E	長さ、または数値の最小値が最大値を超えています。{0} (421 ページ)
SX04092E	フィールド名が設定されていません。(421 ページ)
SX04093Q	このフィールドは仕分けに使用されます。フィールドの種別を変更すると、仕分けの定義も削除されます。種別を変更しますか？(422 ページ)
SX04094E	「リストから選択」フィールドに対して、リストが設定されていません。{0} (422 ページ)
SX04095E	バッチが使用中のため、設定を変更できません。(422 ページ)
SX04096E	別のユーザーがジョブを使用しているため、編集、または参照作成できません。(422 ページ)
SX04097Q	読み取り設定が変更されたため、ドライバプロファイルが更新されます。継続しますか？(423 ページ)

コード	メッセージ
SX04099E	フォルダーパスの先頭には、ドライブレター、または UNC パスの接頭辞が必要です。(423 ページ)
SX04100E	アイコンが既に存在するため、追加できません。(423 ページ)
SX04101E	不正なホスト名です。(424 ページ)
SX04102E	仕分けのためのバーコードのエリアが設定されていません。(424 ページ)
SX04102E	仕分けのためのゾーン OCR のエリアが設定されていません。(424 ページ)
SX04103E	数値が不正です。{0} (424 ページ)
SX04104E	分割フィールドの開始値が終了値よりも大きい値です。{0} (425 ページ)
SX04105W	インデックス作成がスキップされたため、抽出データフィールドの検証も行われません。(425 ページ)
SX04106E	ドライバープロファイルが指定されていません。(425 ページ)
SX04107E	指定されたインデックスファイル名は空文字になる可能性があります。インデックスファイル名が空文字にならないよう、ファイル名オプションにドキュメントカウンターやバッチ名を追加してください。(425 ページ)
SX04108E	指定された SharePoint のライブラリーは存在しません。ライブラリーを指定し直してください。(426 ページ)
SX04109E	フォルダー区切り文字はファイル名オプションの末尾に設定できません。フォルダー区切り文字は、フォルダー名とインデックスファイル名の間に挿入してください。(426 ページ)
SX04111E	出力先に同名ファイルが存在します。出力先または出力ファイルの名前を変更し、再度実行してください。(426 ページ)
SX04114E	禁止文字列が使われています。{0} 禁止文字列:¥/:?*"<> (427 ページ)
SX04115E	禁止文字列が使われています。{0} 禁止文字列:/:?*"<> (427 ページ)
SX04116W	他のストリームの PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」と設定中のストリームのファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。(427 ページ)
	PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」とファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。(428 ページ)
SX04117Q	このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継ぐにはドライバープロファイルを新規保存する必要があります

コード	メッセージ
	あります。ドライバープロファイルを新規保存しますか？「はい」を選択した場合、ドライバープロファイルを新規保存し、ScandAllPRO のドライバー設定が継続利用できます。「いいえ」を選択した場合、ScandAll PRO のドライバー設定は引き継がず、ドライバープロファイルの「現在の設定」を適用します。(428 ページ)
SX04119E	マルチイメージ出力、および画像タイプごとにファイルを出力する場合、ファイル形式に Word 文書、Excel 文書、PowerPoint 文書と PDF、PDF/A を同時に指定できません。(428 ページ)
SX04120E	検索結果が 100 件を超えるため検索結果を表示できません。検索キーワードを見直してください。(429 ページ)
SX04122E	自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、自動プロファイル選択に関連する機能は設定できません。(429 ページ)
SX04123E	検索結果は存在しません。検索キーワードを見直してください。(429 ページ)
SX04124E	登録済みの識別情報が存在しません。読み取り設定タブの「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、識別情報の登録を行ってください。(429 ページ)
SX04126E	仕分けの設定において、登録済み識別情報が 1 つも選択されていません。(430 ページ)
SX04127E	フィールド名が最大長の 255 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー" を含めて 255 文字以内になるように、参照元のフィールド名を見直してください。(430 ページ)
SX04128E	選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。また、「ScanSnap Manager for fi 互換」のバッチが全て完了していないため、スキャナーを変更できません。(430 ページ)
SX04129W	選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないため、ドライバープロファイルを変更します。(430 ページ)
SX04130W	画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式が変更された可能性があります。(431 ページ)
SX04131E	「出力時にファイル名を指定する」をチェックした場合は、読み取り設定タブの画像表示オプションの「スキャン後すぐに出力」を無効にしてください。(431 ページ)
SX04132E	以下の文字列は 128 バイト以内で指定してください。{0} (431 ページ)
SX04133E	キーワードを入力してください。(432 ページ)
SX04134E	選択されたドライバープロファイルは削除されたため、本操作は実施できません。ドライバープロファイル一覧を確認してください。(432 ページ)

コード	メッセージ
SX04135E	設定されているゾーン OCR の抽出データ、パスポートの抽出データ、ID カード (TD1) の抽出データ、ID カード (TD2) の抽出データ、ゾーン OCR 仕分けの数が上限 {0} に達しているため、ジョブを保存できません。(432 ページ)
SX04137Q	サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。アカウント : (アカウント名) 権限のあるアカウントに切り替えるため、このアカウントをサインアウトしますか? (433 ページ)
SX04138Q	仕分けの種類を変更すると、条件設定を設定し直す必要があります。変更してよろしいですか? (433 ページ)
SX04139Q	テストスキャン後に編集した内容は保存されません。よろしいですか? (433 ページ)
SX04140W	「読み取り設定」の「白紙削除」の機能が非活性になり、無視されます。(434 ページ)
SX04141Q	フィールドが追加されません。よろしいですか? (434 ページ)
SX04142Q	編集内容が保存されません。よろしいですか? (434 ページ)
SX04143E	フィールドリストのフィールド数が{0}を超えます。フィールドリストに追加できるフィールド数は残り ({1}) です。選択の内容を見直してください。(435 ページ)
SX04145E	作業フォルダーを設定してください。(435 ページ)
SX04152Q	変更した設定が保存されません (435 ページ)
SX04153E	「条件設定」タブの設定が完了していません。「条件設定」タブを確認してください。(435 ページ)
SX04154E	フィールドが設定されていません。フィールドリストにフィールドを追加してください。(436 ページ)
SX04155W	編集文字列を指定したため、「読み取り設定」タブの画像表示オプション「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」を無効にしました。(436 ページ)

- **ホスト名が設定されていません。**

原因

FTP サーバーのホスト名または IP アドレスが指定されていないためです。

対処

「FTP オプション」画面の「ホスト」に、FTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しいポート番号を設定してください。(1~65535)**

原因

FTP サーバーのポート番号に範囲外の番号が指定されています。

対処

「FTP オプション」画面の「ポート」に、1 ~65535 の範囲内の番号を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **ユーザー名が設定されていません。**

原因

FTP サーバーにログインするときのユーザー名が指定されていないためです。

対処

「FTP オプション」画面の「ユーザー名」にユーザー名を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **メールアドレスが設定されていません。**

原因

アノニマス FTP サーバーにログインするときのメールアドレスが指定されていないためです。

対処

「FTP オプション」画面の「メールアドレス」にメールアドレスを入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しい接続時のタイムアウト時間を設定してください。(1~300)**

原因

接続したときのタイムアウト時間に範囲外の数値が指定されています。

対処

「FTP オプション」画面の「接続時」に、1 ~300 の範囲内でタイムアウトの数値を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **正しいデータ送信時のタイムアウト時間を設定してください。(1~300)**

原因

データ送信したときのタイムアウト時間に範囲外の数値が指定されています。

対処

「FTP オプション」画面「データ送信時」に、1 ～300 の範囲内でタイムアウトの数値を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

● FTP 連携情報が設定されていません。**原因**

ジョブの出力先に「FTP」が指定されていますが、FTP の 設定がされていないためです。

対処

「FTP オプション」画面で FTP の設定をしてください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

● SharePoint Server のファイル格納先サイトの URL が設定されていません。**原因**

SharePoint のサイト URL が指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に、接続する SharePoint のサイト URL を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

● SharePoint Server のユーザー名が設定されていません。**原因**

SharePoint にサインインするときのユーザー名が指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「ユーザー名」に、SharePoint にサインインするときのユーザー名を入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

● SharePoint Server のパスワードが設定されていません。**原因**

SharePoint にサインインするときのパスワードが指定されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「パスワード」に、SharePoint にサインインするときのパスワードを入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server のライブラリー名が設定されていません。**

原因

SharePoint のライブラリーが選択されていないためです。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「接続」ボタンを押し、SharePoint にサインインしたあと、「ライブラリー」のドロップダウンリストから、SharePoint のライブラリーを選択してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **SharePoint Server への接続に失敗しました。**

原因

指定されたサイト URL に接続できませんでした。

対処

「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に入力されている URL が正しいか確認してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **ジョブ名が入力されていません。**

原因

ジョブ名が入力されていないためです。

対処

「ジョブ情報設定」タブの「ジョブ名」でジョブ名を入力してください。

- **スキャナーを選択してください。**

原因

スキャナーが選択されていないためです。

対処

「読み取り設定」タブの「スキャナー」で、スキャナーを選択してください。

- **バーコードのエリアが設定されていません。バーコードのエリアを設定を行ってください。{0}**

原因

バーコードの認識領域が設定されていないからです。

{0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- **ゾーン OCR の検出エリア設定が行われていません。ゾーン OCR の検出エリア設定を行ってください。**
{0}

原因

ゾーン OCR の認識領域が設定されていないからです。
{0} には、抽出データの該当フィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」で該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。

- **選択されたジョブを削除してもよろしいですか？ バッチデータも同時に削除されます。**

原因

選択したジョブを削除しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- ジョブを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。ジョブと共に関連したバッチが削除されます。
 - ジョブを削除しない場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
- **インポートする画像の解像度が不明のため、読み込みできません。インポートする画像の解像度を指定してください。解像度は 200dpi 以上の解像度を設定してください。**

原因

ドライバープロファイルで設定されている解像度が 200dpi 未満のためです。

対処

「読み取り設定」タブで、以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「解像度」で 200dpi 以上を選択する
- [詳細設定] ボタンをクリックし、表示された PaperStream IP ドライバー画面で、解像度が 200dpi 以上になるように選択する

- **{0}** この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。

原因

フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に Windows 予約語が使用されているためです。

{0} には、Windows の予約語の使用箇所が「出力先 / ファイル名」のように該当する項目の情報が表示されます。

対処

フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名から、Windows の予約語 (CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、NUL) を削除してから、再度処理を実行してください。

- **使用できない環境依存文字(Unicode)があります。{0}**

原因

設定した項目に環境依存 (Unicode) 文字が含まれています。

{0} には、環境依存 (Unicode) 文字を設定した項目名が表示されます。

対処

{0} で表示された項目から、環境依存 (Unicode) 文字が含まれているかどうかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **以下の設定が未入力です。{0}**

原因

必要な項目が設定されていないためです。

{0} には、未入力の箇所が「出力先設定 / ファイル名」のように、タブ名と項目名で表示されます。

対処

必要な項目を設定してから、再度処理を実行してください。

- **連携起動するアプリケーションが指定されていません。起動アプリケーションを指定してください。**

原因

ジョブで「出力先設定」タブに「他アプリケーション」を選択した状態で、連携して起動するアプリケーションを指定していないためです。

対処

「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で、起動するアプリケーションを指定してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの [設定] ボタンをクリックすると表示されます。

- **表示中のイメージを差し替え、選択領域をクリアします。継続してもよろしいですか？**

原因

認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに差し替えスキャンを実行しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- サンプルの画像を差し替える場合
[はい] ボタンをクリックしてください。サンプル画像ページが差し替えされ、設定したエリアが破棄されます。
- サンプルの画像を差し替えない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **「初期値」が「最小桁数」で指定した桁数を超えています。**

原因

「最小桁数」で指定した桁数を超える数値が「初期値」で指定されているためです。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「初期値」の値を「最小桁数」で指定している桁数以下にする
- 「最小桁数」の桁数を「初期値」で指定している数値の桁数以上にする

- **指定されたファイル名は空文字になる可能性があります。ファイル名が空文字にならないようファイル名オプションにページカウンターやドキュメントカウンターを追加してください。**

原因

指定されているファイル名は、出力するときにファイル名が空文字になる可能性があるためです。

対処

「出力先設定」タブの「ファイル」でファイル名に「抽出データ」のフィールドだけを指定している場合、抽出データのフィールドで指定されている属性が必須ではないと、ファイル名が空文字になる可能性があります。フィールドの属性を「必須」にしたり、ファイル名が空文字になったり重複したりしないようにファイル名オプションでページカウンターやドキュメントカウンターなどを追加したりして、設定を見直してください。

- **PDF/A ファイルにはパスワードは付けられません。**

原因

PDF/A または SinglePage PDF/A のファイルにパスワードを設定しようとしたためです。

対処

出力ファイル形式に PDF/A File または SinglePage PDF/A File を指定している場合、パスワードの設定ができないため「オプション設定」画面で「開くパスワードを設定する」チェックボックスにチェックが付けられません。

PDF を開くときのパスワードが設定したい場合は、出力ファイル形式の指定を PDF File または SinglePage PDF File にしてください。

- **パスワードを入力してください。**

原因

固定のパスワードを指定されていないためです。

対処

PDF を開くときのパスワードを固定のパスワードにするために「固定のパスワードを使用する」チェックボックスにチェックを付けている場合は、「パスワード」と「確認」に使用するパスワード入力してください。

- **確認パスワードが一致しません。パスワードを入力し直してください。**

原因

「パスワード」に入力した値と「確認」に入力した値が一致しなかったためです。

対処

「パスワード」と「確認」に正しい値を入力してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブは作成されません。よろしいですか？**

原因

ジョブの新規作成または参照作成で一度も設定を保存せずに [閉じる] ボタンが押されたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 設定した内容でジョブを作成する場合
[保存] ボタンをクリックしてください。ジョブが作成され、ジョブ一覧に表示されます。
- ジョブを作成しない場合
[はい] ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
- ジョブの作成を継続する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **ジョブの編集内容は破棄されます。よろしいですか？**

原因

ジョブの編集で、設定を変更してから一度も保存せずに [閉じる] ボタンが押されたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 設定した内容でジョブを更新する場合
[保存] ボタンをクリックしてください。ジョブが更新され、ジョブ一覧に表示されます。
- ジョブを更新しない場合
[はい] ボタンをクリックしてください。設定を破棄して画面を閉じます。
- ジョブの編集を継続する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。設定を維持した状態で設定画面に戻ります。

- **PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていません。PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。**

原因

PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用かつ「読み取り設定」タブのドライバープロファイルを選択しない状態で「出力先設定」タブに遷移したか [保存] ボタンを押したためです。

対処

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」以外のプロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- **出力設定において同名のファイル名が指定されています。**

原因

以下のどちらかのファイルを出力するとき、同名のファイル名で出力されるように指定されているためです。

- マルチイメージのファイル
- 「出力先設定」タブで「画像タイプ毎にファイルを出力する」チェックボックスにチェックを付けて出力するファイル

対処

第 1、第 2、第 3 の出力ファイル名または二値白黒、グレースケール、カラーの出力ファイル名が同名にならないように、「出力先設定」タブで以下を見直してから、再度処理を実行してください。

- ファイル形式
- フォルダー
- ファイル名

ファイル形式は、PDF 形式と PDF/A 形式が混在しないように設定してください。

- 指定されたジョブは、PaperStream IP ドライバーのプロファイルが設定されていないためスキャンできません。ジョブの設定を見直し、PaperStream IP ドライバーのプロファイルを設定してください。

原因

PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用かつ「読み取り設定」タブのドライバープロファイルを選択しない状態で「データ抽出設定」タブまたは「仕分け設定」タブの「[エリアを定義 >>]」ボタンをクリックし、表示された認識領域の設定画面で原稿の読み取りを実行したためです。

対処

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」でプロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- PaperStream IP プロファイルの画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式、および圧縮形式を再設定してください。

原因

ジョブの編集時に、ドライバープロファイルの画像タイプが変更されたため、出力ファイル形式がデフォルト値に戻されたためです。

対処

以下の設定に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- 出力ファイル形式
- 圧縮形式
- ファイルのオプション設定

ファイル形式は、PDF 形式と PDF/A 形式が混在しないように設定してください。

- マルチイメージ、および画像タイプごとにファイルを出力する時、ファイル形式に PDF、または、PDF/A を指定する場合は、全ての出力に同じ種類のファイル形式を指定してください。

原因

出力するマルチイメージのファイル形式で PDF 形式と PDF/A 形式が混在して指定されたためです。

対処

第 1、第 2、第 3 の出力ファイル形式または二値白黒、グレースケール、カラーの出力ファイル形式は、PDF 形式または PDF/A 形式のどちらかで統一されるように指定してください。

- 出力先設定タブの「他アプリケーション」の設定で指定されたアプリケーションが見つかりませんでした。{0}

原因

連携して起動するアプリケーションが見つからなかったためです。

{0} には、指定されたアプリケーションのパスが表示されます。

対処

「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で、起動するアプリケーションの、正しいパスを指定してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- {0} 使用可能な文字を入力してください。使用可能文字：ASCII コード

原因

使用できない文字が入力されたためです。

対処

使用可能な文字（ASCII コード）で入力してから、再度処理を実行してください。

- エリアの定義済みの場合、エリア設定は削除されます。継続してもよろしいですか？

原因

認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに画像の回転を実行しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- サンプルの画像を回転する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。サンプル画像ページが回転され、設定したエリアが破棄されます。
- サンプルの画像を回転しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- 表示しているイメージを削除します（指定した領域も削除されます）。よろしいですか？

原因

認識領域を設定する画面で、読み取ったサンプルの画像ページでエリアの設定をしたあとに画像の削除を実行しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- サンプルの画像を削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。サンプル画像ページが回転され、設定したエリアが破棄されます。
- サンプルの画像を削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **メモリー空き容量が不足しているため画像を表示できません。**

原因

原稿の読み取りを実行しましたが、メモリー不足のためサンプルの画像ページを表示できませんでした。

対処

ほかのアプリケーションを終了させてから、再度処理を実行してください。

- **フォルダー名がすでに存在します。**

原因

「バッチフォルダー名設定」画面で、すでに存在するバッチフォルダー名を指定したからです。

対処

存在しないバッチフォルダー名を指定してください。

バッチフォルダーを使用しない場合は、ジョブの「出力先設定」タブで「ファイルプロパティ」にある「バッチフォルダーを使用する」チェックボックスのチェックを外してから、再度処理を実行してください。

- **ジョブは現在使用中のため削除できません。**

原因

以下の理由により、選択したジョブは削除できませんでした。

- マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブを編集している
- マルチステーション運用で、ほかの端末が原稿の読み取りで該当のジョブを使用している
- マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブのバッチジョブを編集している
- マルチステーション運用で、ほかの端末に該当のジョブのバッチが一時保存されている

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のジョブを編集していないか
- ほかの端末が原稿の読み取りで該当のジョブを使用していないか
- ほかの端末が該当のジョブのバッチジョブを編集していないか
- ほかの端末に該当のジョブのバッチが一時保存されていないか

- **同じアイコンファイルが既に存在します。アイコンファイルを上書きしますか？**

原因

既存ファイル名と同じファイル名のアイコンを追加しようとしてしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 上書きする場合
[はい] ボタンをクリックしてください。既存のファイルを上書きします。
- 上書きしない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。
ファイルの名前を重複しないように変更してから、再度処理を実行してアイコンを追加してください。

- **選択されたアイコンを削除しますか？**

原因

選択したアイコンを削除しようとした。

対処

以下の対処を行ってください。

- 削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。既存のファイルを上書きします。
- 削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **アイコンの追加に失敗しました。{0}**

原因

{0} には、以下のエラー詳細が表示されます。

- 選択されたアイコンファイルはイメージファイルではありません。
- 選択されたアイコンファイルはサイズが 500KB を超えています。
- 選択されたアイコンファイルにアクセスする権限がありません。
- メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- アイコンのファイル形式が png 形式か
- アイコンのファイルサイズが 500KB 以下か
- アイコンのファイルへのアクセス権限があるか
- メモリーが不足していないか
- ディスクに十分な空き容量があるか

- **アイコンの削除に失敗しました。**

原因

指定したアイコンは、アイコンのファイルにアクセス権限がないため削除できませんでした。

対処

アイコンのファイルへのアクセス権限に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

アイコンのファイルは、以下に格納されています。

%ALLUSERSPROFILE%\¥PaperStreamCapture¥assets¥icons

- **同じフィールド名が他のフィールドで使用されています。**

原因

入力した名前が、ほかのフィールドで使用されています。

対処

フィールド名が重複しないように、ほかの名前に変更してから、再度処理を実行してください。

- **選択されたフィールドは PaperStream Capture のほかの機能（フォルダー、ファイル）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も稼働時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？**

原因

「出力先設定」タブの「フォルダー」または「ファイル」に使用されているフィールドを削除すると表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- **フィールドを削除する場合**
[はい] ボタンをクリックしてください。フィールドと共にフォルダー名オプションおよびファイル名オプションからも定義が削除されます。
- **フィールドを削除しない場合**
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **選択されたフィールドは PaperStream Capture の他の機能（フォルダー名オプション / ファイル名オプション、ドキュメント仕分け、バッチ仕分け、PDF のキーワード）で使用されています。フィールドを削除すると、フィールドを使用している関連機能も同時に削除されます。選択されたフィールドを削除しますか？**

原因

以下で定義されているフィールドを削除しようとしてしました。

- ファイル名のファイル名オプションで該当のフィールドを指定している
- ドキュメント仕分けでフィールドを使用している
- バッチ仕分けでフィールドを使用している
- PDF のキーワードの設定で該当のフィールドを指定している

対処

以下の対処を行ってください。

- フィールドを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。フィールドと共に該当フィールドを使用した定義が削除されます。
- フィールドを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **ジョブは現在使用中のため編集できません。**

原因

以下の理由により、選択したジョブの編集ができません。

- マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブを編集している
- マルチステーション運用で、ほかの端末が該当のジョブのバッチジョブを出力処理中

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- ほかの端末が該当のジョブを編集していないか
- ほかの端末で該当のジョブのバッチジョブを出力処理している最中ではないか

- **SharePoint サーバーのフィールドリストと同期しますか？同期すると、関連する仕分け設定、SharePoint に存在しないフィールドは全て削除されます。**

原因

「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」と SharePoint サーバーまたは SharePoint Online サーバーの抽出データを同期しようとしたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- 同期する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。「データ抽出設定」タブのフィールドリストに、SharePoint サーバーの抽出データと同じフィールドを自動的に追加します。また、SharePoint サーバーにないフィールドは削除されます。
- 同期しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。「データ抽出設定」タブのフィールドリストは変更されません。

- **FTP サーバーへの接続に失敗しました。**

原因

指定されたホスト名または IP アドレスに接続できません。

対処

「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか確認してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **ジョブが存在しません。**

原因

選択したジョブは、ほかの端末によって削除されているため使用できません。

対処

ほかの画面を開いて戻るなどの操作でジョブの一覧を更新してください。

- **お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。**

原因

インストールされている PaperStream IP (TWAIN) ドライバーがサポートしていない機能のためです。

対処

最新の PaperStream IP (TWAIN) ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを最新にアップデートできない場合は、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドライバープロファイル設定画面でプロファイルの新規保存を行ってください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で「詳細設定」ボタンをクリックすると表示できます。

- **お使いの PaperStream IP (TWAIN) は本機能をサポートしていません。「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、ドライバープロファイルの保存を行ってください。**

原因

インストールされている PaperStream IP (TWAIN) ドライバーがサポートしていない機能のためです。

対処

最新の PaperStream IP (TWAIN) ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを最新にアップデートできない場合は、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドライバープロファイル設定画面でプロファイルの上書き保存を行ってください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバーのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で「詳細設定」ボタンをクリックすると表示できます。

- **ドライバープロファイル数の上限は 999 です。**

原因

ドライバープロファイルが上限の 999 個まで定義済みのため、ドライバープロファイルの新規作成ができません。

対処

PaperStream IP (TWAIN) ドライバのドライバープロファイル設定画面を開き、不要なドライバープロファイルを削除してから、再度処理を実行してください。

PaperStream IP (TWAIN) ドライバのドライバープロファイル設定画面は、使用するジョブの設定画面で「読み取り設定」タブにある「読み取り設定」で [詳細設定] ボタンをクリックすると表示できます。

- **データベース情報が設定されていません。**

原因

リストの定義で使用するデータベースの情報が設定されていません。

対処

「リストの定義」画面の [設定] ボタンをクリックし、表示された「ODBC データソース」画面で使用するデータベースの設定をしてから、再度処理を実行してください。

- **表が設定されていません。**

原因

「リスト情報」の「フィールド」が設定されていません。

対処

「ODBC データソース」画面の「リスト情報」の「フィールド」に使用するフィールドを選択してください。

- **以下の理由により ODBC データベースに接続できません。{0}**

原因

データベースとの接続に失敗しました。
{0} には、接続に失敗した理由が表示されます。

対処


接続に失敗した理由を確認し、問題を解決してから再度処理を実行してください。

- **DB ルックアップ属性フィールドのデータベース情報が設定されていません。{0}**

原因

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「属性」で「DB ルックアップ」が選択されていますが、データベースの情報が設定されていません。
{0} には該当するフィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「属性」で「DB ルックアップ」の  をクリックし、表示された「ODBC データソース」画面で使用するデータベースの設定をしてから、再度処理を実行してください。

- **ジョブ数の上限 {0} に達しているため、ジョブを追加できません。**

原因

ジョブが上限の数まで定義済みのため、ジョブの追加ができません。
{0} には、ジョブの上限数が表示されます。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- PaperStream Capture の場合
「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブで「表示」の「最大ジョブ数」で、ジョブの上限値を変更する
 - PaperStream Capture Pro の場合
「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブで「表示」の「最大ジョブ数」で、ジョブの上限値を変更する
 - 「ジョブ作成/編集」画面でジョブの一覧から不要なジョブを削除する
- **長さ、または数値の最小値が最大値を超えています。{0}**

原因

「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「長さ」または「数値」が設定されていますが、「最小」に指定されている値が、「最大」に指定されている値を超えています。
{0} には該当するフィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「長さ」または「数値」で、「最小」に指定されている値が、「最大」に指定されている値を超えないように見直してから、再度処理を実行してください。

- **フィールド名が設定されていません。**

原因

抽出データのフィールドに名前が指定されていません。

対処

「データ抽出設定」タブを開き、フィールドリストから該当のフィールドを選択し、「フィールド属性」の「名前」にフィールドの名前を入力してください。

- **このフィールドは仕分けに使用されます。フィールドの種別を変更すると、仕分けの定義も削除されます。種別を変更しますか？**

原因

ドキュメント仕分けやバッチ仕分けに定義されているフィールドの種別を変更しようとしてしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- フィールドの種別を変更する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。種別が変更され、該当フィールドを使用した定義も削除されます。
 - フィールドの種別を変更しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。
- **「リストから選択」フィールドに対して、リストが設定されていません。{0}**

原因

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」で「リストから選択」が選択されていますが、リストの定義がされていません。

{0} には、該当するフィールド名が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」で [設定] ボタンをクリックし、表示された「リストの定義」画面でリストの定義をしてから、再度処理を実行してください。

- **バッチが使用中のため、設定を変更できません。**

原因

編集中のジョブを読み取りに使用したバッチが出力未完了の状態で存在しているため、「データ抽出設定」タブでフィールドの情報を更新できません。

対処

編集したいジョブを読み取りに使用したバッチをすべて出力してから、再度処理を実行してください。

- **別のユーザーがジョブを使用しているため、編集、または参照作成できません。**

原因

選択したジョブは、ほかの端末で編集のため、編集および参照作成ができません。

対処

ほかの端末で該当のジョブが編集中心ではないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- **読み取り設定が変更されたため、ドライバープロファイルが更新されます。続きますか？**

原因

読み取り設定を変更するなど「ドライバープロファイル」に「000：現在の設定」やドライバープロファイル名の先頭にアスタリスク（*）が表示された状態でタブの移動または「保存」ボタンがクリックされました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 読み取り設定を更新する場合

「はい」ボタンをクリックしてください。変更した読み取り設定を選択中のドライバープロファイルに反映して更新します。

「ドライバープロファイル」の表示が「000：現在の設定」の場合は、「新規保存」画面が表示されるので、ドライバープロファイル名を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。変更した読み取り設定の内容でドライバープロファイルが作成され、「ドライバープロファイル」に表示されます。

- 読み取り設定を更新しない場合

「いいえ」ボタンをクリックしてください。

- **フォルダーパスの先頭には、ドライブレター、または UNC パスの接頭辞が必要です。**

原因

指定されたフォルダーの、パスの先頭が以下のどれでもありません。

- ドライブレター（C: など）
- ネットワークフォルダーパス（\\¥¥）
- 環境変数

対処

「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」でフォルダーのパスを指定するときは、パスの先頭に以下のどれかを指定してください。

- ドライブレター（C: など）
- ネットワークフォルダーパス（\\¥¥）
- 環境変数

- **アイコンが既に存在するため、追加できません。**

原因

登録済みのアイコンのファイルを追加しようとしてしました。

対処

すでに登録されているアイコンのファイルは、以下に格納されています。

%ALLUSERSPROFILE%\¥PaperStreamCapture¥assets¥icons

このフォルダーに格納されていないアイコンのファイルを登録してください。

- **不正なホスト名です。**

原因

ホストに「ftp://」が指定されています。

対処

「FTP オプション」画面の「ホスト」には、ホスト名または IP アドレスだけを指定してください。画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **仕分けのためのバーコードのエリアが設定されていません。**

原因

バーコードの認識領域が設定されていません。

対処

- PaperStream Capture の場合
「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」の「検出エリア」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。
- PaperStream Capture Pro の場合
「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」または「バッチ仕分け」の「検出エリア」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でバーコードの認識領域を設定してください。

- **仕分けのためのゾーン OCR のエリアが設定されていません。**

原因

ゾーン OCR の認識領域が設定されていません。

対処

- PaperStream Capture の場合
「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」の「検出エリア」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。
- PaperStream Capture Pro の場合
「仕分け設定」タブの「ドキュメント仕分け」または「バッチ仕分け」の「検出エリア」で「エリアを定義 >>」ボタンをクリックし、表示された画面でゾーン OCR の認識領域を設定してください。

- **数値が不正です。{0}**

原因

「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「数値」が設定されていますが、指定されている値が $-1.79E+308 \sim 1.79E+308$ の範囲外です。
{0} には、「フィールド名 / 数値 / 最小」または「フィールド名 / 数値 / 最大」のように該当する項目の情報が表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブで「フィールドルール」の「数値」で「最小」または「最大」に指定されている値が $-1.79E+308 \sim 1.79E+308$ の範囲になるように見直してから、再度処理を実行してください。

- **分割フィールドの開始値が終了値よりも大きい値です。{0}**

原因

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」が「分割」のフィールドで、「文字」の開始位置の値が終了位置の値より大きいからです。

{0} には、タブ名と項目名が / で区切られて表示されます。

対処

「データ抽出設定」タブで「フィールド属性」の「種別」が「分割」のフィールドで、「文字」の開始位置の値が終了位置の値より大きくならないように指定し直してから、再度処理を実行してください。

- **インデックス作成がスキップされたため、抽出データフィールドの検証も行われません。**

原因

「データ抽出設定」タブでフィールドが定義されている状態で、「読み取り設定」タブの「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックを付けて、ジョブを保存したためです。

対処

「インデックスをスキップ」チェックボックスにチェックが付いている場合、「データ抽出設定」タブで定義したフィールドは検証されません。フィールドを検証する場合は、「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」で「インデックスをスキップ」チェックボックスのチェックを外してください。

- **ドライバープロファイルが指定されていません。**

原因

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」が選択されています。

対処

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で「000：現在の設定」以外のドライバープロファイルを選択してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたインデックスファイル名は空文字になる可能性があります。インデックスファイル名が空文字にならないよう、ファイル名オプションにドキュメントカウンターやバッチ名を追加してください。**

原因

指定されているインデックスファイル名は、出力するときにファイル名が空文字になる可能性があります。

対処

「出力先設定」タブの「インデックスファイル」でファイル名に「抽出データ」のフィールドだけを指定している場合、抽出データのフィールドで指定されている属性が必須ではないと、ファイル名が空文字になる可能性があります。フィールドの属性を「必須」にしたり、ファイル名の「ファイル名オプション」で「バッチ名」や「ドキュメントカウンター」などを追加したりして、設定を見直してください。

- **指定された SharePoint のライブラリーは存在しません。ライブラリーを指定し直してください。**

原因

SharePoint Server に、指定したライブラリー名が存在しません。

ジョブを作成したあとに、SharePoint Server からライブラリーが削除された可能性があります。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- SharePoint Server に同名のライブラリーを追加する
 - 「SharePoint オプション」画面の「ライブラリー」で存在するライブラリーを選択する画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。
- **フォルダー区切り文字はファイル名オプションの末尾に設定できません。フォルダー区切り文字は、フォルダー名とインデックスファイル名の間に入してください。**

原因

「出力先設定」タブの「インデックスファイル」に指定されているパスの末尾にフォルダー区切り文字（¥）が指定されています。

対処

「出力先設定」タブの「インデックスファイル」に指定されているフォルダー区切り文字（¥）を削除してから、再度処理を実行してください。

- **出力先に同名ファイルが存在します。出力先または出力ファイルの名前を変更し、再度実行してください。**

原因

出力先に同じ名前のファイルが存在したため、表示された「同名ファイルの扱い確認」画面で「名前を付けて保存する」を選択し、名前を変更して処理を実行しましたが、変更した名前と同じファイル名も出力先に存在しています。

対処

「同名ファイルの扱い確認」画面で、以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「フォルダー」に指定されている出力先を変更する
- ファイル名をさらに変更する

- **禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:¥/:?*"<>|**

原因

フォルダー名に使用禁止文字が使用されています。
{0} には、該当箇所が「出力先設定 / フォルダーパス」のように、タブ名と項目名で表示されます。

対処

使用禁止文字を使用せずにフォルダー名を指定し直してから、再度処理を実行してください。
なお、「<」や「>」は、ペアであれば使用できます。

- **禁止文字列が使われています。 {0} 禁止文字列:/:?*"<>|**

原因

フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に使用禁止文字が使用されています。
{0} には、該当箇所が「出力先設定 / ファイル名」のように、タブ名と項目名で表示されます。

対処

使用禁止文字を使用せずにフォルダー名やファイル名、インデックスファイル名を指定し直してから、再度処理を実行してください。
なお、「<」や「>」は、ペアであれば使用できます。

- **他のストリームの PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」と設定中のストリームのファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。**

原因

以下のチェックボックスの両方にチェックが付けられています。

- いずれかのストリームの「PDF オプション」の「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス
- 設定中のストリームの「ファイルオプション」の「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックス

対処

PDF 形式および PDF/A 形式のファイルを出力する場合は、「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスの設定が優先され、「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスの設定は無視されます。
マルチページファイルの指定サイズ分割を優先したい場合は「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスのチェックを外してください。

- PDF オプションの「先頭ページのみ検索可能とする」とファイルオプションの「マルチページファイルを指定サイズで分割する」の両方が指定されました。PDF、および PDF/A 出力時は「先頭ページのみ検索可能とする」指定を優先し「マルチページファイルを指定サイズで分割する」指定は無視します。

原因

「オプション設定」画面で以下のチェックボックスの両方にチェックが付けられています。

- 「PDF オプション」の「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックス
- 「ファイルオプション」の「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックス

対処

PDF 形式および PDF/A 形式のファイルを出力する場合は、「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスの設定が優先され、「マルチページファイルを指定サイズで分割する」チェックボックスの設定は無視されます。

マルチページファイルの指定サイズ分割を優先したい場合は「先頭ページのみ検索可能とする」チェックボックスのチェックを外してください。

- このジョブは ScandAll PRO から移出されたものです。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継ぐにはドライバープロファイルを新規保存する必要があります。ドライバープロファイルを新規保存しますか？「はい」を選択した場合、ドライバープロファイルを新規保存し、ScandAllPRO のドライバー設定が継続利用できます。「いいえ」を選択した場合、ScandAll PRO のドライバー設定は引き継がず、ドライバープロファイルの「現在の設定」を適用します。

原因

ScandAll PRO から移出されたプロファイルを PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入しようとしてしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- ScandAll PRO のドライバー設定を引き継いだドライバープロファイルを作成する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。ScandAll PRO のドライバー設定を引き継いだドライバープロファイルが新規作成され、移入したジョブに設定されます。
- ScandAll PRO のドライバー設定を引き継がない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。ScandAll PRO のドライバー設定を破棄し、ジョブのドライバープロファイルに「000：現在の設定」を適用して移入します。

- マルチイメージ出力、および画像タイプごとにファイルを出力する場合、ファイル形式に Word 文書、Excel 文書、PowerPoint 文書と PDF、PDF/A を同時に指定できません。

原因

出力する複数のファイル形式に、「Word 文書」、「Excel 文書」、「PowerPoint 文書」と「PDF File」、「PDF/A File」が同時に指定されています。

対処

出力する複数のファイル形式に、「Word 文書」、「Excel 文書」、「PowerPoint 文書」と「PDF File」、「PDF/A File」が同時に設定されないように見直してください。

- **検索結果が 100 件を超えるため検索結果を表示できません。検索キーワードを見直してください。**

原因

「所属/ユーザーの選択」画面でユーザー検索を実行した結果、検索結果が 100 件を超えています。

対処

検索結果が 100 件以下になるよう、検索する文字を名前の一部から全部にするなどの見直しをしてから、再度処理を実行してください。

- **自動プロファイル選択機能をサポートしていない PaperStream IP ドライバーが使用されているため、自動プロファイル選択に関連する機能は設定できません。**

原因

インストールされている PaperStream IP (TWAIN) ドライバーが、原稿識別に関連する「自動プロファイル選択」機能をサポートしていません。

対処

最新の PaperStream IP (TWAIN) ドライバーをインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **検索結果は存在しません。検索キーワードを見直してください。**

原因

「所属/ユーザーの選択」画面でユーザー検索を実行した結果、検索結果が 1 件もありません。

対処

検索する文字を見直してから、再度処理を実行してください。

- **登録済みの識別情報が存在しません。読み取り設定タブの「ドライバープロファイル」の「詳細設定」から PaperStream IP (TWAIN) の設定画面を表示し、識別情報の登録を行ってください。**

原因

仕分け用原稿として「原稿識別」が選択されましたが、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーに識別情報が登録されていません。

対処

「読み取り設定」タブの「ドライバープロファイル」で [詳細設定] ボタンをクリックし、表示される PaperStream IP ドライバーの設定画面で、「自動プロファイル選択の設定」画面を開き、識別情報を追加して登録してから、再度処理を実行してください。

- **仕分けの設定において、登録済み識別情報が 1 つも選択されていません。**

原因

仕分け用原稿として「原稿識別」が選択されましたが、使用する登録済み識別情報が指定されていません。

対処

「仕分け設定」タブの「登録済み識別情報」で、仕分け用原稿として使用する登録済み識別情報のチェックボックスにチェックを付けてください。

- **フィールド名が最大長の 255 文字を超えています。参照作成の場合は、"_コピー" を含めて 255 文字以内になるように、参照元のフィールド名を見直してください。**

原因

フィールドを参照作成しようとしたのですが、参照するフィールドのフィールド名が長く、参照作成するフィールドに自動で設定されるフィールド名が 255 文字を超えてしまうため、参照作成ができませんでした。

対処

参照するフィールドのフィールド名が短くなるように見直してから参照作成してください。
参照するフィールドのフィールド名を変更できない場合は、「追加」をクリックして、フィールドを新規作成してください。

- **選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。また、「ScanSnap Manager for fi 互換」のバッチが全て完了していないため、スキャナーを変更できません。**

原因

編集中のジョブを使用したバッチが一時保存または中断されているため、スキャナーを変更できませんでした。
また、変更しようとしたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

対処

「バッチ管理」画面で、該当のジョブを使用したバッチに以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 一時保存または中断されたバッチをすべて出力する
- 一時保存または中断されたバッチをすべて削除する

- **選択されたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていないため、ドライバープロファイルを変更します。**

原因

変更しようとしたスキャナーは「ScanSnap Manager for fi 互換」をサポートしていません。

対処

「ドライバープロファイル」の設定が「000：現在の設定」に変更されるため、適切なプロファイルを選択し直してください。

- **画像タイプ関連情報が変更されたため、出力ファイル形式を初期化しました。出力ファイル形式が変更された可能性があります。**

原因

ジョブの編集集中に、ドライバープロファイルの画像タイプが変更されたため、出力ファイル形式がデフォルト値に戻されたためです。

また、「出力先設定」タブが表示されます。

対処

以下の設定に問題がないかを確認してから、再度処理を実行してください。

- 出力ファイル形式
 - 圧縮形式
- 「出力時にファイル名を指定する」をチェックした場合は、読み取り設定タブの画像表示オプションの「スキャン後すぐに出力」を無効にしてください。

原因

以下の項目は、同時に設定できません。

- 「読み取り設定」タブの「画像表示オプション」の「スキャン後すぐに出力」チェックボックス
- 「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」の「出力時にファイル名を指定する」チェックボックス

対処

どちらかの設定を解除してから、再度処理を実行してください。

- **以下の文字列は 128 バイト以内で指定してください。{0}**

原因

「仕分け設定」タブ (249 ページ) で指定した、以下の項目の値が 128 バイトを超えているためです。

- 「ゾーン OCR」の「認識文字列」
- 「バーコード」の「バーコード文字列」
- 「原稿識別」の「仕分け値」

対処

値が 128 バイト以内になるように指定し直してから、再度処理を実行してください。

- **キーワードを入力してください。**

原因

「キーワードを設定する」チェックボックスのチェックが付いている状態で、キーワードの設定がされていないためです。

対処

入力域に、指定したい値を直接入力するか、[キーワードの選択] ボタンをクリックし、指定する設定値を選択してください。

複数の値を指定する場合は、半角の「;」（セミコロン）で区切ってください。セミコロンは、キーワードに設定できません。

- **選択されたドライバープロファイルは削除されたため、本操作は実施できません。ドライバープロファイル一覧を確認してください。**

原因

選択中のドライバープロファイルが存在していないため、ドライバープロファイルの保存ができませんでした。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ドライバープロファイルを変更する場合

「ドライバープロファイル」のドロップダウンリストで、使用するドライバープロファイルを選択してください。

- 設定した内容でドライバープロファイルを作成して使用する場合

「ドライバープロファイル」のドロップダウンリストで「000：現在の設定」を選択してから、「新規保存」をクリックしてください。

表示された「新規保存」画面でプロファイル名を入力して [OK] ボタンをクリックすると、新規作成したドライバープロファイルが使用するドライバープロファイルに設定されます。

詳細な設定内容は [詳細設定] ボタンをクリックし、表示された PaperStream IP ドライバーの画面で確認してください。

- **設定されているゾーン OCR の抽出データ、パスポートの抽出データ、ID カード（TD1）の抽出データ、ID カード（TD2）の抽出データ、ゾーン OCR 仕分けの数が上限 {0} に達しているため、ジョブを保存できません。**

原因

「データ抽出設定」タブで設定されている、「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード（TD1）」、および「ID カード（TD2）」のフィールド数と、「仕分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」の数の合計が、上限値を超えているため、ジョブの保存ができませんでした。

対処

上限値を超えないように、「データ抽出設定」タブで設定されている、「種別」が「ゾーン OCR」、「パスポート」、「ID カード（TD1）」、および「ID カード（TD2）」のフィールド数を減らしたり、「仕

分け設定」タブで仕分けの種類として設定されている「ゾーン OCR」を解除したりしてから、再度処理を実行してください。

- **サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。アカウント：(アカウント名) 権限のあるアカウントに切り替えるため、このアカウントをサインアウトしますか？**

原因

サインインを維持しているアカウントには指定したサイトに対する権限がありません。

対処

以下の対処を行ってください。

- 権限のあるアカウントに切り替えて接続処理を継続する場合
[OK] ボタンをクリックしてください。
サインインを維持しているアカウントをサインアウトし、新たにサインイン画面を表示します。
- サインインを維持したい場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

- **仕分けの種類を変更すると、条件設定を設定し直す必要があります。変更してよろしいですか？**

原因

条件設定が設定されている状態で、仕分けの種類を変更した場合に表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 「仕分けの種類」を変更して、「条件設定」タブを確認する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 「仕分けの種類」を変更しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **テストスキャン後に編集した内容は保存されません。よろしいですか？**

原因

ジョブを新規作成してテストスキャンしたあと、設定を変更してから [キャンセル] ボタンをクリックすると表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 編集した内容を保存しない場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を保存する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。
ジョブを新規作成した場合は [完了] ボタンをクリックしてください。
ジョブを編集した場合は [保存] ボタンをクリックしてください。

- 「読み取り設定」の「白紙削除」の機能が非活性になり、無視されます。

原因

仕分けの種類で「白紙」を選択し、条件設定で「仕分け用原稿を削除する」チェックボックスにチェックを付けたときに表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 白紙削除を行わない場合
「読み取り設定」タブの「読み取り設定」の「白紙削除」が選択できないことを確認してください。
- 白紙削除を行う場合
「仕分け設定」タブの「条件設定」の「仕分け用原稿を削除する」チェックボックスのチェックを外してください。

- フィールドが追加されません。よろしいですか？

原因

「データ抽出 - エリア設定」ダイアログおよび「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで、フィールドを追加したあとに [キャンセル] ボタンをクリックすると表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- フィールドの追加を中断して、「データ抽出設定」タブに戻る場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- フィールドの設定を続ける場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- 編集内容が保存されません。よろしいですか？

原因

「データ抽出設定」タブで種別に「ゾーン OCR」または「バーコード」のフィールドを選択して、「データ抽出 - エリア設定」ダイアログおよび「データ抽出 - 項目選択」ダイアログを編集したあとに [キャンセル] ボタンをクリックすると表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- フィールドの編集を中断して、「データ抽出設定」タブに戻る場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- フィールドの編集を続ける場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **フィールドリストのフィールド数が{0}を超えます。フィールドリストに追加できるフィールド数は残り({1})です。選択の内容を見直してください。**

原因

「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで項目にチェックを入れた数と、すでにフィールドリストに設定したフィールド数の合計がフィールドリストの上限値を超える数である場合、「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで [OK] ボタンをクリックすると、表示されます。

対処

「データ抽出 - 項目選択」ダイアログで項目にチェックを入れた数と、すでにフィールドリストに設定したフィールド数の合計がフィールドリストの上限値を超えないようにしてください。

- **作業フォルダーを設定してください。**

原因

出力先の種類で他アプリケーションを選択したときに、作業フォルダーの入力内容がエラーだったが、[完了] ボタンまたは [保存] ボタンをクリックしました。

対処

作業フォルダー名を正しく入力してください。空白状態、使用禁止文字の入力、または空白文字だけの入力はしないでください。

- **変更した設定が保存されません**

原因

以下の原因が考えられます。

- 画像に変更があるときに [キャンセル] ボタンをクリックした
- フィールド名のドロップダウンリストで選択するフィールドに変更があるときに [キャンセル] ボタンをクリックした

対処

以下の対処を行ってください。

- 編集した内容を保存しない場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- 編集した内容を保存する場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。

- **「条件設定」タブの設定が完了していません。「条件設定」タブを確認してください。**

原因

「条件設定」タブにチェックがついていないときにジョブを保存する操作を行った場合、または「条件設定」タブよりあとの設定タブに遷移する操作を行った場合に表示する。

対処

以下の対処を行ってください。

- 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」以外を選択した場合は、[次へ] ボタンをクリックすると、「条件設定」タブが表示されます。条件設定のチェックボックスの設定を確認または変更してください。
- 「仕分けの種類」で「ゾーン OCR」を選択した場合は、「条件設定」タブの設定を完了させてください。

- **フィールドが設定されていません。フィールドリストにフィールドを追加してください。**

原因

フィールドが 0 件の場合にジョブを保存する操作を行った場合に表示されます。

対処

フィールドを 1 件以上設定してください。

- **編集文字列を指定したため、「読み取り設定」タブの画像表示オプション「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」を無効にしました。**

原因

「読み取り設定」タブの「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」チェックボックスにチェックが付いている場合、「出力先設定」タブ内のファイルのテキストボックスに<EDITSTR>が入力されたあと、<EDITSTR>が入力されている状態でテキストボックスからフォーカスがはずれたときに表示されます。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「読み取り設定」タブで「読み取った画像を表示せず、すぐに出力する」の設定を無効にする
- ファイルを出力するときにファイル名を編集しない設定になるように、「出力先設定」タブの「ファイル」でファイル名オプションを見直す

画像の出力に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の画像の出力操作に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX05003Q	バッチを出力します。継続してもよろしいですか？ (439 ページ)
SX05007Q	パスワードを付加しない場合は、[OK] ボタンを押してください。または、[キャンセル] ボタンを押し、パスワードを再入力してください。 (439 ページ)
SX05009E	バッチ、またはジョブのデータが壊れているか、アクセス権がないため、スキャンした画像を表示できません。 (440 ページ)

コード	メッセージ
SX05010E	スキャンファイルの一時格納先が設定されていません。管理ツールの一般タブで、作業フォルダーを設定してください。(440 ページ)
SX05011E	一時保存の理由を選択してください。また、理由がその他の場合は、自由入力欄に必ず入力してください。(440 ページ)
SX05013E	バッチ、またはジョブのデータが壊れているので、スキャンした画像を表示できません。(441 ページ)
SX05015Q	バッチは作成されません。読み込んだイメージや編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？(441 ページ)
SX05016Q	編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？(442 ページ)
SX05017W	上書きがキャンセルされたため、このバッチは中断状態になりました。出力先のファイルを移動もしくは変名したのち、再度出力してください。(442 ページ)
SX05018Q	全てのファイルが再出力されます。出力先に同名ファイルが存在しないか確認してください。(442 ページ)
SX05019W	マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やジョブの見直しをお勧めします。(443 ページ)
SX05021Q	バッチを一時保存します。継続しますか？継続するには一時保存の理由を選択してください。(443 ページ)
SX05022W	マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やファイルの出力設定内容の見直しをお勧めします。(443 ページ)
SX05023Q	メールの送信が完了しました。メールに添付した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (444 ページ)
SX05024Q	印刷が完了しました。印刷した以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (444 ページ)
SX05025E	メールに添付可能なファイル数の上限 (10 ファイル) を超えたため、処理できません。以下のファイルを削除してもよろしいですか？{0} (444 ページ)
SX05026Q	不正なパスポート、ID カード (TD1)、または ID カード (TD2) のフィールド値が存在します。続けて出力しますか？(445 ページ)
SX06001E	バッチの保存に失敗しました。(445 ページ)
SX06002E	以下のファイル (フォルダー) にアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイル名のフルパスが長すぎます。{0} フォルダー、またはファイルが書き込み可能かどうか、ファイル名のフルパスが 260 文字を超えていないかどうかをご確認ください。(445 ページ)

コード	メッセージ
SX06004E	以下の理由により、イメージ処理に失敗しました。{0} (446 ページ)
SX06005E	メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。(446 ページ)
SX06007E	{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。(446 ページ)
SX06009E	バッチデータが存在しない、壊れている、またはアクセス権限がないため、データの出力に失敗しました。(447 ページ)
SX06010E	SharePoint Server への接続に失敗しました。(447 ページ)
SX06012E	ファイルのアップロードに失敗しました。(447 ページ)
SX06014E	パスワードが設定されていません。(448 ページ)
SX06016E	サーバーへの接続に失敗しました。(448 ページ)
SX06017E	新規フォルダーの作成に失敗しました。(448 ページ)
SX06019E	ファイル名が指定されていません。(449 ページ)
SX06020E	システムメモリーが不足しているため処理を行うことができません。(449 ページ)
SX06021E	ディスク容量が不足しているため、処理を行うことができません。(449 ページ)
SX06023E	PDF ファイルの保存中にエラーが発生しました。(449 ページ)
SX06024E	以下の連携アプリケーションを起動できませんでした。{0} (450 ページ)
SX06025E	ファイルパスが長すぎます。{0} (450 ページ)
SX06026E	出力時の上書きキャンセル (450 ページ)
SX06027E	出力時、固定ファイル名 / 同名ファイル名の出力キャンセル (450 ページ)
SX06030E	出力サービスが起動されていません。(451 ページ)
SX06031E	ドライブレターが指定されていない、または、指定されたドライブは存在しません。(451 ページ)
SX06033E	SharePoint サーバーへのドキュメントのアップロードに失敗しました。(451 ページ)
SX06034E	SharePoint サーバーへの抽出データのアップロードに失敗しました。(451 ページ)
SX06035E	出力処理中、または一時保存処理中のバッチが中断されました。(452 ページ)
SX06038E	リッチテキストファイルのサイズが 512MB の制限値を超えるため、出力できません。(452 ページ)

コード	メッセージ
SX06039Q	ファイルサイズが {0}MB を超えています。{1} 本当に送信しますか？「はい」を選択した場合、ファイルを送信します。「いいえ」を選択した場合、ファイルを送信しません。(452 ページ)
SX06040E	ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、出力できません。ABBYY FineReader for ScanSnap をインストール後、再度出力してください。(453 ページ)
SX06041E	{0} との連携に失敗しました。{1} (453 ページ)
SX06042E	ABBYY FineReader for ScanSnap による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。または、ディスクの空き容量が不足したため、ABBYY FineReader for ScanSnap による変換処理に失敗しました。確認後、再度出力してください。(453 ページ)

● **バッチを出力します。継続してもよろしいですか？**

原因

バッチを出力しようとしてしました。

対処

以下の対処を行ってください。

● 出力する場合

[はい] ボタンをクリックしてください。

● 出力しない場合

[いいえ] ボタンをクリックしてください。

以降の出力操作で本メッセージを表示させない場合は、「次回以降、このメッセージを表示しない。」チェックボックスにチェックを付けてください。

● PaperStream Capture の場合

本メッセージが表示されるようにしたい場合は、「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「表示」で「確認メッセージを表示する」チェックボックスのチェックを付けてください。

● PaperStream Capture Pro の場合

本メッセージが表示されるようにしたい場合は、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブにある「表示」で「確認メッセージを表示する」チェックボックスのチェックを付けてください。

● **パスワードを付加しない場合は、[OK] ボタンを押してください。または、[キャンセル] ボタンを押し、パスワードを再入力してください。**

原因

PDF のパスワードを設定する画面で [キャンセル] ボタンがクリックされました。

対処

以下の対処を行ってください。

- パスワードを設定しない場合
[OK] ボタンをクリックしてください。開くときのパスワードがない PDF ファイルが出力されません。
 - パスワードを設定する場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。PDF のパスワードを設定する画面に戻るので、パスワードを設定してから再度処理を実行してください。
- **バッチ、またはジョブのデータが壊れているか、アクセス権がないため、スキャンした画像を表示できません。**

原因

バッチ情報ファイルが破損しているか、アクセスができません。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
アクセス権に問題がない場合は、購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **スキャンファイルの一時格納先が設定されていません。管理ツールの一般タブで、作業フォルダーを設定してください。**

原因

作業フォルダーのパスが指定されていません。

対処

- PaperStream Capture の場合
「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」に作業フォルダーのパスを指定してから、再度処理を実行してください。
 - PaperStream Capture Pro の場合
「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」に作業フォルダーのパスを指定してから、再度処理を実行してください。
- **一時保存の理由を選択してください。また、理由がその他の場合は、自由入力欄に必ず入力してください。**

原因

一時保存の理由に「その他」が選択されていますが、コメントが未入力です。

対処

バッチジョブを一時保存する場合、「その他」を理由に選択したときは、コメント欄に必ず理由を入力してください。

- バッチ、またはジョブのデータが壊れているので、スキャンした画像を表示できません。

原因



バッチ情報ファイルが破損しているか、アクセスできません。

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- バッチは作成されません。読み込んだイメージや編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？

原因

- PaperStream Capture の場合
原稿を読み取ったあとに表示された「スキャン」画面（確認 / 編集時）で以下の操作が実行されました。
 - [キャンセル] ボタンをクリックした
 - [×] ボタンをクリックした
 -  から「終了」を選択した
 - コンピューターのシャットダウン
- PaperStream Capture Pro の場合
原稿を読み取ったあとに表示された「スキャン&インデックス」画面（確認/編集）または「スキャン」画面（確認 / 編集時）で以下の操作が実行されました。
 - [キャンセル] ボタンをクリックした
 - [×] ボタンをクリックした
 -  から「終了」を選択した
 - コンピューターのシャットダウン


対処

以下の対処を行ってください。

- 読み取った原稿の画像をすべて破棄する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。画像が破棄され、バッチジョブも作成されません。
- 読み取った原稿の画像を破棄しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。

- **編集内容は破棄されます。継続してもよろしいですか？**

原因

- PaperStream Capture の場合
「バッチ管理」画面で選択したバッチジョブを開いて表示した「スキャン」画面（確認/編集）で編集作業をしたあとに、以下の操作が実行されました。
- PaperStream Capture Pro の場合
「QC」画面や「インデックス」画面、「バッチ管理」画面で選択したバッチジョブを開いて表示した「スキャン&インデックス」画面（確認/編集）や「スキャン」画面（確認/編集）で編集作業をしたあとに、以下の操作が実行されました。
 - [キャンセル] ボタンをクリックした
 - [×] ボタンをクリックした
 -  から「終了」を選択した
 - コンピューターのシャットダウン

対処

以下の対処を行ってください。

- 編集内容を破棄する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。編集内容が破棄され、バッチジョブも作成されません。
 - 編集内容を破棄しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。
- **上書きがキャンセルされたため、このバッチは中断状態になりました。出力先のファイルを移動もしくは変名したのち、再度出力してください。**

原因

「同名ファイルの扱い」画面で [キャンセル] ボタンがクリックされました。

対処

以下のどちらかの対処を行ってから、「バッチ管理」画面から該当のバッチジョブを開き、再度処理を実行してください。

- 出力先にある同じ名前のファイルを別の格納先に移動する
 - 出力先にある同じ名前のファイルを変名する
- **全てのファイルが再出力されます。出力先に同名ファイルが存在しないか確認してください。**

原因

「同名ファイルの扱い確認」画面で [キャンセル] ボタンをクリックしたため、エラー状態で一時保存されていたバッチジョブを再度出力しようとしてしました。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。出力処理を行います。
- 出力しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。再度、バッチがエラー状態で一時保存されます。

- **マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やジョブの見直しをお勧めします。**

原因

マルチページ形式の TIFF ファイルが出力ファイル形式として指定されていますが、ファイルサイズが制限値である 2GB を超えました。

対処

2GB を超えた場合、すべてのページをシングルページ形式の TIFF ファイルで出力します。マルチページ形式の TIFF ファイルで出力したい場合は、読み取り枚数やジョブの設定を見直して、ファイルサイズが制限値の 2GB を超えないようにしてください。

- **バッチを一時保存します。継続しますか？ 継続するには一時保存の理由を選択してください。**

原因

[一時保存] ボタンをクリックして、編集中のバッチジョブを一時保存しようとした。

対処

以下の対処を行ってください。

- バッチジョブを一時保存する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。バッチジョブが一時保存され、「バッチ管理」画面に表示されます。
- バッチジョブを一時保存しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。

- **マルチページ TIFF ファイルのサイズが 2GB の制限値を超えるため、すべてシングルページ TIFF ファイル形式で出力します。2GB の制限値を超えないように、ページ数やファイルの出力設定内容の見直しをお勧めします。**

原因

マルチページ形式の TIFF ファイルが出力ファイル形式として指定されていますが、ファイルサイズが制限値である 2GB を超えました。

対処

2GB を超えた場合、すべてのページをシングルページ形式の TIFF ファイルで出力します。マルチページ形式の TIFF ファイルで出力したい場合は、読み取り枚数やドライバープロファイルの設定を見直して、ファイルサイズが制限値の 2GB を超えないようにしてください。

- **メールの送信が完了しました。メールに添付した以下のファイルを削除してもよろしいですか？ {0}**

原因

メールの添付ファイルとして出力したファイルを、メールの送信が完了したあとに残さない設定がされているためです。

{0} には、添付用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。
- 出力したファイルを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。

添付用に出力したファイルを残したい場合は、ジョブの「出力先設定」タブで [設定] ボタンをクリックし、表示された「メールオプション」画面で、「送信ファイルを残す」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **印刷が完了しました。印刷した以下のファイルを削除してもよろしいですか？ {0}**

原因

印刷用として出力したファイルを、印刷が完了したあとに残さない設定がされているためです。
{0} には、印刷用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。
- 出力したファイルを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。

印刷用に出力したファイルを残したい場合は、ジョブの「出力先設定」タブで [設定] ボタンをクリックし、表示された「プリンターオプション」画面の「拡張設定」で、「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックスにチェックを付けてください。

- **メールに添付可能なファイル数の上限（10 ファイル）を超えたため、処理できません。以下のファイルを削除してもよろしいですか？ {0}**

原因

メールの添付ファイルとして出力したファイルが、1 通のメールに添付できる上限の 10 ファイルを超えたため、メールに添付できません。

{0} には、添付用に出力したファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力したファイルを削除する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。フォルダーに出力されたファイルが削除されます。
- 出力したファイルを削除しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。格納先に保存されているファイルがそのまま残ります。
メールに手動でファイルを添付し、送信してください。

- **不正なパスポート、ID カード (TD1)、または ID カード (TD2) のフィールド値が存在します。続けて出力しますか？**

原因

フィールドパネルに表示されているパスポート、ID カード (TD1)、または ID カード (TD2) のフィールド値が不正な値です。

対処

以下の対処を行ってください。

- 出力する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。不正なフィールド値のまま出力されます。
- 出力しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。編集画面に戻ります。フィールド値を見直してから、再度処理を実行してください。

- **バッチの保存に失敗しました。**

原因

出力処理で予期しないエラーが発生しました。

対処

エラーが発生したときの操作手順をメモしてから、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **以下のファイル (フォルダー) にアクセスできない、ライトプロテクトされている、またはファイル名のフルパスが長すぎます。{0} フォルダー、またはファイルが書き込み可能かどうか、ファイル名のフルパスが 260 文字を超えていないかどうかをご確認ください。**

原因

以下の理由でフォルダーが作成できませんでした。

- 出力先に指定されたフォルダーの書き込み権限がない
- 出力先にネットワークフォルダーを指定している場合、該当フォルダーにアクセスできない
- 作業フォルダーに書き込み権限がない

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」に指定されているフォルダーに書き込み権限を付与してください。ネットワークフォルダーが指定されている場合、該当のフォルダーにアクセスできることを確認してください。
- 作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してください。
作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
アクセス権に問題がない場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **以下の理由により、イメージ処理に失敗しました。{0}**

原因

画像処理（ファイル出力等）で予期しないエラーが発生し、処理できませんでした。
{0} には、エラーの詳細が表示されます。

対処

エラーの詳細がメモリー不足を通知する内容の場合は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、解像度や圧縮形式、用紙サイズなどの設定を変更して、ファイルサイズが小さくなるように設定し直してから、再度処理を実行してください。
それでも同じエラーが発生するときや、エラーの詳細がほかの内容の場合は、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。**

原因

メモリーまたはディスク容量不足のため、ファイルを出力できませんでした。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
- ディスクの空き容量の確保
ディスクの空き容量に問題がない場合は、ディスクが破損していないか確認してください。

- **{0} この名前は Windows による使用のために予約されています。別の名前を選んで再実行してください。**

原因

フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名に Windows 予約語が使用されているためです。
{0} には、Windows の予約語の使用箇所が「出力先 / ファイル名」のように該当する項目の情報が表示されます。

対処

フォルダー名やファイル名、インデックスファイル名から、Windows の予約語 (CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、NUL) を削除してから、再度処理を実行してください。

- **バッチデータが存在しない、壊れている、またはアクセス権がないため、データの出力に失敗しました。**

原因

以下の理由でファイルを出力できませんでした。

- バッチの情報ファイルが存在しない
- バッチの情報ファイルが壊れている
- 作業フォルダーのアクセス権がない

対処

作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認してから、再度処理を実行してください。作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。アクセス権に問題がない場合は、購入された弊社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **SharePoint Server への接続に失敗しました。**

原因

指定されたサイト URL に接続できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 「SharePoint オプション」画面または「SharePoint Online オプション」画面の「サイト URL」に入力されている URL が正しいか
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。
- ネットワーク環境に問題がないか

- **ファイルのアップロードに失敗しました。**

原因

FTP サーバーにファイルを出力できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- FTP サーバーのネットワーク環境に問題がないか

- **パスワードが設定されていません。**

原因

FTP サーバーにログインするときのパスワードが指定されていないためです。

対処

「FTP オプション」画面の「パスワード」に、FTP サーバーにログインするときのパスワードを入力してください。

画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- **サーバーへの接続に失敗しました。**

原因

FTP サーバーに接続できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 「FTP オプション」画面の「ホスト」に入力されているホスト名または IP アドレスが正しいか
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。
- FTP サーバーへの接続方法は正しいか
- FTP サーバーのネットワーク環境に問題がないか
- プロキシサーバーの場合、プロキシサーバーのネットワーク環境に問題がないか

- **新規フォルダーの作成に失敗しました。**

原因

指定されたディレクトリが存在しなかったため、フォルダーを新規作成しようとしたましたが失敗しました。

対処

FTP サーバーで以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 親ディレクトリにアクセス権限があるか
- 同名のファイルが存在していないか
- サーバーの容量が不足していないか

- **ファイル名が指定されていません。**

原因

ファイル名が指定されていないため、FTP サーバーに送信できません。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」の「ファイル」で指定しているファイル名を見直してから、再度処理を実行してください。

- **システムメモリーが不足しているため処理を行うことができません。**

原因

PDF の出力処理中にメモリー不足エラーが発生しました。

対処

ほかに起動している不要なアプリケーションを終了させてから、再度処理を実行してください。
それでも改善されない場合は、コンピューターを再起動させてから、再度処理を実行してください。

- **ディスク容量が不足しているため、処理を行うことができません。**

原因

PDF の出力処理中にディスク容量不足エラーが発生しました。

対処

出力先に指定しているディスクの空き容量を確保してから、再度処理を実行してください。
ディスクの空き容量に問題がない場合は、ディスクが破損していないか確認してください。

- **PDF ファイルの保存中にエラーが発生しました。**

原因

PDF ファイルの出力中に予期しないエラーが発生しました。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」にある「フォルダー」に指定されているフォルダーに書き込み権限を付与する。
指定されているフォルダーがネットワークフォルダーの場合、アクセスできることを確認する。

- 作業フォルダーにアクセス権が付与されているか確認する。

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。

上記の対処を行っても同じエラーが発生する場合は、本画面のハードコピーを採取および保守情報収集ツールで保守情報を収集してから、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

保守情報収集ツール (fiInfoCollect.exe) は、以下に格納されています。

C:\Program Files (x86)\Scanner\InfoCollect

- 以下の連携アプリケーションを起動できませんでした。{0}

原因

指定した連携アプリケーションを起動できませんでした。
{0} には、連携アプリケーションの実行ファイルのパスが表示されます。

対処

「アプリケーションの起動オプション」画面の「アプリケーションパス」で指定しているアプリケーションが起動するか確認してから、再度処理を実行してください。
画面は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「設定」ボタンをクリックすると表示されます。

- ファイルパスが長すぎます。{0}

原因

出力するファイルのパスが長すぎるため、出力処理に失敗しました。
{0} には、指定したファイルのパスが表示されます。

対処

以下が短くなるように対処してから、再度処理を実行してください。

- 作業フォルダーのパス
- 出力先のフォルダー名
- 出力するときのファイル名

作業フォルダーの場所は「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture 管理ツール」画面の「一般」タブにある「作業フォルダー」で確認できます。
フォルダー名やファイル名は、「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」で確認できます。

- 出力時の上書きキャンセル

原因

出力先に同じ名前のファイルが存在したため、表示された「同名ファイルの扱い確認」画面で「上書きする」を選択して処理を実行しましたが、ファイルの上書きに失敗しました。

対処

上書きするファイルをほかのアプリケーションで開いていないかを確認してから、原稿の読み取りを再度実行してください。

- 出力時、固定ファイル名 / 同名ファイル名の出力キャンセル

原因

指定したファイル名が固定名のため、表示された処理の継続確認画面で、処理がキャンセルされました。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブの「ファイルプロパティ」で「ファイル」で指定されているファイル名が固定名にならないように設定を見直してから、再度処理を実行してください。

● 出力サービスが起動されていません。**原因**

ストレージサーバー上で、出力サービスが開始されていないため、出力処理に失敗しました。

対処

PaperStream Capture Pro を終了してから、スタートメニューの「PaperStream Capture」にある「管理ツール」から「PaperStream Capture Pro 管理ツール」を起動し、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「ステーション」タブで「ストレージサーバー」にある「出力サービス」の「開始」ボタンをクリックしてください。

そのあと、「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面を閉じてから、再度 PaperStream Capture Pro を起動し、処理を実行してください。

● ドライブレターが指定されていない、または、指定されたドライブは存在しません。**原因**

出力先に指定されたフォルダーのパスに存在しないドライブが指定されているため、出力処理に失敗しました。

対処

「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある「ファイルプロパティ」の「フォルダー」で指定しているフォルダーのドライブを見直してから、再度処理を実行してください。

● SharePoint サーバーへのドキュメントのアップロードに失敗しました。**原因**

SharePoint サーバーまたは SharePoint Online に、ファイルを出力できませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- SharePoint サーバーのネットワーク環境に問題がないか
- お使いのコンピューターのネットワーク環境に問題がないか

● SharePoint サーバーへの抽出データのアップロードに失敗しました。**原因**

SharePoint サーバーのフィールドに抽出データを出力できませんでした。

対処

以下のどちらかの対処をしてから、再度処理を実行してください。

- SharePoint サーバーのフィールド（列）を、「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」にあるフィールドに合わせる
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「データ抽出設定」タブの「フィールドリスト」にあるフィールドを SharePoint サーバーのフィールド（列）に合わせる

- **出力処理中、または一時保存処理中のバッチが中断されました。**

原因

バッチの出力または一時保存が中断されました。

対処

中断したバッチジョブの処理を再開する場合は、バッチ名をダブルクリックすると、処理を再開する旨のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。処理が再開されます。

- **リッチテキストファイルのサイズが 512MB の制限値を超えるため、出力できません。**

原因

リッチテキスト形式のファイルを出力するときに、ファイルサイズが 512MB を超えていたため、ファイルの出力ができませんでした。

対処

1 つのファイルサイズが 512MB を超えないように、以下のどれかの対処を行ってください。

- エラーで処理が中断したバッチジョブを開き、表示された編集画面でドキュメントを分割してから、再度処理を実行してください。詳細は、[読み取った画像を確認/編集する \(バッチスキャンモード\) \(69 ページ\)](#)を参照してください。
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「出力先設定」タブにある [オプション設定] ボタンをクリックし、表示された「[オプション設定](#)」画面 (206 ページ) の「ファイルオプション」で、ファイルを指定したサイズで分割して出力するように設定を見直し、再度原稿の読み取りを実施してください。
- 「ジョブ作成/編集」画面で該当のジョブを「編集」で開き、「仕分け設定」タブでドキュメントを分割して出力するように設定を見直し、再度原稿の読み取りを実施してください。

- **ファイルサイズが {0}MB を超えています。{1} 本当に送信しますか？「はい」を選択した場合、ファイルを送信します。「いいえ」を選択した場合、ファイルを送信しません。**

原因

メールに添付するファイルサイズが指定サイズを超えているためです。

「メールオプション」画面で「ファイルサイズの合計が以下を超えるとときに警告メッセージを表示する」チェックボックスでチェックを付けている場合に表示されます。

{0} には、「メールオプション」画面で指定した値が表示されます。

{1} には、添付ファイルの格納先が表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- メールを送信する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。指定サイズを超えたファイルを添付してメールを送信します。
- メールを送信しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。メールの送信を中断します。ただし、「バッチ管理」画面では、「状況」に「出力済み」と表示されます。添付ファイルは、格納先に保存されます。

- **ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、出力できません。ABBYY FineReader for ScanSnap をインストール後、再度出力してください。**

原因

出力ファイル形式に「Word 文書」「Excel 文書」「PowerPoint 文書」のどれかが指定されていますが、ABBYY FineReader for ScanSnap がインストールされていないため、出力できません。

対処

ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **{0} との連携に失敗しました。{1}**

原因

メールまたはプリンターとの連携に失敗しました。

{0} には、連携先が表示されます。

{1} には、失敗の原因が表示されます。

対処

失敗の原因を取り除いてから、再度処理を実行してください。

- **ABBYY FineReader for ScanSnap による変換中にキャンセル、あるいはファイル名を変更しました。または、ディスクの空き容量が不足したため、ABBYY FineReader for ScanSnap による変換処理に失敗しました。確認後、再度出力してください。**

原因

以下の理由により、ABBYY FineReader for ScanSnap でファイルの変換に失敗したため、ファイルを出力できませんでした。

- ファイルの変換中に [キャンセル] ボタンをクリックした
- ファイルの変換中にファイル名の変更をした
- ディスクの空き容量が不足した

対処

ABBYY FineReader for ScanSnap が処理を実行しているときは、操作のキャンセルやファイル名の変更をしないでください。

また、ディスクの空き容量が不足した場合は、ディスクの空き容量を確保してから、再度処理を実行してください。

運用環境の移出 / 移入に関連するメッセージ

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro 運用環境の移出 / 移入に関連するエラーの原因と対処を示します。

コード	メッセージ
SX07001Q	移出対象ジョブが選択されていません。PaperStream Capture 動作設定情報のみが移出対象となります。実行しますか？(455 ページ)
SX07002Q	「新規移入」が選択されているため、移入先に存在するジョブはすべて置換されます。継続してもよろしいですか？(456 ページ)
SX07003E	%1 が既に起動しているため、本アプリケーションを実行することができません。(456 ページ)
SX07005I	移入処理が完了しました。 %1 (456 ページ)
SX07006E	移入ファイル名が入力されていません。(456 ページ)
SX07007E	指定されたファイルは存在しません。または、指定されたファイルにアクセスできませんでした。(457 ページ)
SX07008E	禁止文字が使用されています。禁止文字：¥/:?*""<> (457 ページ)
SX07009E	ファイルを保存できませんでした。メモリまたはディスクの空き領域が不足しました。(457 ページ)
SX07010E	システムメモリが不足しているため、処理を行うことができません。(457 ページ)
SX07011E	PaperStream Capture がインストールされていないため、本アプリケーションは実行できません。(458 ページ)
SX07012E	指定されたファイルが作成できませんでした。アクセスできない、または、ライトプロテクトされています。エラーコード： %1 %2 (%3) : %4 (458 ページ)
SX07013E	移入ファイルが無効です。(458 ページ)
SX07019E	指定された起動パラメーターに誤りがあります。(458 ページ)
SX07020E	「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で指定されている言語が移出元と異なるため、移入できません。(459 ページ)
SX07021E	ジョブ数が制限に達したため、移入できません。「超過ジョブ数」の数だけジョブを削除してから移入してください。超過ジョブ数： %1 (459 ページ)
SX07022E	「%1 運用環境の移入」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。(459 ページ)

コード	メッセージ
SX07023E	「%1 運用環境の移出」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。(459 ページ)
SX07025E	ファイル名が長すぎます。(460 ページ)
SX07026Q	以下のファイルは既に存在します。上書きしますか？ %1 (460 ページ)
SX07027E	移出ファイルのサイズが 2GB を超えるため移出できません。移出対象ジョブの数を減らして移出してください。(460 ページ)
SX07028E	ジョブ数が制限を超えているため、本アプリケーションを実行できません。超過ジョブ数 :%1 (460 ページ)
SX07033Q	以下のホットキーが重複しています。このまま移入しますか？ %1 (461 ページ)
SX07034E	現在のバージョンよりも新しい PaperStream Capture で移出したファイルです。以下のバージョン以降の PaperStream Capture をインストール後、移入してください。%1 (461 ページ)
SX07036E	移出ファイルが移入先の環境と一致しません。(461 ページ)
SX07037Q	ScandAll PRO で移出されたファイルが指定されました。ScandAll PRO のプロファイルを PaperStream Capture のジョブに変換しますか？ (461 ページ)
SX07038W	以下のプロファイルはスキャンの設定を移入できませんでした。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。(462 ページ)
SX07039Q	PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP の読み取りプロファイルは退避できません。運用環境の移出処理を継続してもよろしいですか？ (462 ページ)
SX07040E	PaperStream IP の読み取りプロファイルの退避に失敗したため移出できませんでした。エラー詳細コード : %d (462 ページ)
SX07041E	PaperStream IP の読み取りプロファイルの復元に失敗したため移入できませんでした。エラー詳細コード : %d (463 ページ)
SX07042E	サーバーを一旦停止してから移入を実行してください。(463 ページ)
SX07099E	予期しないエラーです。エラーコード : %1 %2 (%3) : %4 (463 ページ)

- 移出対象ジョブが選択されていません。PaperStream Capture 動作設定情報のみが移出対象となります。実行しますか？

原因

移出対象のジョブが選択されていない状態で [実行] ボタンがクリックされたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- ジョブを移出しない場合
[OK] ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境だけ移出します。
 - ジョブを移出したい場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。戻った画面で移出したいジョブを選択してから、再度処理を実行してください。
- 「新規移入」が選択されているため、移入先に存在するジョブはすべて置換されます。継続してもよろしいですか？

原因

「新規移入」を選択した状態で [実行] ボタンがクリックされたためです。

対処

以下の対処を行ってください。

- ジョブをすべて置換して移入する場合
[OK] ボタンをクリックしてください。移入先にあるジョブがすべて置換して、運用環境とジョブを移入します。
 - 移入先のジョブを残す場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。戻った画面でジョブの移入方法を「追加移入」に選択し直してから、再度処理を実行してください。
- %1 が既に起動しているため、本アプリケーションを実行することができません。

原因

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro と本アプリケーションは同時に起動できません。

%1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

対処

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro を終了してから、本アプリケーションを起動してください。

- 移入処理が完了しました。 %1

原因

移入処理が完了しました。

%1 には、移入後にユーザーの対処が必要な項目と対処方法が表示されます。

対処

対処が必要な項目が表示されている場合は、対処方法に従って処理を実行してください。

- 移入ファイル名が入力されていません。

原因

移入ファイルが指定されていません。

対処

「移入ファイル」で移入するファイルを指定してから、再度処理を実行してください。

- **指定されたファイルは存在しません。または、指定されたファイルにアクセスできませんでした。**

原因

指定されたファイルを読み込みできませんでした。

対処

以下を確認してから、再度処理を実行してください。

- 指定したファイルが存在するか
- 指定したファイルのアクセス権限があるか

- **禁止文字が使用されています。禁止文字：¥/:?*""<>|**

原因

フォルダー名やファイル名に禁止文字が入力されています。

対処

禁止文字を使用せずに、フォルダー名やファイル名を指定してから、再度処理を実行してください。

- **ファイルを保存できませんでした。メモリーまたはディスクの空き領域が不足しました。**

原因

メモリーまたはディスクの空き容量が不足したため、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移出できませんでした。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
- ディスクの空き容量の確保

- **システムメモリーが不足しているため、処理を行うことができません。**

原因

メモリー不足のため、処理を実行できませんでした。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- ほかに起動している、不要なアプリケーションの終了
- ディスクの空き容量の確保

それでも改善されない場合は、コンピューターを再起動させてから、再度処理を実行してください。

- **PaperStream Capture がインストールされていないため、本アプリケーションは実行できません。**

原因

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro がインストールされていない環境で本アプリケーションを起動しようとした。

対処

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro をインストールするか、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro がインストールされている環境で本アプリケーションを起動してください。

- **指定されたファイルが作成できませんでした。アクセスできない、または、ライトプロテクトされています。エラーコード：%1 %2 (%3) : %4**

原因

以下の理由により、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移出できませんでした。

- 指定されたフォルダーにアクセスできない
- 指定されたフォルダー内に同名の読み取り専用ファイルが存在している
%1 にはエラーコード、%2~%4 にはエラー詳細コードが表示されます。

対処

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移出するフォルダーを変更してから、再度処理を実行してください。

- **移入ファイルが無効です。**

原因

以下の理由により、指定したファイルを移入できませんでした。

- 「運用環境の移出」ツールで移出したファイルではない
- ファイルが破損している

対処

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro の運用環境を移入する場合は、必ず「運用環境の移出」ツールで移出したファイルを移入してください。

- **指定された起動パラメーターに誤りがあります。**

原因

「運用環境の移出」ツールを起動するために指定したパラメーターに誤りがありました。

対処

正しいパラメーターを指定してから、再度処理を実行してください。

- 「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で指定されている言語が移出元と異なるため、移入できません。

原因

コンピューターの「設定」にある「地域」（お使いのオペレーションシステムによっては「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」）で指定されている言語が移出元のオペレーションシステムで指定されていた言語と異なっています。

対処

コンピューターの「設定」にある「地域」（お使いのオペレーションシステムによっては「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」）で指定する言語を、移出元のオペレーションシステムで指定されていた言語に指定し直してから、再度処理を実行してください。

- ジョブ数が制限に達したため、移入できません。「超過ジョブ数」の数だけジョブを削除してから移入してください。超過ジョブ数：%1

原因

移入先のジョブ数が登録上限に達したため、運用環境の移入ができませんでした。
%1 には、超過しているジョブ数が表示されます。

対処

以下の対処を行ってから、再度処理を実行してください。

- 既存のジョブをすべて残したい場合
「PaperStream Capture 管理ツール」画面 / 「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面 (264 ページ)の「一般」タブ (265 ページ)の「表示」で「最大ジョブ数」に設定されている上限値を増やしてください。
- 既存のジョブを一部削除できる場合
「ジョブ作成/編集」画面 (166 ページ)で、超過しているジョブの数だけ、既存のジョブを削除してください。
- 既存のジョブをすべて削除できる場合
「運用環境の移入」画面 (320 ページ)で「ジョブの移入方法」を「新規移入」にしてください。

- 「%1 運用環境の移入」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。

原因

「運用環境の移入」ツールと本アプリケーションは同時に起動できません。
%1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

対処

「運用環境の移入」画面 (320 ページ)を閉じてから、本アプリケーションを起動してください。

- 「%1 運用環境の移出」が既に起動しているため、本アプリケーションを実行できません。

原因

「運用環境の移出」ツールと本アプリケーションは同時に起動できません。

%1 には、該当のアプリケーション名が表示されます。

対処

「[運用環境の移出](#)」画面 (319 ページ) を閉じてから、本アプリケーションを起動してください。

● ファイル名が長すぎます。

原因

指定したファイル名が長すぎるため、運用環境の移出ができませんでした。

対処

移出するファイル名のフルパスが 255 バイトを超えないように、ファイル名を見直してから、再度処理を実行してください。

● 以下のファイルは既に存在します。上書きしますか？ %1

原因

指定したファイル名と同名のファイルが、指定した出力先に存在しています。
%1 には、同名のファイルのパスが表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- ファイルを上書きする場合
[はい] ボタンをクリックしてください。
- ファイルを上書きしない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、「[運用環境の移出](#)」画面 (319 ページ) に戻ります。

● 移出ファイルのサイズが 2GB を超えるため移出できません。移出対象ジョブの数を減らして移出してください。

原因

移出するファイルサイズの合計が 2GB を超えました。

対処

移出するジョブの数を減らしてから、再度処理を実行してください。

● ジョブ数が制限を超えているため、本アプリケーションを実行できません。超過ジョブ数 :%1

原因

定義済みのジョブ数が上限を超えています。
%1 には超過ジョブ数が表示されます。

対処

ジョブ数が上限以下になるまで削除してから、再実行してください。

- **以下のホットキーが重複しています。このまま移入しますか？ %1**

原因

移出元と移入先で同じホットキーが割り当てられているジョブが存在しています。
%1 には、重複しているホットキーが表示されます。11 個目以降は「…」で表示されます。

対処

以下の対処を行ってください。

- そのまま移入する場合
[OK]ボタンをクリックしてください。ホットキーが重複した状態でジョブが移入されます。移入したあと、ホットキーが重複しているジョブでホットキーの設定を見直してください。
- 移入しない場合
[キャンセル] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、「[運用環境の移入](#)」画面 (320 ページ)に戻ります。
重複するホットキーを移入先のジョブで見直してから、再度処理を実行してください。

- **現在のバージョンよりも新しい PaperStream Capture で移出したファイルです。以下のバージョン以降の PaperStream Capture をインストール後、移入してください。 %1**

原因

現在のバージョンの PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では移入できないファイルが指定されました。
%1 には、指定されたファイルを移出した PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のバージョンが表示されます。

対処

最新の PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro をインストールしてから、再度処理を実行してください。

- **移出ファイルが移入先の環境と一致しません。**

原因

指定されたファイルは、現在のステーションとは異なるステーションの端末で移出されたファイルのため、移入できません。

対処

運用環境の移出入は、同じステーションの端末同士で行ってください。

- **ScandAll PRO で移出されたファイルが指定されました。ScandAll PRO のプロファイルを PaperStream Capture のジョブに変換しますか？**

原因

ScandAll PRO で移出されたプロファイルを PaperStream Capture に移入しようとしていました。

対処

以下の対処を行ってください。

- PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro のジョブに変換して移入します。
 - PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。プロファイルをジョブに変換せずに、処理を中断します。
- **以下のプロファイルはスキャンの設定を移入できませんでした。ジョブを編集し、スキャンの設定を行ってからバッチスキャンを実行してください。**

原因

移入する ScandAll PRO のプロファイルに設定されているドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバー以外のため、「スキャンの設定」画面で設定した内容は、PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro に移入できません。
また、設定されているドライバーが PaperStream IP (TWAIN) ドライバーでも、「スキャンの設定」画面で設定した内容が欠落して移入された可能性があります。

対処

ScandAll PRO から移入したジョブで読み取りを実行する前に、「[ジョブ作成/編集](#)」画面 (166 ページ) でジョブを「編集」で開き、不足している項目を設定してください。

- **PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP の読み取りプロファイルは退避できません。運用環境の移出処理を継続してもよろしいですか？**

原因

PaperStream IP がインストールされていないため、PaperStream IP ドライバーのプロファイルは、移出できません。

対処

以下の対処を行ってください。

- そのまま移出する場合
[はい] ボタンをクリックしてください。運用環境のうち PaperStream IP ドライバーのプロファイル以外を移出します。
 - 移出しない場合
[いいえ] ボタンをクリックしてください。処理を中断し、「[運用環境の移出](#)」画面 (319 ページ) に戻ります。
- **PaperStream IP の読み取りプロファイルの退避に失敗したため移出できませんでした。エラー詳細コード : %d**

原因

運用環境の移出で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルの移出処理でエラーが発生しました。

対処

エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **PaperStream IP の読み取りプロファイルの復元に失敗したため移入できませんでした。エラー詳細コード : %d**

原因

運用環境の移入で、PaperStream IP ドライバーのプロファイルの移入処理でエラーが発生しました。

対処

エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

- **サーバーを一旦停止してから移入を実行してください。**

原因

マルチステーション運用でクライアント端末と連携している状態で、運用環境を移入しようとしたためです。

対処

サーバーを一度停止し、クライアント端末と連携していない状態にしてから、運用環境の移入を実行してください。

- **予期しないエラーです。エラーコード : %1 %2 (%3) : %4**

原因

予期しないエラーが発生しました。

%1 にはエラーコード、%2~%4 にはエラー詳細コードが表示されます。

対処

エラーが発生したときの操作手順とエラーコードおよびエラー詳細コードをメモしていただき、購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

設定値一覧

PaperStream Capture および PaperStream Capture Pro の画面で任意の数値または文字を入力する場合の、最小値や最大値について説明します。

● 「ジョブ作成/編集」画面

ジョブの一覧

ジョブの検索 文字数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
-	-	128 文字	-	-

ジョブ数

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
5 個 (サンプルジョブ)	-	500 個	-	-

● 「ジョブ情報設定」タブ

ジョブ情報

ジョブ名

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ジョブ xx	1 文字	128 文字	以下の文字は使用しないでください。 ● 使用禁止文字 (¥ / : * ? " < >) ● 環境依存文字 (丸囲み数字、ローマ数字、単位、省略文字、人名・地名)	不可

説明

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	0 文字	128 文字	-	可

● 「出力先設定」タブ

最小桁数 (バッチフォルダーを使用する、インプリンタとの連携)

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
4	3	8	-	不可

フォルダー

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
<ul style="list-style-type: none"> • こだわり作成 C:\Users \Public \Documents • かんたん作成 C:\Users \アカウント名 \Documents 	-	-	<p>以下の文字列は使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用禁止文字 <ul style="list-style-type: none"> - 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 /:?* "<> - 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合 :?* "<>¥ • Windows 予約語だけ 以下の文字を設定すると、フォルダーを区切ります。 • 「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 ¥ • 「SharePoint」、「SharePoint Online」、または「FTP」の場合 / • ファイルのパス長で 200 バイトまで 	不可

ファイル

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
Doc<Document Counter>	-	-	<p>以下の文字列は、ファイル名に使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 使用禁止文字 <ul style="list-style-type: none"> - 出力先が「フォルダー」または「ネットワークフォルダー」の場合 ¥/:?* "<> , - 上記以外の場合 /:?* "<> , • Windows 予約語だけ 	不可

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
			• ファイルのパス長で 200 バイトまで	

インデックスファイル

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
<Batch Name>- <Document Counter>- INDEX	-	-	使用禁止文字 (/ : ? * " < > ,) ファイルのパス長で 200 バイトまで	不可

「カウンター設定」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
初期値	1	1	200000000 0	-	可
最小桁数	4	4	10	-	可

「インデックス一覧オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
文字列 1 文字列 2 文字列 3 文字列 4	文字列 1 : string1 文字列 2 : string2 文字列 3 : string3 文字列 4 : string4	-	32 文字	文字列の先頭および末尾の空白は削除される	可
最小桁数	4	4	10	-	可

「ネットワークフォルダーセキュリティ」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「SharePoint オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「SharePoint オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
サイト URL	空白	-	-	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「SharePoint Online オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
サイト URL	空白	-	-	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	不可
パスワード	空白	-	-	-	不可

「FTP オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
ホスト	空白	-	-	-	不可
ポート	21	1	65535	-	不可
ユーザー名	空白	-	-	-	可
パスワード	空白	-	-	-	可
接続時（タイムアウトを設定する）	60	1	300	-	可

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
データ転送時 (タイムアウトを設定する)	空白	-	-	-	可

「アプリケーションの起動オプション」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
パラメーター	%f	-	-	-	不可

「オプション設定」画面

項目	初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
圧縮 (PDF オプション)	3	1	7	-	可
パスワード	空白	1	16 文字 (半角文字換算)	-	可
確認	空白	1	16 文字 (半角文字換算)	-	可
画質	4	-1	7	-	可
最大 MB (「ファイルオプション」の項目)	50MB	1	512MB	-	可

● 「仕分け設定」タブ

ページ (「ページ数」選択時)

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
1	1	999	-	-

「バーコード文字列」チェックボックスの入力域

初期値	最小値	最大値	制限事項	省略可否
空白	1	128 バイト	-	-

仕様

ファイル形式

- 出力ファイル形式

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で作成できるファイル形式は、以下のとおりです。

ファイル形式 (拡張子)		画像タイプ (ビット数)	圧縮形式
BMP (.bmp)		白黒	非圧縮
		8bit グレー	非圧縮
		24bit カラー	非圧縮
JPEG2000 (.j2k)		24bit カラー	JPEG2000
JPEG (.jpg) (*1)		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG / Progressive JPEG
PDF (.pdf) (*2) (*3)	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
PDF/A (.pdf) (*3) (*4)	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
TIFF (.tif) (*3) (*5)		白黒	非圧縮 / CCITT G3(1D) / CCITT G3(2D) / CCITT G4 / JBIG / LZW / Packbits
		8bit グレー	非圧縮 / LZW / Packbits / JPEG
		24bit カラー	非圧縮 / Packbits / JPEG / Progressive JPEG
PNG (.png)		白黒	ZIP

ファイル形式 (拡張子)	画像タイプ (ビット数)	圧縮形式
	8bit グレー	ZIP
	24bit カラー	ZIP
リッチテキスト形式 (.rtf) (*6) (*7)	白黒	ZIP
	8bit グレー	JPEG
	24bit カラー	JPEG
Word 文書 (.docx) (*2)	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-
Excel 文書 (.xlsx) (*2)	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-
PowerPoint 文書 (.pptx) (*2)	白黒	-
	8bit グレー	-
	24bit カラー	-

- *1** : 「ScanSnap Manager for fi 互換」での出力に対応しているファイル形式です。ただし、Progressive JPEG には、対応していません。
- *2** : 「ScanSnap Manager for fi 互換」での出力に対応しているファイル形式です。
- *3** : マルチページ形式で出力できます。
- *4** : 準拠レベルは PDF/A-1b です。
ただし、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いている場合は、PDF/A-2b となります。
- *5** : マルチページ形式の場合、2GB を超える TIFF ファイルは出力できません。
2GB を超える場合は、先頭からすべてのページをシングルページの TIFF ファイル形式として出力します。
シングルページの TIFF ファイルは、以下のファイル名で出力されます。
- ファイル名に固定名が指定されている場合、固定名 + 連番 (数字 4 桁)
 - ファイル名オプションに「ページカウンター」が指定されていない場合、ファイル名オプションで生成するファイル名 + 連番 (数字 4 桁)
 - ファイル名オプションに「ページカウンター」が指定されている場合、ファイル名オプションに従う
- *6** : ファイルサイズが 512MB を超える場合は、出力エラーとなります。
出力するファイルをマルチページに対応したファイル形式に変更して、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「ファイルオプション」で、マルチページファイルの出力サイズを 512MB 以下に指定し、ファイルを分割することで出力できます。

*7：ファイルの出力時間が遅くなる場合があります。

● 入力ファイル形式

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro で、「ファイルの追加」ができるファイル形式は、以下のとおりです。

ファイル形式（拡張子）	画像タイプ（ビット数）	圧縮形式
BMP（.bmp/.dib）	白黒	非圧縮
	8bit グレー	非圧縮
	24bit カラー	非圧縮
JPEG2000（.j2k）	24bit カラー	JPEG2000
JPEG（.jpg/.jpeg/.jpe/.jfif）	8bit グレー	JPEG
	24bit カラー	JPEG / Progressive JPEG
PDF（.pdf）（*1）	白黒	CCITT G4 / JBIG2
	8bit グレー	JPEG / JPEG2000
	24bit カラー	JPEG / JPEG2000
TIFF（.tif/.tiff）	白黒	非圧縮 / CCITT G3(1D) / CCITT G3(2D) / CCITT G4 / JBIG / LZW / Packbits
	8bit グレー	非圧縮 / LZW / Packbits / JPEG
	24bit カラー	非圧縮 / Packbits / JPEG / Progressive JPEG
PNG（.png）	白黒	ZIP
	8bit グレー	ZIP
	24bit カラー	ZIP

*1：以下のファイル形式はファイルの追加ができません。

- タイムスタンプおよび署名を付与した PDF ファイル
- パスワードを付与した PDF ファイル

重要

- 「ファイルの追加」で、PaperStream Capture Pro、PaperStream Capture、PaperStream Capture Lite、ScanSnap Manager for fi Series、および ScandAll PRO が出力したファイル以外を選択した場合の動作は保証されません。

関連項目

[既定の圧縮形式（486 ページ）](#)

インデックス情報ファイル形式 (PaperStream Capture)

対応しているファイル形式、出力項目、および順序は、以下のとおりです。

● ファイル形式

ここでは、デフォルトの出力項目を例に説明します。

Unicode テキスト

仕分け No. [TAB] ドキュメント内総ページ数 [TAB] ドキュメント内ページ番号 [TAB] ページ番号 [TAB] 実際のページ番号 [TAB] YYYY/MM/DD hh:mm:ss [TAB] コンピューター名 [TAB] ユーザー名 [TAB] ファイル名 (フルパス) [TAB] ファイル名 [TAB] フォルダー名 [TAB] スキャナー装置名 [TAB] 解像度 [TAB] 幅 [TAB] 高さ [TAB] ビットの深さ [TAB] "バーコード認識結果" [TAB] バーコード種類 [TAB] "ゾーン OCR 認識結果" [TAB] マーク (利用者) [TAB] マーク (重送) [TAB] マーク (折れ/破れ) [TAB] マーク (白紙) [TAB] マーク (原稿識別精度) [TAB] "バーコード認識結果 (仕分け)" [TAB] バーコード種類 (仕分け) [TAB] "ゾーン OCR 認識結果 (仕分け)" [TAB] "原稿識別精度 (仕分け)" [TAB] シート番号 [TAB] ファイルサイズ (バイト) [TAB] 現在のドキュメントの総シート数 [TAB] ドキュメント仕分け値

- Unicode (UTF-16 Little Endian) で出力されます。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は「"」(ダブルクォート) で囲まれます。また、各項目は TAB 文字で区切られます。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字 ("") となります。
- 2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」(スペース) または「_」(アンダースコア) に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に「"」が含まれていた場合は、「"""」に変換されます。
- バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

CSV

「,」(カンマ) を区切り文字に指定した例：

"仕分け No.,""ドキュメント内総ページ数","ドキュメント内ページ番号","ページ番号","実際のページ番号","YYYY/MM/DD hh:mm:ss","コンピューター名","ユーザー名","ファイル名 (フルパス) ",""ファイル名","フォルダー名","スキャナー装置名","解像度","幅","高さ","ビットの深さ

"、"バーコード認識結果","バーコード種類","ゾーン OCR 認識結果","マーク (利用者) ","マーク (重送) ","マーク (折れ/破れ) ","マーク (白紙) ","マーク (原稿識別精度) ","バーコード認識結果 (仕分け) ","バーコード種類 (仕分け) ","ゾーン OCR 認識結果 (仕分け) ","原稿識別精度 (仕分け) ","シート番号","ファイルサイズ (バイト) ","現在のドキュメントの総シート数","ドキュメント仕分け値"

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「UTF-8 で出力する」チェックボックスの設定によって、以下のように出力されます。
 - チェックが付いている場合
UTF-8 (8-bit UCS Transformation Format) で出力されます。
 - チェックが外れている場合
システムロケールで設定している言語のデフォルト文字コードで出力されます。
- 各項目は「"」(ダブルクォート) で囲まれます。また、各項目は指定した区切り文字で区切られます。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字 ("") となります。
- 2 次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」(スペース) または「_」(アンダースコア) に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。
- バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

XML

```
<?xml version = "1.0" encoding = "utf-8"?>
<root>
<page>
<item name = "Separator No." value = "仕分け No." />
<item name = "Total pages in current document" value = "ドキュメント内総ページ数" />
<item name = "Page Number in Document" value = "ドキュメント内ページ番号" />
<item name = "Page number" value = "ページ番号" />
<item name = "Actual page number" value = "実際のページ番号" />
<item name = "Date&Time" value = "日付と時刻" />
<item name = "Computer name" value = "コンピューター名" />
<item name = "User name" value = "ユーザー名" />
```

```

<item name = "Full Path" value = "ファイル名 (フルパス) " />
<item name = "File name" value = "ファイル名" />
<item name = "Folder name" value = "フォルダー名" />
<item name = "Scanner name" value = "スキャナー装置名" />
<item name = "Resolution" value = "解像度" />
<item name = "Width" value = "幅" />
<item name = "Height" value = "高さ" />
<item name = "Bit depth" value = "ビットの深さ" />
<item name = "Barcode" value = "バーコード認識結果" />
<item name = "Barcode type" value = "バーコード種類" />
<item name = "Zone OCR" value = "ゾーン OCR 認識結果" />
<item name = "Mark-user" value = "マーク (利用者) " />
<item name = "Mark-multifeed" value = "マーク (重送) " />
<item name = "Mark-AIQC" value = "マーク (折れ/破れ) " />
<item name = "Mark-blank page" value = "マーク (白紙) " />
<item name = "Mark-APS" value = "マーク (原稿識別精度) " />
<item name = "Barcode(Separator)" value = "バーコード認識結果 (仕分け) " />
<item name = "Barcode type(Separator)" value = "バーコード種類 (仕分け) " />
<item name = "Zone OCR(Separator)" value = "ゾーン OCR 認識結果 (仕分け) " />
<item name = "Form Name(Separator)" value = "原稿識別精度 (仕分け) " />
<item name = "Sheet number" value = "シート番号" />
<item name = "File size (bytes)" value = "ファイルサイズ (バイト) " />
<item name = "Total sheets in current document" value = "現在のドキュメントの総シート数" />
<item name = "Document separator value" value = "ドキュメント仕分け値" />
</page>
.
.
</root>

```

- UTF-8 (8-bit UCS Transformation Format) で出力します。
- ページ単位の情報は「page」エレメントで区切られます。ページ内各項目情報は「item」エレメントで区切られます。「item」エレメントの「name」属性の内容は該当項目の XML 項目名です。「value」属性に格納した内容が該当項目の値です。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます (XML としては意味を持たない文字列となります)。
- 「<」、「>」、「&」、「"」は、エンティティ参照となります。
- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果の文字列がない場合は、空文字 ("") となります。
- 2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。

- ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」(スペース) または「_」(アンダースコア) に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
- バーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、バーコードの認識結果は出力されません。

● 出力項目と順序

以下の項目が出力されます。

出力項目と順序は、「インデックス一覧オプション」画面 (228 ページ) で変更できます。

項目名	説明	XML 項目名
フィールド名 (*1)	フィールド名に対応したフィールド値 ただし、フィールド種別がゾーン OCR の場合、認識文字列の出力は先頭 128 文字となります。	フィールド名 (フィールド種別)
-	フィールド名に対応したバーコードの種類 (*2)	フィールド名 (Barcode Type)
仕分け No.	ドキュメント番号	Separator No.
ドキュメント内総ページ数	ドキュメント内の総ページ数	Total pages in current document
ドキュメント内ページ番号	ドキュメント内のページ番号 ただし、シングルページ形式のファイルの場合は、常に「1」が出力されます。	Page Number in Document
ページ番号	先頭からのページ番号	Page number
実際のページ番号	白紙スキップや仕分け用原稿の破棄で読み飛ばされたページを含めたページ番号 (*3)(*4)(*5)(*6)	Actual page number
日付と時刻	読み取りを開始した日付 + 時刻	Date&Time
コンピューター名	読み取りを実行したコンピューター名	Computer name
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名	User name
ファイル名 (フルパス)	ファイル名 (フルパス)	Full Path
ファイル名	ファイル名	File name
フォルダー名	フォルダー名	Folder name
スキャナー装置名	スキャナー装置名	Scanner name
解像度	画像の解像度。単位は dpi。 解像度が取得できない場合は、0 が出力されます。	Resolution

項目名	説明	XML 項目名
幅	画像の幅。単位はピクセル。	Width
高さ	画像の高さ。単位はピクセル。	Height
ビットの深さ	画像のビットの深さ	Bit depth
バーコード認識結果 (*1)(*7)	バーコード認識文字列 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode
バーコード種類 (*7)	認識したバーコードの種類 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode type
ゾーン OCR 認識結果 (*1)(*8)	ゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR
マーク (利用者)	利用者マークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-user
マーク (重送)	重送検出によってマークが付けられているかどうか出力されます。(*9) 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-multifeed
マーク (折れ/破れ)	画像認識チェック機能 (折れ/破れ) によってマークが付けられているかどうか出力されます。(*9) 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-AIQC
マーク (白紙)	白紙マークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-blank page
マーク (原稿識別精度)	原稿の識別精度によってマークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-APS
シート番号 (*10)	実際の原稿番号	Sheet number
バーコード認識結果 (仕分け)	仕分けのバーコード認識文字列	Barcode(Separator)

項目名	説明	XML 項目名
バーコード種類 (仕分け)	認識したバーコードの種類	Barcode type(Separator)
ゾーン OCR 認識 結果 (仕分け)	仕分けのゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR(Separator)
原稿識別精度 (仕 分け)	仕分けとして使用した PaperStream IP のドライバー プロファイルの名前が出力されます。	Form Name (Separator)
バッチフォル ダー名	バッチフォルダーの名前が出力されます。	Batch folder name
ジョブ名	ジョブの名前が出力されます。	Profile Name
ファイルサイズ (バイト)	ドキュメントのファイルサイズ	File size (bytes)
現在のドキュメ ントの総シート 数 (*11)	ドキュメント内の総ページ数 (シート番号のカウント 数)	Total sheets in current document
ドキュメント仕 分け値	ドキュメント仕分け値	Document separator value
文字列 1 ~ 4	文字列に入力した文字が出力されます。	Character string 1 ~ 4

- *1:** 認識結果を編集した場合、入力した値が、文字数の制限なくそのまま出力されます。
- *2:** フィールドの種別がバーコードの場合に出力されます。
- *3:** ページを挿入、差し替え、または追加した場合、前回の最後のページ番号から継続せず、1 から振り直されます。
- *4:** 以下の場合、値は空文字 ("") になります。
- 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合
 - PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用した場合
- *5:** ページをコピーした場合の値は、コピー元と同じになります。
- *6:** 最終ページが白紙スキップやハードウェアジョブ仕分け用原稿の破棄によってスキップされ、その状態で継続読み取りを行った場合、スキップされたページは「実際のページ番号」にカウントされません。
- *7:** 仕分けの種類はバーコードだけが設定されている場合は、バーコード認識結果 (仕分け) またはバーコード種類 (仕分け) と同じ値が出力されます。
- *8:** 仕分けの種類はゾーン OCR だけが設定されている場合は、ゾーン OCR 認識結果 (仕分け) と同じ値が出力されます。
- *9:** 重送検出と画像認識チェック機能の異常検出とを同時に検出した場合、重送だけが有効となり、マーク (重送) が 1、マーク (折れ/破れ) が 0 となります。
- *10:** 以下の場合、値は 0 になります。
- 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合

- PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用した場合

*11: 「ファイルの追加」などの操作で追加された画像のシート番号は 0 となり、「現在のドキュメントの総シート数」に加算されません。

関連項目

「出力先設定」タブ (188 ページ)

インデックス情報ファイル形式 (PaperStream Capture Pro)

対応しているファイル形式、出力項目、および順序は、以下のとおりです。

● ファイル形式

ここでは、すべての項目が出力された状態を例に説明します。
ただし、ジョブの設定によっては、出力される項目が異なります。

Unicode テキスト

"フィールド値" [TAB] バーコード種類 [TAB] 仕分け No. [TAB] ドキュメント内総ページ数 [TAB] ドキュメント内ページ番号 [TAB] ページ番号 [TAB] 実際のページ番号 [TAB] YYYY/MM/DD hh:mm:ss [TAB] コンピューター名 [TAB] ユーザー名 [TAB] ファイル名 (フルパス) [TAB] ファイル名 [TAB] フォルダー名 [TAB] スキャナー装置名 [TAB] 解像度 [TAB] 幅 [TAB] 高さ [TAB] ビットの深さ [TAB] "バーコード認識結果" [TAB] バーコード種類 [TAB] "ゾーン OCR 認識結果" [TAB] マーク (利用者) [TAB] マーク (重送) [TAB] マーク (折れ/破れ) [TAB] マーク (白紙) [TAB] マーク (原稿識別精度) [TAB] "バーコード認識結果 (仕分け)" [TAB] バーコード種類 (仕分け) [TAB] "ゾーン OCR 認識結果 (仕分け)" [TAB] "原稿識別精度 (仕分け)" [TAB] シート番号 [TAB] バッチフォルダー名 [TAB] ジョブ名 [TAB] ファイルサイズ (バイト) [TAB] 現在のドキュメントの総シート数 [TAB] ドキュメント仕分け値 [TAB] 文字列 1 [TAB] 文字列 2 [TAB] 文字列 3 [TAB] 文字列 4

- Unicode (UTF-16 Little Endian) で出力されます。
- 各項目は TAB 文字で区切られます。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- 2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されません。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。
- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。
 - 対応項目
 - フィールド値

- バーコード種類
- バーコード認識結果
 - バーコード種類
- ゾーン OCR 認識結果
- バーコード認識結果（仕分け）
 - バーコード種類（仕分け）
- ゾーン OCR 認識結果（仕分け）
- 原稿識別精度（仕分け）
- 出力規則
 - 対応項目に文字列がない場合は、空文字（" "）となります。
 - 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」(スペース) または「_」(アンダースコア) に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
 - 対応項目に「"」が含まれていた場合は、「""」に変換されます。

CSV

「,」（カンマ）を区切り文字に指定した例：

```
"フィールド値","バーコード種類","仕分け No.,"ドキュメント内総ページ数","ドキュメント内
ページ番号","ページ番号","実際のページ番号","YYYY/MM/DD hh:mm:ss","コンピューター名
","ユーザー名","ファイル名（フルパス）","ファイル名","フォルダー名","スキャナー装置名","解
像度","幅","高さ","ビットの深さ","バーコード認識結果","バーコード種類","ゾーン OCR 認識結
果","マーク（利用者）","マーク（重送）","マーク（折れ / 破れ）","マーク（白紙）","マーク（原
稿識別精度）","バーコード認識結果（仕分け）","バーコード種類（仕分け）","ゾーン OCR 認識
結果（仕分け）","原稿識別精度（仕分け）","シート番号","バッチフォルダー名","ジョブ名","ファ
イルサイズ（バイト）","現在のドキュメントの総シート数","ドキュメント仕分け値","文字列 1 ","
文字列 2 ","文字列 3 ","文字列 4 "
```

- 「出力先設定」タブ (188 ページ) の「UTF-8 で出力する」チェックボックスの設定によって、以下のように出力されます。
 - チェックが付いている場合
 - UTF-8 (8-bit UCS Transformation Format) で出力されます。
 - チェックが外れている場合
 - システムロケールで設定している言語のデフォルト文字コードで出力されます。
- 各項目は「"」（ダブルクォート）で囲まれます。また、各項目は指定した区切り文字で区切られません。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます。
- 2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。

- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されます。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。
- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。
 - 対応項目
 - フィールド値
 - バーコード種類
 - バーコード認識結果
 - バーコード種類
 - ゾーン OCR 認識結果
 - バーコード認識結果（仕分け）
 - バーコード種類（仕分け）
 - ゾーン OCR 認識結果（仕分け）
 - 原稿識別精度（仕分け）
 - 出力規則
 - 対応項目に文字列がない場合は、空文字（""）となります。
 - 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「」（スペース）または「_」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。
 - 対応項目に「"」が含まれていた場合は、「"""」に変換されます。

XML

```
<?xml version = "1.0" encoding = "utf-8"?>
<root>
<page>
<item name = "フィールド名（フィールドの種別）" value = "フィールド値" />
<item name = "フィールド名（Barcode Type）" value = "バーコード種類" />
<item name = "Separator No." value = "仕分け No." />
<item name = "Total pages in current document" value = "ドキュメント内総ページ数" />
<item name = "Page Number in Document" value = "ドキュメント内ページ番号" />
<item name = "Scan page number" value = "ページ番号" />
<item name = "Actual page number" value = "実際のページ番号" />
<item name = "Date&Time" value = "日付と時刻" />
<item name = "Computer name" value = "コンピューター名" />
<item name = "User name" value = "ユーザー名" />
<item name = "Full Path" value = "ファイル名（フルパス）" />
<item name = "File name" value = "ファイル名" />
<item name = "Folder name" value = "フォルダー名" />
<item name = "Scanner name" value = "スキャナー装置名" />
<item name = "Resolution" value = "解像度" />
```

```

<item name = "Width" value = "幅" />
<item name = "Height" value = "高さ" />
<item name = "Bit depth" value = "ビットの深さ" />
<item name = "Barcode" value = "バーコード認識結果" />
<item name = "Barcode type" value = "バーコード種類" />
<item name = "Zone OCR" value = "ゾーン OCR 認識結果" />
<item name = "Mark-user" value = "マーク (利用者)" />
<item name = "Mark-multifeed" value = "マーク (重送)" />
<item name = "Mark-AIQC" value = "マーク (折れ / 破れ)" />
<item name = "Mark-blank page" value = "マーク (白紙)" />
<item name = "Mark-APS" value = "マーク (原稿識別精度)" />
<item name = "Barcode(Separator)" value = "バーコード認識結果 (仕分け)" />
<item name = "Barcode type(Separator)" value = "バーコード種類 (仕分け)" />
<item name = "Zone OCR(Separator)" value = "ゾーン OCR 認識結果 (仕分け)" />
<item name = "Form Name(Separator)" value = "原稿識別精度 (仕分け)" />
<item name = "Sheet number" value = "シート番号" />
<item name = "Batch folder name" value = "バッチフォルダー名" />
<item name = "Profile Name" value = "ジョブ名" />
<item name = "File size (bytes)" value = "ファイルサイズ (バイト)" />
<item name = "Total sheets in current document" value = "現在のドキュメントの総シート数" />
<item name = "Document separator value" value = "ドキュメント仕分け値" />
<item name = "Character string 1" value = "文字列 1" />
<item name = "Character string 2" value = "文字列 2" />
<item name = "Character string 3" value = "文字列 3" />
<item name = "Character string 4" value = "文字列 4" />
</page>
.
.
</root>

```

- UTF-8 (8-bit UCS Transformation Format) で出力します。
- ページ単位の情報は「page」エレメントで区切られます。ページ内各項目情報は「item」エレメントで区切られます。「item」エレメントの「name」属性の内容は該当項目の XML 項目名です。「value」属性に格納した内容が該当項目の値です。
- 複数行をゾーン OCR で認識した場合、ゾーン OCR の認識結果にある改行は、半角空白で出力されます (XML としては意味を持たない文字列となります)。
- 「<」、「>」、「&」、「"」は、エンティティ参照となります。
- 2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。これらの制御コードの扱いは、インデックス情報ファイルを開くアプリケーションによって異なります。
- ゾーン OCR またはバーコードを使って原稿を分割した場合、仕分け用原稿を破棄すると、仕分け用原稿の次のページに対してゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果が適用されま

す。仕分け用原稿の次のページがない場合、ゾーン OCR の認識結果およびバーコードの認識結果は出力されません。

- 上記の出力例のうち、以下の対応項目は、出力に規則があります。

- 対応項目

- フィールド値
 - バーコード種類
- バーコード認識結果
 - バーコード種類
- ゾーン OCR 認識結果
- バーコード認識結果 (仕分け)
 - バーコード種類 (仕分け)
- ゾーン OCR 認識結果 (仕分け)
- 原稿識別精度 (仕分け)

- 出力規則

- 対応項目に文字列がない場合は、空文字 ("") となります。
- 対応項目に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「 」(スペース) または「_」(アンダースコア) に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。

- **出力項目と順序**

以下の項目が出力されます。

出力項目と順序は、「インデックス一覧オプション」画面 (228 ページ) で変更できます。

項目名	説明	XML 項目名
フィールド名 (*1)	フィールド名に対応したフィールド値 ただし、フィールド種別がゾーン OCR の場合、認識文字列の出力は先頭 128 文字となります。	フィールド名 (フィールド種別)
-	フィールド名に対応したバーコードの種類 (*2)	フィールド名 (Barcode Type)
仕分け No.	ドキュメント番号	Separator No.
ドキュメント内総ページ数	ドキュメント内の総ページ数	Total pages in current document
ドキュメント内ページ番号	ドキュメント内のページ番号 ただし、シングルページ形式のファイルの場合は、常に「1」が出力されます。	Page Number in Document
ページ番号	先頭からのページ番号	Scan page number
実際のページ番号	白紙スキップや仕分け用原稿の破棄で読み飛ばされたページを含めたページ番号 (*3)(*4)(*5)(*6)	Actual page number

項目名	説明	XML 項目名
日付と時刻	読み取りを開始した日付 + 時刻	Date&Time
コンピューター名	読み取りを実行したコンピューター名	Computer name
ユーザー名	読み取りを実行したユーザー名	User name
ファイル名 (フルパス)	ファイル名 (フルパス)	Full Path
ファイル名	ファイル名	File name
フォルダー名	フォルダー名	Folder name
スキャナー装置名	スキャナー装置名	Scanner name
解像度	画像の解像度。単位は dpi。 解像度が取得できない場合は、0 が出力されます。	Resolution
幅	画像の幅。単位はピクセル。	Width
高さ	画像の高さ。単位はピクセル。	Height
ビットの深さ	画像のビットの深さ	Bit depth
バーコード認識結果 (*1)(*7)	バーコード認識文字列 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode
バーコード種類 (*7)	認識したバーコードの種類 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「バーコード」を指定した場合、最初に「バーコード」を指定したフィールド属性の、バーコードの情報が出力されます。	Barcode type
ゾーン OCR 認識結果 (*1)(*8)	ゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字 「データ抽出設定」タブで複数のフィールド属性の「種別」に「ゾーン OCR」を指定した場合、最初に「ゾーン OCR」を指定したフィールド属性の、ゾーン OCR の情報が出力されます。	Zone OCR
マーク (利用者)	利用者マークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-user
マーク (重送)	重送検出によってマークが付けられているかどうか出力されます。(*9) 0 : マークが付けられていない	Mark-multifeed

項目名	説明	XML 項目名
	1 : マークが付けられている	
マーク(折れ / 破れ)	画像認識チェック機能 (折れ / 破れ) によってマークが付けられているかどうか出力されます。(*9) 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-AIQC
マーク (白紙)	白紙マークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-blank page
マーク (原稿識別精度)	原稿の識別精度によってマークが付けられているかどうか出力されます。 0 : マークが付けられていない 1 : マークが付けられている	Mark-APS
シート番号 (*10)	実際の原稿番号	Sheet number
バーコード認識結果 (仕分け)	仕分けのバーコード認識文字列	Barcode(Separator)
バーコード種類 (仕分け)	認識したバーコードの種類	Barcode type(Separator)
ゾーン OCR 認識結果 (仕分け)	仕分けのゾーン OCR 認識文字列の先頭 128 文字	Zone OCR(Separator)
原稿識別精度 (仕分け)	仕分けとして使用した PaperStream IP のドライバープロファイルの名前が出力されます。	Form Name (Separator)
バッチフォルダー名	バッチフォルダーの名前が出力されます。	Batch folder name
ジョブ名	ジョブの名前が出力されます。	Profile Name
ファイルサイズ (バイト)	ドキュメントのファイルサイズ	File size (bytes)
現在のドキュメントの総シート数 (*11)	ドキュメント内の総ページ数 (シート番号のカウント数)	Total sheets in current document
ドキュメント仕分け値	ドキュメント仕分け値	Document separator value
文字列 1 ~ 4	文字列に入力した文字が出力されます。	Character string 1 ~ 4

*1 : 認識結果を編集した場合、入力した値が、文字数の制限なくそのまま出力されます。

*2 : フィールドの種別がバーコードの場合に出力されます。

- *3: ページを挿入、差し替え、または追加した場合、前回の最後のページ番号から継続せず、1 から振り直されます。
- *4: 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合、値は空文字 ("") になります。
- *5: ページをコピーした場合の値は、コピー元と同じになります。
- *6: 最終ページが白紙スキップやハードウェアジョブ仕分け用原稿の破棄によってスキップされ、その状態で継続読み取りを行った場合、スキップされたページは「実際のページ番号」にカウントされません。
- *7: 仕分けの種類のみが設定されている場合は、バーコード認識結果（仕分け）またはバーコード種類（仕分け）と同じ値が出力されます。
- *8: 仕分けの種類のみが設定されている場合は、ゾーン OCR 認識結果（仕分け）と同じ値が出力されます。
- *9: 重送検出と画像認識チェック機能の異常検出とを同時に検出した場合、重送だけが有効となり、マーク（重送）が 1、マーク（折れ / 破れ）が 0 となります。
- *10: 「ファイルの追加」などの操作でファイルを直接開いた場合、値は 0 になります。
- *11: 「ファイルの追加」などの操作で追加された画像のシート番号は 0 となり、「現在のドキュメントの総シート数」に加算されません。

関連項目

[「出力先設定」タブ \(188 ページ\)](#)

既定の圧縮形式

既定の圧縮形式に従う場合、以下の圧縮形式が設定されます。

ファイル形式 (拡張子)		画像タイプ (ビット数)	圧縮形式
BMP (.bmp)		白黒	非圧縮
		8bit グレー	非圧縮
		24bit カラー	非圧縮
JPEG2000 (.j2k)		24bit カラー	JPEG2000
JPEG (.jpg)		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
PDF (.pdf)	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000

ファイル形式 (拡張子)		画像タイプ (ビット数)	圧縮形式
PDF/A (.pdf) (*1)	通常	白黒	TIFF(G4)
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
	高圧縮	白黒	JBIG2
		8bit グレー	JPEG2000
		24bit カラー	JPEG2000
TIFF (.tif)		白黒	CCITT G4
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
PNG (.png)		白黒	ZIP
		8bit グレー	ZIP
		24bit カラー	ZIP
リッチテキスト形式 (.rtf)		白黒	ZIP
		8bit グレー	JPEG
		24bit カラー	JPEG
Word 文書 (.docx)		白黒	-
		8bit グレー	-
		24bit カラー	-
Excel 文書 (.xlsx)		白黒	-
		8bit グレー	-
		24bit カラー	-
PowerPoint 文書 (.pptx)		白黒	-
		8bit グレー	-
		24bit カラー	-

*1 : 準拠レベルは PDF/A-1b です。

ただし、「オプション設定」画面 (206 ページ) の「PDF オプション」で、「カラー高圧縮を行う」または「グレー高圧縮を行う」チェックボックスのチェックが付いている場合は、PDF/A-2b となります。

関連項目

[ファイル形式 \(470 ページ\)](#)

収集するデータ

「PaperStream Capture Pro 管理ツール」画面の「サポート」タブにある「データ収集」で、「操作データを出力する」チェックボックスにチェックを付けると、PaperStream Capture の使用状況を収集し、TSV 形式で出力します。

収集するデータは、以下のとおりです。

カテゴリー	項目名	項目内容
General	Batch id	バッチ id 値の形式は数字です。
	Batch name	バッチ名 値の形式は文字列です。(*1)
	Profile name	ジョブ名 値の形式は文字列です。
	Suspended	一度一時中断したかどうか 値の形式は文字列です。 <ul style="list-style-type: none"> 一時中断した場合：True 一時中断しなかった場合：False
	Exception	エラーコード 値の形式は文字列です。(*1)
Scanning	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。(*1)
	Start time	スキャン開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	スキャン終了時間 値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Page count	合計ページ数 値の形式は数字です。
	Auto-Deletions	空白が出力されます。
	Device	スキャナー機種 値の形式は文字列です。(*2)
QC	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。(*1)
	Start time	QC 開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	QC 終了時間

カテゴリー	項目名	項目内容
		値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Page count	合計ページ数 値の形式は数字です。
	Manual-Deletions	削除ページ数 値の形式は数字です。
	Insertions	追加ファイル回数 値の形式は数字です。
	Moves	ページ移動した回数 値の形式は数字です。
	Separations	原稿を分割した回数 値の形式は数字です。
	Merges	原稿を結合した回数 値の形式は数字です。
	Scan Additions	追加スキャン回数 値の形式は数字です。
	Scan Replacements	置き換えスキャン回数 値の形式は数字です。
	Jams	空白が出力されます。
	Multi-feeds	空白が出力されます。
	ASC count	画質補正したページ数 値の形式は数字です。
Indexing	Operator name	バッチを完了したユーザー名 値の形式は文字列です。(*1)
	Start time	インデックス開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	インデックス終了時間 値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Doc count	合計ドキュメント数 値の形式は数字です。
	Key clicks	キーボード押した回数 値の形式は数字です。
	Field count	フィールド数 (隠れているフィールドは統計されない) 値の形式は数字です。
	Fields modified	値が修正されたフィールドの合計数

カテゴリ	項目名	項目内容
		値の形式は数字です。
	Error count	出力時にエラーになるフィールド数の累積値 値の形式は数字です。
Release	Start time	出力開始時間 値の形式は時刻です。(*2) (*3)
	End time	出力終了時間 値の形式は時刻です。(*1) (*3)
	Destination	出力先 値の形式は文字列です。

*1：一時保存、例外の終了時間、および再開時間も含まれます。

*2：複数回の一時保存などによって、スキャン、QC、およびインデックスの操作が何度も行われた場合、「Start time」は初回の時間、「End time」は最後の時間を出力します

*3：収集データは、UTC を基準に、出力を行うワークステーションのタイムゾーンに合わせて、YYYY-MM-dd HH:mm:ss.fff へ変換して出力します。

バーコードの種類と検知条件

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では以下の種類のバーコードを検知できます。また、バーコードの検知条件も示します。

検知条件を満たさないバーコードは、正しく認識されない場合があります。

● 1 次元バーコード



例：Code 3 of 9

コード	キャラクターセット	桁数
UPC-A / EAN / JAN	数字	UPC-A : 12 (チェックデジットを含む) EAN / JAN : 8 または 13 (チェックデジットを含む)
Code 3 of 9	ASCII データ	1 ~ 128 (スタート・ストップコードを含まない)
CODE128 / EAN128	ASCII データ	1 ~ 128 (チェックキャラクターを含まない)

コード	キャラクターセット	桁数
Codabar(NW7)	4 種類のスタート・ストップキャラクター、数字、6 種類の記号	1 ~ 128 (スタート・ストップコードを含まない)
ITF	数字	2 ~ 128 (必ず偶数桁)

- 2 次元コード



例 : PDF417



例 : QR コード



例 : Data Matrix

コード	キャラクターセット	桁数
PDF417	ASCII データ、バイナリーデータ (マルチバイト文字) 上記の混在	英数字混在 : 最大 1850 字 数字 : 最大 2710 桁 バイナリーデータ : 最大 1108 バイト
QR コード	数字、英字、記号、マルチバイト文字、制御コード 上記の混在	英数字混在 : 最大 395 字 数字 : 最大 652 桁 全角文字 : 最大 167 文字
Data Matrix	ASCII データ、バイナリーデータ (マルチバイト文字) 上記の混在	英数字混在 : 最大 2335 字 数字 : 最大 3116 桁 バイナリーデータ : 最大 1555 バイト

● 1 次元バーコードの検知条件

項目	条件
バーコードの縦幅	10 ～ 30 mm
バーコードの横幅（長さ）	300 mm 以下
バーコードの余白	バーコードの周囲 5 mm 以上 (ITF の左端および右端は、5 mm 以上か、細エレメント幅の 6 倍以上のどちらか大きい方)
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	200 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
細エレメント幅 / モジュール幅	<ul style="list-style-type: none"> ● UPC-A/EAN/JAN 300 dpi 以上の場合 : 0.264 mm 以上 300 dpi 未満の場合 : 0.30 mm 以上 ● Code 3 of 9/CODE128/EAN128/Codabar(NW7) 300 dpi 以上の場合 : 0.20 mm 以上 300 dpi 未満の場合 : 0.30 mm 以上 ● ITF 300 dpi 以上の場合 : 0.254 mm 以上 300 dpi 未満の場合 : 0.30 mm 以上
太エレメント幅	14.0 mm 以下 (UPC-A/EAN/JAN/CODE128/EAN128 では、最も太い（4 モジュール相当の）エレメント幅です)
キャラクター間ギャップ	<ul style="list-style-type: none"> ● UPC-A/EAN/JAN/CODE128/EAN128/ITF キャラクター間ギャップは存在しません。 ● Code 3 of 9/Codabar(NW7) 細エレメント幅以上で、1.52 mm または細エレメント幅の 3 倍のどちらか大きい方以下

● PDF417 の検知条件

項目	条件
モジュールの横幅	0.3 ～ 2.0 mm
モジュールの縦幅（高さ）	モジュールの幅の 3 倍以上推奨 (モジュールの幅の 2 倍未満となる場合は認識されません)
バーコードの横幅（全体幅）	25.5 ～ 170.0 mm

項目	条件
バーコードの縦幅（高さ）	10.0 ～ 30.0 mm
バーコードの余白	バーコードの周囲 5 mm 以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	200 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	0/2/3/4/5/6/7

- QR コードの検知条件

項目	条件
モデル	モデル 2 ただし、ECI モード、FNC1 モードは未対応
バージョン	2 ～ 10
情報の種類	数字、英字、記号、マルチバイト文字、制御コード 上記の混在
セルサイズ	0.28 mm 以上（0.40 mm 以上を推奨）
バーコードの余白	上下左右 4 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	300 ～ 600 dpi
バーコードの角度	水平、垂直
エラー訂正レベル	L/M/Q/H

- Data Matrix の検知条件

項目	条件
バージョン	ECC200 ただし、FNC1 モード（GS1）は未対応
セルサイズ	0.50 mm 以上
バーコードの余白	シンボルの上下左右に 2 セル以上
バーコードの色	黒色
バーコードの下地色	白色
解像度	300 ～ 600 dpi

項目	条件
バーコードの角度	水平、垂直

重要

- 認識領域に、複数のバーコードが存在した場合、最初に認識したバーコードが有効となります。
- 読み取った原稿に予期しないバーコードがあった場合、誤ってドキュメントが分割されたり、読み取りの指定によっては、読み取った画像が削除されたりする場合がありますため、事前に原稿をよく確認してください。検知するバーコードの領域を限定することを推奨します。
- 同じシートを複数回使用すると、紙のよごれによって認識精度が低下する場合があります。正しく認識されない場合や紙がよごれた場合は、新しいシートに交換してください。
- 制御コードの認識が失敗した場合、認識結果が以下のようになります。
 - 制御コードが数値として認識される
 - 制御コードだけではなく、それ以外の文字の一部も全く認識されず、無視される
- 「[バーコードの設定](#)」画面（データ抽出）（243 ページ）の「2次元コード内に制御コード[NUL]以降のデータも出力」チェックボックスのチェックが外れている場合、2次元コード内に制御コード[NUL]が含まれていると、[NUL]以降のデータは認識されません。
- 読み取り原稿が傾いている場合や PaperStream IP ドライバーの設定、バーコードの印刷状態によっては正しく認識できない場合がありますため、事前に正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- バーコードの下地色、およびバーコードの色が白、黒以外の色の場合でも、認識ができる場合があります。カラーのバーコードを認識させる場合には、事前にカラー原稿の読み取り設定を調整して正しく認識されることを確認したあと、運用してください。
- 2次元コードの認識結果に誤りが発生した場合は、バーコードを大きくするか、エラー訂正レベルを上げてください。
- バーコードの認識結果に表示不可能な制御コードが含まれていた場合は、「」（スペース）または「`_`」（アンダースコア）に置換されます。制御コードによっては、無視されるものもあります。2次元コードの認識結果にラインフィード [LF] やキャリッジリターン [CR] が含まれていた場合、ラインフィードやキャリッジリターンは、半角空白で出力されます。

ヒント

- 複数のバーコードが印刷されている原稿を読み取った場合、フィールドの設定によって、バーコードの認識結果を以下のようにインデックスに設定します。
 - バーコードの認識領域がフィールドに設定されている場合
領域内で最初に検出したバーコードの認識結果だけインデックスに設定します。
 - バーコードの認識領域がフィールドに設定されていない場合
原稿の全領域でバーコードを検出し、検出したバーコード順で、各フィールドに対し、認識結果を1つずつインデックスに設定します。
- バーコードは、原稿を分割するために使用するか、文字列を認識してインデックス、ファイル名、およびフォルダー名に利用するかのどれかにだけ使用できます。

- バーコードを使用し、読み取り速度が低下した場合は、検知するバーコードの種類を少なくしたり、バーコードを検知する領域を小さくしたりすることで、読み取り速度が改善することがあります。

ゾーン OCR の検知条件

正しくゾーン OCR を実行するために、原稿（文字）や PaperStream IP ドライバーの設定を確認します。

● 原稿（文字）

PaperStream Capture Pro の場合、ゾーン OCR のエリア範囲を選択するときに、認識する文字に合わせて以下の種別を選択することで、下線付きや枠に囲まれている文字などが認識できます。対象の言語は英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、トルコ語、ギリシャ語、ポルトガル語、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ウクライナ語、インドネシア語です。それ以外の言語は、認識する文字の種別は選択できず、SimpleText で認識します。

種別	説明	例
SimpleText	境界線や下線がない文字を検出します。	EXAMPLE
UnderlinedText	下線がある文字を検出します。	<u>EXAMPLE</u>
TextInFrame	囲み枠の中にある文字を検出します。	EXAMPLE
GreyBoxes	灰色の背景の上にある、別個の白い背景内の文字を検出します。	E X A M P L E
CharBoxSeries	別個の枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E
SimpleComb	個々の文字の間を短い線で区切った下線上にある文字を検出します。	E X A M P L E
CombInFrame	個々の文字の間を短い線で区切った囲み枠のある文字を検出します。	E X A M P L E
PartitionedFrame	個々の文字の間を区切った枠の中にある文字を検出します。	E X A M P L E

以下の原稿（文字）は、正しくゾーン OCR できない場合があります。

原稿

- 文字間隔および行間隔が極端に狭い、または広い原稿
- 文字の背景が不均一色の原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 設定言語以外の言語の原稿
- 上下逆さま、横向きの原稿や傾いた原稿

- 複雑なレイアウトの原稿、およびノイズの多い原稿
(このような原稿では認識するのに非常に時間がかかる場合があります)
- 縦書きの原稿
- 段組された原稿

文字

- 手書き文字
- 低解像度での小さな文字 (10 ポイント未満の文字)
- 大きな文字 (24 ポイント以上の文字)
- 上下添え字、複雑な数式
- ボールド文字 (太字)、イタリック文字 (斜体)、影、白抜きなどの装飾がされている文字
- 下線付き文字、網がけ内の文字、枠に囲まれている文字 (PaperStream Capture の場合)
網がけ内の文字 (PaperStream Capture Pro の場合)
- 横方向または縦方向に拡大/縮小された文字

フォント

- 明朝、ゴシック、楷書体以外のフォント

文字種

- JIS 第一水準漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号 (一部) 以外の文字

● PaperStream IP ドライバーの設定

以下の PaperStream IP ドライバーの設定では、正しくゾーン OCR できない場合があります。

- 画像タイプが白黒の場合に、「画像」→「二値化の方法」で、「ハーフトーン」または「選択的強調」を選択している

重要

- ゾーン OCR で認識できる文字数は、最大で 128 文字です。
- ゾーン OCR の認識領域を適切な大きさに設定してください。
領域が大きすぎる場合、周囲の図、表、または罫線がゾーン OCR の対象となり、意図しない認識結果が出力されることがあります。
また、領域が小さすぎる場合、認識したい文字列がゾーン OCR の対象から外れ、正しく認識できないことがあります。
- ゾーン OCR で認識した文字列が、画面では正常に表示されているが、ファイル名オプションで「ゾーン OCR」をファイル名に使用した場合や、インデックス情報に出力する場合、制御コードとみなされ、“_”で出力されることがあります。
この場合は、「コントロールパネル」の「地域と言語のオプション」で、ゾーン OCR に使用する言語を選択してください。
- 画像の解像度は、以下を推奨します。カラー / グレーは 600dpi より大きい解像度は認識できません。

- 白黒 : 400 / 600 dpi
- カラー / グレー : 200 / 300 dpi
- 「こだわり作成」画面の「読み取り設定」タブの「読み取り設定」にある「ドライバープロファイル」で「ScanSnap Manager for fi 互換」を選択している場合、認識する文字の言語として、以下は指定できません。
 - ギリシャ語
 - ベトナム語
 - スウェーデン語
 - オランダ語
 - ポーランド語
 - チェコ語
 - ルーマニア語
 - ヘブライ語
 - ウクライナ語
 - タイ語
 - インドネシア語

ヒント

- PaperStream IP ドライバーによる自動傾き補正と原稿向き補正フィルターを使用すると、認識率の向上が期待できます。
- PaperStream IP ドライバーの「回転」で「自動」が選択されている場合、ヘブライ語の原稿を読み取ると、読み取った画像が逆さまになります。「回転」で「0度」を指定し、原稿の向きを正しい方向にそろえた状態で読み取りを実行してください。
- 認識文字が英数字や記号だけの場合は、誤認識することがあります。認識言語を英語に変更して実行すると文字を認識しやすくなります。

パスポートの検知条件

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では、ICAO（国際民間航空機関）で国際標準化された規格（Doc 9303）に沿って、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）に 44 桁 2 行で構成されるパスポートの情報を検知できます。

- PaperStream Capture の場合
パスポートの MRZ を自動で検知する場合は、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用し、パスポートの読み取りに対応しているスキャナーで、パスポートの MRZ が記載されているページを見開きの状態で読み取る必要があります。
- PaperStream Capture Pro の場合
パスポートの MRZ を自動で検知する場合は、パスポートの読み取りに対応しているスキャナーで、パスポートの MRZ が記載されているページを見開きの状態で読み取る必要があります。

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、パスポートの MRZ を自動で検知できません。
パスポートを読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（44 桁）を認識領域として指定してください。

ヒント

- パスポートの読み取りで使用するドライバープロファイルは、パスポート用に用意されているプリセットプロファイルを推奨します。ドライバープロファイルは、「読み取り設定」タブで変更できます。
- 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

ID カード (TD1) の検知条件

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro では、ICAO（国際民間航空機関）で国際標準化された規格（Doc 9303）に沿って、機械読み取り領域（Machine Readable Zone = MRZ）に 30 桁 3 行で構成される ID カード（TD1 準拠）の情報を検知できます。

- PaperStream Capture の場合
ID カード（TD1 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、PaperStream IP (TWAIN) ドライバーを使用し、ID カード（TD1 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。
- PaperStream Capture Pro の場合
ID カード（TD1 準拠）の MRZ を自動で検知する場合は、ID カード（TD1 準拠）の読み取りに対応しているスキャナーで読み取る必要があります。

番号	意味
3	文書番号
4	国籍
5	生年月日
6	性別
7	有効期間満了日
8	拡張情報

ただし、以下のような場合、ID カード（TD2 準拠）の MRZ が正しく認識できない場合があります。

- ID カードがよごれている
- MRZ が 1 行以下である

重要

- PaperStream Capture で PaperStream IP (ISIS) ドライバーを使用している場合、ID カード（TD2 準拠）の MRZ を自動で検知できません。
ID カード（TD2 準拠）を読み取ったあと、「スキャン」画面（確認 / 編集時）のツールバーから「エリア設定」を選択し、情報が含まれている MRZ の段（36 桁）を認識領域として指定してください。

ヒント

- 詳細は、使用しているスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

ジョブ移入結果ログ

運用環境の移入を実行すると、移入結果がログファイルに出力されます。
ファイル形式は CSV で、ファイル名は「PSCImpProfile.csv」です。

移入結果の格納先

移入結果は、以下のフォルダーに作成されます。
C:\%Users%\ユーザー名\Documents\PaperStreamCapture

移入結果の内容

移入結果は、以下の形式で出力されます。

```
"ログ出力日時"  
"移入結果","詳細情報","ジョブ名"
```

1 行目

ログが出力された日時が出力されます。
日時のフォーマットは、「曜日. 月 日. 年 時:分:秒」です。

2 行目以降

各ジョブの移入結果が出力されます。

項目	内容
移入結果	OK：移入しました。 NG：移入できませんでした。
詳細情報	New：新規で移入しました。
ジョブ名	移入対象のジョブ名が出力されます。

ログ出力例

```
"Monday. February 08. 16:23:59"
"OK","New","Profile1"
"OK","New","Profile2"
```

PaperStream Capture または PaperStream Capture Pro とドライバープロファイルの設定の関係

- ジョブ作成/編集

読み取り設定

読み取り設定

画質補正

PaperStream Capture Pro の場合、ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「画質補正」の指定が無効となります。

画像チェック

折れ/破れ

「折れ/破れ」を指定すると、一時的にドライバープロファイルのクロッピングを自動に変更して読み取りします。

重送

「重送」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。また、ドライバープロファイルのマルチフィード検出の条件に「装置設定」が指定されている場合、「重なりと長さ」に切り替えて読み取りを行います。

白紙

「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

出力先設定

ファイルプロパティ

ページカウンターをインプリンタで印字する

「ページカウンターをインプリンタで印字する」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ドライバープロファイルでキャリアシートが指定されていると、「ページカウンターをインプリンタで印字する」の指定が無効となります。

シートカウンターをインプリンタで印字する

「シートカウンターをインプリンタで印字する」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ドライバープロファイルでキャリアシートが指定されていると、「シートカウンターをインプリンタで印字する」の指定が無効となります。

データ抽出設定

フィールド属性

パスポート

「パスポート」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ID カード(TD1)

「ID カード(TD1)」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

ID カード(TD2)

「ID カード(TD2)」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

仕分け設定

ドキュメント仕分け

白紙

「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

パッチコード

「パッチコード」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

バッチ仕分け

白紙

PaperStream Capture Pro の場合、「白紙」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

パッチコード

PaperStream Capture Pro の場合、「パッチコード」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

● 管理ツール

一般

おすすめ設定

お知らせ

「お知らせ」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

お知らせするユーザーを選択

「お知らせするユーザーを選択」を指定すると、ドライバープロファイルの長尺帳票分割の指定が無効となります。

● ツールバー

スキャン

追加（アシストスキャン）

ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「追加（アシストスキャン）」はできません。

差し替え（アシストスキャン）

ドライバープロファイルでマルチイメージが指定されていると、「差し替え（アシストスキャン）」はできません。

用語集

- **お使いになる前に**

抽出データ

読み取った原稿の、画像に関する情報を抽出したデータです。
ここでは、設定している全フィールドのフィールド値と認識エリアを指します。

インデックス

読み取った原稿の、画像に対する索引または識別用のデータを指します。
ここでは、データに抽出データが埋め込まれた状態、または埋め込む作業を指します。

マルチステーション

PaperStream Capture Pro の場合に、ストレージサーバーを使用する運用方法です。
ストレージサーバーとクライアント端末のステーションで運用します。
ストレージサーバーでデータを管理し、クライアント端末の各ステーションで作業を行います。

バッチスキャンモード

定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、ジョブとして事前に登録し、そのジョブを使って原稿を読み取ります。

シンプルスキャンモード

非定型業務向けの読み取り方法です。
ファイルの保存形式、保存先、および読み取り条件などの設定内容を、必要に応じて変更して、原稿を読み取ります。

ジョブ

PaperStream Capture での読み取りや出力に関する条件を登録したデータです。
読み取り方法がバッチスキャンモードの場合に使用します。

モード切替え

読み取り方法を「シンプルスキャンモード」または「バッチスキャンモード」に切り替えます。

ゾーン OCR

指定した領域に対し、OCR（光学式文字認識）を行い、文字情報を抽出する機能です。

インデックス情報ファイル

出力した画像に対する、データの索引または識別データの情報を出力したファイルです。

PaperStream IP (TWAIN)

業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。
TWAIN 規格に準拠しています。

PaperStream IP (ISIS)

PaperStream Capture の場合の、業務用 イメージ スキャナー専用のスキャナードライバーです。

ISIS 規格に準拠しています。

● インストール方法

アクティベート

ライセンスを認証し、機能の制限を解除します。

シングルステーション

ストレージサーバーを使用しない運用方法です。

1つの端末でデータの管理や作業を行います。

ストレージサーバー

ジョブや読み取った画像を含むバッチジョブを管理します。

ステーション

シングルステーション運用の端末や、マルチステーション運用のクライアント端末を指します。

ステーションとして、以下のプロセスを選択して運用します。

- スキャン&インデックス

- スキャン (*)

- QC (*)

- インデックス (*)

*組み合わせて1つのステーションとして設定できます。

● 基本的な読み取り操作

PaperStream IP Import

スキャナーを介さず、既存の BMP、JPG、TIF、JPEG、TIFF、および PDF ファイルを画質補正して取り込むドライバーです。

TWAIN 規格に準拠しています。

PaperStream Capture Pro かつ PaperStream IP Import のライセンスを取得し、アクティベートすると、こだわり作成で使用できます。

バッチ

ジョブで設定した一連の処理を実施するまとまりを指します。

● 便利な機能

PaperStream ClickScan

業務用イメージ スキャナーを利用して、簡易的な設定だけで原稿を読み取るためのアプリケーションです。

PaperStream Capture と併用して使用できます。

フィールド

抽出データに関する情報を入力する領域を指します。

フィールドルール

フィールド値に対し、指定するルールを指します。

バッチコード

スキャナーで読み取って、原稿やバッチの区切りとして認識させるための、専用コードです。印刷して使用します。

● 運用環境の移出/移入

ドライバーのプロファイル

PaperStream IP ドライバーでの読み取り条件を登録したデータです。

● PaperStream Capture Pro の機能

フィールド値

抽出データに関する情報の値を指します。

● PaperStream Capture Pro のアクティベート

ディアクティベート

ライセンスの認証を解除します。

インストールした媒体によって、ディアクティベートしたあとの動作は、以下のように異なります。

- Web サイトからダウンロードした場合
再度、ライセンスをアクティベートするまで、PaperStream Capture Pro が起動できなくなります。
- スキャナーに添付されている Setup DVD-ROM からインストールした場合
PaperStream Capture Pro の固有の機能が利用できなくなります。

お問い合わせ

● お問い合わせ窓口

お客様からのお問い合わせに迅速に対応いたします。

お問い合わせで対応する内容は、以下のとおりです。

- 業務用 イメージ スキャナー全般に関する操作や故障・トラブル
- PaperStream Capture に関する操作
- PaperStream Capture Pro のご購入

お使いの PaperStream Capture のバージョンを確認する場合があります。事前にバージョンを確認のうえ、お問い合わせください。

バージョンの確認方法は、[バージョンの情報を確認する \(348 ページ\)](#)を参照してください。

また、PaperStream Capture Pro の設定に関するお問い合わせは有償になります。

お問い合わせ先	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
ホームページ	以下のホームページをご覧ください。 https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html

上記窓口では、ABBYY FineReader for ScanSnap™に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader for ScanSnap™に関しては、次の操作で表示される ABBYY FineReader for ScanSnap™ ユーザーズガイドの「テクニカル サポート」を参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「ABBYY FineReader for ScanSnap (TM)」→「ユーザーズガイド」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「ABBYY FineReader for ScanSnap (TM)」→「ユーザーズガイド」をクリックします。